

具志川市史
第七卷

新聞集成
社 会
・
戦後
編

目次

口 絵	発行のことば	前門 幸雄	一七
	市史第七卷新聞集成・戦後の刊行にあたって	名嘉真 宜勝	一九
	発刊によせて	知念 恒男	二一
凡 例			二三
目 次			二七
収録記事目次			二八
具志川市史第七卷新聞集成・戦後 解題	仲 程 昌徳		八六
社会編 解題	上江洲 敏夫		一〇〇
収録記事			一
具志川関係不採用記事目録抄			九三三

索引

編集後記

市史編さん委員会・編さん事務局

収録記事目次

一九四六年（昭和21）

腰をすえて励む宜野湾村民	一
塩屋川田のお祝ひ	一
防犯を訴ふ	一
金武湾区民の篤志	一
高江洲区民建設へ邁進	一
孤児に福音	一
首里、胡差、百名の三養護院を整備	二
一九四七年（昭和22）	
米本土とハワイに沖縄救済連盟生る	二
種子八千斤を近く輸送	二
開墾で自給を	二
高江洲の食糧増産隊	三
前原に無料宿泊所	三
前原地区二部落改称	三
高江洲診療所落成	三
具志川の綱引	四
輸入食糧の割当 適正化期待さる	四
天願倉庫を民政府へ移管	四

一九四八年（昭和23）

前原地区衛生総合検閲	四
「青い夢」作る	四
二世の変わり種	五
具志川生れの神田君	五
豊原区創設祝賀会	五
一九四八年（昭和23）	
宮里工作所創立一周年	五
米と芋を無償配給	五
六万戸突破 規格住宅	六
麦粉八千噸入荷 当分主食心配なし	六
各地区倉庫へ搬入に馬力	六
バス、知念、那覇、石川間	六
文化再建の第一歩 放送局いよいよ着工	六
五月一杯で完成業務を開始	七
沖縄更正会連絡部	七
小麦粉七千噸を満載の食糧船入港	七
二十五日から昼夜兼行で荷役	七
お知らせ	八
豚五五〇頭ハワイから	八
美、具、両村が爆薬盗難防止へ	八
海外同胞が寄せる	八
郷土復興の贈りもの	八
豚 畜産振興に曙光 待望の豚船近く	八
布哇より入来	八
公聴	九
夜間交通違反 前原第一	九

ハワイの同胞から繁殖用の豚五五〇頭	九
”待望の豚船”	九
桑港出発 沖縄へ直行	九
本月末頃当地着の予定	一〇
放送局十月開局	一〇
待望の豚到着	一一
遠路ようこそ	一一
ハワイよりの豚・恙なく上陸	一一
部落民も出勤・徹夜のお輿入れ作業	一一
「コラム」ジープ	一一
向う四か月の主食不安なし	一一
副食等の緊急輸送方をマ司令部へ申請	一二
被害一千万弗 米軍関係	一二
豚の太平洋輸送は最初の試み	一二
蔭に米陸軍省の援助（渡名喜氏談）	一三
ハワイの豚 農家へ無料配給	一三
つぎつぎ分与して一戸一頭へ	一三
ハワイ一行歓迎会賑う	一四
布哇からの豚 市町村へ	一四
ハワイ一行はかく叫ぶ・郷土再建	一四
協調こそ復興への第一歩	一四
仕事よりお茶のむ時間が多い	一四
放送局 放送は当分晩の四時間	一五
山城ドクターら重任果し十三日空路帰布	一五
知事からの豚の礼状	一五
天願中央倉庫では	一五
一九四九年（昭和24）	

プロフィール・・・・・・・・・・・・・・・・一五
”送金”に身替る

海外小包 一ヶ年に六万個三千万円

戦前の約一割ていど・・・・・・・・一六

対外人商店標・・・・・・・・一六

米・布から小包・・・・・・・・一六

あの町この村・・・・・・・・一六

何の感激湧かず

ソ連帰還者 拘留で感情麻痺・・・・・・・・一七

公営バス 安里を起点・・・・・・・・一七

具志川労務所・・・・・・・・一七

不明小包・・・・・・・・一七

六三〇部隊 四周年記念・・・・・・・・一八

歓楽街五カ所に設置

警察部が具体案提出・・・・・・・・一八

バス増車 糸満線など新設・・・・・・・・一八

賑う六三〇部隊の記念行事・・・・・・・・一八

新ダイヤ 公営バス

那覇・糸満七往復・・・・・・・・一八

ハワイより 九名帰郷・・・・・・・・一八

点灯許可・・・・・・・・一九

家族は連絡を

26日 ソ連より更に十九名・・・・・・・・一九

学童と共にシーツさんも唄う

QMのパーティ・・・・・・・・一九

島袋氏の遺骨来る・・・・・・・・一九

きのう第八陣 ソ連引揚者二十九名・・・・・・・・一九

一九五〇年(昭和25)

伊太利戦の勇士

島袋二世 遺骨帰える・・・・・・・・二〇

ペルーへの入国許可証・・・・・・・・二〇

日本からミシン・・・・・・・・二〇

A-K-A-R 沖繩放送局

きょう放送開始 午後六時より二時間 二〇

放送開局式 二月一日・・・・・・・・二一

A-K-A-R 今日・放送式

シ長官らの祝辞全琉へ・・・・・・・・二一

観光コース・・・・・・・・二一

きのう開局 A-K-A-R

全琉発展に新紀元・・・・・・・・二一

昨朝・十勝山丸二度目の入港

漬物・コンブ・教科書類等

どっさり積んで・・・・・・・・二二

ハワイ観光団一行 懐しの顔ぶれ・・・・・・・・二二

亜国渡航者 24名出発・・・・・・・・二二

懐しの故里へ

ゴードン号きょう横浜出帆・・・・・・・・二三

ハワイ郷土訪問団 夢に見た懐しの沖繩へ

ゴードン号あす勝連に入港・・・・・・・・二三

うるむ”まぶた”に今ぞ見る懐しの故郷

肉親を求めて感激の顔々

春の青空に湧き上る歓喜

ハワイ訪問団第一陣きのう上陸・・・・・・・・二四

ハワイからの訪問団

昨朝郷土へ上陸第一歩・・・・・・・・二五

米軍財産を護る

殊勲の前原署

ハ副長官から賞賛の書簡・・・・・・・・二五

白人強盗 三人組で侵入・・・・・・・・二六

全島に明るい電灯 僻遠の地にも点く 二六

春光浴びて 焦土に萌え出す若草

軍政五年伸び行く琉球

めぐり来る軍政府創立の日・・・・・・・・二六

ハワイより第二次訪問団 きのう上陸

先立つは涙・港にぎわす歓迎陣・・・・・・・・二七

美里、具志川村一帯を電化・・・・・・・・二七

ソ連引揚 近く六名帰る・・・・・・・・二七

二期船入港 ソ連から五名帰る・・・・・・・・二八

点灯許可・・・・・・・・二八

点灯 四ヶ村に許可・・・・・・・・二八

点灯許可

読谷、具志川、中城の三村・・・・・・・・二八

暴れる海浜 ○〇名氏負傷・・・・・・・・二八

喜屋武部落の二分陳情・・・・・・・・二九

民衆を荒しまわる米兵・・・・・・・・二九

戦時中公金護り表彰・・・・・・・・二九

伊差川氏に具志川村議会が感謝状贈る 二九

施設も近代化して首里近郊に大放送局

軍情報部のすばらしい計画・・・・・・・・二九

一九五一年(昭和26)

四散した那覇人

壺屋人は悠々たり

旧那覇人被救済者調べ・・・・・・・・三〇

米兵暴行・・・・・・・・三〇

米兵より暴行さる・・・・・・・・三〇

時計三百コ(時価一万弗)消える

天願倉庫から 前原署で捜索中・・・・三〇

天願ダムも決潰

▽故意の破壊か原因不明・・・・三〇

72・1%獲得

日本復帰署名運動終る

悲願は海こえオペラハウスへ・・・・三一

放送局の移転・・・・・・・・三一

AKAR那覇に移転、放送も中止・・・・三二

ラジオ 誕生の地去る・・・・・・・・三二

中高生も輪禍・・・・・・・・三二

天願PXが自動車部品払下げ・・・・三二

一九五二年(昭和27)

普天間権現 寄付募集認可・・・・三三

志喜屋前知事へ 秘露同胞から感謝状・・・・三三

前原署員 腕のみせどころ・・・・三三

志喜屋学長に金メダル・・・・・・・・三三

”火の用心”の豆夜警団

金武湾小、中高生一晩も欠ずに・・・・三四

部落民が汗の奉仕 前原署前をお化粧・・・・三四

部落民の目覚し役

城間君にお札の表彰状・・・・・・・・三五

凄いぞ男性型の梅雨! 二石六斗降る・

チヨット録音

草花いじりで悠々自適の生活へ・・・・三五

ハイヤーにはね飛さる・・・・・・・・三六

前原署員

警官が俄大工で住宅造り

炊事婦のオバサンに贈りもの・・・・三六

長寿にほころぶ家 風車のお祝迎う

仲井真・島袋両家・・・・・・・・三六

いきなり殴られ 白人兵と組合う・・・・三七

風車の踊り 楽しげに

部落挙って長寿の祝・・・・・・・・三七

村めぐり 平良川区 喜びの三重奏・・・・三八

生活のためが多い

学童もまじる転落女性の実態調べ・・・・三八

”火の用心”のお手柄

金武湾小中校生を表彰・・・・・・・・三九

好評博した 前原音楽同好会コンクール

金武湾創立七周年 あす多彩な祝賀行事

金武湾区制七周年・・・・・・・・四〇

一九五三年(昭和28)

罪なスリ 天願議員急逝・・・・・・・・四〇

スリを追跡して昏倒

立法議院 天願氏、不慮の死・・・・四一

今晚の話題 故天願氏の死とスリ・・・・四二

つきぬ天願議員の想い出

あす具志川で告別式・・・・・・・・四三

金口木舌・・・・・・・・四三

ひきもきらぬ弔問客

天願氏きよう告別式・・・・・・・・四四

〔告別式案内〕・・・・・・・・四四

故天願氏の葬儀

軍民多数参列し盛儀・・・・・・・・四五

故天願朝順氏を想う 当銘盛順・・・・四五

夜の女狩り 具志川村一帯で・・・・四六

謹告・・・・・・・・四六

二ヶ月目に挙る?

故天願議員、恨みのスリ・・・・・・・・四六

故天願議員襲つたスリ? 挙る・・・・四七

具志川村の性病防あつ対策・・・・四七

あの町この村

具志川村で遺家族会結成・・・・・・・・四八

第二次帰還者 19名も黒潮丸に乗船か・・・・四八

帰郷者19名・・・・・・・・四八

天願・幸地両議員に弔慰金六万円・・・・四八

〔バス路線広告〕・・・・・・・・四八

酔ってかっぱらい・・・・・・・・四九

ニュースかご よい子らの早朝清掃・・・・四九

ハワイ同胞が協力体制整う

移民使節に期待

県人会から主席へ便り・・・・・・・・四九

無資格の劇場 24ヶ所もある・・・・五〇

変態兵暴れて捕まる	五〇
二人組米兵運転手をなぐる	五〇
モデル公民館、青年、婦人会	五〇
新たに指定区決まる	五一
ニュースかご 具志川村の青年会	五一
バス路線開通お知らせ	五一
払下げ家屋に 具志川村陳情	五一
一九五四年(昭和29)	
幼女はねらる	五二
観光沖繩に春	五二
ハワイ同胞の24名が続々と	五二
協会も嬉しい悲鳴	五二
住宅復興に明暗	五二
各市町村 都市も希望者ワンサ	五二
ボリビア移民に汗だく	五四
ボリビア移民 申込あす締切る	五四
もう二倍も定員突破	五四
新天地求めて 小祿では同志会	五四
13ヶ村で八百名も	五四
移民も”狭き門”で悲鳴 ボリビア	五四
頭部を轢かれ老婆即死	五五
観光団で潤う きのうもハワイから20名	五五
ボ移民一次選考終る	五五
定員の四倍で千五百余名	五五
具志川村青年大会開く	五六
えらばれた四百名	五六

第一次ボ移民決る 看護婦やカジヤも	五六
ボ国行四百名きまる	五六
希望湧く雄飛に先遣隊も	五六
渡航手続きに準備万端	五六
斡旋依頼、欠員補充も決る ボ国移民	五七
宇堅青年会があす発表会	五七
優良衛生55部落 社会局が近く表彰	五七
軍作業地帯に結実	五七
見事な宇堅青年会の力	五七
酒や映画より柔道	五七
活躍する具志川村宇堅青年会	五八
奉仕班が開墾や家造り	五八
初の女区長さん 具志川村川崎区	五九
ボリビアへ第二陣 隊編成決る	五九
十八日に百二十七名	六〇
米国の沖繩系市民(二) 国際人として活躍	六〇
五国民指導員の土産話	六〇
運ちゃん泣かせの米兵	六一
ボリビア移民 技術やさんが多い	六一
平均年齢が二十一才の若さ	六一
自転車乗り少年 練習中はねらる	六一
台風九州へ あすまで余波うける	六二
Z機から爆弾落下	六二
密淫狩り	六二
米寿 具志川の子福者婆さん	六二
女手一ツで六男六女	六二
その又、孫々で百八人	六二
幼児轢死	六三

年をとると故郷懐し	六三
40年ぶり、八人の今浦島帰る	六三
具志川村 青年幹部講習会	六四
今朝、移民船希望の船出	六四
アルゼンチン、ブラジルへ八十九名	六四
花嫁移民も交え”新しき生へ”	六四
明日、普天間権現例祭	六四
舞踊・ウスデーク 盛沢山の余興	六五
太古さながらの臼太鼓	六五
賑わう普天間権現祭	六五
売淫七名捕る	六五
台風に傷められた農村 来春に饑餓の心配	六五
備荒食糧の対策が緊要	六五
基地の中に養豚王国	六五
一頭ララの贈りもの	六五
天願部落唯一の産業に	六六
ボ移民応募締切る	六六
各市町村での応募者数	六八
青年祭盛況	六九
資金難で差当り四百名を送出す	六九
海外移民に第二の選考	六九
特別船で八重山移民	六九
親子孫揃って、きょう出発	七〇
師走にどっと八重山移民	七〇
家族192名きのう出発	七〇
泊港は見送人でごった返す	七〇
犯罪のない明るい村	七一
宮里区民の九郎が実を結ぶ	七一

広告・・・・・・・・・・ 七一

花嫁も混る百八家族 ポリビア移民

第一次適格者決る・・・・・・・・ 七二

一九五五年(昭和30)

女子師範戦没学徒 88名に死亡公報

第一次発表 あす南連所長が持参・・ 七二

八重山移民五倍の応募?

四月迄に五十戸が入植・・・・・・・・ 七三

ポリビア移民地にマラリア発生

既に四人が死亡・・・・・・・・・・ 七三

いつの日ぞ帰る 金武湾の那覇人・・ 七五

南米移民発つ きのう百五十名・・ 七六

志喜屋氏長逝・・・・・・・・・・ 七七

沖繩教育会の元老

志喜屋前琉大議長逝く・・・・・・・・ 七七

29日に住民葬 全島あげて32団体で弔う 七九

故志喜屋孝信先生琉球住民葬・・ 八〇

故志喜屋氏の住民葬

きょう・那覇高校々庭で・・・・・・・・ 八一

故志喜屋孝信先生具志川村葬・・ 八一

永遠の眠りへ

志喜屋氏住民葬 ゆかりの那覇高校で 八二

遺業も涙の住民葬

慈父失った全琉の悲しみ・・・・・・・・ 八二

沿道の人々も黙祷

故志喜屋氏 盛儀極めた住民葬・・ 八三

百十三戸が応募

多い八重山移住希望者・・・・・・・・ 八四

北から南から 具志川村(15)・・・・ 八四

八重山移住 62戸決定・・・・・・・・ 八五

子供に明るい未来を あす表彰式・・ 八五

遥かなり母の国へ 沖繩観光団東部入り 八六

上江洲婦人会研究発表会・・・・ 八六

上江洲婦人会発表会・・・・・・・・ 八六

けさハワイから観光団・・・・・・・・ 八七

南米の新天地へ出発

花嫁五名も想いをはせて・・・・・・・・ 八七

塩屋・山内 青年会活動・・・・・・・・ 八七

生まれ故郷の那覇へ

金武湾に残された被救済者受入れ・・ 八七

近く戦死公報 二高女関係22名の・・ 八八

望郷十年やととナハへ

具志川から受入れ・・・・・・・・・・ 八八

昆布青年会汗の結晶

二千元を伊江島区民へ・・・・・・・・ 八九

潜水夫が豪州行き

24名出管部で渡航手続・・・・・・・・ 八九

真つびるま落雷の惨劇

即死三名、重軽傷七名

具志川村田場区 墓普請中の昼休みで 八九

台風禍、緊急復旧を陳情・・・・・・・・ 九一

”沖繩漁夫の面目發揮”

きのう壮途につく豪州へ真珠採取に・・ 九一

南米移民百余名発つ

親子何十年ぶりの対面も・・・・・・・・ 九一

平良川の立禁、近く解除・・・・・・・・ 九二

具志川村平良川 近く立禁を解除・・ 九二

平良川区の15戸解禁・・・・・・・・ 九三

死亡公報220件・・・・・・・・・・ 九三

田草取りで働く娘

米人の猟銃散弾で負傷・・・・・・・・ 九三

白人兵、民家に放火 女を要求して報復 九三

話の卵 踏みにじられる沖繩の人権・・ 九四

恐怖に戦く中部一帯

マリン兵の襲来、悪夢の連続・・・・ 九五

政府も緊急局長会議・・・・・・・・ 九六

神の名に叛く行為

米人宗教家の声をきく・・・・・・・・ 九六

南米へ88歳の婆さんも

呼寄百五十名、十七日発つ・・・・ 九七

まかり通る法規無視

三日間に三千件も交通違反・・・・ 九七

きょう米寿の祝・・・・・・・・・・ 九七

基地周辺の軍紀肅正にくり出す夜間巡警兵

モ指令官が各部隊に通告・・・・・・・・ 九八

ふえてきた外人事件

基地に多く、殆んど粗暴犯・・・・・・・・ 九九

部落あげて祝う 97才の「カジマヤー」 九九

部落あげて長寿の祝

四つ辻を七つ回る屋宜翁・・・・・・・・ 一〇〇

脇見運転で通行人ケガ・・・・・・・・ 一〇〇

怯える赤道部落民

立退き急ぐS子ちゃん一家	一〇一
沖縄関係の戦死者公報	一〇一
社説 裁判の公正と偏見	一〇二
移動する暴力団 コザから前原へ	一〇二
基地の解禁71件 MP隊が調査	一〇三
きのう子供を守る中央大会	
早く子供の遊び場を	
大人の協力望む児童代表	一〇三
希望の夢を乗せて	
家族移民団にぎやかに出発	一〇四
十二名が足止め食う	
トラコーマで悲しい別離	一〇四
戦死公報(中)	一〇五
中部地域 オフ・リミッツ解かる	一〇五
金武湾青年会	一〇五
一九五六年(昭和31)	
ブラジルから 四世帯帰る	一〇五
米兵がハイヤー強奪	一〇五
故志喜屋氏追悼会	一〇六
赤野区青年会の演芸会賑う	一〇六
三千坪から数百万円	
栄野比の部隊跡「鉄脈」	一〇六
十年の人物(33) 安座間磨志氏	
具志川で青年会結成	
婦人会と共に公民館活動	一〇七
カービン銃弾五百発を発見	一〇九

公民館に奨励金	一〇九
旧正、農村景気は最高潮 例年より二割上回る	
那覇から仕入れる野菜	一〇九
ペルーの郷土訪問団	
一行三十二名の顔ぶれ決る	一一〇
三面鏡 高江洲義光	一一〇
ガード狙撃容疑 脱走米兵捕わる	一一一
春の郷土観光にハワイの訪問団五十四名	一一一
民家を荒し回る	
マリン兵、器物破棄三件	一一一
死亡公報	一一二
海軍関係死亡公報	一一二
五月の節句は沖縄で	
ペルーの郷土訪問観光団	一一二
産制説明会 具志川で賑う	一一三
畑の中から戦没軍人の遺骨	一一三
死亡公報(上)	一一三
死亡公報(中)	一一四
人物十年(85) 神村孝太郎氏	
借財抱えた琉台貿易	
弱った準電気業者の転業	一一四
タクシー賃にニセ千円札	一一七
百軒のカフェ営業停止	
Aサインで騒ぐ中部業者	一一七
ようこそペルー観光団	
けさ空港に感激の第一歩	一二七
南米へ希望の門出	
呼寄移民七一名十七日出発	一一八

無茶な米兵 盗んで暴れる	一一八
祖国の春を満喫	
宮里観光団各地を巡遊	一一九
悲願の死亡公報届く	
学徒隊晴れて軍人扱い	一一九
死亡公報	一二一
戦災孤児に愛のバトン	
MPと教師が補導リレー	
通学も部隊内から	
親身の保護に美わしい実り	一二一
死亡公報 海軍関係一九七件	一二三
南米の新天地へ	
呼寄移民つきよう希望の出発	一二三
南米へ希望の船出	
目立つ若人の単独渡航	一二三
南米へけさ希望の船出	一二三
メキシコへ技術移民	
第一号に古波蔵求君	一二四
模様替えに大童 墓地でふくれる平良川	一二四
具志川村青年不良化防止運動	一二五
死亡公報	一二五
具志川公民館の発表会、10日	一二五
学徒隊の死亡公報	一二六
米兵、運転手襲う	一二六
あす南米へ68名	一二六
新郷土地図 具志川村	一二六
土地を守る八十万の声 昨夜全島一斉に	一二六
決起した住民大会	

無抵抗の抵抗も最高潮	
四原則貫徹に鉄の団結	一三三
死亡公報(上)	一三三
久しぶりの沖繩劇	
ハワイ公演の大伸座好評	一三三
死亡公報	一三四
琉球最大の村具志川 産糖立村目標に	
新しい村づくり活発化	一三四
死亡公報(上)	一四二
マリン隊が安慶名に給水	一四二
予想外に大きい台風被害	
家屋倒壊三千六百棟 沈没九隻、	
各地に道路・堤防決壊	一四二
中北部の被害 大きい東海岸の潮害	一四三
死亡公報	一四三
台風バブスの被害	
住家、非住家など二九三棟も倒す	一四三
中部・全面的に解禁	
台風明けで賑う特飲街	一四四
オフリミッツ解禁御礼	一四四
三青年会が入賞 石川のエイサー	
コンクール	一四五
死亡公報	一四五
中部の人口増 五ケ年で四万人	一四五
中共引揚の島本氏ら6日神戸発つ	一四五
軍へ慰藉料請求	
幼女暴行に泣く二家族が	一四六
猛威ふるった大台風エマ 被害予想外に大	

電話不通で詳細なお不明	一四七
死亡公報	一四七
各地の被害状況	一四七
夫婦トーカー組も	
きょう各地で米寿祝い	一四七
〇〇ちゃんはねらる	一四七
各地の台風被害 建物の損壊二千余棟	
農作物に甚大な被害予想	一四八
家もろ共吹きあげらる	
一家五名が重軽傷	一四八
台風後の悪疫ハヤる	
防疫陣対策に乗出す	一四八
六ヶ村を緊急援助	
米陸軍が復興計画	一四九
盛り場の実態(6) 安ヶ名	
農村対象の純企業	
立禁におびえぬ基地の街	一五〇
盛り場の実態(8) 平良川	
マリン独占の赤線地帯	
米婦人のフロアショーも	一五二
氷菓子とイカ中毒	
具志川で幼児十六名が	一五五
中毒九十名を突破 中部のカマボコ禍、	
販売元を探る	一五五
無許可で氷菓子製造	
具志川の集団中毒で発覚	一五五
百名越える集団中毒	
中部各地カマボコと氷菓で	一五六

子や孫が167名	
具志川の平良さん カジマヤーの夜	一五七
中部の集団中毒にメス	
警察、保健所協力で徹底的に調査	一五八
花車で鍊り回る	
カジマヤー祝いの平良さん	一五八
死亡公報	一五八
中部の食中毒百四十名	
氷菓子製造所告発か	一五九
ユタの迷信一掃	
前原地区、新生活協議会設置急ぐ	一五九
二千四百五件対象に 復員処理で援護	
陽の目みる戦没軍属	
援護課、合同調査に乗出す	一六〇
中部の洗濯業に多い	
労基法違反、抜打ち摘発	一六〇
死亡公報(1)	一六一
死亡公報 学徒も十五柱	一六一
篤農六青年に	
激励金をおくるハワイ沖繩人連合会	一六一
死亡公報(陸軍)	一六一
一九五七年(昭和32年)	
「農」の影うする平良川 具志川村	一六二
「教養を高めよう」	
具志川村で新民法祝賀大会	一六二
新民法祝賀会 具志川村婦人会	一六三

声 青年隊移民に付て・・・・・・・・・・・・・一六三
 死亡公報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六四
 灯火管制で 米軍輸送演習・・・・・・・・・・・・・一六四
 死亡公報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六四
 実を結ぶ民警一致 川崎青年会・・・・・・・・・・・・・一六四
 路上の大岩石をマリン隊が撤去・・・・・・・・・・・・・一六四
 ビール瓶投げられ映画見物の娘げが・・・・・・・・・・・・・一六五
 白人兵食堂で暴れる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六五
 百五十名の観光団
 ハワイからぞくぞく来島・・・・・・・・・・・・・一六五
 燃料不足の捜査陣へ ガソリン寄贈・・・・・・・・・・・・・一六五
 死亡公報（海軍軍属）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六六
 遺族不明戦没者（九）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六六
 少年射たれ重傷
 部隊内で靴磨きの帰り・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六六
 外人事件続出の土曜日
 老人轢かれて即死
 マリン兵のトラックに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六六
 死亡公報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六七
 郷土の春を訪ねて
 四月ペルーから金城観光団・・・・・・・・・・・・・一六七
 具志川村の種痘・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六七
 嘉数観光団 十九日沖繩へ・・・・・・・・・・・・・一六七
 死亡公報（沖繩戦関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六八
 地方の声 具志川村・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六八
 死亡公報（外地陸軍関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六八
 死亡公報（沖繩戦関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六八
 ハねられ坊や重傷・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一六八

30年ぶりの浦島さん達 嘉数観光団
 昨夜賑やかな郷土入り・・・・・・・・・・・・・一六八
 交通事故防止に立ち上る
 具志川村川田区の母と子たち・・・・・・・・・・・・・一六九
 川崎区新区長
 山田義樽さん 具志川村・・・・・・・・・・・・・一六九
 道路横断・突き飛ばされ重傷・・・・・・・・・・・・・一六九
 死亡公報（沖繩戦関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一七〇
 街から村から 徹底的に清掃・・・・・・・・・・・・・一七〇
 街から村から 取締りは自主的に
 風俗営業者が憲兵隊へ陳情・・・・・・・・・・・・・一七〇
 41戸を採用決定 八重山開拓移住者・・・・・・・・・・・・・一七〇
 街から村から 青年会が開墾請負・・・・・・・・・・・・・一七〇
 中共から徳田さん帰る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一七一
 「団結してがんばる」
 八重山開拓先発隊39名発つ・・・・・・・・・・・・・一七一
 活発な公民館活動
 文化向上めざす具志川区・・・・・・・・・・・・・一七一
 沖繩の子供に注ぐ愛情・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一七二
 戦死者の遺品帰る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一七三
 具志川村 明るい村おこし
 賞賛あびる川田婦人会・・・・・・・・・・・・・一七三
 米人車が轢逃げ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一七五
 街から村から
 具志川村議ら八重山視察へ・・・・・・・・・・・・・一七五
 死亡公報（外地関係）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一七五
 臨時休校も続出
 中部で猛威振るう流感・・・・・・・・・・・・・一七六

田場小学校も休校・・・・・・・・・・・・・一七六
 敬老会で賑う 具志川村宮里区の敬老会一七六
 護岸と農道の落成祝い 具志川・・・・・・・・・・・・・一七七
 街から村から 天願の鯉、薬で乱獲
 アユやスッポンも養殖計画・・・・・・・・・・・・・一七七
 街から村から 安慶名折返し待った
 デコボコ道路で住民が陳情・・・・・・・・・・・・・一七七
 山林・原野の開拓を計画
 具志川昆布部落・・・・・・・・・・・・・一七八
 死亡公報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一七八
 台風期に入りおのおのく 忘れられた金武湾
 昔の「黄金部落」どこえやら・・・・・・・・・・・・・一七八
 悲願の那覇移動
 現実では許されない実状・・・・・・・・・・・・・一七九
 死亡公報（上）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一八〇
 街から村から
 生活改善グループ連合会を結成
 具志川村・・・・・・・・・・・・・一八〇
 金口木舌・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一八〇
 南米へ希望の移民
 渡伯青年隊きのう壮行会・・・・・・・・・・・・・一八一
 実を結ぶ生活改善活動
 具志川村生改グループの発表会・・・・・・・・・・・・・一八二
 死亡公報（下）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一八二
 黒人兵に殴らる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・一八二
 ボーイスカウトの屋外訓練
 具志川村昆布区の第二〇七隊・・・・・・・・・・・・・一八三
 日曜ストーリー 栄野比のユウレイ

若い女が出没・
 魔の街道運転手ビクビク・・・・・・・・一八三
 ボ移民三百余名 十月と来春に送出・・・・・・・・一八五
 街から村から 昆布一川崎線通行解禁・・・・・・・・一八五
 陸軍 死亡公報・・・・・・・・一八六
 街から村から 待望の点灯・・・・・・・・一八六
 街から村から
 金融業者が盗難対策 前原地区・・・・・・・・一八六
 急 報・・・・・・・・一八六
 生きていた英霊
 13年忌終えたが復員確認・・・・・・・・一八六
 町から村から ふくらむ基地の街
 人口八千の安慶名地区・・・・・・・・一八七
 ビニール手芸講習
 具志川村栄野比区婦人会で・・・・・・・・一八八
 ハワイから観光団 二十三日空路那覇へ一八八
 キャンプ・ファイヤ
 ボーイ・スカウト・・・・・・・・一八八
 ハワイから二つの観光団ご入来
 40年ぶりの今浦島も
 なつかしの故郷に第一歩・・・・・・・・一八九
 中、北部に物凄い爪跡
 家もろ共空中に吹き飛ばさる・・・・・・・・一九〇
 昆布区に救援物資 民政府が・・・・・・・・一九〇
 三町村に救援食糧・・・・・・・・一九〇
 浮動する中部(6) うたた荒涼 金武湾
 船着場も荒れ放題
 時とともに消えた人工都市・・・・・・・・一九一

街から村から 風禍の昆布区に
 軍が援助の手・・・・・・・・一九二
 部隊に咲いた佳話
 家屋復旧費にと募金・・・・・・・・一九二
 米軍が救援物資贈る
 台風被害に悩む具志川村昆布区民に・・・・・・・・一九三
 魚で？一家中毒一名死ぬ・・・・・・・・一九三
 食中毒 社会局が調査・・・・・・・・一九四
 会と催・・・・・・・・一九四
 街から村から 米首脳に感謝状
 台風被害援助で具志川村長らが贈る・・・・・・・・一九四
 生きていた弟
 援護金請求で消息判る・・・・・・・・一九四
 死亡公報陸軍・・・・・・・・一九五
 浮動する中部(15) NOBの跡
 「軍政」教育の発祥地
 さびれ果てた栄野比・田場・・・・・・・・一九五
 軍用地内の墓地
 出入りは自由 具志川村・・・・・・・・一九七
 風害復旧のたすけあい 中部の佳話三題一九七
 バー・料亭うきうき マリンご入来
 内部改装して「ウェルカム」
 見通しつけてから工事中止騒ぎで
 全般的に慎重型・・・・・・・・一九八
 外人車事故二件・・・・・・・・一九九
 死亡公報(陸軍沖繩戦関係)・・・・・・・・一九九
 具志川平良川婦人会
 秋の北部観光旅行 愛楽園訪問・・・・・・・・一九九

南米移民の名簿届く
 月末のさんとす丸で出発・・・・・・・・一九九
 基地の街にドル・ブーム 交換高うなぎ上り
 コザだけで年に二億四百万円
 拍車かけるマリンの移駐・・・・・・・・二〇〇
 南米移民五千突破
 那覇がトップで四百余名・・・・・・・・二〇〇
 青少年不良化防止
 具志川村各関係者が協議・・・・・・・・二〇一
 具志川村 江洲区民が申合せ
 盗難、火災、交通事故防ごう・・・・・・・・二〇二
 具志川村平良川区 交通整理台を寄贈
 栄野川氏から赤道駐在所へ・・・・・・・・二〇二
 見舞品持つて謝まる
 材木が飛んで少年ケガ・・・・・・・・二〇二
 農業と生改懇談会
 具志川村が二つの啓蒙行事・・・・・・・・二〇三
 米兵の過失 川崎の学童負傷事件・・・・・・・・二〇三
 真剣に討議、対策する
 前原署内の青少年不良化防止運動・・・・・・・・二〇三
 小校生轢れて即死
 横断歩道のない通学路・・・・・・・・二〇四
 日記帳や通帳など
 心当りの方は日航支社へどうぞ
 沖繩戦中の拾いもの・・・・・・・・二〇五
 街から村から 具志川の学事奨励会・・・・・・・・二〇五
 謹告・・・・・・・・二〇六
 暴れ盗む米兵 昨夜、基地街で三件も・・・・・・・・二〇六

米兵の侵入に 具志川

宇堅区部落民おののく・・・・・・・・二〇七
転落寸前の家出少女救う

「教育お巡りさん」の根気強い補導で二〇七
具志川村 正月は明るい電灯

上江洲区十二月から点灯・・・・・・・・二〇八
街から村から 具志川村上江洲区

今月十日から点灯・・・・・・・・二〇八
お巡りさんありがとう

前原署 具志川中校から礼状・・・・・・・・二〇八
死亡公報・・・・・・・・二〇九

死亡公報・・・・・・・・二〇九
消息不明の元軍人 十二名が本土で健在二〇九

軍属扱いに決る 戦没護郷隊員26名・・・・・・・・二〇九
馬轢かれ即死・・・・・・・・二一〇

街から村から 中部地区生活改善普及員
技術研究会・・・・・・・・二一〇

年を越す未解決事件 絶えぬ多額盗難
三千件に検挙は二割・・・・・・・・二一〇

火の用心で巡ら
具志川村安慶名区のよい子達・・・・・・・・二一〇

ボリビア二月渡航予定者
(五十三世帯二五六名)・・・・・・・・二一一

ポ移民、選考決る
53世帯、来春二月に発つ・・・・・・・・二一一

ブラジル移民きのう発つ・・・・・・・・二一一
小児マヒ予防対策
具志川村が清掃週間設ける・・・・・・・・二一一

生活改善の申合せ

具志川村栄野比婦人会総会・・・・・・・・二一二
兵隊暴れる・・・・・・・・二一二

Xマスの集い
具志川の通信隊が上江洲区の児童へ・・・・・・・・二一二

転落寸前の少女補導
川崎駐在の愛情警官・・・・・・・・二一二

金武湾区の忘年会・・・・・・・・二二三
区長がXマス・プレゼント

川崎区幼稚園生に・・・・・・・・二二三
一九五八年(昭和33年)

死亡公報(陸外地)・・・・・・・・二二三
死亡公報・・・・・・・・二二三

轢逃げ・・・・・・・・二二三
今年最初の南米移民

本土政府の貸付で72名発つ・・・・・・・・二二三
マリン兵が投石

安慶名で通行人、頭にケガ・・・・・・・・二二四
具志川村青年祭 中東大会の代表決る・・・・・・・・二二四

ガールスカウトが年賀状配達・・・・・・・・二二四
戦場でお産を 手伝った米兵とその子

すくすく伸びてもう六年生
きょう感激の対面

本紙みて名乗り出る・・・・・・・・二二五
旧正をひかえ 具志川栄野比区に自警団二二六

沖繩一 具志川村 村は村でも人口三万

糖業王国の再建めざす・・・・・・・・二二六
街から村から 護岸が潰れる

赤納海岸 でたらめな砂取り・・・・・・・・二二八
街から村から 前原署の交通取締・・・・・・・・二二八

具志川 夜中に砂泥棒横行
赤納区の護岸がSOS・・・・・・・・二二九

具志川村赤納区
新区長に久高将一氏を選任・・・・・・・・二二九

春の観光シーズン
四月ペルーから大挙訪問団・・・・・・・・二二九

平良川区長異動 瑞慶覧清氏を任命・・・・・・・・二二〇
死亡公告(陸軍沖繩戦)・・・・・・・・二二〇

ハワイから観光団
三・四月に三団体が・・・・・・・・二二〇

死亡公報(陸軍)・・・・・・・・二二〇
川崎と栄野比区で青年団が防犯取締・・・・・・・・二二一

不便な電話 コザ一具志川・・・・・・・・二二一
大はやりの合同生年祝い

功を奏した新生活運動 祝儀十円や
一品料理の携行組も・・・・・・・・二二一

子供を守った人や団体 15日の大会で表彰
社会悪とけなげに取っ組む・・・・・・・・二二二

死亡公報・・・・・・・・二二三
車賃ふみ倒さる・・・・・・・・二二三

白人兵が殴る・・・・・・・・二二三
人口五千に 具志川村安慶名・・・・・・・・二二三

集団作業で図書購入
活発な昆布の生年活動・・・・・・・・二二三

海軍死亡公報（沖繩戦関係）	・ ・ ・ ・ ・	二二四
死亡公報（陸軍沖繩戦関係）	・ ・ ・ ・ ・	二二四
ハワイから郷土訪問団 大挙来島	・ ・ ・ ・ ・	二二四
街から村から 警察局長賞		
大城、知念さんら	・ ・ ・ ・ ・	二二五
けさの那覇空港にぎわう	・ ・ ・ ・ ・	二二五
ペルーから観光団		
郷土関係22人東京に着く	・ ・ ・ ・ ・	二二五
希望の船出 二人の坊やが南米へ		
父母に逢えると大はしやぎ	・ ・ ・ ・ ・	二二六
死亡公報（陸軍）	・ ・ ・ ・ ・	二三七
街から村から		
前原地区質屋組合長に大嶺自盛氏	・ ・ ・ ・ ・	二二七
第七回赤ちゃんコンクール きょう中央審査		
11地区代表が沖繩一競う	・ ・ ・ ・ ・	二二七
日本政府貸付移民 あるぜんちな丸で南米へ		
赤ちゃんも老婆も		
戦後大がかりな移民団	・ ・ ・ ・ ・	二二八
えんぴつ横町	・ ・ ・ ・ ・	二二九
死亡公報	・ ・ ・ ・ ・	二二九
具志川村 米国帰還者歓迎会		
吉里、天願さんらの話を聴く	・ ・ ・ ・ ・	二二九
子供に優しい中川の小父さん		
離島回って歯の診療	・ ・ ・ ・ ・	二二九
清潔な村にしよう		
具志川婦人会や商工業者が協議	・ ・ ・ ・ ・	二三〇
ブラジル移民功労者		
百二名に感謝状を具申	・ ・ ・ ・ ・	二三〇

陸軍死亡公報（学徒関係）	・ ・ ・ ・ ・	二三一
移民金庫の利用		
一年余で二百五十万円	・ ・ ・ ・ ・	二三一
陸軍死亡公報 外地関係	・ ・ ・ ・ ・	二三一
黒人兵の泥棒と暴行事件	・ ・ ・ ・ ・	二三一
黒人兵に車賃ふみ倒される	・ ・ ・ ・ ・	二三二
花やかに移民50年祭		
第一回移民の生存者		
沖繩出身が五十七人	・ ・ ・ ・ ・	二三二
会長に安座間さん		
具志川村婦人会総会	・ ・ ・ ・ ・	二三二
地方の声 貧しい者にも医療を	・ ・ ・ ・ ・	二三三
陸軍死亡公報（久米島沖海没者）	・ ・ ・ ・ ・	二三三
25名は生きている		
安里さんの留守宅では		
「是非探して下さい」	・ ・ ・ ・ ・	二三三
（死亡公報）	・ ・ ・ ・ ・	二三四
マリン隊長へ感謝状		
具志川・与那城・勝連村民が	・ ・ ・ ・ ・	二三四
街頭宣伝に非難の声		
安慶名みどり湯通り会が取締要望	・ ・ ・ ・ ・	二三四
死亡公報（海軍）	・ ・ ・ ・ ・	二三五
死亡公報（海軍沖繩関係）	・ ・ ・ ・ ・	二三五
兵隊がタクシーただ乗り	・ ・ ・ ・ ・	二三五
またまた米兵五人組 タクシー強盗		
深夜数十台で追跡		
具志川村赤道で大乱闘 一名は重傷か	二三五	二三六
死亡公報	・ ・ ・ ・ ・	二三六

死亡公報	・ ・ ・ ・ ・	二三六
死亡公報	・ ・ ・ ・ ・	二三六
朝のラジオ体操		
高江洲小中校の各部落生徒会が	・ ・ ・ ・ ・	二三六
死亡公報 久米島沖海没者	・ ・ ・ ・ ・	二三六
傷い軍人会 具志川支部と懇談	・ ・ ・ ・ ・	二三六
死亡公報（陸軍）	・ ・ ・ ・ ・	二三七
具志川の水道完成	・ ・ ・ ・ ・	二三七
一人前28円の盆料理		
具志川村婦人会が講習会	・ ・ ・ ・ ・	二三七
死亡公報	・ ・ ・ ・ ・	二三七
死亡公報	・ ・ ・ ・ ・	二三七
中部の各部落に保安灯		
中央配電社が223灯を無料で	・ ・ ・ ・ ・	二三八
軍の薬品による水田被害		
具志川村赤道でも六反歩	・ ・ ・ ・ ・	二三八
外地引揚者協会生れる	・ ・ ・ ・ ・	二三八
第六次ボ移民決る 502人		
残りは資金のメドつき次第送る	・ ・ ・ ・ ・	二三八
ポリビア移民合格者指名	・ ・ ・ ・ ・	二三九
幼女はねらる	・ ・ ・ ・ ・	二三九
お知らせ	・ ・ ・ ・ ・	二三九
○ちゃんねらる	・ ・ ・ ・ ・	二四〇
物価対策協議会		
きょう具志川村の団体が	・ ・ ・ ・ ・	二四〇
深夜の空港にぎわす		
ハワイからどっと訪問客	・ ・ ・ ・ ・	二四〇
総体に一、二円値下る		

具志川村、物価対策を協議	二四〇
台風ヘレンで潮害 具志川村	二四〇
東海岸の水田全滅	二四一
死亡公報（陸軍沖繩館系58件）	二四一
物価対策など 具志川村婦人会	二四一
陸軍死亡公報	二四二
オートバイにはねらる	二四二
米兵の車にはねらる	二四二
死亡公報	二四二
またもタクシー強盗	二四二
カミソリつきつけ強奪	二四二
死亡公報（海軍）	二四二
死亡公報（陸軍沖繩関係）	二四二
続く深刻な水ききん 飲料水さえ事かく	二四二
農作物の50%が被害 中部	二四三
三輪車に衝突、死ぬ	二四三
具志川でオートバイ乗り	二四三
軍用水も心細くなる	二四三
洗車、流し、散水などに節水	二四三
具志川村 隣部落まで水汲み	二四三
軍消防車も給水に協力	二四四
根気強く値下げ運動 具志川村の婦人会、	二四四
生改グループ	二四四
具志川村川崎公民館落成	二四四
死亡公報 沖繩関係	二四四
前原地区米琉親善委員会	二四五
幼児の予防注射	二四五
煙幕で火事騒動	二四五

平良川で外人がいたずら	二四五
土地改良区画整理組合	二四五
具志川村の四区が	二四五
ハワイ 沖繩系二世が活躍	二四五
米地方選挙で五名当選	二四五
公民館活動と区長の任期	二四五
前原地区研修会で検討したが結論得ず	二四六
発展する安慶名 だが都計はでたらめ	二四六
出身部落の道路修理	二四六
奇特な理髪屋上江洲さん	二四七
アメリカから謝礼金	二四七
とどいた照屋君の善意	二四七
死亡公報	二四八
具志川村生改グループの発表会	二四八
神村吉助氏死去	二四八
〔告別式案内〕	二四八
かれた軍の水源地	二四九
被害ひろがる大干ばつ 中部	二四九
街 藁をもつかむ水商売	二四九
全くお手上げの作物 農家	二四九
中部は簡易水道熱	二五〇
部落単位なら調法なもの	二五〇
一時保護児をクリスマス・パーティに	二五一
点眼マリン隊が招待	二五一
しかけ手榴弾が爆発	二五一
女が負傷徹底的に捜査	二五一
捜査に協力約す区民	二五一
手榴弾爆発事件で懇談会	二五一

マリン兵暴行で司令官も帰任	二五二
平良川の手榴弾事件 容疑者はマリン兵	二五二
「目星ついた」と隊長が謝罪	二五二
外人事件取締り	二五二
安慶名区民が要望	二五三
〔告別式案内〕	二五三
一九五九年（昭和34年）	二五三
緑化熱ひろまる	二五三
具志川村の苗木ひっぱりだこ	二五三
具志川村も救援対策	二五四
又吉さんら南米から帰る	二五四
死亡公報	二五四
バイト児童の補導に	二五四
具志川平良川青年会が立ち上る	二五四
〔告別式案内〕	二五五
宣伝マイクを自粛	二五五
前原署管内でとり決め	二五五
死亡公報（陸軍外地関係）	二五五
作品や「原爆の石」など	二五五
広島から具志川の子へ贈物	二五五
うるま釣竿会	二五六
死亡公報九件	二五六
町村小話 誇り高き女給	二五六
通行人を庖丁で刺す	二五六
石川市 無茶な白人兵捕る	二五七
具志川村大田区の水源地	二五七

十三年ぶりに整備・・・・・・・・・・二五七
 天願の軍給水所
 汚染で数日間給水不能・・・・・・・・二五七
 外人兵が布団盗む・・・・・・・・二五八
 ハッピー・オキナワ・ニュー・イヤ―
 「日の丸」もあけて落着いてきた旧正二五八
 具志川区の水道 完成祝賀会・・・・・・・・二五八
 学園におくれをとっては
 緑化にたち上る青年会・・・・・・・・二五九
 死亡公報・・・・・・・・二五九
 死亡公報・・・・・・・・二五九
 ハワイから春の観光
 23人十六日に那覇着・・・・・・・・二五九
 ふるさと 夢よもう一度
 第二の故郷守る那覇人たちⅡ金武湾 二五九
 近く来島するハワイ観光団名簿・・・・・・・・二六〇
 各地の緑化運動(40)
 苗が不足で買い集める
 もう目標の半分植える具志川村・・・・・・・・二六一
 マリン兵の美学 輸血で沖縄婦人を救う二六二
 空母景気 中部の基地街・・・・・・・・二六三
 具志川村商店街の植樹計画・・・・・・・・二六三
 ひたいに傷
 トラックから米兵がビール缶投げる・・二六四
 具志川村青年会が図書貸出し・・・・・・・・二六四
 死亡公報(海軍)・・・・・・・・二六四
 祝座で米兵が乱暴
 言葉がわからずとんだ災難・・・・・・・・二六四

仲間づくりで向上目指す 江洲区の青年学級
 スクラム組んで教養を高めよう・・・・・・・・二六五
 米兵タクシー強盗・・・・・・・・二六六
 具志川区婦人会の清掃週間・・・・・・・・二六六
 死亡公報・・・・・・・・二六六
 (告別式案内)・・・・・・・・二六六
 23日にレクリエーション大会
 具志川婦人会が・・・・・・・・二六七
 生改グループの幹部講習会 具志川・・二六七
 六十周年を盛大に
 ハワイ沖縄連合会がプラン・・・・・・・・二六七
 豚の共同出荷で成果
 具志川村赤野が発表会・・・・・・・・二六八
 特集 地方経済
 養豚を中心にした公民館活動・・・・・・・・二六八
 「養豚をテーマに」
 赤野公民館の研究発表会・・・・・・・・二七〇
 歯の衛生週間 コザ保健所の行事・・・・・・・・二七一
 離島で歯の無料診断
 具志川の中川医師が・・・・・・・・二七一
 道路改修の御礼に部隊周辺の草刈り・・二七一
 住民の協力求め前原署が爆発物収集・・二七二
 ふるさと 具志川区
 活発な公民館運動
 部落民の文化生活を向上・・・・・・・・二七二
 台風シーズン近づく
 無防備の海岸線 放置された崩壊護岸二七三
 平良川と安慶名に消火用槽・・・・・・・・二七四

江洲公民館を結成・・・・・・・・二七四
 逆境にめげずすくすく育つ
 防犯功労三団体と五人を表彰・・・・・・・・二七四
 墜落の状態に疑問
 巡回せずに落ちた？中頭市村が緊急会議で
 とりあげる 栄野比や石川市民が目撃二七五
 日曜の話題 昼は店主、夜は高校生
 細腕で築いた国場商店・・・・・・・・二七六
 死亡公報・・・・・・・・二七八
 学びつつ弟妹の世話
 両親なきあと家を守りぬく
 泰子さんを表彰 具志川婦人会・・二七八
 村へ残飯を無料払下げ・・・・・・・・二七八
 栄野比区を表彰 具志川村婦人会・・二七九
 風俗取締業者も協力
 前原署が指導に乗出す・・・・・・・・二七九
 明るくなった中部 急上昇する電力消費
 家庭電化しだいに普及・・・・・・・・二七九
 もう二期作の苗代づくり・・・・・・・・二八〇
 米兵が食逃げ・・・・・・・・二八〇
 南洋移民の促進を 具志川支部が決める二八〇
 十五年ぶりに遺品
 米水兵が遺族に届ける・・・・・・・・二八一
 ひめゆり部隊のかたみの黒髪を保管
 西平先生の未亡人が招へい教授の渡辺氏が
 遺族さがす
 「心当りの方はお知らせを」・・・・・・・・二八二
 具志川村が一番多い

中部地区の生活保護所帯	二八三
ひめゆりの黒髪	二八三
安座間さんが初名乗り	二八三
「早く娘の形見と会いたい」	二八三
しのび寄る水キケン	二八四
中部「盆行事の簡素化」	二八六
各婦人会が動き出す	二八六
北部へ移るか軍作業	二八七
失業に怯える従業員	二八七
マリンの辺野古移駐で	二八七
農夫轢殺のマリン兵を起訴	二八八
人物十五年前(2)「エイサー」たけなわ	二八八
夜ふけまで踊り歩く	二八八
浜区青年会が第一位	二八九
具志川で全島エイサーコンクール	二八九
浜青年会が一位 安慶名の盆踊り	二九〇
取り残された人々	二九〇
寒村となった金武湾部落	二九〇
かつては港湾都市として繁栄	二九〇
橋のある風景 宇堅橋	二九〇
四回もつくり直す	二九二
往時を語る黒御影の記念碑	二九二
基地戦後十四年⑭	二九二
盛衰も基地とともに	二九二
戦後派産業次々と興る	二九二
ハワイから「秋の観光団」	二九三
立州の喜びいだき郷土入り	二九三
具志川村婦人会が織物講習会	二九三

天願に空前の人手 一万五千人	二九三
15年ぶりの闘牛復活で	二九三
具志川村が結核追放へ	二九四
村費でけいもう運動	二九四
赤い羽根募金打合せⅡ具志川村	二九四
金口木舌	二九五
事故の多い栄野比橋	二九五
前原署、取締にのり出す	二九五
青年幹部研修会	二九六
立上った青年会 上平良川	二九六
文化活動で環境浄化	二九六
米兵強盗捕わる	二九六
沖繩系六人が唐船	二九七
ハワイ州議会議員選挙	二九七
主婦に割引 美容券発行	二九七
具志川村区長会で清掃協議	二九七
外人が轢逃げ	二九八
幼児をスクーターで	二九八
静かになった映画館	二九八
前原署が騒音取締り	二九八
坊やはねられ重傷	二九八
ひき逃げの米兵を逮捕	二九九
中部の特飲街は水兵景気	二九九
マリン兵が放火	二九九
家屋全半壊は千余棟	三〇〇
台風のツメ跡、全島に及ぶ	三〇〇
電話あすまでに回復	三〇〇
大岩吹きとばさる	三〇〇
蔬菜全滅、水稲七割	三〇一
具志川村の台風被害	三〇一
困窮家庭にパーマの割引券	三〇一
効果あげた避難訓練Ⅱ前原署	三〇二
たたる雨台風	三〇二

大きい農作物の被害	三〇二
海軍死亡公報	三〇二
具志川村の定例区長会	三〇二
無効紙幣で車賃踏み倒す	三〇三
基地の女給部屋(2)	三〇三
肉体が店の看板	三〇三
基地の街に横行する街娼	三〇三
店頭テレビに警告	三〇三
台風、農作物に甚大な被害	三〇三
水稲、野菜は殆ど全滅	三〇三
農家経済に重大なピンチ	三〇三
戦車が拝所こわす	三〇四
上平良川区婦人学級開講式	三〇四
具志川村青年学級	三〇四
きょう開講式	三〇四
ひめゆりの遺髪届く	三〇四
中川氏が持帰える	三〇五
十五年ぶりに遺族の手に	三〇五
母の胸に返る	三〇六
安座間晶子さんの遺髪	三〇六
涙もあらたに	三〇七
ひめゆりの遺髪、	三〇七
遺族の手へ	三〇七
街頭補導や雇用促進	三〇八
具志川村の不良化防止対策	三〇八
與那覇さんらを表彰	三〇九
前原地区防犯協会総会で	三〇九
講和前身傷害被災者連盟の	三〇九
結成式	三〇九
29日に青年祭	三〇九
具志川村青年会が	三〇九
百二十%の好成績	三〇九
具志川村赤い羽根募金	三〇九
米兵が乗り逃げ	三〇九
八時以降の外出禁止	三〇九
具志川村	三〇九
補導主任会議で決める	三〇九
不良化防止の懇談会	三〇九
具志川村平良川区	三〇九
具志川区公民館の教養部会	三〇九

「朝起き会」で後輩指導

中農三年生

具志堅君を警察が表彰 三三

正月は新生活で

具志川村が15日に協議会 三三

具志川村遺族会 総会14日に

米兵いきなり殴る 三四

死亡公報 三四

少なくなった夜間外出

効果あげた青少年指導 三四

米兵が人妻を犯す 三五

今度は旧正に一本化

具志川村 新生活実践で決める 三六

人妻暴行事件 憤慨する区民

「沖繩人を人間だと思っていない」 三七

死亡公報 三七

一九六〇年（昭和35）

新年の勤勞奉仕

立上る上平良川青年会 三八

元旦返上で野良仕事

中部は新正気分さっぱり 三八

元気に育つ米子ちゃん

両親のペルー渡航前に生れ 三九

祖父母がミルクで育てる 三九

人目ひく安全標語

具志川・兼原小前に 三〇

生年祝は合同で 三〇

沖繩系の議員さん

ハワイから郷土を訪れる 三〇

歯科医療史を講演

26日米合同歯科学会 三二

盛り場の学童を一掃 訪問教師の説得で

死亡公報 三三

人情お巡りさん

区民が留任運動 20余年を駐在所勤務

具志川駐在の大城巡査 三三

移民青年隊合格者 三三

生年祝も新生活で 三三

普及した合同祝

都市地区はてんでバラバラ 三四

ニュース物語 錦を飾つて故郷へ

腕白小僧だった東恩納少尉

通訳立会いで答案書く 三四

慰霊塔を美化 具志川遺族会 三六

具志川村で 元日本兵の白骨死体発見 三六

外人、幼女ひく

土に生きる⑧ 三六

若者は軍職場へ出かせぎ

年寄り夫婦が畑を守る 三七

ハワイ球陽觀光団

四月八日にホノルルを出発 三八

具志川村青年会

四月一日村役所で総会 三八

女給さんご難

白人兵に入歯こわさる 三八

土に生きる ⑫

黙々耕す黙認耕作地

金アミの中に「基地の農業」 三八

村民総出の山狩りも

具志川村収入役 自殺のおそれ 三九

相談室

家族でブラジルに移民できますか

海外協会が毎年十月に募集します 三〇

黒人、テレビ盗む 三〇

中部バー組合連合協議会 三二

具志川村の募金調査 三二

マリン兵にはねられ即死

けさ米原で 三二

土に生きる⑭ 新時代の新農業

耕うん機扱う天願さん 三二

行方不明の具志川村島袋収入役

「不正の事実はない」

経理監査の結果わかる 三三

お知らせ 三三

ハワイ球陽觀光団

二十七名が五月初旬に来島 三三

街頭補導を強化 青少年の不良化防止に

具志川村が協議会 三三

「春の一日を楽しく」

具志川 女子青年会中城に遠遊 三三

新かなづかいや社会問題など

学習に取つくむ

栄野比区婦人学級 三四

米兵が乱暴 三五

よいサーブスの仕方

具志川村で店員講習会 三五

兵隊さんに空手ブーム

すでに有段者も数人

夢は本国での道場開き 三五

ハワイ沖繩県人会 役員改選 三六

具志川村、上平良川区で学事奨励会 三七

負担金徴集にカード方式 三七

木麻黄一万本植える 三七

郷土の清掃に力こぶ

具志川 実践協議会で打合せ 三七

追っかけて刺す 米兵数人が暴力 三八

安慶名大通りに 駐車禁止地域 三八

白骨死体の島袋さん発見

行方不明の具志川村収入役 三八

バーに強盗 外人つかまる 三九

「告別式案内」 三九

具志川村収入役の葬儀 三九

ニュース物語

収入役の跡跡 不眠症で死の旅へ

惜しまれる島袋さん 三九

村ぐるみで教育運動

具志川村 各部落に教育となり組 四一

「早く護岸の復旧を」

具志川村高江洲が訴え 四二

晴れ間に洗濯 四二

相談室 移民 ブラジルに行きたい

無縁故は毎年十月に募集しています 四三

教育隣り組で学力向上

父兄が当番制で学習指導 四三

平良川でも教育隣組 四四

マリン五人がバーで暴れる 四五

増税は生活を脅かす

具志川婦人会が反対決議 四五

迫る台風シーズン

139軒が倒壊のおそれ

具志川・与・勝村・・・三六六

具志川で結核予防展示会 コザ保健所・・・三六六

具志川村遺族会が慰霊祭・・・三六六

増税反対を協議 具志川村青年会・・・三六七

移民青年隊南米へ

二十人きうの壮途につく・・・三六七

安慶名に駐禁車区域・・・三六七

死亡公報発表 沖繩関係一九〇件届く・・・三六八

女給、石で頭割られ重体

具志川で、犯人は外人兵？・・・三六八

米兵犯行の線強まる

具志川の女給傷害事件・・・三六八

ひろがる教育隣組 具志川村

各部落ごとに結成

学力向上、不良化防止に効果・・・三六九

安慶名区が学事奨励会・・・三六九

初の吹き流し標識

具志川・与勝の火災警報・・・三五〇

肺結核をなくしよう

具志川村が村ぐるみ検診・・・三五〇

台風期におびえる

金武湾の那覇人部落

80軒余が倒壊のおそれ・・・三五〇

水ききをよそに

満々と水をたたえる栄野比川・・・三五二

有志が街頭補導 具志川の交通安全・・・三五二

自動車運転講習会

具志川村青年学級が無料・・・三五三

会長さん・・・三五三

具志川村婦人会がビニール編講習会・・・三五三

外人が首をしめて重傷

酒座で沖繩人が被害・・・三五三

外人の事故が多い前原署管内の交通事故・・・三五三

台風去ってホッと一息

ポリ嬢は救いの神 てんやわんやの忙しさ

水稲、キビ、イモなど一せいに植付・・・三五四

米兵の拳銃強盗

美里でタクシーを奪う・・・三五五

平良川区の学事奨励会賑う・・・三五五

具志川公民館生改部が

伊芸公民館を視察・・・三五六

基地の街を進む平和行進・・・三五六

農道の復旧を早く

具志川村宇堅区が政府に陳情・・・三五六

具志川村米原公民館

六日落成式盛大に終了・・・三五七

子供は風の子・・・三五七

どこかに生きている”

肉親をたずねて16年・・・三五七

陸軍関係の死亡公報・・・三五九

里親さんありがとう

愛隣園児 十日里親から帰る・・・三五九

きよう大綱引 具志川で十三年ぶりに

具志川の大綱引き 十二年ぶりに復活

中部の昔なつかしい行事・・・三五九

恒例の大綱引き

具志川の大綱引 一万五千人の人数・・・三六一

具志川の大綱引き

万余の観衆が詰めかける・・・三六一

具志川公民館総会

20日サイレージの発表・・・三六一

元日本兵二人の遺族わかる

くしくも終戦記念日に

沖繩からの便りを心待ち

謝花さんと北海道の遺族

瀬戸さんの連絡で・・・三六二

村をあげて活動 具志川村の公民館活動・・・三六三

白人兵の泥棒・・・三六三

新正一本化運動 具志川村でも推進・・・三六三

海軍死亡公報・・・三六四

おらが村

具志川村栄野比

中部のバイン部落 近く工場も誘致

歌で知られた貧乏村・・・三六四

社会意識のもり上げ

具志川女子青年幹部研修会・・・三六五

米兵タクシー強盗 安慶名四人組の二人

MPが逮捕・・・三六六

踊りまくる盆

”エイサー” ”エイサー”

各地で深夜もねり歩く

遠征の祝儀攻めに業者悲鳴・・・三六六

移民青年隊第二次合格者・・・三六七

米兵が通行人なぐる 具志川・・・三六七

ハワイから観光団 五十歳以上の一世組・・・三六七

改良組合結成 具志川村が・・・三六七

秋季清掃週間 衛生村の実現めざす

具志川村が各種団体と協議・・・三六七

新正一本化など協議

具志川村生改協議会・・・三六八

としよりの慰安会

具志川村 八十歳以上をまねく・・・三六八

「告別式案内」・・・三六八

公明選挙運動を展開

具志川村青年幹部研修会・・・三六九

【海軍死亡公報】・・・三六九

「告別式案内」・・・三六九

池端仁儀氏(元具志川村収入役)・・・三七〇

銀行マンから百姓に転換

バイン栽培に情熱

一家そろって山地に移住・・・三七〇

危い！バス停留所

住民の要望で移転・・・三七一

タクシー賃踏み倒しの米兵逮捕・・・三七一

また兵隊のタクシー強盗

具志川で四人組、車を奪う・・・三七二

珍語風土記(6) 具志川クンクワサー

肩を抱合い意気投合

荒い酒座のエチケット・・・三七三

譜久原さんの白寿祝

具志川村で琉米人にぎわう・・・三七三

あの町この村 具志川村・・・三七四

あの町この村 具志川村・・・三七四

海軍死亡公報 具志川村・・・三七四

あの町この村 具志川村・・・三七五

公民館の運営 六館研究指定・・・三七五

白人兵が盗み・・・三七五

私はスパイを強要された

嘉手納下士官クラブ

元女給仕が訴う復職と引き換えに

OSI側関係者は事実を否定 三三五

死亡公報 三三七

OIS事件に対策委を結成 三三八

きのう民間16団体が 三三八

〇〇〇〇事件で空軍が発表 三三八

基地内で情報集め 三三八

人民党の指導者が利用 三三九

人権侵害かどうか 三三九

法務局OSI事件の事情調べる 三三〇

金口木舌 三三〇

空軍が供述書を公表 三三〇

〇〇〇〇事件「人民党の指示受けた」 三三一

〇〇〇〇さんが自発的に書く 三三一

「人民党の指令認める」 三三一

軍が供述書内容を公表 三三三

黄色い安全帽 前原 輪禍防止に奨励 三三五

波紋投げるOSI事件 三三五

本土まで尾をひく 三三六

双方が互いに声明合戦 三三六

人情お巡りさん 三三六

犯罪部落の汚名返上 三三八

豊かな愛情が身を結ぶ 三三八

歳末助け合い運動 三三九

全琉にさきがけて実施 具志川村 三三九

あの町この村 具志川村 三三〇

サイロ養豚の普及へ 三三〇

農村婦人重労働から解放 三三〇

中部各市町村の不正運動 三三〇

70%が実施予定 三三〇

純農村は旧正組が多い 三三二

区長さん 友寄英行氏 (具志川村上平良川区長) 三三二

区長さん 新垣義雄氏 (具志川村田場区区长) 三三二

区長さん 島袋真勢氏 (具志川村安慶名区区长) 三三二

区長さん 安里安貞氏 (具志川村栄野比区区长) 三三二

具志川村の不正

今年百パーセントの実施か 三三三

どつさり贈り物 川崎マリン隊が 三三三

一九六一年(昭和36)

新正一本化を採点する 三三三

総合は甘くみて40点 三三三

農繁期とかち合いさつぱり 三三三

区長さん 大城朝栄氏 (具志川村赤道区区长) 三三四

陸軍の死亡公報 三三四

区長さん 瑞慶覧清氏 (具志川村平良川区区长) 三三四

海軍死亡公報 三三四

区長さん 喜納兼次氏 (具志川村豊原区区长) 三三四

区長さん 上江洲安生氏 (具志川村塩屋区区长) 三三五

区長さん 又吉哲次郎氏 (具志川村喜仲区区长) 三三五

区長さん 金城四郎氏 (具志川村具志川区区长) 三三五

区長さん 神谷堪仁氏 (具志川村兼ヶ段区区长) 三三五

区長さん 宜寿次政喜氏 (具志川村昆布区区长) 三三五

久子、幸徳ようぶじで 三三五

比島戦で生き残る戦災孤児の姉弟 三三五

親類と涙の対面 三三五

区長さん 横田政徳氏 (具志川村赤野区区长) 三三七

青年祭 具志川と大里で 三三七

区長さん 島袋賀信氏 (具志川村高江洲区区长) 三三七

車と売り上げ奪う 三三七

具志川で四人組外人兵強盗 三三七

区長さん 平敷亀吉氏 (具志川村川田区区长) 三三八

区長さん 三三八

大嶺自正氏 (具志川村米原区区长) 三三八

区長さん 神田政吉氏 (具志川村上江洲区区长) 三三八

生産性の向上を図る 三三八

前原地区 公民館指導者研修会 三三八

区長さん 野里安善氏 (具志川村川崎区区长) 三三九

区長さん 長嶺由昌氏 (具志川村前原区区长) 三三九

区長さん 宇根盛行氏 (具志川村大田区区长) 三三九

具志川で自衛取締り班を結成 三三九

村の図書館は大繁盛 三三九

具志川村役所内に図書室 三三九

公民館めぐり 三三九

具志川村「上」平良川区 三三九

参加者に深い感銘 三三九

全国生改大会 安座間さんの発表 三三九

公民館めぐり 赤納区 具志川村 三三九

米兵がタクシー強盗 三三九

死亡公報(陸軍) 三三九

公民館めぐり 具志川村 三三九

墓62基に立退き要求 三三九

具志川村の天願と川崎 三三九

本土就職 前原でも合宿訓練 三三九

本土就職の父兄 三三九

公民館で懇談会 具志川村 三三九

旧闘牛場を整備 三三九

安慶名、来月初めに完成 三三九

あの町・この村 具志川村 三三九

相談室 職業 三三九

開発青年隊を希望 隊員は年二回募集 三三九

満二十五歳未満の独身者 三三九

死亡公報 三三九

実をむすんだ教育隣り組 三三九

子どもの日におくる佳話 三三九

マリリン二人即死 三三九

ヘリが墜落、五人重軽傷 三三九

青年会役員決まる 三三九

あの町・この村 具志川村 三三九

閲覧室設ける	具志川公民館	活発な図書活動	四〇
米人が農業経営	具志川 宮里区民が感謝状		四二
回想十五年 当間重剛 (7)	前原市会議長となる		
女学校の校長が巡查部長に	回想十五年 当間重剛 (8)		四二
地区移動で大祝賀会	〃拜啓、スプリング・タイム〃		四四
ガソリンパイプが破損	天願で作業員が発見、軍が修理		四六
実結ぶ教育隣り組	豊原公民館が研究発表		四六
正しい英語を・ジ軍曹が教授	学校・警察など五か所で		四七
M Pと民警、意見対立	具志川 交通事故の現場調査で		四八
死亡公報 (海軍軍属)	私はこうしてだまされた		四八
ヘリコプター墜落	あの町この村 具志川村		四〇
二百人が今秋来沖	ハワイから大挙観光団		四〇
ペルーから観光団 40年ぶりの郷土訪問	エイサーで少年院慰問 具志川青年会		四二
数万の大観衆わく	コザのエイサー・コンクール		四二
一位に赤野区 青年会エイサーコンクール	街から村から		四三
あの町この村 具志川村	〃米兵がタクシー強盗		四三
海軍の死亡公報	米寿迎える一六一人		四三
きょう各地で盛大なお祝い	夫婦そろって米寿 具志川の座間味さん		四三
あの町この村 具志川村	台風被害つぎつぎわかる		四四
死亡公報 (6日・厚生局援護課)	町から村から		四五

テイルダの被害 具志川は百万ドル	きょう白寿の祝い 具志川村では六人も健在		四五
あすカジマヤーの祝い 具志川村では六人も	村をあげて盛大に祝う 具志川村の「カジマヤー」		四六
町から村から 具志川村の「カジマヤー」	黒アリが異常発生		四七
具志川村 人や家畜にかみつく	あの町この村 具志川村		四八
経済局、調査に乗り出す 黒アリ 悲鳴をあげる昆布部落	燃えるヘリコプターから米兵五人を助ける		四九
具志川村の安里さんから表彰	盛大に表彰式 具志川 米兵救助の安里さんら		四〇
墜落の米兵救った 安里さんら表彰	あの町この村 具志川村		四二
37町村人会に感謝状 大田主席 ハワイで郷土復興の協力に	むだな年始まわり 門中合同で新正一本化		四二
会費制、老人も喜ぶ あの町この村 具志川村	廃油で水稲被害 具志川村 米軍に補償要望		四三
具志川にジェット機墜落 民家に突っこみ爆発死傷六人	周囲の家焼き払う 具志川村川崎にジェット機墜落		四三
死者二、重軽傷四人 爆発、破片飛び散る	住宅三軒全焼部落内に火の玉		四四
一瞬襲った〃炎の突風〃	ジェット機墜落現場飛行機破片が散乱		四七
ぼう然、焼け跡みる区民	米軍が救援に万全 在日空軍司令官も来沖		四九
食事もノドに通らぬ	軍病院にかけた家族		四〇

一夜明けた川崎部落 一睡もせぬ被災者	ジェット機墜落事故		四一
米軍、重機持ち出し跡しまつ	弁務官、負傷者見舞う		四二
治療に全力つくせと命ず	テント住まいの家族訴える		四三
〃早く仮住宅にでも〃	社大党、議員総会で対策をねる		四三
適正賠償を早急に	久貝法務局長 米軍当局に申し入れ		四四
公民館に賠償受付所 区民総会で対策に乗り出す	とりあえず見舞金		四四
具志川村 今日臨時議会で特別委	被災者、仮住宅に収容		四五
具志川村臨時議会適正賠償を要請	組織の力で補償推進		四五
具志川青年会が緊急協議	早く適正賠償を		四六
具志川村会、抗議文送る	ジェット機事件		四六
事故の絶滅など 中部振興会 弁務官へ抗議文	抗議集会開く		四七
ジェット機事故で中頭青協	官公労が抗議声明		四七
二次緑化運動始まる 具志川村金武湾	大田主席が記念植樹		四八
雨天で順延 具志川村	ジェット機事故抗議集会		四八
あすから受け付け	ジェット機事故補償要求		四九
川崎ジェット機墜落事故被災者に見舞い金	賠償請求はじまる		四九
34件一万五千五百余ドル	人身損害賠償は準備中		四九
33年ぶりペルーから	変わった古里にびっくり		五〇
賠償支払い始まる	川崎ジェット機事件		五〇

まず家屋など五千ドル．．．．．四五
 来月九日に抗議大会
 中頭郡青年団協議会 ジェット機事故に四五
 家計簿をつけよう”
 具志川村婦人会 来年から実施運動．．．四五
 死亡公報．．．．．四五

一九六二年（昭和37）

農繁期に意欲なし
 中部 曲り角に立つ新正一本化．．．四五
 きょうから大人に 成人の日
 記念品贈り励ます
 各市町村や職場で祝福．．．四五
 難航する物件賠償
 被災者、賠償査定額に不服、
 川崎ジェット機墜落事件．．．四五
 ペルーから観光団
 18日に11人が沖繩入り．．．四五
 あの町この村 具志川村．．．四五
 米人が妻子置き去る
 人権協会 問題解決に乗り出す．．．四五
 あの町この村 具志川村．．．四五
 各地でにぎやかな生年祝い
 長寿と健康を祝福
 中部 板に付いた合同祝．．．四五
 きょう物件賠償最終支払い
 川崎ジェット機事件．．．四五
 あの町この村 具志川村．．．四五
 あの町この村 具志川村．．．四五
 死亡公報．．．．．四五
 “まだ若い者には”
 80歳の夫妻も ボ移民など二百人たつ．四五
 弁務官府が調査
 米兵の妻子おき去りに．．．四五
 神戸の訓練所へ
 ブラジル移民53人たつ．．．四五
 全琉初の公民館センター
 図書活動や社会教育講座開設
 具志川教委が自主的に設置

村の文化向上に．．．．．四五
 あの町この村 具志川．．．．．四六
 ニューズストーリー
 闘牛界の力道山
 全島一になった 宇堅トラムクー．．．四六
 あの町この村 具志川．．．．．四六
 あの町この村 具志川．．．．．四六
 あの町この村 具志川．．．．．四六
 あの町この村 具志川．．．．．四六
 あの町この村 具志川．．．．．四六
 死亡公報．．．．．四六
 移動文庫の計画も
 具志川公民館 みごとな図書館運営．．．四六
 死亡公報（14日着）．．．．．四六
 交通安全にひと役
 具志川村に “運転手友の会” 発足．．．四六
 具志川村青年会
 活動家研修会終わる．．．．．四六
 あの町この村 具志川．．．．．四六
 あの町この村 具志川．．．．．四六
 川崎ジェット機事故
 賠償折り合いつかず
 被災者、軍の査定を拒否．．．．．四六
 賑やかに三日間合宿
 具志川で中央青年幹部研修．．．．．四六
 外人車がひき逃げ．．．．．四六
 鯉つりを楽しむ
 具志川を流れる天願川．．．．．四六
 “公正で適正な賠償額”
 川崎ジェット機事故
 米軍委員会が発表．．．．．四六
 炎天下の道路工事 24号線の一部補修．．．四六
 死亡公報（六二年八月二十三日着）．．．四六
 町から村から 具志川村．．．．．四六
 具志川でコレラの巡回映画．．．．．四六
 私の提案．．．．．四六
 具志川村に老人クラブ
 二十日結成準備会開く．．．．．四六
 闘牛十傑の横顔（中）．．．．．四七
 闘牛十傑の横顔（下）．．．．．四七

隣近所は仲よく暮らそう
 具志川村安慶名区五班
 自費で敬老会や月見会
 親しまれる金城班長と中田さん．．．四七
 町から村から 具志川．．．．．四七
 ビンで殴り “カネ出せ”
 米兵二人組タクシー奪って逃走．．．四七
 南米呼び寄せ移民
 29世帯元気で出発．．．．．四七
 あの町この村 具志川．．．．．四七
 スポーツ風土記 具志川村
 砂糖と闘牛の王国
 傑出した陸上選手を生む．．．．．四七
 闘牛組合を結成
 具志川兼箇段 21日に闘牛場開き．．．四七
 昆布の中山カマドさんも．．．．．四七
 防火対策を協議
 マリンキャンプバットラーで
 軍民の消防関係者が．．．．．四七
 闘牛場開設祝う
 具志川村できょう闘牛．．．．．四七
 川崎ジェット機事故
 10か月で賠償にケリ
 未解決の被災者が譲歩．．．．．四七
 異常乾燥
 具志川は原野、チリ捨て場の火事多い．四七
 宇堅トラムクーが優勝
 第1回全島闘牛大会 大湾ワイーを下す
 最多勝組合は具志川村．．．．．四七
 日本脳炎・恐怖の四十日間．．．．．四七
 具志川に移る？「総合病院」
 地主と話し合い難航
 コザ市当局、代替地を考慮中．．．．．四七
 区民が奉仕で道路整備 具志川村宇堅．．．四七
 遺骨収集資金の補助要請
 外地引き揚げ協 具志川支部．．．．．四七
 死亡公報．．．．．四七
 戦車、トラックに追突
 具志川 助手振り落とされケガ．．．四七
 ブタ肉値上がりつづく

600で40台に
年末年始の需要期に品不足・・・四九五
Aサインはぎとる・・・四八六

一九六三年(昭和38)

えんぴつ横町・・・四八六
夏の恐怖・日本脳炎
撲滅運動きょうからスタート
大がかりな先制攻撃

まずは具志川村から着手・・・四八七
人物地帯
厚生局次長 中山兼順・・・四八七
村ぐるみで反対運動

保健所問題で具志川村が・・・四八八
町から村から 具志川村・・・四八九
町から村から 具志川村・・・四八九
火の用心は僕たちで
具志川村栄野比 よい子たちが夜回り・・・四八九
金武ではタクシー強盗・・・四九〇
基地の町を舞台にふえる一方の外人事件・・・四九〇
村青年会の代議委員会・・・四九一
あす、ポリビアへ

第十七次移民十六世帯・・・四九一
人間郷土記 (71)
具志川村 黒糖王国を誇る・・・四九二
ポリビアの新天地へ
第17次移民団百二十人たつ・・・四九三
人間郷土記 (72)

具志川村 政治家がわんさ・・・四九四
人間郷土記 (73)
具志川村 人口戦前の倍に・・・四九五
スズラン灯つける
具志川村平良川―安慶名間・・・四九七
安慶名に集団赤痢

きょう千人を集団検便・・・四九七
具志川市に集まる施設
学校、工場などぞくぞく誘致・・・四九八
感染源は水道？

コザ保健所 具志川の集団赤痢重視・・・四九九

検便結果あす判明

安慶名の集団赤痢
水道に小川の汚水・・・五〇〇
眞性患者は九人
コザ保健所予防呼びかけ・・・五〇〇
患者、53人にふえる

安慶名の集団赤痢ほとんどが子供
保健所、消毒を続ける・・・五〇二
具志川村、行政区画整理へ・・・五〇三
赤痢、具志川に広がる・・・五〇三
保菌学童に出校禁止

具志川の赤痢 防疫対策本部設ける・・・五〇三
安慶名の赤痢
五部落に広がる
新患者40人、重症者を隔離・・・五〇三
簡易水道の停止

建運局 具志川村長に指示・・・五〇四
対策本部を設置 具志川の赤痢
けさ政府・関係者で初会合・・・五〇四
具志川に疑似17人
集団赤痢、百五十八人に・・・五〇五
生徒八百人を検便

コザ保健所 具志川一円を消毒・・・五〇五
あの町この村 具志川・・・五〇六
伝染病予防法を適用
具志川 赤痢さらにひろがる・・・五〇六
具志川の赤痢
村内の全校を検便・・・五〇六
ハエ、力を撲滅

具志川で村内の清掃週間設ける・・・五〇七
赤痢ようやくやく下火
具志川 入院患者は一人だけ・・・五〇七
上水道に切り替えよ
政府が具志川村へ勧告・・・五〇八
運転手なぐり金奪う

具志川 米兵二人組が強盗・・・五〇八
郷土観光団ぞくぞく 中南米から一、二世
フィマカラの女王 知念さんも・・・五〇八
どつと郷土訪問団
下旬、ペルーとハワイから・・・五〇九

ハワイからの郷土訪問団

非行児の指導など
具志川村、地域懇談会で・・・五〇九
四組の新婚さんも
ハワイ球陽観光団

守礼門で「ワンダフル」
新会長に新垣君 具志川・・・五〇
あの町この村 具志川・・・五〇
米兵が警官宅襲う
注意されたのを逆うらみ 具志川・・・五一
事故をなくしよう

具志川で運転手仲間が
「友の会」つくって励む・・・五一
ビンでなぐり車賃ふみ倒す
具志川 米兵がタクシー強盗・・・五二
死亡公報 海軍軍属58名・・・五二
なぐつて現金奪う

コザ三米兵がタクシー強盗・・・五三
簡易水道90%が不合格
厚生局、水質検査に乗り出す・・・五三
「告別式案内」・・・五四
会長に謝花さん

具志川村栄野比婦人会が
子供を守る会を結成・・・五四
町から村から 具志川村・・・五四
廃物利用で日用品
具志川生改が展示会・・・五四
安慶名に保育所

町の篤志家三氏が計画・・・五五
あの町この村 具志川・・・五六
町から村から 具志川村・・・五六
あの町この村 具志川・・・五六
底をついた水源地 天願川
水位が三分の一に
吸上げポンプも空まわり・・・五六

中北部に雷雨、被害
床上浸水やがけくずれ・・・五七
あの町この村 具志川・・・五七
こどもを守る母の会発足
具志川村平良川区・・・五八

「みどり丸」神山島沖で転覆	五八
死亡9、不明61人以上	五八
深夜までに138人を救助	五八
午前3時現在	五八
「みどり丸遭難事故」	五九
遺体収容者名	五九
「みどり丸遭難事故」	五九
さらに二体を収容	五九
エイサー自慢 赤野青年会	五九
エイサー自慢(2) 安慶名青年会	五九
中部の田植え始まる	五〇
台風の雨、ホツとする農家	五三
遺族が救援金をかえず みどり丸	五三
老人(4)今の若者はお気の毒	五三
勤労精神を力説	五三
各地の長寿者	五四
米寿を迎えた人びと 沖縄本島	五四
死亡公報(海軍軍属24件)	五四
非行児もなく学力向上	五四
表彰された安慶名の教育隣組児童会	五四
町から村から 特集 具志川村	五五
図書館焼く 高江洲中学校	五五
高江洲中で図書館焼く	五五
図書館焼けた高江洲中校を援助	五五
米兵がバッグ奪う	五五
具志川 仕事帰りの公看襲い	五六
町から村から 具志川村	五六
「計画性と実践で豊かな農村」	五六
具志川村でも	五七
遺骨収集、墓参など外地引き揚げ者が話し合う	五七
具志川村	五七
カジマヤー祝う	五七
通り拝見 安慶名	五七
町から村から 具志川村	五八
青年学級に低い関心	五八
具志川村教委アンケートさつぱり	五八
町から村から 具志川村	五九
青年学級近く発足	五九
具志川 区教委が方針きめる	五九
米原区民が公民館視察	五〇

闘牛連合を発足	五〇
具志川村内の七組合で	五〇
具志川村闘牛連合組合結成	五〇
一九六四年(昭和39)	
町から村から 具志川村	五二
町から村から 具志川村	五二
一足先に成人の日	五二
きょう嘉手納、具志川両村で	五二
町から村から 具志川村	五二
安慶名城跡を公園化	五二
具志川村、準備に乗り出す	五二
安慶名城跡に植樹	五二
具志川 観光客誘致に乗り出す	五二
会場入り口でお祝儀取り締め	五三
50以上はおつり 安慶名の青年、婦人会	五三
生改運動で強硬手段	五三
新沖縄観光名所 安慶名城跡	五三
カゼ、中部へ飛び火	五四
高江洲中校、一クラス休む	五四
石で頭をなぐり乗り逃げ	五五
コザ 米兵がタクシー強盗	五五
あの町この村 具志川	五五
あの町この村	五五
あの人この人	五五
米兵がタクシー強盗	五五
具志川 運転手なぐり現金奪う	五五
静岡から贈り物	五六
安慶名中学川崎分校に	五六
安慶名にも闘牛場新設	五六
四月に第一回大会	五六
年次計画で付属施設も	五六
南米移民22人出発	五七
キビ刈りとり競争 具志川	五七
ねじりはち巻きて熱戦	五七
コザで強盗傷人二件	五七
米兵 タクシー賃踏み倒す	五七
低い「生改」への関心	五七
具志川村昆布部落の濃密指導	五八
水運びに費やされる労力	五八

闘牛場建設に協力	五〇
マリン隊が訓練を兼ね	五〇
具志川村	五〇
無断欠席もゼロ	五〇
具志川村天願小学校	五〇
教育隣組の努力実る	五〇
あの人この人	五〇
町から村から 具志川村	五〇
おとなにハツパかける 具志川	五〇
熱の入らぬ非行化防止	五〇
沖縄中央病院の運動場など整地	五〇
第三海兵師団が奉仕	五〇
成績 ドン尻から次第に向上	五〇
具志川村字大田の学童	五〇
マンボスボンに批判の声	五〇
具志川村でこどもと大人の懇談	五〇
町から村から 具志川村	五〇
死亡公報	五〇
交通安全友の会結成	五〇
塩屋出身の運転手60人	五〇
町から村から 具志川村	五〇
部落ぐるみで脳炎追放 具志川	五〇
異例の発生に大掃除	五〇
運転手友の会を結成	五〇
一年間の活動を反省 具志川	五〇
安慶名の学事奨励会	五〇
田畑流失、ガケくずれ	五〇
中部の農作物など大被害	五〇
日常生活に変化を	五〇
生改グループが展示発表会 具志川村	五〇
部落ぐるみで公民館	五〇
具志川村大田区 来月末には完成	五〇
死亡公報(海軍軍属三十二件)	五〇
64・6・9着	五〇
青年活動を盛り上げよう	五〇
「サークル活動」おこす	五〇
具志川 まず会員の接触から	五〇
保育所経営に赤信号 具志川村安慶名区	五〇
家庭 娯楽 ハイキングコース	五〇
金武湾	五〇

米兵がタクシー強盗	金武
運転手にナイフをつきつけ	五二
独力で公民館	大田区、近く完成
エイサー一番(4)	五三
具志川村具志川区	五二
天願生まれ変わる	マリン隊基地設営
バーなどがぞくぞく	五三
具志川村25区に451の教育隣組	五三
あの町この村	具志川
米寿を迎える人たち	全琉に四百七十五人
あす各地で盛大にお祝い	五四
2本立てで経営続ける	五四
具志川村安慶名区	高校進学塾と保育園
百歳は語る	五五
無類のきれいな好き	それが長寿の秘訣に
私の十八番	五五
新垣義志さん	普天間宮司
一世紀を生き抜いた37人	きょうカジマヤー
各地で長寿祝う	戦後最高
政府も記念に座イス贈る	五八
48年ぶりの里帰り	喜屋武さん夫婦
米兵がタクシー強盗	五九
あす「学習会」開き	五九
具志川村安慶名区	高校受験生を集め
ハワイ県人会の外間会長ら来島	六〇
公民館を自力で完成	六〇
具志川大田区	区民奉仕で念願かなう
運動がおざなり	六一
具志川	青少年育成を反省
安慶名に地域性の奇病	六二
赤野の強盗米兵逮捕	六二
CIDから連絡	婦女暴行の二人も
米兵が善意のプレゼント二題	六三
資材を提供、橋作る	六三
具志川村	キビ運びの農家大喜び
ハワイで盛大な敬老会	六四
沖繩人連合会が忘年会兼ね	六四

一九六五年(昭和40)

ペルーから帰郷	五五
サイヨーに優勝旗	五五
上江洲組合結成闘牛大会	五五
中部各地で成人を祝う	五六
あらされる軍用地内の墓地	具志川
おつかない落とし物	五六
軍トラックから十数個	五六
平良川	車二台つぶされる
バー街の客足が落ち	平良川・辺野古
身にしみるベトナム情勢	五八
早起き会	具志川村赤納区
家の中もまつ黒	五八
具志川村川田区	製糖社の煤煙に悩む
町から村から	具志川村
ハワイから近く観光団	五九
三つに分かれて来沖	六〇
タクシーに投爆	乗客の米兵の二人
闘牛碑建てる	具志川の農業祭りを記念
各地で子どもの行事	六〇
野や海に遠足、健康診断も	六〇
公民館の図書活動など	六〇
あすから社会教育大会	六一
あすは日曜日です	緑深く景色もよい
あまり知られぬ	安慶名城跡
町から村から	具志川村
町から村から	具志川村
「闘牛碑」の除幕式	安慶名城跡
14日に盆踊り大会	具志川村青協
エイサーめぐり	⑦
具志川村赤野青年会	見る人さそう踊り
ダイナミックさに魅力	五三
あと断たぬ暴力ざた	五三
おびえる住民取締まりを強化	具志川
海軍関係死亡公報	五四
きょう米寿(トーカーカチ)祝う	五四
全琉で約六百人	五四
子や孫に囲まれしあわせ	五四
三年間も無事故	五四
天願小学校自治班	安全協会が表彰
町から村から	具志川村

一九六六年(昭和41)

町から村から	具志川村
大がかりな脱税摘発	五七
コザ税務署	五七
コザで米兵がタクシー強盗	五九
運転手と格闘	五九
米兵がタクシー強盗	五九
宜野座	四人がかりで腕しぼり
一世紀を生き抜き	福地義作さん永眠
当銘さん三位に入賞	五九
NHK青年の主張	「農村に生きる」
当銘さんは三位に入賞	六〇
青年の主張全国大会	六一
米兵三人組が強盗	六一
コザ	タクシー運転手襲う
死亡公報	六二
マンモス公民館	具志川に落成
ふるさとの顔(228)	六二
具志川村(1)	六三
自分の土地を守ろう	六三
契約には応じない	軍用地接收問題
昆布の地主らが協議	六五
ふるさとの顔(229)	六五
具志川村(2)	六五
ふるさとの顔(230)	六五
具志川村(3)	六七
ふるさとの顔(231)	六七
具志川村(4)	六九
ふるさとの顔(232)	六九
具志川村(5)	六九
ふるさとの顔(233)	六九
具志川村(6)	七二
ふるさとの顔(234)	七二
具志川村(7)	七四
ふるさとの顔(235)	七四
具志川村(8)	七五
ふるさとの顔(236)	七五
具志川村(9)	七七

ふるさとの顔(237)	具志川村(10) 五九
ふるさとの顔(238)	具志川村(11) 六〇
ふるさとの顔(239)	具志川村(12) 六〇
ふるさとの顔(240)	具志川村(13) 六〇
ふるさとの顔(241)	具志川村(14) 六〇
ふるさとの顔(242)	具志川村(14) 六〇
ふるさとの顔(243)	具志川村(15) 六〇
ふるさとの顔(244)	具志川村(16) 六二
ふるさとの顔(245)	具志川村(17) 六三
ふるさとの顔(246)	具志川村(終) 六五
赤ちゃん沖繩一決まる	男児は安慶名正博君 六七
女児は赤嶺牧子ちゃん	死亡公報 六八
料理講習ひらく 具志川	手近な材料でおいしく 六九
中央に強力な支援運動	具志川支部在外財産補償で 六九
視力障害者を調査	盲人福祉協 困窮者対象に 六九
もうすぐ妻子がやってくる	夢に抱いた老父の願い 七〇
魅力ある青年会に	具志川村青が研究発表 七二
子どもたちを健全に	前原地区補導連協 第一回育成大会 七三
鳴り続ける"学習の鐘"	具志川村字天願 七三
部落広場にヤグラ	具志川村昆布 ゆかた姿で盆踊り 七四
被災者に資材の贈り物	

火事で焼け出された仲村さんに	具志川 デビソン少佐が援助 七五
各議員候補者に公開質問状	具志川村青年会 七五
銀杯の贈り物	首相から カマドさんに第一号 七六
あす米寿を迎える人たち	あの町この村 具志川 七六
あの町この村	あの町この村 具志川 七六
あげな中校に放火	教科書焼き授業に支障 七六
ついに会えた22年ぶりの父子	終戦後フイリピンで離別 七六
あの町この村	具志川 七六
あの町この村	具志川 七六
生活普及事業実績発表大会	具志川村で第九回 七九
町から村から	具志川村 八〇
闘牛のツノを人工的に改良	愛牛家もうらやむ あげな中の米一君 八〇

一九六七年(昭和42)

町から村から	具志川村 八二
歳末助け合いで	多くの善意集まる 具志川村 八三
ほとんどが高血圧症	具志川 高齢者に初の健康診断 八三
ローカルパトロール(38)	具志川村(その1) 八三
ローカルパトロール(39)	具志川村(その2) 八四
ローカルパトロール(40)	具志川村(その3) 八五
老後を楽しく	具志川で健康診断 八七
ローカルパトロール(41)	具志川村(その4) 八八
米兵、タクシー強盗	コザ つり銭と車を奪う 八〇
具志川闘牛場跡で植樹祭	

あの町この村	具志川 八〇
メキシコで大歓迎	在住沖繩県人たちに 訪米中の大浜氏 八四
石川へ向かう	復帰行進団 八四
復帰行進団に通行止め	天願でMP隊が阻止 八四
立ち入り禁止を理由に一時間もみあう	復帰行進団MP隊に足どめ 八四
天願で約一時間	コース変更昆布へ 八四
軍道路を進行中	佐久川さんが"復帰"訴える 八四
沖繩と北九州結ぶ夕べ開く	沖繩系ハワイ青年三人が親善訪問 八四
話し合いで解決図る	具志川村 公害対策で懇談会 八三
ガソリンの排液流す	昆布地区の米軍 引火を心配、住民怒る 八四
畑の溝にガソリン流出	具志川村が村民の生活調査 八四
生活改善展示会にぎわう	具志川 八四
廃油で約五万平方メートルの農耕地が汚染	天願 農作物に被害 八四
具志川村実情調査へのりだす	フォートバクナー陸軍部隊 八五
町から村から	具志川村 八四
高校生はねられ即死	塗料の破片が一致 八四
栄野比のひき逃げ事故	具志川で赤痢 真性一、疑似三を収容 八七
50余人が症状訴える	民家の井戸かされる 八四
水道公社 地下水くみ上げで	具志川村川崎 八八
金城君の賠償要求を申請	"沖繩まつり" 見に南米ペルーから観光団 八九
真性患者20人	具志川の集団赤痢 八九
厚生局、赤痢対策に動く	感染源早期発見へ 八五
住民の注意呼びかけ	具志川 八五
14人が健康保菌者	集団赤痢、検便打ち切る 具志川 八五
きょう具志川村で	

エィサー大会	．．．．．	六五
高校生ひき殺した米兵起訴	．．．．．	六五
勇壮な歌と踊りを披露	．．．．．	六五
赤野青年会が優勝 全国大会へ出場	．．．．．	六五
赤野が優勝 全島エィサーにぎわう	．．．．．	六五
「農業」と「台所」の改善を	．．．．．	六五
農・生改連絡協議会開く 具志川	．．．．．	六五
泥とホコリの悪路	．．．．．	六五
前原高校前8号線 悲鳴上げる通学生	．．．．．	六五
村から結核を追放 具志川村	．．．．．	六五
「予防婦人会」結成	．．．．．	六五
町から村から 具志川村	．．．．．	六五
「公正な裁判・賠償を」	．．．．．	六五
米兵による高校生轢殺 母親が訴える	．．．．．	六五
米寿を迎える人たち	．．．．．	六五
掘りぬき井戸かれる	．．．．．	六五
具志川の川崎・西原	．．．．．	六五
裁判の公正を要請	．．．．．	六五
高校生引き殺し事件で高教組が民政府に	．．．．．	六五
赤野青年会 本土でエィサー披露	．．．．．	六五
だが資金ねん出に悩み	．．．．．	六五
公正な裁判を訴え 前原高校生れき殺事件	．．．．．	六五
過失致死などで起訴	．．．．．	六五
前原高校生れき殺事件	．．．．．	六五
事故のもよう証言 目撃者の〇〇〇さんら	．．．．．	六五
前原高校生れき殺事件	．．．．．	六五
被告の犯罪立証へ 前原高校生れき殺事件公判	．．．．．	六五
証人尋問を続行	．．．．．	六五
加害車両に付着物 高校生れき殺事件軍事裁判	．．．．．	六五
大城検査室長が証言	．．．．．	六五
「ガラス破片は一致」	．．．．．	六五
高校生れき殺事件軍事裁判	．．．．．	六五
山田鑑識官が証言	．．．．．	六五
マ一等兵に有罪判決	．．．．．	六五
高校生れき殺事件軍事裁判	．．．．．	六五
全琉的に干ばつ続く 雨、平年の40%	．．．．．	六五
具志川は給水車で補給	．．．．．	六五
ニュースの窓 「前高生ひき殺し」の裁判	．．．．．	六五
三万八千ドルを請求 高校生ひき殺し事件	．．．．．	六五
遺族が補償算定	．．．．．	六五

「延焼」「燃え過ぎ」に住民ヒヤヒヤ	．．．．．	六五
具志川村の軍廃物焼却場	．．．．．	六五
三カ所に押しボタン式信号機 具志川	．．．．．	六五
あすカジマヤー「童心に返る」18人	．．．．．	六五
全琉のトップ切つてカジマヤー	．．．．．	六五
具志川の宮里さん	．．．．．	六五
今夜から無期限断水	．．．．．	六五
中、南部の十三市町村	．．．．．	六五
アベックで強盗 タクシー襲い米兵逃げ	．．．．．	六五
沖縄女性つかまる	．．．．．	六五
米軍が水タンク贈る	．．．．．	六五
水不足の豊原・前原区に 具志川	．．．．．	六五
あの町この村 具志川	．．．．．	六五
村あげて旅費づくり	．．．．．	六五
赤野エィサー本土派遣で 具志川村	．．．．．	六五
台風一過、久しぶりに晴れ間	．．．．．	六五
慈雨に喜ぶ 大きな被害はない	．．．．．	六五
接収阻止団と励まし合う	．．．．．	六五
返還要求行進、昆布に寄る	．．．．．	六五
本土各地で街頭公演	．．．．．	六五
赤野青年会 エィサー団64人たつ	．．．．．	六五
ある生活(41) 米軍チリ捨て場の婦人たち	．．．．．	六五
19日に祝賀闘牛	．．．．．	六五
具志川昆布闘牛場開き	．．．．．	六五
全国青年大会から帰る	．．．．．	六五
あの町この村 具志川	．．．．．	六五
具志川 ◇農、生改グループ発表会	．．．．．	六五
「豊かな明るい農村を」	．．．．．	六五
体験と研究成果を発表 具志川	．．．．．	六五
日常生活の合理化を「一ドル以内」の祝儀袋発行	．．．．．	六五
具志川村	．．．．．	六五
あの町この村 具志川	．．．．．	六五

一九六八年(昭和43)

あの町この村 具志川	．．．．．	六五
高校生が老女助ける 具志川でまた火事	．．．．．	六五
あの町この村 具志川	．．．．．	六五
効果上げる新生活運動	．．．．．	六五
推進協 村民へPR強化	．．．．．	六五
出費、二重にかさむ	．．．．．	六八
具志川 問題多い合同生年祝い	．．．．．	六八
四万六千ドルが灰に	．．．．．	六八
具志川の軍チリ捨て場で火事	．．．．．	六八
七時間後に鎮火	．．．．．	六八
ポリビア国沖縄第一移住地	．．．．．	六八
浸水被災者	．．．．．	六八
「公告」	．．．．．	六八
外人が運転手を袋たたき	．．．．．	六八
タクシー強盗	．．．．．	六八
あの町この村 具志川	．．．．．	六八
宇堅海岸で植樹祭「みどり」で明るい村を	．．．．．	六八
海岸線を緑化 モクマオウ四千本植える	．．．．．	六八
具志川宇堅海岸	．．．．．	六八
親切がアダに	．．．．．	六八
乗用車の外人 強盗に早がわり	．．．．．	六八
あの町この村 具志川	．．．．．	六八
外人の悪質ないたすら 闘争小屋こわす	．．．．．	六八
銃剣や石など持ち 昆布土地接收	．．．．．	六八
あの町この村 具志川	．．．．．	六八
町から村から 具志川	．．．．．	六八
ゆんた	．．．．．	六八
伸びゆくわが郷土 具志川村	．．．．．	六八
「各戸に花を」	．．．．．	六八
村ぐるみで花づくりへ 具志川村	．．．．．	六八
農作物にも大きな被害 また廃油が流出	．．．．．	六八
損害賠償訴える 昆布部落	．．．．．	六八
あの町この村 具志川	．．．．．	六八
市内を花でいっぱい	．．．．．	六八
まず学校に苗配る	．．．．．	六八
具志川市、意欲的な計画	．．．．．	六八
町から村から 具志川市	．．．．．	六八
エィサー練習一段と白熱	．．．．．	六八
昨年東京 参加の赤野青年会	．．．．．	六八
招待殺到に嬉しい悲鳴	．．．．．	六八
工事で断水 具志川市	．．．．．	六八
臨海学校でとんだ災難	．．．．．	六八
具志川海岸 海水浴で皮膚はれる	．．．．．	六八
開南小校生	．．．．．	六八
科学薬品が流出か	．．．．．	六八

地元の学童も被害
 具志川海岸、広範囲に汚染
 厚生局など現場調査 さらに約百人も・六九八
 海水を採取調査 石川保健所も動員して・六九八
 事前によく調べよ
 〃臨海学校〃で文教局が助言・・・・・七〇〇
 広域汚染の恐れ
 他の学校でも被害 臨海学校の皮ふ炎症七〇一
 不安深まる海水汚染
 金武湾一帯にひろがる・・・・・七〇三
 原因いぜん不明
 具志川の海水汚染 衛研が調査を開始・七〇四
 薬品流出が原因か
 海岸汚染 輸送中の米軍船・・・・・七〇四
 こんどは田で炎症
 具志川の海水汚染 野ら仕事の老婦人・七〇五
 また三人が皮膚炎症
 具志川海岸 いぜん強烈な薬品流出・七〇五
 不安がる付近住民
 具志川の奇形カエル発生・・・・・七〇六
 汚染はされてない
 厚生局が発表 漢那ビーチ・・・・・七〇六
 木材四万^ト分焼く 具志川・・・・・七〇七
 具志川で奇形カエルを発見・・・・・七〇七
 汚染海水で人体実験
 厚生局 新手法で原因究明・・・・・七〇七
 奇形カエルを調査 沖繩に医師を派遣
 放射能障害を懸念 原水禁・・・・・七〇八
 チリ捨て場を移せ
 具志川市大田・ 上江洲区が訴え
 けむり、 悪臭になやまされる・・・・・七〇八
 〃恐怖の海〃に高まる怒り 具志川
 たよらない政府 危険範囲もつかめず・七〇九
 腕が赤くなる
 伊波課長 恐怖の海水人体実験・・・・・七〇〇
 材木全焼 具志川市松原で・・・・・七〇二
 あの町この村 具志川・・・・・七〇二
 屋敷でも皮膚炎 ボート乗りの米人二人・七〇二
 米軍と合同調査へ 具志川の海水汚染・七〇三
 早急に原因究明を

具志川区教育委 政府に文書で要請
 海水汚染・・・・・七〇三
 海水汚染の調査専門家
 〃米本国へ要請した〃
 民政府、厚生局長へ回答・・・・・七〇三
 スポーツ少年団の育成強化へ
 具志川市体協が予算化・・・・・七〇四
 炎症ほとんど直る
 開南小児童の検診終わる・・・・・七〇四
 悪臭に悩む区民 具志川市安慶名・・・・・七〇五
 10日にエイサー大会 具志川市
 赤野青年会も特別出演・・・・・七〇五
 具志川市 漂うばい煙や悪臭
 軍払い下げ品取り扱い所のチリ焼き場
 付近住民が対策を訴える・・・・・七〇六
 ベトナムの劇薬と同じか？
 具志川の皮ふ炎症・・・・・七〇六
 テレビ、72%が持つ
 石川署 管内の台風対策で調査・・・・・七〇七
 また奇形カエル 具志川・・・・・七〇七
 原因究明を要請 具志川の海水汚染
 沖繩市町村会で決議・・・・・七〇八
 ナゾ深まる 具志川の海水汚染・・・・・七〇八
 あの町この村 具志川・・・・・七〇九
 皮ふ炎症と奇形カエル 〃人為的疑い濃い〃
 日原禁理事本田氏 具志川で現場調査・七〇〇
 夏にこだまするエイサー
 赤野青年会 リズムあふれ独創的
 百年以上の歴史を持つ・・・・・七〇〇
 市昇格記念市民運動会開く 具志川市・七〇二
 市昇格記念運動会 具志川市・七〇三
 大空真弓さん来島
 具志川市の市昇格祝賀で・・・・・七〇三
 市に損害賠償を要求
 具志川の比嘉商事・・・・・七〇三
 敬老会にぎわう 具志川市大田区・・・・・七〇三
 中部の素顔(3) 闘牛士 牛に人間なみの愛情
 目や表情で性質見分ける・・・・・七〇三
 具志川市特集 総合都計に着手
 水と交通網に恵まれる・・・・・七〇五

材木四千^ト分焼ける 具志川市
 チリ焼き場の飛び火か・・・・・七〇〇
 老後をすこやかに
 具志川、おとしよりを無料検診・・・・・七〇〇
 68年度秋の生存者叙勲
 沖繩出身者・・・・・七〇〇
 中部農林では九百人が参加・・・・・七〇一
 〃B52撤去せよ〃
 前原高定時制生徒会が集会・・・・・七〇一
 神村氏、秋の叙勲祝賀会・・・・・七〇三
 具志川青連あす女子研修会・・・・・七〇三
 中部の素顔(5) 具志川ダンブ・・・・・七〇三
 一九六九年(昭和44)
 ここに生きる キビ作農家
 一本立ちはいっつ
 兼業でやつと生計・・・・・七〇四
 農村の子供たち・・・・・七〇四
 ひどいB52の爆音 コース変更訴える
 イライラ 生活にも支障
 具志川市昆布部落・・・・・七〇五
 ひどい通信隊の電波妨害 具志川
 テレビ・ラジオに悪影響
 実情調査、 近く善処申し入れ・・・・・七〇六
 町を花できれいに
 具志川市菊花同好会を結成・・・・・七〇七
 米兵がタクシー強盗・・・・・七〇八
 依然足どりつかめず
 川崎マリン刑務所 米兵12人が逃走・七〇八
 逃走兵二人を逮捕・・・・・七〇八
 逃走兵、四人を逮捕・・・・・七〇九
 また原因不明の皮膚炎症
 幼女が発熱入院 具志川海岸の砂いじり七〇九
 具志川海岸の皮ふ炎症 化学性の薬物か
 付近の基地内から流出？・・・・・七〇〇
 海岸の砂無関係か 幼児の皮膚炎症
 厚生局化学分析急ぐ・・・・・七〇一
 赤ちゃん沖繩一決まる
 (男児) 誠之

米では48⁺以内は避難命令
 原水協 撤去大会に全力結集 七七七
 高江洲小校で結核が集団発生 七七八
 // 学校はもつと健康管理を//
 結核感染児童の収容急ぐ 厚生局 七七九
 悪評おそれ、ひた隠し
 高江洲小の結核集団発生
 教師への不信高める 七八〇
 検診依頼は出したのに 七八一
 高江洲小校の集団結核問題一年以上も放置
 「検診車が故障」「忙しい」石川保健所 . 七八二
 米兵がタクシー強盗 恩納 七八二
 町から村から 具志川市 七八二
 外人車がひき逃げ 具志川
 横断歩道を横断中の災難 七八二
 ひき逃げの外人を逮捕 七八三
 三米兵、沖繩人ガード襲う
 実弾入り小銃強奪 軍用バスで逃げる
 天願海兵隊基地 七八三
 小銃などみつからず
 沖繩人ガード襲撃事件 七八四
 十二人が集団脱走
 川崎のマリン刑務所から 七八四
 脱走囚、足どり不明
 無断外出米兵12人を逮捕 七八四
 町から村から 具志川市 七八五
 大麻所持の米兵逮捕 七八五
 また、ひふ炎症騒ぎ
 与那城村照間海岸 中学生120人が
 水泳教室中にかゆみ 七八五
 米兵が「金を出せ」
 美里で17⁺奪って逃走 七八七
 照間海岸のひふ炎症騒ぎ 海水分析急ぐ
 過去の事件と同ケース 七八七
 原因はクラゲ?
 照間海岸の発しん 山里教授らが調査 . 七八八
 11日に軍事法廷 女子高中生刺傷事件 . 七八九
 エイサー!エイサー!
 中頭郡育協主催で大会 七八九
 赤野区青年会が優勝 七九〇

沖繩の証言 天願事件 七九〇
 // トーカチ // を迎える人たち (2) 七九五
 一世紀を生きる 全琉で9人 七九六
 あの町この村 具志川市 七九七
 具志川市赤野青年会が優勝
 青年エイサー大会 七九七
 町から村から 具志川 七九七
 おめでとうカジマヤー 全琉で三十三人
 祝福受け、最良の一日 七九八
 ニューカッスル病の事実ない
 具志川市前原 七九八
 安全運転友の会結成
 赤道区 運転手らが立ち上る 七九八
 老人の健康診断 具志川 七九八
 拳銃奪って逃走
 刑務所へ護送中の黒人兵 七九八
 解説つぎの新道路標識
 具志川、目抜き通りに登場 七九九
 あの町この村 具志川市 八〇〇
 水かれ、稲が全滅状態 具志川市竹の又原
 水道公社の取水開始で 八〇〇
 井戸水が干上がる 天願川流域
 公社の地下水開発で 八〇一
 あの町この村 具志川市 八〇一
 交通安全灯を設置 具志川市栄野比交差点
 無事故の願いこめる 八〇二
 天願棧橋から積出し
 米陸軍、毒ガス移送計画を発表 八〇三
 おびえる住民 毒ガス撤去
 輸送コース周辺を見る 示されぬ安全対策
 沿道は学校や住宅街 八〇三
 祝儀は一⁺以内
 具志川市新生活運動指導者 八〇四
 黒灰の降る季節がきた! 具志川市 八〇五
 具志川市のばい煙問題 一挙に円満解決 . 八〇六
 天願で柔道場開き
 児童生徒の非行化防止図る 八〇七

一九七一年 (昭和46)

不安と怒り深める 住民無視の毒ガス移送
 どこへ逃げればいいんだ? 八〇七
 準備進む毒ガス移送 ホワイトビーチ
 すでに船舶も待機? 八〇八
 川に病豚の死体 具志川
 伝染病、人にも伝染 八〇八
 // 住民の声をきけ // 中農生徒会が意見発表 . 八〇九
 移送開始はあす午前八時半 八〇九
 初の少年野球大会 具志川市十五日から . 八〇九
 ロビンソン号接岸 消毒剤の配備も終える
 天願棧橋 八〇九
 ロビンソン号静かに停泊 天願棧橋 八〇九
 天願棧橋は武装兵が警戒 八〇九
 コース変更反対 新垣市長が表明 八〇九
 // 自主避難 // へ動き出す
 具志川 バス八台を要請 八〇九
 毒ガス移送、きょう実施 三千人が自主避難
 二次以降のコース変更条件に住民は納得 . 八〇九
 町から村から 具志川市 八〇九
 レッド・ハット作戦 いよいよ本番
 早朝から避難開始
 不安ながら // 主席 // を信用 八〇九
 毒ガス、陸上輸送一応完了 住民五千人が避難
 厳重警戒の中、船積み 八〇九
 厳戒下、毒ガス移送始まる
 地元民は北部へ集団避難
 日没までに積み込み
 86小中高が臨時休校 八〇九
 臨機応変に運行 バスダイヤの乱れ少ない . 八〇九
 闇に包まれた口号
 サーチライトで厳重警備 八〇九
 輸送船けさジ島へ 昆布区民
 // 早く持ち去れ // と怒声 八〇九
 毒ガス移送船ジ島に向かう 22・23日ごろ到着
 厳戒態勢の中を出港 八〇九
 // ほんとにコリゴリ //
 昆布区、やっと明るい表情 八〇九
 // 住宅地域をさける //
 今月中に最終案決める 行政府 八〇九
 あの町この村 具志川市 八〇九

町から村から 具志川市 八三三
 町から村から 具志川市 八三四
 タンカーが炎上 16人行方不明
 沖繩からも21人乗船 地中海 八四〇
 〃無事でいてくれ〃 パトリオット号炎上事故
 〃無責任な代理店〃 久高さんの家族
 「遭難」家族に知らせず 八四四
 久高さんの遺体を収容 八四五
 町から村から 具志川市 八五五
 あの町この村 具志川市 八五五
 久高さんの遺体帰る タンカー事故
 最後の犠牲者 八五六
 町から村から 具志川市 八五六
 再び阻止態勢へ 毒ガス移送コース
 村民はがっかり 八五七
 山中に胎児二遺体 具志川市上江洲
 犬が掘り起こす 八五八
 請け負い業者が捨てる
 具志川市の胎児遺棄事件
 市民〃人道上許せぬ〃 八五八
 墮胎、遺棄罪で捜査
 具志川の死胎児遺棄 八五九
 米兵のたき火が原因か
 昆布の黙認耕作地の火災 八六〇
 きょう青年学級開講式
 具志川市 復帰問題を勉強 八六〇
 父兄も一緒に学習 教育隣組さらに充実へ
 具志川で指導者研修会 八六〇
 まだ多い結核、赤痢
 具志川市が半数以上占める 八六三
 シンナー遊び防止
 対策協設置で懇談会 具志川市 八六三
 具志川市赤野を濃密指導部落に
 農林局中部普及所 八六三
 天願川に魚プカプカ
 農薬による被害か 仮死状態で浮く 八六三
 川の酸素が欠乏か
 天願川の魚仮死原因究明急ぐ 八六三
 公害? 天願川に魚浮く 八六四
 病豚や犬の死骸 具志川市 八六四

処理に悩む市当局 八三四
 〃住民意思を無視〃 〃立法院の毒ガス
 コース選定で地元反響〃
 場合によつては移送阻止 八三五
 にぎわった闘牛場開き 川崎 八三六
 〃井戸がだんだん枯れていく〃
 水どころで水不足 公社ボーリングが影響
 具志川市 八三六
 水質の汚濁が原因
 天願川での魚の仮死 公害衛研が調査 八三七
 シンナー乱用禁止で部落懇談会も
 具志川市青少年育成協 八三八
 天願橋を補強工事 米軍
 毒ガス移送に対処?
 地元は橋使用を警戒 八三八
 神経とがらす住民
 天願橋の補強工事 実力で阻止行動
 毒ガス移送 八三九
 米兵、女子学生襲う 具志川
 付近住民が集まり騒ぐ 八三九
 井戸水が干あがる
 公社の取水ボーリングで 具志川 八四〇
 具志川市 取水、ボーリング 死活問題に
 底をつく天願・瑞慶山ダム貯水池 八四〇
 公社取水は〃生活侵害〃
 (具志川市赤野・宇堅・田場)
 集会開き、反対を決める 八四二
 毒ガス第二次コース〃二度と恐怖はイヤ〃
 三市村住民が反対表明 八四三
 具志川市 家畜ふん尿たれ流し
 近隣住民から苦情続出 八四三
 補償問題を追及 具志川市民
 毒ガス移送説明会で 八四四
 海水浴もできない
 公害対策協、与勝沿岸の汚染など調査
 水道公社の取水
 井戸、水田も水枯れ 八四四
 海岸に漂う廃油
 公害対策 具志川・天願を調査 八四五
 〃悪質なカンパ活動〃

〃善意〃利用し、菊の花売る
 具志川市 八四五
 〃地域であすの社会教育をかんがえよう〃
 具志川市で研修大会 八四六
 やつと一部に送水
 市に水田の濁水を訴え 具志川 八四七
 青少年健全育成センター
 設置に動く 具志川 八四七
 乾天に慈雨 よみがえった水田
 工場の冷却排水を利用 八四八
 完ぺき避難・補償を
 毒ガス移送で地元住民要求
 場合によつては阻止も 八四九
 天願港使用に反対 第二次毒ガス移送
 昆布区民が決議 八五〇
 事前の補償ないかぎり第二次認めぬ
 昆布区民、毒ガス移送で 八五〇
 毒ガス 来月15日移送を開始
 〃五十日間で完了〃
 ラ弁務官が公式発表 八五一
 慰謝料四万六千、昆布区が決定
 毒ガス移送で要求 八五二
 米兵がタクシー強盗 石川 八五三
 補償ない限り移送阻止へ 具志川市栄野比、
 昆布の区民 八五三
 一週間後に迫る毒ガス移送 補償せぬと通さぬ
 昆布・栄野比 不安つのる
 リハーサルも 阻止の構え 八五四
 毒ガス 迫る恐怖の大移送 リハーサル阻止へ
 沿道住民 補償に強い不満 八五五
 移送船、14日 天願橋へ 八五五
 毒ガス移送
 リハーサルあくまで阻止 地元対策協が決定
 第一次分の補償は前進と評価 八五五
 阻止体勢解かず 具志川 八五七
 毒ガス移送15日確定
 関係市村代表 主席と確約かわす 八五七
 毒ガス いよいよ本番
 沿道住民〃避難対策に万全を〃 八五七
 あすから毒ガス第二次移送

五十日間で日に五回
 致死性など一万二千ト．．．．．八五八
 毒ガスけさから移送開始 初日は六三七ト
 沿道住民は続々避難．．．．．八六〇
 第二次毒ガス移送 きょう午前八時から開始
 九月上旬まで続く
 沿道三百以危険地域に．．．．．八六〇
 移送船シー・リフト号が接岸
 あわただしく動く天願棧橋．．．．．八六一
 始まった毒ガス移送 住民二千人が避難
 午前中三百八十ト積む．．．．．八六二
 港で嚴重チェック
 天願棧橋 さつそく荷積み作業．．．．．八六三
 初日から冷汗の連続 船積み作業中故障
 化学消防車も立ち往生．．．．．八六四
 毒ガス移送 また予定量運べず
 二日で一四四トも積み残す．．．．．八六四
 黒星続きのレンド・ハット作戦
 船内積み込み作業遅れ五回目運搬を中止
 安全？疑惑一層深まる．．．．．八六五
 19日からGBも 毒ガス移送三日目
 避難続き、濃い疲労．．．．．八六七
 “ふくろう暮らし”もうイヤ．．．．．八六九
 神経性毒ガス移送におびえる
 区民ぐるみで避難
 安全対策で政府とのミゾ深まる
 大半が安全地帯へ
 高まる住民の不安、動揺．．．．．八七〇
 ぶきみな防毒マス 神経性毒ガスに緊張
 人影見えない沿道
 ウサギでガス漏れ探知．．．．．八七一
 また自主避難に 具志川市昆布
 財政難、集団できぬ 毒ガス．．．．．八七三
 安全と不安と
 ロングランの毒ガス移送（3）昆布区・八七三
 毒ガス、あすまで移送休止 12日目にひと息
 地元避難から戻り清掃、洗濯．．．．．八七五
 休業補償を要求
 栄野比昆布10日間の窮状訴え．．．．．八七五
 毒ガス移送船出港

五千三百六十積み
 九日間でジョンストン島へ．．．．．八七六
 在ペルー沖縄県人会長に天願氏．．．．．八七七
 GBガス 午前中で150ト運ぶ
 区民どの顔も避難疲れ．．．．．八七七
 ぼつぼつ商売始め 毒ガス移送沿道の商店
 売り上げサッパリ．．．．．八七八
 毒ガス移送中止
 マ号が台風避難 住民にやつと笑顔．．．．．八七八
 毒ガス移送再開
 新副主席、はじめて見守る．．．．．八七九
 マクグロー号 ジ島に向け出港
 台風接近で急ぎ予定変更．．．．．八八〇
 安全と不安と
 ロングランの毒ガス移送△10▽
 農作業 稲は格好の雀のえさ
 こわくて畑にも出ない．．．．．八八〇
 老女入院先で死ぬ 中部病院
 毒ガス避難 不安のすえ、さびしく．．．．．八八二
 避難のため家畜も手放す．．．．．八八三
 毒ガス移送 旧盆中の中止、米も異議なし
 自主避難に送迎バス
 行政府、関係市村へ安全対策費．．．．．八八三
 移送終了後に焼香
 石川家 村びとがつめかける．．．．．八八四
 毒ガス 全量の73を移送
 第三船「ミ号」けさ出港．．．．．八八四
 毒ガス第四船 シ号天願到着．．．．．八八五
 一瞬ひやり！毒ガス弾落下
 民側は相変らずツンボ棧敷に
 米、二時間後に連絡
 つきない不安と怒り．．．．．八八五
 毒ガス落下事故 移送阻止も辞さぬ”
 怒る区民、深夜の抗議．．．．．八八六
 全員にガスマスク着用指令
 毒ガス・ロケット弾落下事故
 天願棧橋 作業員、一時緊急避難．．．．．八八七
 安全策なければ阻止
 毒ガス事故 沿道住民が抗議集会．．．．．八八八
 車は急に止まらない！

タテ2M、長さ16Mの看板
 具志川署前に交通指導コーナー．．．．．八八九
 毒ガス移送 あすから再開．．．．．八八九
 毒ガス 二百四十トを移送
 宮里副主席から見守る．．．．．八八九
 毒ガス陸上移送 けさ全作業を完了
 あす撤去の確認へ 地域の忍耐に感謝
 “ 主席が談話発表．．．．．八九〇
 塩をまいて”厄払い” 毒ガス移送終わる
 長かった”恐怖の56日間”
 避難生活やつと解放
 最後のトレーラーペンキで”おしまい”八九一
 毒ガス移送を終えて
 座談会 苦しかった56日間．．．．．八九二
 二度と持ち込ませない 毒ガス移送
 沿道住民にツメ跡 経済的損失どうする
 生活の立て直しに不安．．．．．八九五
 毒ガス 最後の移送船出港
 GBガス積んでジ島へ．．．．．八九六
 野犬天国にお手あげ
 急増・被害続出の具志川．．．．．八九六
 1世紀を生きる．．．．．八九七
 町から村から 具志川市．．．．．八九八
 トーカチを迎える人たち
 全琉で 男女合わせて七一七人．．．．．八九八
 きょう米寿 そろってこの日を迎えた
 四夫婦 明治、大正、昭和
 三代を生き抜く．．．．．八九九
 町から村から 具志川市．．．．．九〇〇
 また原油流れる
 金武湾一帯に悪臭 犯人はガルフ？
 住民に吐き気、頭痛．．．．．九〇〇
 鼻をつく油の匂い 具志川市民ガルフに抗議
 “死の海”に怒り．．．．．九〇二
 犯人は重油だった 具志川海岸の汚染
 厚生局も調査．．．．．九〇三
 黒い油べつたり 金武湾の汚染
 具志川市が原因調査．．．．．九〇三
 公害で失われる自然 汚染する具志川海岸
 漁民は生活に不安

政府は対策に万全を期せ．．．．．九〇四
 死魚が打ち上げられる 具志川海岸．．．．．九〇五
 公民館が完成
 四百人収容の近代施設 具志川．．．．．九〇六
 きょうカジマヤー．．．．．九〇六
 麻薬常習米兵大暴れ 猛スピードジグザグ
 老人はね、四件追突．．．．．九〇七
 30日から「女子活動家研修会」
 具志川市青年連合会．．．．．九〇八
 相つぐ地面陥没
 具志川の昆布、天願 公社取水が原因か
 「いつ屋敷が」 不安つのである区民．．．．．九〇八
 公害企業告発せよ
 具志川区民総決起集会．．．．．九〇九
 行政府は生ぬるい
 具志川市民、原油汚染で抗議．．．．．九一〇
 タクシー運転手殺さる 石川で 外人の犯行か
 背中を刺され多量の血．．．．．九一〇
 凶器見つかる 石川のタクシー運転手殺し
 被害者の免許証も．．．．．九一二
 タクシー運転手殺し
 迷宮入りか 外人説が濃厚だが．．．．．九一三
 具志川市 またも地盤陥没
 不安つのである住民
 キビ畑で直径五メートル、深さ三メートルも．．．．．九一四
 町から村から 具志川市．．．．．九一五
 暁の銃撃戦 MP―自動車ドロ
 発砲少年は負傷
 具志川 ピストルも押収．．．．．九一六
 釣り銭箱奪う ブケランで白人兵．．．．．九一七
 銃盗み射撃練習
 警官に発砲した一味も挙る．．．．．九一七
 あの町この村 具志川市．．．．．九一八
 町から村から 具志川市．．．．．九一八
 町から村から 具志川市．．．．．九一八
 具志川市各區で新正一本化決定
 老人も積極的．．．．．九一九
 毒ガス補償支払う．．．．．九一九

一九七二年（昭和47）

対話でズレ埋めよう 具志川市
 成人の日に各層が懇談会．．．．．九二〇
 町から村から 具志川市．．．．．九二〇
 「公告」．．．．．九二二
 キビ刈りの奉仕作業 具志川市
 米人高校生など人手不足で農家喜ぶ．．．．．九二二
 ガルフ社の原油？
 汚染正体分析、警告 具志川海岸．．．．．九二三
 町から村から 具志川市．．．．．九二三
 赤道公園に植樹
 具志川市婦人会が．．．．．九二三
 読者のページ 具志川市．．．．．九二四
 「町をきれいに」
 具志川市婦人会が植樹．．．．．九二六
 ローカリスポット
 学童疎開の記録を残した和宇慶朝幸先生
 教え子が激励の会
 当時の思い出語りあう．．．．．九二六
 あの町この村 具志川市．．．．．九二九
 銃剣つきつけ金奪う
 中部で外人事件が続発．．．．．九二九
 あの町この村 具志川市．．．．．九三〇
 毒ガス補償で公民館建設 区民了解を得て
 「この苦しみを忘れるな」．．．．．九三〇
 あの町この村 具志川市．．．．．九三一
 あの町この村 具志川市．．．．．九三一
 テレビの画面もさつぱり
 ひどい電波妨害
 天願通信隊から発信する電波の影響で
 苦情続出、部隊撤去訴える
 具志川市．．．．．九三三

具志川市史 第七卷

新聞集成・戦後
社 会 編

平成二十年三月十四日 印刷
平成二十年三月三十一日 発行

編集

うるま市
具志川市史編さん委員会

発行

うるま市教育委員会
沖縄県うるま市勝連平安名三〇三二
電話 〇九八(九七四)三一一一

印刷

有限会社がじまる印刷
沖縄県うるま市字宮里一三五
電話 〇九八(九七三)六二六三

具志川市史
第七卷

新聞集成・戦後
政治経済編

目次

索引							
具志川関係不採用記事目録	・	・	・	・	・	・	□
収録記事	・	・	・	・	・	・	一
政治経済編・解題	・	・	・	・	・	・	八六
収録記事目次	・	・	・	・	・	・	三三
目次	・	・	・	・	・	・	二二
凡例	・	・	・	・	・	・	一七
口絵	・	・	・	・	・	・	

収録記事目次

一九四五年（昭和20）

暁だ！沖繩の再出発
舵手十五名諮詢委員確定・
前原市水産倉庫竣工・

一九四六年（昭和21）

前原の養豚・
市町村長任命・
祝・沖繩民政府発足
再建めざして
沖繩民政府誕生

初代知事に志喜屋孝信氏・
黄金時代を我々の手で
知事志喜屋孝信氏・
前原地方庁解消・
公德心の涵養

知事初巡視で強調・
復興の促進を期し
農家救済応急対策
軍政府の認可なり愈々実施・

〔辞令〕・
禁止区開く
八ヶ村に居住・農耕・
石川市一周年祝賀・
市町村の赤字財政
数ヶ村が配給益金で余剰・

一九四七年（昭和22）

初の戦没慰霊祭
月末から各地区で執行・
中頭具志川役場移転・

具志川製塩組合 倉庫落成式・

一九四八年（昭和23）

市町村議員の定数・
各市町村長候補の顔触・
市町村長選挙終る
俄然新人に有利 新三〇、
旧現一三、無投票一九・
米を配給 但し病人孤児へ
食糧大量入荷す・
市町村別肥料割当・
QMガード 増員大募集・
市町村会の正副議長・
免許事務近く開始・

一九四九年（昭和24）

酒造業者定る・
開拓庁具志川出張所・
金属古物は凡て工協へ・
企業を見る 断然多い雑貨商
総資本三千余万円 筆頭は
貿易商事の一五〇万円・
無尽に映る 前原区の実力・
通貨流通を反映
物価漸く安定す 金融、事
業界筋の観測も一致・
食糧増配更に十月まで 軍当局
輸送中の抜取に警告・
那覇中央倉庫・
耕してならぬ 軍道路端から
三フイート以内・
対日貿易 バーター制で
那覇市実業人懇談会・
沖繩議会に解散指令！
新議員十三名任命さる・
市町村役所
21か所近く恒久建築・
モータープール

一九五〇年（昭和25）

那覇・前原に重点
大型三〇台首里支所へ・
PX用物資の輸送も
民業者に請負・
琉球銀行 2月末調査
預金二億円に対し
貸出高は一、七億円
貸超筆頭は宮古の七四二％
懐しの土地へ帰る
喜びの人々、八万
建築許可で各地に歓声・
情報懇談会 〓民の声〓
農民保護政策講じ
役得建築遠慮せよ・
企業 筆頭は雑貨商
免許窓口に映る業態・
茶の生産高 昨年六万余斤・
土地開放 放送局附近・
軍施設内の具志川村落
〓耕地荒さる〓
非農家扱いを協議・
QMカンパン 三周年記念日・
天願QMがタイピスト講習・
タイプ講習、QM部隊で・
市町村の人件費
課廃合や区整理等取上げ
財務課で慎重検討・
氷の悩み解決に曙光
天願製氷所・沖繩人が操業
愁びを開く漁業界・
御挨拶・
社説 有終の美を・
定員にも変動多し
市町村長・同議員改正選挙法
近く公布か・
選挙管理 群島地区委員決定・
企業ますます盛ん

七月で一万五千突破	一九
灌がい発電にダム築造	一九
具志川村が要望	一九
全島有権者数	一九
277,654名	一九
法定の選挙運動費	一九
知事―一三八八、二七〇円	一九
民政議員―六九、四一三円	一九
軍使用土地の評価委員会	一九
軍道路でつぶれた	一九
土地はどうなる	一九
民政府側委員三名決る	二〇
那覇市が12名	二〇
眞和志、具志川11名	二〇
議会の賛成投票で増員	二〇
市町村長得票成績表	二〇
群島議員 立候補者出揃う	二〇
最激戦地区は八区と十区	二〇
各市町村有権者数一覧表	二〇
海外同胞へ・平良さん紹介	二〇
志喜屋知事退任の挨拶状	二〇
急増する卸業	二〇
最高は雑貨四八八件	二〇
政党関係振わず	二〇
八名から当選たった一名	二〇
群島議員選開票終る	二〇
長浜氏 若冠三十で当選	二〇
市町村吏員の増俸	二〇
財源範囲内で何割可能か	二〇
軍作業指導員	二〇
陸軍側十名決る	二〇
至誠をモットーに	二〇
民政府去る志喜屋さん	二〇
窮迫つげる地方財政	二〇
待ちあぐむ平衡交付金	二〇
予算の大半賄う「住民割」	二〇
企業一斉監査	二四
無免許取締り強化	二五
議会常任委員決定	二五
市町村長協議会 専門委員置き	二五

政府議会と連絡とる

一九五一年（昭和26）

銀行借入首里が筆頭	二六
バス収入で楽に還す	二六
悪質犯続出に備え	二六
警察官重点配置	二六
那覇、胡差、前原に大增員	二六
徴税署の設置	二六
主要地に、四月発足か	二六
医者の配置	二六
離島には資格者を	二七
無医村の絶対解消は困難	二七
中部製糖	二七
三月まで具体案成る	二七
準備委員長に桑江氏	二七
きよう開く議会	二七
新年度予算案審議	二七
土地所有権の制限も諮問	二七
社大党具志川村支部結成	二七
あすから乗出す 増産督励班	二七
自動車税 具志川村も設定	二七
政党的動き	二七
12カ所に登記所	二七
医師開業地 六六名配置決る	二七
那覇地区希望51名から17名	二七
九地区に34名	二七
開業歯科医配置決る	二七
衛生関係各委員決る	二七
地方予算総額七三二万円	二七
市町村税が五〇%	二七
労務所を再組織	二七
中央労務所に集権	二七
52年度所得税	二七
総額一億四千余万円	二七
昨年の四・一倍	二七
人民党調査	二七
農林省調査	二七
軍施設の改善陳情する	二七

一九五二年（昭和27）

年間被害八一五万円	三三
財政交付金 きのう最後決定	三三
揉みぬいた・群府案承認	三三
医師二名 介輔17名配置	三三
地方財政交付金	三三
公平な割当てを	三三
八市町村長が連署陳情	三三
中部製糖工場 七カ村が計画	三三
多角形農業 園芸収穫で	三三
月六万円 若い篤農家	三三
島袋さん 近く畜産も充実	三三
天願区民が立退きに陳情	三三
配給米掛買	三三
金詰り農村でふえる	三三
天願昆布の立退	三三
村が善処陳情	三三
昆布部落立退	三五
昆布天願区 立退き命令	三五
医師配置 全島で22名増加	三五
社大党の公認候補	三五
本島は十七氏に決定	三五
選挙戦火蓋を切る	三五
きよう立候補受付開始	三五
出揃った候補者 沖繩34名	三五
当選者の顔ぶれ決る	三五
新人の台頭めざまし	三五
新党系もいちじるしい進出	三五
社大党の勢力退潮	三五
議員選挙開票結果	三六
立法院議員選挙投票成績	三六
沖繩選管委會調べ	三六
52年度申告所得税	三六
徴税僅か四割	三六
七月までに強行取立	三六
沖繩 緑化はすすむ	三六
補助による植林	三六
52年八五一町歩	三六

軍用地決定に地主代表も参加させよ	四
瀬長氏発議の決議案	四
特別委付託	四
豚コレラ 具志川村に侵入	四
二期控え蔓延の恐れ	四
前原署庁舎落成式にぎわう	四
具志川村の祝賀会	四
軍用地代の適正へ	四
中部地主協会も陳情	四
軍向け野菜	四
栽培適地を追加申請	四
島産合成酒 市場に売出す	四
軍使用地の賃貸借契約に	四
ついでのお報せ	四
軍用地契約増える	四
具志川でどっと二十五名	四
土地売買価格	四
中南部地区決まる	四
民主党 結成迫る新党!!	四
総裁比嘉秀平	四
顧問松岡氏確定的	四
民主党役員決定	四
自動車運送 審議委決まる	四
中部振興会	四
肥育牛豚審査 日割決る	四
軍用地代契約ふえる	四
金に詰まされ	四
地主の二割が押印致し候	四
沖繩 田畑の課税標準	四
一級田・九、四三九円	四
豊作も焼石に水か	四
農村は依然として赤信号	四
地方事情を	四
琉銀支店長の報告にみる	四
市町村財政調整交付金	四
割当基準決まる	四
第一期分八百六十余万円	四
行法委の中部地区	四
“軍用地” 視察報告書	四

嘉手納は全村の90%	四
市町村財政調整交付金	四
交付指令書発送	四
割当総額八百六十四万四千円	四

一九五三年（昭和28）

市町村人口と議員定数	四
民法に基く初の選挙	四
選挙期日きよう告示さる	四
農水産業振興に拍車	四
各産業助成金交付決定	四
農業改修費 五カ村発表	四
会期は今月一杯	四
注目の臨時議会開かる	四
各法案について説明	四
比嘉主席のメッセージ	四
特別職と一般職給与法案	四
委員付託で落付く	四
行政組織法は一読会続行	四
具志川村が公明選挙運動	四
登記所倉庫 各地に設置	四
中部産業共進会	四
褒賞授与式賑う	四
肥料代値下難色	四
きのう農協連臨時総会	四
立法院議員補欠選	四
言論戦の火蓋切る	四
野党連合、	四
御大連も駒を進めて応援へ	四
盛んな合同演説会	四
街や村に公明選挙運動	四
中部地区 公務員大会	四
天願氏、野党、圧倒的に勝つ	四
得票差実八千四百	四
住民の審判ここに下る	四
天願氏当選に異議	四
我然注目される二つの動き	四
波瀾万丈の告訴合戦	四
軍は破廉恥罪を是認	四

慎重を期す選挙管理委員会	五
絶対横領罪に非ず	五
天願朝行氏も声明	五
植民地化反対斗争委員会が	五
選挙権擁護大会	五
きようは具志川村、	五
あす那覇高校で	五
14カ月で2300万円	五
ドル交換の成績	五
天願事件 当時の模様	五
元SMP隊長大宜味氏が	五
語る 前後の事情	五
比嘉主席も近く調べ	五
中部選挙の告訴戦に絡み	五
長考九日	五
群島管理委が最後の断	五
天願氏の当選告示	五
破廉恥罪に該当せず	五
選挙委声明書	五
“全く疲れたよ”	五
安堵の胸なで下す	五
仲本群島選挙委員長	五
中部補選やり直し	五
5月31日に再選挙	五
ル准将が書簡で指示	五
“当選確認”の資格なし	五
群島選挙委に対する	五
ル准将の書簡	五
選挙無効の布令公布	五
再選挙日は五月三十一日	五
再び立法院議員選挙騒ぎ	五
きのう告示	五
産業復興貯蓄講演日程	五
禁止令、一般的に影響	五
業界は往生氣味	五
琉銀四月の弗交換率	五
オン・リミッツ近し	五

参謀次長一行が衛生視察
 まず中部地区・
 中部再選挙に社大党も
 公認候補出さぬ
 与党の出方みて
 非公認候補は準備
 軍用地 宙に迷う土地料
 抄らない地代受領
 軍用地使用料
 中部地区・大半支払
 あい次ぐ土地料
 来週スピード支払い
 那覇 水道は嬉しい見通し
 増水へ、施設の拡充工事
 地方財政 潤す交付金額決定
 総額二千九百八十八万円
 パチンコ一号登場
 弗交換高 十九万四千弗突破
 六月の成績最高額示す
 城間氏無投票で 中部選挙
 奥田候補きのう辞退届出
 塩の保護奨励策に製塩組合が
 専売公社設置要請
 天願―栄野比間道路再整備
 軍用地
 証言食い違う 法務局と
 委員長報告 予算委
 予算委 所有者不明土地管理
 特別会計予算審議
 政府道路認定案成る
 講和前・軍用地使用料
 三分の一は支払済
 具志川村、軍用地一部開放
 田畑所得予定標準率決る
 七級に区分全琉農家
 30%が免税
 講和前 軍用地
 10件政府と契約
 地方公務員の待遇調べ
 全琉平均、三〇七一元

最高那覇市 4436円
 最低与論 1410円
 軍用地料1830万円委託
 筆頭は那覇市の
 一五〇〇万円
 景気よく発足 安慶名商工会
 金武湾一周道路整備に関する
 立法 ◇工委に付託
 講和発効前の軍用地使用料
 地方財政を潤す
 一億四千万の中
 八千万円支払済
 稲熱病発生 具志川村恐慌
 アメリカへ移民使節
 要望事項まとめ近く派遣
 中央配電設立計画進む
 株募も極めて順調
 軍用地使用料
 各市町村へ支払開始
 水稻被害 統計部調査
 36%二万三千余石の減収
 早バツで一億四千万円消ゆ
 配電合戦よそに
 中央配電生れる
 五百余万円の
 軍用地使用料を委託
 講和後のリスト増える
 十月末で四六一二一九坪
 財政調整交付金配分額決る
 昨年より六割増
 半分は12月渡し
 総額四、七二八万円
 交付金配分額決定
 前年度より
 各市町村共約六割の増
 内政委 都市と地方に区別
 対象は実収を基準に
 興行税
 軍用地 米陸軍の政策に沿い
 軍更に十万七千坪開放

創業御挨拶
 一層近づいた本土
 中部復帰大会の叫びから
 一九五四年(昭和29)
 臨時外人登録きょうから
 指定の期日と場所
 洩れなく
 軍作業地帯に糖業熱
 具志川15トン工場の
 建設に着手
 総選挙は三月十四日ごろか
 出そろう噂さの顔
 各党 公認候補決定いそぐ
 糖業振興五カ年計画
 中部産研で協議会
 もり上る糖業熱
 具志川に十五トン工場
 初日で定員上回る
 きこのの届出39名
 目立つ新人の顔
 早くも激戦模様描く
 大島人の本登録日割り決まる
 三ツ巴の具志川
 村会開催要求など
 狂奏曲で聴衆集め
 立候補者一覧
 開票結果
 婆さんも乱舞 天願氏に凱歌
 開票後に拾う
 立法院けさ証書交付式
 早速開会対策協議
 区民便り 中部
 夏までに終夜灯
 ライカムと具志川に変電所
 石川市・具志川でも
 産業共進会

組合貯蓄共販講演会 九二
 財政交付金
 総額は三千八百万円
 新予算

今年度でいどで我慢 九三

市町村交付金 支払い開始
 本年度後期分千八百万 九三

土地料は毎年払いに
 値上を米大統領に陳情
 軍用地連合会評議員会で
 決定 九三

具志川でも12万坪開放 九四

安座間、伊集兩氏の一騎打
 具志川村長選挙 九四

受益面積八六三町歩
 来年度の土地改良で 九五

遅かりし「陳情」
 予算をネラってわんさ 九五

具志川村
 「まだまだ元気じゃ」
 農繁期にも出足快調 九五

伊集朝吉氏
 具志川村長に当選 九六

琉銀報告にみる
 農村経済に好転の兆
 だが漁村は依然不振 九六

公民館費割当決る
 百五十六カ所に十九万円 九七

安慶名九月までは点灯
 中央配電社 九七

軍用地総面積は
 一万七千三百町歩 九八

首里、具志川 豚疫予防注射
 市町村議員選挙 きょう告示
 (五八カ市町村) 九八

中部地区も配電工事進む
 越来、美里、具志川三村に
 一万二千灯計画 九八

半分以上が行政費
 今年度全市町村 九八

予算総額三億 九八
 民主党具志川に
 支部結成を準備 一〇〇

基地景気をおおる
 きょうから安慶名の商工祭 一〇二

安ヶ名商工祭で
 たくましい商魂発揮 一〇二

酪畜農業への転換期
 沖繩に初のミルク工場
 体位向上と農村振興の
 試金石 一〇二

新戸籍の調整へ
 十七市町村が一般に縦覧 一〇三

軍用地を開放
 那覇・真和志・越来等の
 一部 一〇三

食糧作物災害補助費
 市町村割当額決まる 一〇四

財政調整交付金
 配分率は七七・四％
 各市町村割当額決定 一〇四

荒ぶ地開拓対策に
 経済局長ら中部巡視 一〇五

経済振興の中部地区巡視
 役肉円牛に助成 一〇六

一頭に一千三百円 一〇六

民政府で詳細を検討
 経済振興計画成案を
 近く提出 一〇六

民法改正に実態調査
 立法院行法委が実施 一〇八

畜産復興への一大指針
 第一回畜産共進会幕開く 一〇八

一九五五年 (昭和30)

中央配電、点灯開始
 第二期工事で与勝方面にも
 土木事業助成 一〇九

百二十頭の豪州牛 一〇九

各市町村への割当決まる 一〇九
 第一回豪州牛 町村割当決定
 11日に120頭LCを開設
 次々と支払われる 軍用地料
 五日現在で千二百万円 一〇九

54年度分 一一〇

「村興し」モデル町村
 経済局、十五町村を内定 一一〇

不要建物使用許可
 具志川村から陳情 一一〇

沖繩本島の土地改良(3)
 総面積一千六百二十五町歩 一一二

軍用地訴願審理の日程決る
 具志川、読谷など 一一二

料亭の女たちに法の保護
 具志川料理屋組合が
 雇用契約 一一三

本土派遣の
 第二回産業開発隊員決る 一一三

軍向け鶏卵を一手に
 中部に養鶏組合 一一三

先ずダム建設を
 振興計画 具志川、
 勝連の部 一一三

家屋評価の開き大
 具志川村軍用地実地検証 一一四

D Eの評価を鋭く追及
 具志川軍用地
 牧野訴願代理人が 一一五

補助増額要望
 豚殺処分手当への 一一六

補償の適否が問題
 具志川軍用地
 地料訴願の最終弁論 一一六

後半期の財政調整金
 きょうから市町村へ交付 一一八

地域別の田畑標準率 一一九

飲料水タンクの設置
 具志川村が陳情 一一九

飲料水施設補助

具志川村仲嶺に．．．．．	二九
消費地が好成績	二九
・具志川村の産業共進会．	二九
経路不明の豚疫	二〇
具志川村に発生．．．．．	二〇
具志川村産業共進会．．．．	二〇
養豚振興に励む天願区	二〇
具志川村．．．．．	二〇
中部の金融事情緩和	二三
貯蓄性も向上辿る．．．．	二三
豚疫殺補償に一頭千二百円	二三
各町村別助成決る．．．．	二三
二十%台が三カ村も	二三
市町村徴税相変らず低調	二三
普及員だより	二三
△・模範的な豚飼育▽	二三
具志川村前原部落．．．．	二三
住宅調査 昨年末現在	二三
全琉で十四万二千戸	二三
全世帯数に比し二万戸不足	二三
だが空家も一千戸ある．．	二三
軍用地接収	二三
一万二千エーカーを予告	二三
北部東海岸山林の大半．．	二三
具志川、勝連、両村長へ説明	二四
経済局組合課	二四
施行予定の事業費．．．．	二四
施工予定の事業費．．．．	二四
施工予定の事業費．．．．	二四
施工予定の事業費．．．．	二四
施工予定の事業費 政府案	二五
施工予定事業費 政府案	二五
排水路復旧工事	二五
具志川川田が陳情．．．．	二五
軍用地特別委	二五
新接収予告地調査．．．．	二五
経工委 31カ所に割当	二五
農業施設費など六百万円	二五
軍用地料	二五
最高、嘉手納の18円(宅地)	二五

北・中・南部、	二六
各村まちまち．．．．．	二六
ハワイへ農業実習生六君	二六
十一日空路出発．．．．．	二六
排水工事を早く	二七
安慶名から陳情．．．．．	二七
施工場所決る	二七
農業施設・耕地護岸復旧	二七
中部地区の経済振興	二七
政府首脳と膝交えて懇談	二七
マリン隊と中部四村長ら懇談	二六
警察の機動力を増強	二六
中部にパト・カー重点配置	二六
〃未だに避難小屋暮しも〃	二六
軍用地調査団に備え	二六
立退部落など下検分．．．	二六
通訳ら軍用地を視察	二六
十七日から模擬応答．．	二六
軍用地解決委	二六
米調査団視察地を決定	二六
二日で伊江島など11カ所	二六
協組めぐり(18)具志川村	二六
振わない「組合」活動	二六
信協全くの有名無実．．	二六
滞在延長遂に実現せず	二六
きょう四班に分かれ	二六
最後の視察．．．．．	二六
調査団二日目の現地視察	二六
〃地料調整案を出す〃	二六
ノーブラッド議員談．．	二六
第二回青年開発隊合格者	二六
軍人の扶助料請求事務	二六
三割余が書類不備．．．	二六
基地の治安を確立	二六
増員二百 警察の	二六
新定員決まる．．．．．	二六
前原署管轄の変更	二六
地元側から反対陳情．．	二六
低い市町村職員員の平均給	二六
政府職員と	二六

一千十一円の開き．．．．	三五
海兵隊 琉球人だけを雇用	三五
具志川・北中城の坪 調査	三六
具志川でも稲坪刈審査	三六
財政交付金の配分決る	三六
総額は5千万円	三六
基準交付額の九〇%	三六
今月初旬に前期分交付	三六
賑う商工祭 安ケ名．．	三六
安ケ名商工祭 盛況裏に幕	三六
水稻採種圃に補助．．．	三六
財政交付金 きのうから交付	三六
〃早く最低賃金制を〃	三六
具志川でも労働問題懇談会	三六
油脂 繁昌するスタンド業	三六
中部のオフ・リミッツ	三六
九六軒が解禁．．．．．	三六
百トン製糖工場設置を計画	三六
具志川・勝連・与那城	三六
一九五六年(昭和31)	三六
前原琉銀支店 きょう落成式	三六
農業所得算定の基礎資料に	三六
二月十五日から	三六
農村物価賃金調査．．	三六
具志川村で畜産講習会	三六
宇堅の接収に	三六
具志川村が中止陳情．．	三六
指定苗畑の樹苗	三六
養成に補助金86万円	三六
マリン隊移動	三六
登川部隊は瑞慶覧へ	三六
出揃った噂の顔ぶれ	三六
各派公認の決定今週がヤマ	三六
暗 豚生体値下落を嘆く	三六
子供の晴着もやつと	三六
具志川村．．．．．	三六
糖業振興へ力こぶ 具志川村	三六
蔗作畑の増大よびかけ	三六

演習に十二カ所を	．．．．．	一四
堆肥舎に補助	．．．．．	一四
選挙運動費用	．．．．．	一四
各区の制限額発表	．．．．．	一四
蔗苗需給調整補助	．．．．．	一四
組合貯蓄極めて良好	．．．．．	一四
組合員の協同意識も強固	．．．．．	一四
宜野湾・具志川・読谷	．．．．．	一四
大宜味各村	．．．．．	一四
市町村緊急工事	．．．．．	一四
具志川、与那城の分入札	．．．．．	一四
甘藷採種ほに増産奨励補助	．．．．．	一四
耕作の継続を	．．．．．	一四
具志川軍用地に陳情	．．．．．	一四
天願の軍用地耕作	．．．．．	一四
具志川村長が善処を要望	．．．．．	一四
第一相銀安慶名出張所	．．．．．	一四
設置認可	．．．．．	一四
畜牛生産に奨励金	．．．．．	一四
36億円のマリン兵舎	．．．．．	一四
金武と天願に今秋着工	．．．．．	一四
市町村財政調整交付金の後期分	．．．．．	一四
1500万円を29日に交付	．．．．．	一四
残額1000万円は	．．．．．	一四
民政府承認後に	．．．．．	一四
立法院議員の当選証書交付	．．．．．	一四
前原署管内に四派出所新設	．．．．．	一四
オフリミツ解禁祝い	．．．．．	一四
具志川村平良川祝賀会	．．．．．	一四
大賑わい	．．．．．	一四
中部で青A突風騒ぎ	．．．．．	一四
MPに数十軒が	．．．．．	一四
営業停止食わさる	．．．．．	一四
条件つきで許可	．．．．．	一四
天願通信隊要地内の耕作	．．．．．	一四
農薬購入補助金	．．．．．	一五
立退補償請求	．．．．．	一五
具志川村昆布の墓	．．．．．	一五
全琉で八千九百万円	．．．．．	一五
今年度土木工事への	．．．．．	一五

政府補助	．．．．．	一五
三日から交付始める	．．．．．	一五
保留の財政交付金	．．．．．	一五
一千万円	．．．．．	一五
軍用地開放	．．．．．	一五
山下町など一万坪	．．．．．	一五
特別補助の緊急工事	．．．．．	一五
政府工事施工箇所発表	．．．．．	一五
三和相互銀行	．．．．．	一五
前原出張所認可	．．．．．	一五
水道事業費へ補助	．．．．．	一五
三町村に交付決定	．．．．．	一五
天願の農作物撤去を通知	．．．．．	一五
金武湾で演習	．．．．．	一五
ふえた出品	具志川村共進会	一五
具志川村の共進会賑う	．．．．．	一五
軍用地の賃貸契約	．．．．．	一五
今度は布令91号で	．．．．．	一五
宜野湾など十二カ町村に	．．．．．	一五
肉豚の輸出	具志川村が要請	一五
畜産熱を高揚	天願区共進会	一五
四つの派出所新設	．．．．．	一五
基地犯罪に備える前原署	．．．．．	一五
軍用地の開放	二七万三千坪	一五
過去五カ月間に	．．．．．	一五
臨時国勢調査	．．．．．	一五
55年12月1日現在	．．．．．	一五
確定人口八十万一千六十五人	．．．．．	一五
五年前より十万二千増	．．．．．	一五
軍用地八万四百坪	．．．．．	一五
具志川など九月に開放	．．．．．	一五
軍用地七万七千坪開放	．．．．．	一五
具志川村川崎	．．．．．	一五
きょうから	．．．．．	一五
無期限オフ・リミツツ設定	．．．．．	一五
中部地区を締め出す	．．．．．	一五
米三軍が全要員に通告	．．．．．	一五
具志川に第二製糖場	農連総会	一五
今年度事業計画決定	．．．．．	一五
軍用地収用の告知	．．．．．	一五

新規接収との関連質す	．．．．．	一五
軍用地の開放	．．．．．	一五
一月以降四一万坪	．．．．．	一五
具志川村役所の位置を許可	．．．．．	一五
具志川、嘉手納両村も	．．．．．	一五
声明発表	．．．．．	一五
解禁を陳情	．．．．．	一五
取残された具志川など	．．．．．	一五
二万八千坪を開放	．．．．．	一五
具志川村コンブの軍用地	．．．．．	一六
具志川村字昆布	．．．．．	一六
二万八千坪開放	．．．．．	一六
農連第二工場敷地埋立開始	．．．．．	一六
43万坪開放	一月以降	一六
十月には具志川の三万坪も	．．．．．	一六
具志川村江洲	．．．．．	一六
正式に収用宣告書	．．．．．	一六
土地の復元補償	．．．．．	一六
具志川村が陳情	．．．．．	一六
軍用地 48万坪が開放	．．．．．	一六
一月から十月まで	．．．．．	一六
農作物撤去の指示	．．．．．	一六
軍から平良川区の	．．．．．	一六
五エーカー	．．．．．	一六
具志川村の土地復元の補償	．．．．．	一六
民政府に申請	．．．．．	一六
土地復元補償請求	．．．．．	一六
政府が民府へ進達	．．．．．	一六
軍用地訴訟審理費補助	．．．．．	一六
発展する平良川	．．．．．	一六
きょう商工会を結成	．．．．．	一六
基地の中の農業(20)具志川村	．．．．．	一六
残飯で全琉一の養豚	．．．．．	一六
五年後には軍作業頼らぬ	．．．．．	一六
財政交付金割当決る	．．．．．	一六
総額五千六百万円	．．．．．	一六
前半期分は12月に交付	．．．．．	一六
全島角力で賑う	．．．．．	一六
安ゲ名の商工祭	．．．．．	一六
農漁村に食糧資金融資	．．．．．	一六

民政府6千7百万円を支出
貸付期限は一カ年
一戸当最高は二千五百円： 一六六

一九五七年（昭和32）

中金 緊急食料購入資金
農漁村への貸出し開始： 一六七
航路障害物の撤去
具志川村、工交局に陳情： 一六七
軍特別援助の執行状況
殆ど使いつくす
経済局関係一億余円： 一六八
貧しき人々へ贈物
那覇市が旧正迎春の心遣い： 一六八
民有林振興補助金支出： 一六九
市町村土木費補助： 一六九
種馬鈴薯再割当： 一六九
堆肥舎設置補助
市町村配分決定： 一六九
沖銀安慶名支店
三月一日に開店： 一六九
地方交付金支払い
総額二千八百万円： 一七〇
七地区に農業施設復旧補助： 一七〇
七面島でドル稼ぎ
具志川村に高まる飼育熱： 一七〇
一家支えた細うで
「未亡人白書」まとまる： 一七一
移住資金 市町村割当額決る
総額三千七百万円： 一七二
荒ぶ地解消補助金： 一七二
耕地の復元を
具志川・西原村が陳情： 一七三
老朽の具志川村役所
民間銀行融資で新築を計画： 一七三
戦前のキビ王国へ
産糖に本腰入れる具志川： 一七三
一位に兼箇段区
具志川村の産業共進会： 一七四

庁舎新築費の起債に許可指令
具志川村： 一七五
宮城、川崎の
バス停留所設置許可： 一七五
ナイキ設置場所発表： 一七五
具志川村で失対事業十三万円： 一七五
道路潰地の補償 中城、
具志川への支払額通告： 一七六
具志川村 鉄筋の村役所
二百五十万円で建築： 一七六
軍道路の潰地地料を支払う
具志川と中城： 一七六
移住資金から三市村に補助金
ナイキ基地設定か
十二カ村（35万坪）に
緊急収用令： 一七六
具志川村に定期賃借権： 一七六
失業対策 事業場巡り（13）： 一七六
余りにも異例の措置
「緊急収用令」に政府照会： 一七六
一括払い既に四百万坪
補償額、十一億三千万円： 一七六
各市町村へ樹苗養成補助： 一七六
種牝牛購入に政府が補助金： 一七六
自力で百五十坪の庁舎
納税成績のいい具志川村： 一七六
失業救済の道路工事
具志川村直営で推進： 一七六
具志川村兼力段
産業共進会盛況： 一七六
具志川村
平良川区の産業共進会： 一七六
土建ブームが再来
12億のナイキ基地工事で： 一七六
八号（安慶名―大田）線の
バス運行 従前通り希望： 一七六
具志川村の陳情： 一七六
具志川村
栄野比区の産業共進会： 一七六
農業購入への補助配分決る： 一七六

自給肥料増産に
各市町村へ奨励補助金： 一七八
軍電柱配線地の
使用料支払い陳情： 一七八
ナイキ基地
賛、否二つの声が・
小作人と商人に喜びの表情： 一七八
軍用潰地補償
具志川昆布区の一部： 一七八
純系種養豚で村興し 具志川村
赤納養豚組合で
平均三頭飼育： 一七八
地方自治強化の第一歩
第一期分の交付税決まる
一千九百万円
きょう交付開始： 一七八
復元補償費47万円
具志川村昆布三万坪： 一七八
具志川支店開店祝賀会
沖相銀： 一七八
税金完納運動を展開
前原地区で九月から実施： 一七八
失対事業 那覇など五カ市村で
26日から延二千二百人雇用： 一七八
合格者25名 第六回開発青年隊
第一次合格者発表： 一七八
街から村から 中部地区の
冷凍業者衛生講習： 一七八
具志川と読谷に収用告知書： 一七八
明暗二つの表情の
ナイキ基地接収
「絶対反対」も腰くだけ
生活補償訴える
弱い立場の地主たち： 一七八
五年賃借の一年払い
ナイキ基地に取得告知書： 一七八
失対事業始まる
適格者どつと押しかく： 一七八
具志川村喜屋武 三百坪収用： 一七八
定期賃借権の収用宣告三件： 一七八

ナイキ基地の予定地	一九〇
新規接収の分は	一九〇
耕地三二・五エーカー	一九〇
区民は大歓迎	一九〇
昆布の土地接収	一九一
集荷消毒場を設置	一九一
軍向け清浄蔬菜の	一九二
十五日までに明渡要求	一九二
具志川・石川のナイキ基地	一九二
軍用地内の墓、新築補償請求	一九二
勝連半島のバス路線増設を	一九二
陳情	一九二
移住資金の支出、民政府に	一九二
要請	一九三
天願送信所起工式	一九三
金武湾区が簡易水道施設	一九三
接収地域明確化	一九三
石川・具志川ナイキ基地に	一九三
告知改定出る	一九三
ナイキ基地接収終る	一九四
増える求人 ナイキ工事	一九四
ガードなど三十人	一九四
食料難の部落へ救援食料	一九四
具志川村が災害援助に感謝	一九四
ナイキの基礎工事続行	一九四
具志川村庁舎	一九五
落成祝賀会賑わう	一九五
軍用地補償改訂書届く	一九六
ナイキ基地の収用	一九六
石川、具志川など	一九六
電話架設を、具志川村陳情	一九六
安慶名給油所、26日から開業	一九六
具志川村へ追加補助	一九七
中部もパイン栽培熱	一九七
苗不足、樹木乱伐の悩みも	一九七
定期賃借権の自由契約申込み	一九七
具志川村昆布	一九七
安慶名排水路復旧に	一九七
移住資金から補助	一九八
平良川の商工祭	一九八

演芸会や角力で大賑わい	一九八
市町村交付税配分決る	一九八
三回目、総額一千九百万円	一九八
島産ウイスキー	一九八
具志川村泰石社が	一九九
昆布のレート・パイル	一九九
政府が撤去許可を促進	二〇〇
具志川村に新道路	二〇〇
具志川村農協	二〇〇
農村景気で活況	二〇〇
収用宣告改訂	二〇〇
具志川昆布軍用地	二〇〇
一九五八年（昭和33）	
失対事業に補助	二〇一
特産品めぐり	二〇一
将来は五万丁	二〇一
黒糖王国の具志川村	二〇一
昆布の軍用地開放を通告	二〇一
一括払いを狙う市銀 中部	二〇一
資金獲得戦に迷う地主	二〇一
立法院 総選挙三月十六日に	二〇一
軍用地料、見舞金	二〇一
三千四百万円 具志川	二〇三
一括払いは受取らぬ	二〇三
ナイキ基地中部の表情	二〇三
今晩射撃演習	二〇三
八高射砲陣地が一斉に	二〇四
具志川の簡易水道近く着工	二〇四
朝鮮向けに20万円	二〇四
高江洲区蔬菜を大量出荷	二〇四
軍向け野菜の出荷	二〇四
百五十万円は十分	二〇四
具志川 特飲業者なだれ込む	二〇四
民連支部の結成準備会	二〇五
時局批判演説会に	二〇五
政府補助金	二〇五
具志川 五百坪を開放	二〇五
軍用地一万七千坪開放	二〇五

具志川	二〇六
軍用地を開放	二〇六
具志川村 村で消防車を買う	二〇六
使えぬ三輪消防車返納	二〇六
豊原―平良川の道路開通	二〇六
農作物の出荷に拍車 部落民	二〇六
悲願がかなったと大喜び	二〇七
街から村から	二〇七
豚410頭をペロリ	二〇七
具志川村の旧正消費量	二〇八
未亡人に希望与える	二〇八
具志川で編物講習会	二〇八
バス停留所の増設	二〇八
具志川村が陳情	二〇九
限定付土地保有権	二〇九
中部一帯収用宣告	二〇九
バーが五百軒も 中部	二〇九
過半数はコザ市に集中	二〇九
立法院議員、当選人告示	二〇九
二千余坪の土地を競売	二〇九
具志川村	二〇九
陸稲栽培で好成绩	二〇九
具志川村が奨励金出す	二〇九
復金が四千万円融資	二〇九
具志川の分蜜工場	二〇九
農連、十五日ごろ着工	二〇九
具志川村の村長選挙	二〇九
五月十八日	二〇九
250トの分蜜糖工場	二〇九
具志川村川田で起工式	二〇九
質屋、古物商総会	二〇九
前原署管内の	二〇九
盛況の具志川村共進会	二〇九
生活改善グループが	二〇九
積極参加	二〇九
街から村から	二〇九
労働組合を結成	二〇九
具志川村役所職員	二〇九
失対事業開始 具志川村が	二〇九
街から村から	二〇九

具志川村長選挙	立候補届出開始	三三
街から村から	具志川村昆布	三四
近く村道着工	具志川村昆布	三五
盛んな養豚業		
具志川村宮古へ種豚初移出		三五
優良種種豚	具志川は全琉一	
上野村が種豚買付けに		三五
村長選挙を終つて	具志川村	
立法院以上の激戦		
選挙費用は村始まつて以来		三五
安慶名市場	一般に不景気	
卵は値上り気味		
青物値は下る		三六
市町村へ特別交付税		
総額で七百四十万円		三七
具志川村の宇堅橋		
改築架橋工事着工		三七
定期昇給など申し入れ		
泰石社労組		三八
恩給請求等の最終調査		三八
具志川村定例議会		
助役・収入役の再任可決		三八
具志川村		
各区に耕運機与える		
産業共進会やめ		三九
その費用で		三九
鶏糞肥料で地力培養		
具志川村田場に工場建設		三九
甘蔗に害虫発生		
具志川村防除に大わらわ		三〇
軍用地を開放		
中部の四万余坪		三三
経済局 新年度の補助金		三三
消防組織を強化	具志川村	三三
一日から常備員設置		三三
陸軍が交通信号灯		三三
19カ所を決定きのう発表		三三
中部でもイン実る		三三
施肥手入、年二回で十分		三三

軍が意向表明		
仲原部落の建築違反問題		三三
具志川村の失対事業		三三
具志川村議選挙		三三
八月二十六日から届出		三三
奨励品種の適期植付		
具志川村が啓蒙宣伝		三四
立ち上る零細農家		
農家経営の改革に乗り出す		三四
軌道に乗る水源開発		
天願・嘉手納を中心に		
基礎調査にのり出す		三五
具志川村で綿花栽培		
ハワイから種をとりよせ		三六
軍用地料の支払い始める		三六
交安協会に補助金		
具志川、勝連、		
与那城三村が		三七
盆用品売れゆき悪い		
中部各商店街の不景気打診		三七
候補者は30人前後		
具志川村会議員選挙		三六
ボーナス要求で団交	泰石社	三六
深刻化する干害		
具志川、勝連半島の		
水田全滅		三九
もみ続く泰石スト		三九
泰石争議妥決		三九
夏季手当六割支給		三九
養豚熱なくなる		三九
豚価値下がり	具志川村	三九
なくなるドル交換所		
通貨切替え後に来るもの		三九
複雑な基地周辺の表情		三九
農連の第二製糖工場		
具志川村川田に近く完成		三九
具志川村失対事業		三九
九日から		
道路補修工事始まる		三九
きよう地方議員選挙		三九

本島は十七市町村で投票		三三
地方議員当選者		三三
市町村の新予算(2)		
具志川村 総額八百六十一万円		
産業(農業) 振興に力をいれる		三三
三百十五万円は政府から		三三
25日当選証書交付		
具志川村新議員		三四
畜舎補助に一万余ドル		三四
具志川村議長に富川盛得氏		三五
干害百万ドルこえる		三五
具志川村 コブノメイガ虫発生		三五
弱り目にたたり目の稲		
集まらない村税に悲鳴		
不況にあえぐ中部農村		三六
開拓を招く移住地		
石川、具志川、金武		三七
中部に独立映画社		三七
土地改良熱高まり		
具志川村で組合結成を推進		三六
労組めぐり(14) 泰石労組		三六
向上した労働条件		
退職金や定期昇給規定		三六
経営に目ざめる農村		
台風など農業上の		
災害には融資		
具志川で農改組合誕生		四〇
具志川村 農業の機械化へ		
土地改良区画整理組合		四〇
水道公社出現に		
とまどう具志川村		四二
土地問題はまだ残っている		
具志川村天願に		
あやふやな凶面		
耕作も軍用地料も		
両手に花のボロイ地主が24人		四三
その反対の地主は14人		四三
無地番地代で紛糾 具志川村		四四
地方交付税配分額決まる		四四
総額で七十一万ドル		四四

具志川村

つぎつぎ生れる

農業改良組合

農協のぐりやくを末端まで 二五五

二十九日から操業

具志川の農連製糖工場 二五五

街は水兵で大賑わい

第七艦隊

ホワイトビーチに入港 二四六

低姿勢から「安全の策」へ

金融窓口から見た中部の不況

注目される定期預金熱 二四六

農・信協の一本化

具志川村が熱心に研究 二四七

「農連第二工場」完成

26日から操業

きよう盛大に落成式 二四六

具志川村が慰霊塔建設を計画 二四六

キビ作年々盛んに

耕運機入れた具志川村 二四九

「無地番地料」おちつく

具志川村臨時議会、

更正予算可決

青年会へ四百ドル補助 二五〇

一九五九年(昭和34)

牛の飼育を奨励 軍向け

肉牛めざし 具志川村 二五〇

具志川村役所の職務会 二五〇

キビをもてあます

安売りする具志川の農家 二五一

具志川村が商工会結成 二五三

具志川村 二つの商工会が合体

フリーゾーンにそなえ 二五三

誘致したい「自由貿易地域」

金武湾 周辺の六市村が

積極策 二五三

零細農家から脱皮

末端農業改良組合を強化

農法、経営は組合を通して

具志川村 二五三

区民の九割が山の中

具志川村昆布区が開発陳情 二五四

水田四、五町危い 具志川村

ガソリンタンクがこわれて 二五四

具志川村が慰霊塔 二五五

具志川でバンザクロはやる 二五五

被害水田の補償を陳情 二五五

一万本の木麻黄植樹 二五五

22万七千ドル

市町村交付税通知 二五六

70日で一万二百余トン

農連第二製糖工場

キビの搬入終える 二五六

受取らない軍用地代

十三万九千ドル

供託期限切れも 二五七

パイン折衝団、外相と会う

「熟慮の上措置したい」

外相、関係省との

討議を約す 二五七

キビ作向上目指す 具志川村

増産対策協支部の動き 二五六

期待はずれの艦隊ブーム 二五六

北部の農業視察

具志川村の指導者たち 二五六

道路、水道助成 二五九

前原地区、米琉親善委 二五九

自由貿易港金武湾誘致

足ぶみの促進運動 二五九

政府の態度がぐらつき 二五九

村公民館を結成

具志川村が初の試み 二六〇

残飯下げは困難

中部の陳情にマリン隊回答 二六一

市町村 新年度予算案の審議へ

水道事業に着手 具志川 二六一

中部各市村の新年度予算案 二六一

新年度予算審議始まる

具志川 二六二

具志川村各区共進会の日程 二六二

具志川 市町村の新年度予算案⑨

上水道の調査に着手 二六三

大きな痛手、屠畜税の廃止 二六三

残飯を村と学校に

キャンブパトラー

与勝四村へ取扱権 二六四

16日から失対事業開始 二六四

具志川村の慰霊塔完成 二六四

軍用地料

きようから支払い開始

旧盆までに二百万ドル 二六五

農家の意欲高める

部落単位の共進会で 二六五

具志川村

立直る養鶏業 二六五

苦しかった一年間の不振

卵の値上りで持直す 二六六

農業で村興し、具志川村

戦前の沖繩一農村目ざす

村当局も荒地解消に 二六七

一万八千余ドルの追加

具志川村議会が予算審議 二六八

返された軍用地

殆んど黙認耕作地 二六八

地主たちは案外暗い顔 二六八

水源獲得に問題点

具志川村水道設置へ 二六九

具志川村臨時議会 二六九

総額で24万ドル

市町村交付税、二次交付 二七〇

具志川公民館の総会開く 二七〇

これではきれいになるはずが

お粗末な環境衛生費 二七〇

一人当り一円もない村が 二七〇

退職金条例は否決

具志川村定例会議終る 二七一

勤労奉仕で災害復旧へ

具志川村

三千六百ドル計上	二七
市町村交付税の配分決まる	二七
農連第二工場原料	二七
キビ買付価格発表	二七
モ一君のコンクール	二七
琉糖・琉農連製糖を開始	二七
キビの搬入は好調	二七
だが、歩留りは低い	二七
軍用地料支払い	二七
六月までに二、一五〇万ドル	二七
失対事業大幅に拡大	二七
一月から六十一市町村で	二七
地方の予算 具志川村	二七
米軍射撃演習	二七
一九六〇年（昭和35）	
具志川村 着々整備される農道	二七
キビ増産に貢献	二七
自己財源で	二七
失対事業13日から実施	二七
キビ価額安定など	二七
政府首脳に申入れ 具志川、	二七
石川行政視察懇談会	二七
各市町村今年の課題 具志川村	二七
農村経済の堅実化	二七
上水道の完備など四項目	二七
部落ぐるみの農業研究	二七
具志川村	二七
発足一年の農業改良組合	二七
植付講習や種子の共同購入	二七
豚価下落の対応策も	二七
公民館活動で村づくり	二七
一年目迎えた具志川公民館	二七
生改センターとして活躍	二七
図書館蔵書も千余冊	二七
市町村合併問題	二七
審議会試案の反響をきく	二七
高校卒につめたい就職の門	二七

就職者は91名だけ	二八
コザ職安調べ	二八
職安に押しかける新卒生	二八
選挙法改正委員会案成る	二八
きのう採決で結論出す	二八
全琉を八選挙区に区割り	二八
いよいよ民政府との折衝へ	二八
赤野橋改築に	二八
弁務官資金二千ドル	二八
具志川村が村営水道計画	二八
試掘で自己水源開発	二八
長年の水の悩み解消へ	二八
Q M パン焼機贈る	二八
喜びの具志川村営パン工場	二八
金武湾の水道に	二八
弁務官資金二千ドル	二八
中部にもパン工場	二八
高まる栽培熱に	二八
業者が設立準備	二八
全琉を25の自治体に再編成	二八
市町村合併計画案成る	二八
審議会 答申案を決定	二八
コザなど六市村も統合	二八
サイロ養豚の指導開始	二八
具志川	二八
行悩む天願川ダム計画	二八
潰地と経費負担で	二八
一部地主反対	二八
弁務官資金で簡易水道	二八
金武湾区が計画	二八
たかまる天願部落の養豚熱	二八
“基地依存”脱却の機運	二八
商店のサービス向上 具志川村	二八
商工会と公民館が	二八
具志川村臨時議会	二八
稲の敵マグロヨコバイ発生	二八
部落あげて共同駆除	二八
具志川	二八
産糖昨年の二倍	二八
具志川の農連第二工場	二八

だが台風で品質低下	二九
六部落を試験的に	二九
具志川 サイロ養豚を普及	二九
村営のパン工場落成	二九
総工費二万ドル	二九
一日二万个製造	二九
部落でドラム缶一杯 具志川の	二九
アフリカマイマイ駆除	二九
具志川に水道設置	二九
新年度予算案の構想	二九
中部市町村の編成すすむ	二九
職員給を一割アップ	二九
各種団体への分担金を削減	二九
全部落に電話設置	二九
準備すすめる具志川村	二九
具志川 キビの害虫発生	二九
道路、水道工事の援助	二九
ブース弁務官	二九
具志川村視察に要請	二九
具志川村の植樹状況も視察	二九
村長の説明きく	二九
天願ダム計画に曙光	二九
弁務官が再検討を約束	二九
具志川村に建設課	二九
村づくりに大はりきり	二九
火事には三村が出動	二九
前原地区消防連絡会生まる	二九
これからの1年間	二九
市町村の新年度予算案	二九
具志川村 農業中心に村作り	二九
マイマイ退治費も登場	二九
五万本を植える	二九
具志川村の植樹	二九
前原署が女給さん集めて	二九
防犯懇談会	二九
地方の新年度予算	二九
各市村とも大幅の増	二九
社会労働費の充実目だつ	二九
中部の各市町村	二九
軒並みにベースアップ	二九

一割昇給申合わす
 市町村会・・・二九七
 試験飼育に成果 具志川村
 サイロ養豚に本腰・・・二九七
 具志川村が農民祭・・・二九八
 具志川村建設課を新設・・・二九八
 具志川消防庁舎新築・・・二九八
 具志川村の部落共進会
 殆んどおわる・・・二九九
 集団就職者の研修会
 具志川村が希望者集めて・・・二九九
 金武湾に簡易水道・・・三〇〇
 具志川村の新年度予算きまる・・・三〇〇
 市町村へ二十四万^{ドル}
 六一年度の第一回概算交付・・・三〇一
 選挙人名簿縦覧
 具志川村が二十六日から・・・三〇二
 具志川商工会総会・・・三〇二
 消火栓の設置を要望 具志川、
 与勝三村が民政府に・・・三〇二
 風俗営業者の懇談会
 前原署が管内の業者を集め・・・三〇二
 青少年不良化防止に
 前原署映画業者に協力求む・・・三〇二
 馬鈴薯の大量生産へ
 具志川村農協が種用を注文・・・三〇三
 具志川村
 平均納税徴収率九二％
 戦後最高の優良成績・・・三〇三
 各党候補人選を急ぐ
 十一月総選挙
 自民 党内調整今週中に
 社大 残る地区にメドつける・・・三〇四
 道路補修に三千^{ドル}
 赤道区に弁務官資金・・・三〇四
 役所と部落を連結 具志川村
 村内に農村電話お目見え
 辺地の悩みをこれで解消・・・三〇四
 二か月ぶりに復活
 中部五市村の失対事業・・・三〇五

パイン栽培に力こぶ 具志川
 山地開発にのり出す・・・三〇六
 立候補予定される顔ぶれ
 十一月総選挙・・・三〇六
 発展する具志川商工会
 きょう盛大な商工まつり・・・三〇六
 病害虫が異常発生 具志川村・・・三〇七
 事態、急速調で進む
 十一月総選挙・・・三〇八
 中部にパイン工場
 五年後に八万ケース生産・・・三〇八
 十五カ村に
 病害虫防除資材購入補助・・・三〇九
 キビ買上げに大童
 農連第二製糖工場
 あの手この手のサーブスで・・・三〇九
 サイレージに力こぶ
 具志川村の養豚農家・・・三〇九
 軍用地料景気のぞく
 ホクホク顔は一部だけ・・・三一〇
 メンガ虫が異常発生
 具志川、駆除に大わらわ・・・三一〇
 全部落が百％の納税
 具志川村の固定資産税・・・三一三
 自肅を申し合わせ
 具志川で三候補立会演説・・・三一四
 六千五百頭
 具志川村内の養豚・・・三一四
 具志川農協と
 農信協の合併認可さる・・・三一五
 具志川で合同演説会・・・三一五
 総選挙 早くも終盤戦の様相
 必死の攻防戦展開
 優劣の差やや開く
 届け出、きょうしめ切る・・・三一五
 投票率（14日午前0時現在）・・・三一五
 自民党、絶対過半数を制する
 北部、中部でも圧勝
 社大、人民意外に伸びず・・・三一六
 当選者の顔ぶれ・・・三一六

沖繩の企業②ヒューム管
 建築土木工事に寄与
 民需の増大に期待・・・三七
 名産パトロール（19）具志川村
 ソテツの実人形
 東京の三越にも進出
 戦後のニューフェース・・・三七
 中部の製糖 戦後最高の生産
 単収増加が今後の課題・・・三八
 当選証書の交付式
 あす立法院委員会室で・・・三九
 市町村交付税決まる
 総額九十七万七千三十^{ドル}・・・三〇
 工場設立認可を陳情
 中部 有望なパイン栽培・・・三〇
 待望の自動式電話
 具志川、嘉手納
 来年の三月から開通・・・三一
 中部にパイン工場を
 三村の生産者が申請・・・三一
 本土就職希望者を合宿訓練・・・三一
 本土就職希望者を合宿訓練
 一週間みっちり
 電話のかけ方など指導
 具志川公民館・・・三四
 定例議会おわる 具志川村・・・三五

一九六一年（昭和36）

水道いよいよ実現へ 具志川
 中心部落から給水計画・・・三五
 中部食品の認可促進を要望・・・三六
 海兵隊の援助で完成
 具志川村の議会庁舎・・・三六
 災害復旧工事きまる
 港湾、道路など百余件・・・三七
 中部にパイン工場を
 生産者も設立実現に動く・・・三八
 本格的にのり出す ひろがる
 葉たばこ栽培 中部・・・三八

〃畑が使えなくなる”
具志川で騒ぎ 三三九
海岸の砂を売られては 三三九
旧正への動き活発
中部商店街
苦肉の商戦あの手この手 三三九
オフリミッツ 緩和を陳情
中部地区
市町村議会議長会 三三〇
旧正景気の中中部商店街
賑う近隣農家の人出
役所は
休日返上で地料支払い 三三〇
具志川局の新庁舎完成 三三一
川崎マリン隊と
〃ハローハロー”
前原署に直通電話
早くなる消火や急患輸送 三三一
すでに二千九百ト
具志川の農連第二製糖工場
キビ代43万ト放出 三三三
農営の共同化図る 具志川村 三三三
沿線を緑で包む
具志川村の植樹計画すすむ 三三四
安定してきた養鶏業
年四万ト以上かせぐ
ケージ使用、鶏舎も能率的
具志川 三三五
具志川、自動電話へ 四月から
度数制は適用しない 三三六
具志川の消防庁舎完成 三三六
アロハロハ栽培に成功
新しい養豚飼料
具志川村赤納区
原産はアメリカの牧草 三三七
新築した具志川報話局 三三八
にぎやかに落成式 具志川村
消防舎屋と議会庁舎 三三八
きょうから開局
新築の具志川報話局 三三九

弁務官初の地方視察
具志川村で村長らと懇談 三三九
上水道問題を検討
具志川村の定例議会終る 三三〇
軌道に乗る営農相談所
具志川 害虫駆除など質問
考える農民をめざす 三三〇
具志川、読谷村の議員が
本土視察に出発 三三二
米軍がブルドーザー貸す
具志川 キビ畑の農道作り 三三二
すさまじいパイン熱 中部地区
すでに千々の栽培計画
栄野比では工場建設急ぐ 三三二
初の村民まつり
具志川村が来月14日に 三三三
最高十一万三千ト
農連第二製糖工場
原料搬入優良者表彰 三三三
古物業者の指導
取り締まり強化 三三四
〃交付税法の改正”成案
軍用地料、基準収入に
62年度普通交付税
12万5千トの弾力
改正には賛否両論も 三三四
村吏員給与引き上げ
中部市町村会が
来年から実施 三三五
新年度予算の方向 中部市村
産業振興に力入れる
キビ作奨励を重点目標に 三三六
甘藷バイラスが発生
集団駆除に乗り出す 三三七
画期的な町づくりへ 具志川村
都計に本腰入れる 三三七
具志川村の水道
開金融資決まる 三三八
議員が日当を辞退
土木・産業費に当てる

具志川村議会 三三九
具志川に敷地変更か
沖縄紡織の染色工場 三三九
具志川村に待望の水道
開銀、長期融資を認可
あす第一期工事の入札 三三九
具志川村、紡織工場設立を支援
雇用拡大と財源獲得
敷地を無料提供、
株にも協力 三三〇
マリン隊が契約希望
沖縄業者から物資購入 三三五
盆までに90ト支払う
軍用地料
61年分と8年前払い 三三五
来週から交付 市町村交付税
一・四半期分29万三千余ト 三三五
中部に初のパイン工場
具志川栄野比に完成
二十五日から操業はじめる 三三五
軍用地料支払い
九月の予定決る 三三五
軍用地料支払う
具志川で六〇、七六二ドル 三三五
具志川に新しい製糖工場
目標は五百トの施設
村有志が中部一円に
働きかけ 三三五
〃新設の可能性ない”
具志川の製糖工場
経済局の見解 三三六
あの町この村 具志川村 三三六
中部でもパイ罐製造
一日に七〇ケースを生産 三三五
11月までに地ならし 具志川村
沖縄紡織の染色工場 三三五
工場紛争、中部へ 大型製糖
増設の農連と対立
具志川製糖の五百ト新設 三三五

農連、第二製糖工場の増設申請急ぐ	三五六
対立する具志川の二つの製糖工場	三五六
農連が署名運動始む	三五六
新設工場側も強硬な態度	三五六
十九万ドルへ	三五六
具志川村の新年度予算	三五六
第二工場千トへ増設	三五六
農連きのう臨時総会で決議	三五六
町から村から 具志川	三五六
具志川農協青年部が結成	三五六
具志川村で水道工事	三五六
十二月一杯で完工予定	三五六
農林水産倉庫業	三五六
具志川農協が申請	三五六
生産総量は五万ト	三五六
農連第二製糖工場	三五六
操業を始める	三五六
山地開発に「待った」	三五六
具志川村	三五六
軍から中止の示達	三五六
62年度交付税決まる	三五六
市町村の配分	三五六
前年より16万ドルの増加	三五六
工場新設を断念 具志川製糖	三五六
農連	三五六
予定通り拡張工事進める	三五六
たばこ栽培好成绩	三五六
具志川村でテスト	三五六
具志川村 一部給水始める	三五六
一期の水道工事完成	三五六
赤道、宮里方面	三五六
63年度予算で着手	三五六
具志川村	三五六
賠償要求特別委つくる	三五六
賠償の早急解決を	三五六
ジェット機事故	三五六
自民、弁務官に要請	三五六
具志川村定例議会始まる	三五六
畜産価格の安定へ	三五六

中部産業研究会	三五六
きょう具志川でセリ市	三五六
具志川で家畜のセリ市	三五六
読谷について二度目	三五六
中部振興会が音頭とり	三五六
すずらん灯で町づくり	三五六
安慶名と平良川の商店街	三五六
経費節減、予算に反映	三五六
定例局長会議	三五六
援助受け入れでも万全	三五六
一九六二年(昭和37)	三五六
地方選挙の当たり年	三五六
37か市町村が首長選挙	三五六
当銘議員らハワイへ	三五六
16日に州行政、	三五六
財政状況など視察	三五六
恒久基地施設に	三五六
近く入札	三五六
天願のマリン部隊	三五六
期待かける繁華街 具志川	三五六
天願の恒久基地建設	三五六
農連第二工場 増設認可を早く	三五六
全琉農協会長らが要請	三五六
ピンチに立つ養豚業 具志川村	三五六
飼料不足で深刻化	三五六
町から村から	三五六
具志川村で植樹 緑化運動	三五六
支部づくりを急ぐ	三五六
具志川農協青年部	三五六
あの町この村 具志川村	三五六
天願の農作物撤去指示	三五六
「バイラス異常発生」	三五六
具志川村	三五六
一せいで駆除に乗り出す	三五六
ピンチに立つ村財政	三五六
具志川村	三五六
マリン隊移動で収入激減	三五六
第二製糖工場の増設認可を	三五六

市町村議長会が要請	三五六
50軒にオフリミット	三五六
中部の歓楽街、理由は売春	三五六
五千人が職を失う	三五六
業者オフリミットの	三五六
解禁策協議	三五六
共通乗車券発売	三五六
野ネズミを退治	三五六
具志川村が全部落をあげて	三五六
具志川でも共闘か	三五六
村長選挙に社大、人民	三五六
あの町この村 具志川村	三五六
具志川村で農業祭	三五六
軍用地料支払う	三五六
北谷と具志川両村で	三五六
農業祭り賑わう 具志川村	三五六
楽しい一日で慰安	三五六
子供の遊び場に補助金	三五六
製品出来高大幅に伸び	三五六
農連第二製糖工場	三五六
具志川村は無投票か	三五六
新垣候補は音なしの構え	三五六
具志川のバー街手始め	三五六
Aサイン 許可の予備検査	三五六
歩留まりの低い今期製糖	三五六
去年の台風が響く	三五六
搬入増のわりに産糖ふえず	三五六
コザなどオフリミット	三五六
一部解禁	三五六
新垣氏が無投票当選	三五六
具志川村長選挙	三五六
新具志川村長当選証書交付式	三五六
あの町この村 具志川	三五六
新垣具志川新村長	三五六
21日から就任	三五六
総合で北中城が優勝	三五六
中部地区 共進会にぎわう	三五六
42市町村に16万ドル	三五六
特別交付税配分決まる	三五六
41万ドルの災害復旧	三五六

道路、港湾など近く発注	三六一
甘蔗多収穫表彰式	三六一
具志川村の闘牛場で	三六一
自民、公選法、	三六一
所得税改正で方針発表	三六一
選挙区32、減税82万 ^{ドル}	三六一
フィルター付きタバコ	三六一
二 ^ト の追徴課税	三六一
具志川村職労の賃上げ妥結	三六一
英水兵でにぎわう	三六一
中部特飲街にわか景気	三六一
各市村予算審議に入る	三六一
中部地区	三六一
目立つ人件費の増大	三六一
「サヨナラ議会」で	三六一
波乱予想	三六一
軍用地料値上げ叫ぶ	三六一
具志川村	三六一
キビ作ブームで再評価	三六一
あの町この村 具志川	三六一
選挙区別有権者数調	三六一
またオフリミツツ旋風	三六一
中部 13軒のAサイン没収	三六一
具志川村助役に高江氏	三六一
あの町この村 具志川	三六一
議事に再議求める 自治労	三六一
春闘妥結減額に対策	三六一
賃上げの議会修正は違法	三六一
自治労が労働局に指導要請	三六一
市長村長で解決を	三六一
賃上げの議会修正	三六一
政府の統一解釈できず	三六一
あの町この村 具志川	三六一
衛生的でスマートに 具志川村	三六一
近代的な畜殺場が完成	三六一
最高コザ市の26万 ^{ドル} 六一年	三六一
市町村林の軍用地料	三六一
敷地六千坪を無償提供	三六一
具志川村	三六一
病院誘致に積極的	三六一

賃上げ三 ^{ドル} へ 村議会が削る	三九八
具志川村に水道課新設	三九八
来月から操業開始	三九八
二万ケースを目標に	三九八
中部食品パイン工場	三九八
町から村から 具志川村	三九八
あの町この村 具志川	三九八
36万5千 ^{ドル} を交付	三九八
七月概算を割り当て	三九八
地方交付税	三九八
中部地区 現地にみる	三九八
十一月総選挙(6)	三九八
千 ^ト 工場に拡張 具志川	三九八
農連の第二製糖工場	三九八
金武湾を観光地に	三九八
具志川村が計画をたてる	三九八
46市町村で議会議員選挙告示	三九八
三千万 ^{ドル} を支払う	三九八
50年以降の軍用地料	三九八
具志川村役所に構内電話	三九八
キビの植え付け始まる	三九八
具志川 収穫が多い夏植え	三九八
見解まちまち	三九八
業者が軍の方針きく	三九八
Aサイン	三九八
あの町この村 具志川	三九八
電力料金改定を告示	三九八
八月から 一律20 ^{パーセント} 値下げ	三九八
豚肉需要ふだんの三倍	三九八
あの町この村 具志川	三九八
あの町この村 具志川	三九八
地方議員選挙	三九八
きょうから届け出	三九八
パイン操業始まる	三九八
中部食品会社	三九八
平良川の黙認耕作地収用	三九八
畜殺場を完工 具志川村役所	三九八
農業金融にテコ入れ	三九八
農産物代金を貯蓄奨励	三九八
具志川農協	三九八

地方議員選挙	四〇二
きょう一斉に投票	四〇二
沖繩本島	四〇二
即日開票は八町村	四〇二
市町村議選いつせいに投票	四〇二
新市町村議員出そろう	四〇二
新人が大きく進出	四〇二
交付税九月分36万 ^{ドル}	四〇二
具志川村 離農問題とりあげる	四〇二
二十二日	四〇二
農協青年部初の総会	四〇二
中部食品 原料不足で操短へ	四〇二
中部地区の搬入来期に期待	四〇二
具志川村に村公民館	四〇二
村民の気安利用を	四〇二
館長に専門家おき	四〇二
産業、文化の向上図る	四〇二
具志川村	四〇二
八日Aサイン業者大会	四〇二
あの町この村 具志川	四〇二
選挙区の情勢を探る	四〇二
町から村から 具志川村	四〇二
有権者総数	四〇二
立法院総選挙	四〇二
けさいっせいに届け出	四〇二
新人の出馬めだつ	四〇二
予想の顔ぶれ出そろう	四〇二
具志川に共同水源地	四〇二
中部四か市村が事業計画	四〇二
選挙区の動き(2)	四〇二
中部地区	四〇二
農連第一西原製糖	四〇二
ついに合併調印	四〇二
四カ月ぶりに解決	四〇二
64年6月までに統合	四〇二
あの町この村 具志川	四〇二
合同で水道事業を計画 コザ、	四〇二
北谷、美里、具志川の4市村	四〇二
安い水をふんだんに	四〇二
水源地は天願川を予定	四〇二

農道の整備を急ぐ
具志川村キビ収穫
今期は四万二千ト
聴衆四千人
具志川で立ち会い演説会
軍道路の排水施設
具志川村、民政官に陳情
中部農村は五割上回る
投票率、那覇で伸びる
全琉平均83%で前回並み
自民党に痛手
当銘氏の落選
開票結果
ノンビリ庭の手入れ 久高氏
保守地盤きりくずす
年次計画で普及へ
具志川村水道事業
まず二千二百世帯に給水
四市村が共同で水道敷設
コザ、北谷、美里、具志川
自己水源を開発
具志川村に豊富な地下水
立法院選の当選告示
中央選管 無投票除き24人
具志川、読谷が編入に反対
工事進む石川保健所
地理的に悪く交通も不便
政府で普及奨励を 中部産研
「ランドレース」
飼育に要請
1月早いキビ収穫
具志川 豊作でホクホク
ソテツの実でこけし
喜ばれる琉球みやげ
保健所管轄の変更に反対
具志川村
病院誘致に本腰 具志川
石川保健所管轄決まる
具志川、与勝の反対押え
中部市村が三つどもえ

総合病院の「争奪戦」
大づめ総合病院の敷地問題
軍民政府が下検分
今月中には決める
具志川で荒地地開墾
政府のブルを借り入れ
飼育、繁殖牛の品評会
具志川村、中部農林高校で
新しい機械の火入れ式
農連第二製糖工場
強力に預金運動展開
具志川村農協
本格操業にはいる
農連第二製糖工場
一九六三年（昭和38）
豚価三十八トに下落
正月後の需要減る
テレビを景品に
福引きつきの貯蓄増強運動
具志川農協の
新しいアイデア
さとうきび搬出組合を設置
具志川、労力不足をカバー
あの町この村 具志川
総合病院設計に入る
厚生局 早期完成めざし
病院誘致大づめ
コザ市具志川村
軍民政府へ陳情合戦
五階建二百ベット
総合病院の平面図出来る
安慶名にすずらん灯
町から村から 具志川
三千八百万ドル
59年からの軍用地料支払い
敷地の無償提供決議
具志川村議会
積極的に病院誘致

敷地は具志川村に
政府立の総合病院
政府が近く発表
総合病院は具志川へ
民政府 敷地問題で発表
将来は市昇格目指す 具志川村
総合病院実現で活気
暗躍するブローカー
総合病院建設の具志川村
「土地は売るな」
村民、村当局に全面協力
売買契約すまず
総合病院敷地
具志川村が急ピッチ
スマートな五階建て
具志川 総合病院の青写真
病院敷地
一切手続きすまず 具志川村
コザ市 厚生局に誘致陳情
具志川に決定的
病院問題で弁務官が
自民党議員に回答
総合病院、具志川にきまる
さつそく土質検査
五月中には設計図も完成
工事建設、近く契約
具志川村議会
沖紡重役が協力求む
石川保健所の開所は無期延期
病院誘致手続き完了 具志川
あとは着工待つばかり
総合病院
きょうから試掘 具志川
一千トに拡張工事
農連第二工場
早めに操業切りあげ
万全の措置を 中部
あの町この村 具志川
産糖高一万二千七百五十ト
農連第二工場

今期製糖終了・・・ 四四
 総合病院本格的建設へ
 建設用地をボーリング
 具志川村都計委も設置・・・ 四四
 きょうから幕開け
 具志川の農業祭り
 闘牛など多彩な日程・・・ 四五
 趣向こらした農業まつり
 具志川村、
 闘牛などで一万の出人・・・ 四六
 獲得合戦の火ブタ切る
 Aサイン新規準
 われ先に改築工事
 金武さあ来い
 コザ浮き足立つ・・・ 四六
 具志川村でもタール舗装
 赤道から平良川までの
 24号線・・・ 四七
 近代設備を誇る総合病院
 五階建て二百ベッド
 七月から具志川に着工・・・ 四七
 ワア！水が出た
 具志川村上江洲の
 簡易水道完成・・・ 四八
 あの町この村 具志川・・・ 四九
 総合病院20日に入札 具志川
 マリン部隊が整地応援・・・ 四九
 地下水をさがす
 ボーリングの許可申請・・・ 四九
 布令で四階建てに
 総合病院の予算不足で・・・ 四〇
 具志川村
 中部第三の都市めざす
 市昇格の準備進む
 紡織工場建設にもメド・・・ 四〇
 総合病院きょうから整地
 村当局周辺の都計推進へ・・・ 四一
 総合病院整地作業始まる
 マリンし重連隊が奉仕・・・ 四一
 総合病院 65万七千ドルで落札

国場組、来月15日ごろ着工・・・ 四二
 町から村から 具志川村・・・ 四二
 五十三万一千ドル配分
 新年度の七月分普通交付税・・・ 四三
 具志川村 合理的農家経営へ
 適地適作打ち出す
 畜産奨励に補助金予算化・・・ 四三
 目標飼育千頭へ 具志川
 有志が企業養豚の計画・・・ 四四
 美里と具志川に工場 沖縄紡織
 来春操業めざし着工・・・ 四四
 具志川村
 夏植えキビ苗は村内で確保
 九月に植え付けを
 対策協議会で申し合わせ・・・ 四五
 37万ドル預金
 具志川村貯蓄増強運動・・・ 四六
 歩道と下水溝を
 安慶名通り会が村へ陳情・・・ 四六
 水稲60%が立ち枯れ 具志川
 苗代三度も作りかえ・・・ 四六
 天願マリン隊の兵舎起工式・・・ 四七
 市町村新年度予算 中部・・・ 四七
 貯蓄増強運動抽選会・・・ 四八
 マンモス豚舎を建築
 具志川村天願区
 千頭飼育する大企業・・・ 四八
 中部食品、十日から操業開始・・・ 四九
 三千八百万ドルに達す
 民政府発表
 58年からの軍用地料・・・ 四九
 中部でもパイナップル
 十一月ごろ初収穫
 具志川百十万本を栽培・・・ 四九
 田を畑にきりかえ 具志川
 干ばつで植え付け不能・・・ 五〇
 八月植えのキビに優先補助・・・ 五一
 20日に地鎮祭
 総合病院、整地作業おわる・・・ 五一
 畜産講習会開く 具志川

転換期を迎えた養豚・・・ 四五
 具志川村、市昇格へのムード・・・ 四五
 今期は二万五千ケース
 中部でもパイナップル製造・・・ 四五
 各市町村に61万ドル
 九月分交付額決まる・・・ 四五
 九万ドル増資を決議
 具志川村農協総会・・・ 四五
 好評な農作指導 具志川
 『伝言カード』を採用・・・ 四五
 24号線の発展はかる
 具志川村
 市への昇格も計画・・・ 四六
 働く主婦のために保育園
 困窮者の幼児優先
 具志川
 篤志家が経営、村も協力・・・ 四五
 総合病院の起工式 具志川
 総工費65万ドル五階建て・・・ 四五
 荒地16万坪を耕地に
 具志川村東部海岸
 土地の交換分合も
 42万ドルで来春本格工事へ・・・ 四五
 議会におしかける
 自治労
 具志川のベ・ア支援・・・ 四七
 ベア・期末手当問題めぐり
 職労が議会に圧力
 ヤジの応酬で混乱状態
 具志川村議会・・・ 四八
 四ドルベ・アを可決
 期末手当は否決
 具志川村議会、警官も待機・・・ 四九
 具志川に接着剤工場
 沖縄化成 設立ほぼ決まる・・・ 四九
 具志川天願に軍棧橋
 台湾在艦隊の支援体制
 改善道路工事はじまる・・・ 四〇
 政府道路を村が舗装
 Aサイン業者の死活考慮

具志川・．．．．． 四六〇
 旧習打破めざす
 養豚の早期離乳など
 具志川村普及事業発表会・ 四六一
 三千九百万^{ドル}
 軍用地料支払い総額・．．． 四六一
 具志川村議本土視察へ・．．． 四六一
 スタンド式闘牛場を設置
 ナイター設備もする
 中部
 村予算で具志川が設計・．． 四六二
 桜、桃植え公園計画
 観光客誘致で
 具志川安慶名城跡に・．． 四六二
 有畜農家、努力の勝利
 実らせた養豚事業
 “将来は種畜場”
 と久高さん 具志川・．． 四六三
 市昇格の日も近い 具志川村
 人口三万六千人・．．． 四六三
 荒地から年二千^{ドル}
 軍作業から農業に転業
 具志川村の幸喜さん・．． 四六四
 土地の交換分合に反対
 具志川村 下原の百四十町歩
 土地改良早くも暗礁に・．． 四六五
 百万^{ドル}を目標に
 きょうから 貯蓄増強運動・ 四六六
 労使とも歩みより
 中部のボーンラス闘争・．． 四六六
 遺族給与金証書の切り替え・ 四六七
 軍用地料支払い開始
 年内に第二、第三回目も・ 四六七
 製糖いつせいに始まる
 ほくほくの農家
 高いブリックスと糖価・．． 四六八
 年闘、つぎつぎ妥結
 全沖労 きょう総決起大会・ 四六八
 消防条例を改正・．．． 四六八
 具志川などに

農漁業資金を貸し付け・．． 四六九
 一万^{ドル}で闘牛場整備
 安慶名闘牛場
 具志川村議会が可決・．． 四六九
 市昇格に意欲高まる 具志川村
 本格的な都計へ
 新設の企画室が推進・．． 四七〇

一九六四年（昭和39）

やつと工事を始める
 平良川中通り
 Aサイン業者喜ぶ・．． 四七〇
 農連第二工場の買収
 中部十四か市村が計画・． 四七一
 中部 着々進む二つの工事
 中央病院・工業高校
 七月完成を目標 病院・． 四七一
 あの町この村 具志川・． 四七二
 飼料改良で養豚成功 具志川
 成長早く肉質もよい・． 四七二
 大売り出し始まる
 旧正ムードは二月からか・ 四七三
 具志川村に設立
 沖縄化成化学工業・．． 四七四
 天願に基地の町
 マリン隊司令部設置
 早くも土地の争奪戦・． 四七四
 きょう採種圃講習会
 春植えジャガイモ
 具志川村、普及に乗り出す・ 四七五
 “火入れ”の届け出を
 具志川村区長会
 原野火災対策を協議・． 四七五
 本土でつぎつぎ職員研修
 第一陣 愛媛県宇和島へ
 具志川村
 闘牛が取り持つ縁で・． 四七六
 水道敷設を計画 具志川村
 軍と折衝はじまる・．． 四七七

昨年より好成績
 具志川村農連第二工場
 キビのできもよい
 すでに十万^{ドル}も上回る・． 四七七
 地元民の反対で打ち切る
 具志川村の土地改良工事
 測量八分通りおわたが・ 四七七
 天願に貯水場建設
 DEが五十万^{ドル}で計画・． 四七九
 それは困る！ 具志川村豊原区
 農道問題でごたごた
 経済局の補助変更不満・ 四七九
 庁舎貸与など審議
 具志川村定例議会・．． 四八〇
 町から村から 具志川村・． 四八〇
 キビ栽培に新方式
 株出しで増収図る
 具志川村が奨励・．． 四八〇
 緑豆を無償配布 具志川
 キビ畑の地力増進めざし・ 四八一
 姉妹都市の視察へ
 具志川村長ら宇和島市へ・ 四八二
 舗装道路の開通式
 平良川のAサイン街・． 四八二
 五千^{ドル}で着工
 安慶名闘牛場の建設工事・ 四八二
 マリン三千人近く移動
 キャンプコートニー
 第一期工事おわる・． 四八三
 昨年より4割ふえる
 農連第二工場のキビ搬入・ 四八三
 突貫工事で急ピッチ
 安慶名闘牛場の改築、整備・ 四八四
 農業まつりはなやかに 具志川
 闘牛や演芸大会も
 総合審査 優良区に兼ケ段・ 四八四
 商店街に下水道
 具志川 環境衛生を浄化・ 四八五
 天願の送水管完成・．． 四八五
 埋め立て工事終わる

具志川の都計予定地	四六六
将来の都計に支障	具志川村
沖繩病院周辺の	具志川村
厚生地区指定	具志川村
町から村から	具志川村
農連第二工場に労働組合	具志川村
軌道に乗る養豚事業	具志川村
具志川 合理的に農業経営	具志川村
村のパン工場閉鎖	具志川村
ごたごた経営、赤字出す	具志川村
学校給食のパン工場閉鎖	具志川村
具志川村 経営の不振で	具志川村
組合作り大企業に	具志川村
高まる具志川の養豚熱	具志川村
村の補助を要請	具志川村
具志川村の保母協会	具志川村
村を果実でいっぱい	具志川村
村営苗床で普及計画	具志川村
絶えない境界あらい	具志川村
大規模接収が原因	具志川村
市昇格土地調査も難航	具志川村
中部市村の予算展望	具志川村
ベアで増ワク目立つ	具志川村
調整段階でもめ気味	具志川村
具志川 市昇格を目ざし	具志川村
都計事業を推進	具志川村
荒れもようの村議会	具志川村
きょうから一般質問	具志川村
自動防犯器を備える	具志川村
具志川農協豊原支所	具志川村
“これで安心して預金”	具志川村
空白状態の具志川村議会	具志川村
地方報告 具志川村議会	具志川村
“予算議会” 幕閉じる	具志川村
具志川 村当局もホツと	具志川村
闘牛場にナイターの設備	具志川村
整備される安慶名城跡周辺	具志川村
市町村の事業執行促進	具志川村
本年度交付税	具志川村
概算支給額決まる	具志川村

都市計画を申請	具志川
中央病院の周辺一帯	具志川
委員長に富里氏	具志川
具志川村職員労組	具志川
記録的なキビ作	具志川村
具志川村、千万平方メートルへ	具志川村
町から村から	具志川村
要確認地域の指定申請	具志川村
建築基準法	具志川村
美里など今月中に調査	具志川村
最も多い卸小売業	具志川村
商工業の実態まとまる	具志川村
収入役に謝花氏	具志川村
具志川村議会で選任	具志川村
沖紡の起工式	具志川村
一部地主、自力で改良	具志川村
具志川村下原一帯	具志川村
政府事業つづれ複雑化	具志川村
ほくほくの軍用地主	具志川村
地代の支払いで	具志川村
排水路が皆無に	具志川村
埋め立てられる水田	具志川村
下原地帯	具志川村
憂慮される農作物の被害	具志川村
早急に打開策を	具志川村
あの町この村	具志川村
具志川村の第二庁舎が完成	具志川村
かなりの収穫上げる	具志川村
今期のパイン大豊作	具志川村
市町村交付税	具志川村
九月交付額八十一万ドル	具志川村
具志川村企画室長に稲福氏	具志川村
豚数七千七百頭に	具志川村
多角営農に励む具志川村	具志川村
パインを基幹産業へ	具志川村
具志川村が大いに力コブ	具志川村
二万三千ケース製造	具志川村
中部食品のパインかん詰め	具志川村
病院周辺を区画整理	具志川村
具志川村 赤道、安慶名など	具志川村
「建築確認地域」に	具志川村

初日の成績まずまず	具志川村
“不夜城”の灯消ゆ	具志川村
うらめしげなタクシー	具志川村
深夜営業時間短縮	具志川村
四地域を指定	具志川村
具志川 都市計画を推進	具志川村
具志川村、定例議会に入る	具志川村
追加額約三万四千ドル	具志川村
具志川村の追加更正予算	具志川村
市町村合併への動き	具志川村
中部の四ブロック	具志川村
積極的な宜野湾ブロック	具志川村
全般的には検討の段階	具志川村
採決に入る 具志川村の議会	具志川村
増産見込みだが	具志川村
糖価格下落にショック	具志川村
地力増進でキビ増産	具志川村
緑肥栽培に本腰入れる	具志川村
平良川に歩道	具志川村
昆布区の簡易水道も着工	具志川村
敷地問題で難航	具志川村
具志川の医療センター	具志川村
中部の人口動態	具志川村
年に一人ふえる	具志川村
特殊で集中的な動き	具志川村
モヤシ作りで十一年	具志川村
具志川村の崎間さん	具志川村
発芽期の水分が大切	具志川村
野菜不足のピンチヒッター	具志川村
衛生センター計画狂う	具志川村
具志川村宮里・赤道	具志川村
地主の反対に会い	具志川村
二分され、美観そこなう?	具志川村
農家の窮状訴える	具志川村
県民大会に全議員参加	具志川村
具志川村議会	具志川村
村議会も重視	具志川村
二分された衛生センター	具志川村
混雑する通勤バス	具志川村
具志川村が増車を陳情	具志川村

具志川村史発刊へ・・・・・・・・・・	五七
マコモ(秋野菜)の普及へ	
具志川村が湿地帯を利用・・	五七
農家は沈痛な表情	
砂糖買い上げ問題	
豊作の喜びも束の間	
折衝のまずさに不満・・	五八
大規模な村営果樹園	
具志川 傾斜地を開墾して・・	五九
具志川に職業訓練所 石川	
文化会館活動を活発化・・	五九
長びきそうなる年末闘争	
中部の各市町村役所労組・・	五〇
政府がやつと復元工事	
具志川村	
開放されたままの軍用地・・	五一
低調な法律相談 具志川、	
二日間でたった七件・・	五一
初日に八百ト搬入 農連第二	
トラックが押し寄せ・・	五二
沖縄紡織の工場むね上げ式	
四月から操業始める・・	五三
排水、歩道工事に着手	
具志川村の目抜き通り・・	五三
具志川村昆布に水道	
弁務官資金と村予算で・・	五三
焦点は赤道の区画整理事業	
具志川村議会開く・・	五四

一九六五年(昭和40)

ことしの施政方向	
中部各市長にきく・・	五四
追加更正予算を可決 具志川・・	五四
暫定料金残額支払う	
キビ トン当たり4 ^{ドル} 17 ^{セント}	
農連・具志川・・	五五
遅れるキビの搬入	
農家は資金づくりに苦慮・・	五五
町から村から 具志川村・・	五六

激しくなる誘致合戦	
青年の家	
中部市村が意見対立・・	五六
頭の痛い支払い事務	
軍用地料	
受け取り人現れず・・	五七
養豚大幅に伸びる	
具志川村、家畜の飼養調査	
うさぎの飼育もめだつ・・	五六
日雇い労賃値上がり	
キビ収穫の人手不足	
三 ^{ドル} も、農家は悲鳴・・	五六
うなぎのぼりの地価	
具志川村赤道付近	
中央病院建設が誘因・・	五九
具志川に軍棧橋・・	五九
安いキビ代 高い肥料代	
具志川、深刻な事態に悩む・・	五〇
水の悩み20年目に解消	
軍用地に接收された昆布部落	
弁務官資金で水道設ける・・	五三
ミカン苗木	
具志川村が農家に配布・・	五三
有権者総数は46万人	
選挙法改正案送付	
選挙区当たり一万四千・・	五三
飼料 品不足で値上り	
養豚熱に赤信号	
具志川、飼育頭数ふえる・・	五三
ビニールハウスで 具志川	
キュウリを温室栽培・・	五三
身にしてみるベトナム情勢	
倒産寸前の基地街	
米兵消え	
赤字三千 ^{ドル} のバーも・・	五三
イモ、三倍増産へ	
具志川村	
自家飼料づくり奨励・・	五四
大農法でいこう	
具志川村	

本格的土地改良へ・・・・・・・・・・	五四
近く給水工事	
具志川の総合病院・・	五五
具志川村にショック	
前原署廃止	
市昇格にブレーキ・・	五五
代替地提供で解決	
中央病院付属看護学校・・	五六
豚、年間二千頭	
具志川 第一企業と契約・・	五七
前原署の廃止に反対	
具志川村議会が抗議決議・・	五七
具志川村議会が	
前原署廃止反対・・	五七
「前原署再設置委」結成	
具志川・与那城・・	五八
勝連三村合同で・・	五八
前原署の存置を	
具志川村議会が当局に陳情・・	五八
工場が「被害地伝票」	
キビの立ち枯れ目立つ 中部	
沖縄総合病院、ほとんど完了	
6月に医療設備、	
7月開院の予定・・	五九
諸手続きも 警部派出所で・・	五九
豚価上がる傾向 具志川	
契約畜産で明るい見通し・・	五〇
前原署の再設置を	
具志川村長らが陳情・・	五〇
農業祭りに三千人	
具志川村 総合優勝は前原・・	五二
伸び悩みのランドリース	
具志川	
村当局も飼育に頭痛める・・	五二
村内の工業化を計画	
具志川	
紡績工場始開の操業で・・	五三
市町村特別交付税決まる	
総額60万5千4百12 ^{ドル}	
3 ^{ドル} 減、47市町村に配分・・	五三

中部各市村の予算展望

きょうから審議へ

焦点は農業政策と人件費

財産造成費に九千ドル余

農連第二工場 今期製糖を終了

キビ代総額は三割の増

工場敷き地を無料に

紡績会社が要望

議会は処置に苦慮 具志川

暫定額決まる 市町村交付税

市昇格めざす

具志川

都市計画事業を推進

豚価保証でくい違う

第一企業KK

契約農家から苦情

水圧低く断水

天願浄水場の軍パイプ

パイヤを奨励

農家の夏の換金作物に

具志川

建築確認が必要

都市計画の認可で 具志川

中部の軍用地料支払い

きょうまでに六万一千ドル

沖縄紡績KK

初の紡績工場完成

美里など二工場

三十日に綿入れ式

原料は米国から輸入

二千ト工場に拡張

農連、具志川工場

適期収穫目標で

美里、具志川工場が完成

沖縄紡績

百八十万平方ヤ生産へ

九月交付95万ドル余

66年度市町村普通交付税

野ネズミ駆除

具志川村で運動展開

具志川村

与党は人物難

立法院選、具志川

農業近代化へ

具志川 移動相談を実施

市昇格めざし

具志川 都計着々進む

96%支払い終わる 民政府

過去7年間の軍用地料

私の信念 私政策

市町村別投票率

当選者の顔ぶれ

各地区別開票結果

シーソーゲームの12時間

手に汗にぎる 八区開票

ベトナム帰りでいつばい

にぎわう基地の町

負傷兵で

あふれる陸軍病院

正月控え軍用地料

六万ドル支払い 具志川

一九六六年(昭和41)

地主、接収に強く反対

米軍、強制収用か

具志川村昆布

土地失うと死活問題

軍の出方見守る 地主

接収地域の変更を要望

昆布部落の一部接収

米軍が具志川村に通告

基地拡張に不安

ベトナムの影響? 昆布部落

すわり込みで阻止決意

原水協、具志川の

土地接収中止を要請

敷き地をぢならし 具志川村

チリ紙つくる富士製紙

土地すでに占有

具志川村昆布

軍が再び告知

接収には絶対反対

昆布 地主が村当局へ陳情

特別委設け実情調査

具志川議会

土地接収問題で

政府立中部病院 いよいよ開院

来月三日に譲渡式

いつきても診察はOK

参考伊江島の闘争ぶり視察

新規土地接収に反対

具志川村特別委

村ぐるみとつ組む

昆布土地接収問題

くずれかかる抗議態勢

一部に應じる地主も

特別対策委

調査結果、24日に報告

全会一致で接収反対

昆布土地問題

具志川村議会が決議

米軍へ折衝を要望

具志川議会

新規接収を反対陳情

具志川 大がかりな区画整理

市昇格めざし推進

赤道、宮里から着手

人口の集中化はかる

政府立中部病院きょう開院

新患は20日ごろから

コザ病院の移転終わる

具志川村長選挙

四氏が出馬を表明

青年が積極的に動く

新規接収に強い反対

具志川村昆布

法務局長の説得をける

いよいよ闘争体制

具志川村昆布土地接収

17日に村民決起大会

実行委を設置、軍と対決	五三
きよう村民総決起大会	
昆布土地接収 米軍と	
対決の構え “ひと握りの	
土地も渡すな”	五四
“ひと握りも渡せぬ”	
昆布区	
村民大会で接収反対決議	五五
接収反対の決議	
米民政府係官に手渡す	
具志川	五五
農家に楽しい一日	
具志川農業祭りにぎわう	五六
三つ巴の激戦に	
具志川村長選挙届け出	五六
沖縄でも日本酒を醸造	
年産2千石で出発	
今年の末から市販開始	五七
きよう具志川村長選	
六会場でいっせいに	五八
新垣候補が六千余票で当選	
具志川村長選挙	五九
軍港荷あげ場に	
昆布土地接収で法務局長答弁	五九
計画進む “新軍港”	
天願にすでに大突堤	
将来は大浦、中城湾にも	六〇
具志川村に収用告示	
13日まで契約しなければ	
法務局 米軍の意見を説明	六一
平均九ドルのべ・ア	
中部の市村 ほとんど妥結	六二
豊年早稲刈り入れ	
きのう具志川で始まる	六二
接収120日延期	
自由契約求め猶予	
昆布の軍用予定地	
DE、具志川村に通告	六三
“市昇格実現に努力” 具志川	
新垣村長が施政方針	六四

昆布土地新規接収で懇談	
浦添村、具志川村議員	六五
“あくまで反対”	
土地守る協議会結成へ	六五
地方リーダー	
団結で土地を死守	
決意も堅い昆布の地主	六六
具志川村も	
暴力追放都市宣言を決議	六八
裁判移送命令の撤回も採択	六八
七月交付額決まる	
市町村交付税	
総額一三六万ドル	六九
助役に高江登氏を再任	
具志川村議が承認	六九
旧盆までに支払い 軍用地料	
総額四百五十万ドル	七〇
“戦争には加担せず”	
地代上げても接収に反対	
具志川村昆布の地主	七〇
市町村議会議員選挙を打診	
中部地区は激戦	
破られつつある	
無投票ムード	
政党背景に保守、	
革新が対立	七一
けさ一斉に届け出	
市町村議員選挙戦はじまる	七一
昆布に軍棧橋完成 米艦船	
ベトナムへの発着開始	七一
賃貸契約に初の調印	
具志川村の一軍用地地主	七二
“第二の落後者出さずな”	
昆布の土地守る会	
態勢固めへ	七二
きのう晴れの開院式	
中部病院 正式にスタート	七三
市町村議員選挙届け出締め切る	七三
地方選挙 晴れの当選者	七四
九月配分	

市町村交付税額を決定	
総額百六十二万ドル	
先島へはすでに交付	
残りは今月中に	七五
弁務官と再折衝へ	
昆布の新規接収	
地主八人がすでに契約	七五
市町村の権限を侵す	
仮契約は白紙に	
具志川村軍用地	
法務局長を追及	七六
議長に当銘氏	
具志川副議長に嘉陽宗善氏	七六
地主側に立て	
共闘会議 土地接収で抗議	七八
社説 具志川昆布の土地問題	七八
接収を力で阻止	
原水協 四日に県民大会	
具志川村昆布	八〇
すわり込みも辞さぬ	
緊迫する昆布部落	
強ちに土地収用阻止	八〇
会社だより	八一
接収契約期限切れ前に緊迫	
具志川村臨時議会開く	八一
昆布の土地接収反対	
具志川村議会	八二
全会一致で決議採択	
久志村でも土地接収の動き	八二
総面積の一五%	
具志川村昆布	
すわり込み始める	八三
告知期限きょうまで	
具志川村昆布	八四
土地強制収用 さらに	
120日延長 具志川村昆布	八五
DEが告知書	
緊迫する具志川村昆布	
すわり込みで警戒	
軍の強制収用に構える	八五

“接收回避” 確答さける
 十日以降に収用宣告書か・ 六〇七
 社説 昆布の土地接收の延期・ 六〇八
 さらに百二十日延期
 具志川村の軍用地接收・ 六〇
 接收問題振り出しに
 収用手続き期間延長で・ 六〇
 結束堅く “土地守ろう”
 延期通知は分断策
 具志川昆布接收阻止
 すわり込み続く・ 六二
 五年計画でモデル街めざす
 具志川
 都市化進む赤道、宮里一帯
 中部病院の誘致で急ピッチ・ 六三
 沖繩に米軍婦人部隊配属・ 六四
 製紙工場が完成 具志川村田場
 富士製紙KK
 近く本格操業・ 六四
 あの町この村 具志川・ 六五
 昆布の地主ら怒る
 “ガソリントラックはごめん”・ 六五
 基地即時撤去など訴える
 昆布で10・21沖繩県民集会・ 六六
 農協への貯蓄ふえる
 目標額を四千^{ドル}突破
 中部の美里村など四村
 農民の理解深まる・ 六一
 家族づれで牛の品評
 具志川 五十五頭がずらり・ 六七
 接收あくまで阻止
 具志川村昆布
 座り込み続く・ 六八
 共闘会議結成急ぐ
 昆布・土地接收反対
 近く村中心に準備委・ 六九
 30日に村民大会準備委開く
 昆布土地新規接收で・ 七〇
 昆布土地接收阻止
 米兵がいやがらせ

旗を折つたり原野焼く・ 六〇
 “土地接收あくまで反対”
 六日に村民大会 具志川・ 六一
 あす契約期限切れ
 昆布土地収用
 きよう反対村民大会・ 六一
 土地収用反対村民大会開く
 具志川村
 “あくまで死守する”
 千人が参加
 満場一致で決議・ 六三
 土地接收 自由契約期限切れる
 注目されるDEの出方・ 六三
 21日から製糖開始
 農連具志川工場を皮切りに
 キビ代、16^{ドル}25^{セント}で仮払い・ 六四
 各地で製糖急ピッチ
 |ひと月遅れの操業|
 ブリックス昨年下回る・ 六五
 “バス運行の延長を”
 下原線の最終時間
 通産局に陳情
 具志川村関係者・ 六六
 都計の基本構想まとまる
 具志川村 八五年に人口六万
 農村から商工都市へ脱皮・ 六六
 接收中止できぬ
 具志川村昆布
 来年早々に収用令か
 担当官言明・ 六六
 実力で阻止するまでだ!
 地主すわり込み
 具志川村昆布土地接收
 寝泊まりで警戒・ 六八
 米兵がいやがらせ
 昆布の土地接收阻止小屋襲い
 集団で投石、組合旗奪う・ 六九
 一九六七年(昭和42)

特別委を設置
 具志川村臨時議会
 米兵の暴力に抗議・ 七〇
 CIDが返す
 具志川村昆布
 米兵が奪った組合旗・ 七〇
 米兵による暴力行為で
 調査委を設置
 具志川村臨時議会・ 七二
 “現実に立った政策を”
 製糖工場側へも影響か・ 七二
 米兵の暴力事件質す
 石川署に
 昆布土地を守る会が・ 七三
 新規土地接收に対処
 きよう軍関係特別委開く・ 七三
 具志川昆布
 強制収用期間に入る
 地主はあくまでも阻止・ 七三
 期限迫り不安つもの
 昆布土地接收反対
 接收延期通知を警戒・ 七四
 予定通り接收の意向
 軍関係特別委
 民政府に見解たす・ 七四
 農道工事急ピッチ 具志川
 都市計画に歩調合わせ・ 七五
 三たび接收延期
 具志川昆布 告知書を改定・ 七五
 百一万^{ドル}を交付
 講和前補償 第一回支払い・ 七六
 ブル動き出す 具志川村
 市昇格に備え道路工事・ 七六
 二年後に具志川市
 基本構想固まる
 安慶名―赤道間を中心街に
 スタートする町づくり
 宮里・赤道一帯を区画整理
 具志川・ 七六
 米兵がいやがらせ

昆布軍用地阻止闘争小屋
 投石、赤旗など折る・・・ 六三九
 きよから具志川村の臨時議会
 都市計画事業予算を審議・・・ 六三九
 昆布で現地調査
 工藤弁護士が実情をきく・・・ 六三九
 土地接収中止を要求
 ベ反戦連絡会議・・・ 六四〇
 具志川農協も発売
 プロパンガス
 十キロド七十トシ・・・ 六四〇
 具志川村 区画整理本決り
 来月から着工五年で完成・・・ 六四一
 順調な農道補修工事 具志川
 米軍から碎石もろう・・・ 六四一
 教公二法阻止共闘会議を結成
 具志川村・・・ 六四二
 定例議会開く
 具志川村 23日まで・・・ 六四三
 健全都市実現を目標に
 具志川村 長期計画を策定
 区画整理を強力に推進
 予算総額は七カ年で
 五百十七万ドル
 総合グラウンドの建設も・・・ 六四三
 土地接収
 きよから強制収用期間に
 昆布部落に緊張感・・・ 六四四
 初のインターン
 中部病院でスタート・・・ 六四五
 プロパンガス 利用者ふえる
 具志川村農協
 市価よりも安く売る・・・ 六四五
 ガス詰め所を建設 具志川
 プロパン業者
 合理化で農協値に対処・・・ 六四六
 農業まつりきよ開幕
 闘牛、花火大会も
 具志川村・・・ 六四六
 豊年を祈願して にぎわった 六四六

農業まつり 具志川・・・ 六四七
 復帰、立法院正常化を決議
 具志川村議会
 暴力追放も審議・・・ 六四八
 昨年より64%増
 市町村交付税百十五万ドル・・・ 六四九
 〃あくまで守り抜く〃
 昆布の土地接収
 期限切れ迫り緊迫・・・ 六四九
 期限延長か 接収強行か
 四度目の期限切れ待つ昆布・・・ 六五〇
 こんどはへーグ基地の改築工事
 〃不定期契約〃を告知
 具志川美里村
 地主〃固定化だ〃と反対・・・ 六五三
 きよ期限切れ
 昆布の土地接収・・・ 六五四
 またまた期限延長
 昆布の土地接収
 長期戦の構えへ土地を守る会
 阻止闘争態勢を強化・・・ 六五五
 42万ドルで区画整理
 具志川村 中部病院の一角・・・ 六五五
 軍の動き警戒
 阻止体制固める地元民・・・ 六五七
 具志川村都市計画
 区事業にブレーキ
 地主が測量に反対
 一次計画
 心配される着手延期・・・ 六五七
 豚餌下落に対策 具志川農協
 村補助得て買い上げ出荷・・・ 六五八
 廃品払い下げ減らす
 マリン隊が通告
 養豚の具志川村に打撃・・・ 六五九
 村営牧場など新設
 具志川村議会
 新予算案説明を聞く・・・ 六五九
 ふくれる人件費
 中部14カ村の新年度予算案

事業費は横バイ
 「財源難」―交付税に活路・・・ 六六〇
 増額分の市町村交付税
 配分決まる・・・ 六六一
 地主六人が本契約
 具志川村昆布
 米軍が村役所に通告・・・ 六六一
 難航する土地区画整理
 地主、仮換地に不満
 赤道、宮里一帯・・・ 六六一
 恒久化する米軍基地
 キャンプコートニー
 兵舎ほとんど完成
 栈橋も年内に着工
 周辺に金網はる計画・・・ 六六二
 人口2万のマンモス団地
 住宅公社が計画・・・ 六六三
 地主の意見調整に努力
 具志川村赤道・宮里
 予算新年度に繰越し
 宮里の区画整理足ぶみ・・・ 六六四
 具志川村に警察を
 村臨時議会が要請決議・・・ 六六五
 小屋は不安な表情
 昆布 強制収用期間に入る・・・ 六六六
 黙々と畑仕事 具志川村昆布
 五度目の接収期間
 長期闘争で落ち着き・・・ 六六六
 土地評価で村を追及 具志川
 赤道、宮里の区画事業・・・ 六六七
 具志川海岸を海水浴場に
 次年度予算に計上
 村が大規模な施設計画・・・ 六六八
 軌道にのる〃養豚農営〃
 具志川村
 五人の指定模範農家を指導
 ねらいは村畜産業の発展・・・ 六六八
 町から村から 具志川村・・・ 六六九
 六日に抗議集会開く
 昆布接収通告から一年目

“とにかく動かぬ” 六七〇
 また収用期間を延長
 昆布の軍用地
 ぜん接収の構え
 地主側は収用撤廃闘争へ 六七〇
 町から村から 具志川村 六七〇
 土地を守って一年
 昆布の接収阻止闘争 具志川村
 闘争小屋もボロボロに 六七〇
 “この土地を守り抜く”
 昆布で団結集会開く
 阻止から撤回闘争へ
 “すわり込んで一年― 六七三
 “どうだい” この毛並み
 具志川村の品評会にぎわう
 “おらが自慢の牛”
 勢ぞろい 六七四
 キビの区域搬入制
 農家などが反対 農林局
 今期から実施の意向 六七五
 100万平方メートルを土地改良
 下原・港原一帯
 荒れ地復旧をはかる
 具志川村が組合結成へ 六七六
 勤務時間短縮の
 反対総決起大会開く
 全軍労 六七七
 作物の撤去を通告
 黙認耕作地次第に制限
 勝連・具志川 六七七
 赤道・宮里区画整理
 こんどは軍の壁
 地下にケーブルとパイプ
 軍が移転拒否 六七八
 派出所に昇格
 具志川赤道駐在所 六七九
 四たび陳情へ
 前原署再設置委で決める 六七九
 農道新設で生産増強へ
 地元民が労働奉仕 土地は

地主が無償提供 具志川 六八〇
 あの町この村 具志川 六八〇
一九六八年（昭和43）
 元日の空に力強い歌声
 土地接収阻止をかかげ
 昆布で暁の合唱 六八一
 モデル都市めざす
 七月に市昇格 具志川村
 積極的に準備進める 六八二
 減歩率に不満
 具志川村赤道
 区画整理事業ストップ 六八三
 井戸枯れ、ふる屋休業
 安慶名
 軍の給水ポンプ設置で 六八四
 さらに120日間延期
 昆布の土地収用
 DEが法務局へ通告 六八四
 18ト余（10ト当り）の好成績
 キビ全刈り審査、
 具志川の照屋さん 六八五
 赤道に大型団地
 土地住宅公社が用地確保 六八六
 ほとんどの市村が
 B52撤去要求決議 中部 六八六
 地主の説得に努力
 具志川村議会 村当局
 区画整理事業で説明 六八六
 都計問題で追及か
 具志川村定例議会開く 六八七
 “市昇格七月をメド”
 新垣村長 都計問題で答弁
 具志川村議会 六八七
 B52即時撤去を決議
 具志川村議会 六八八
 “税務監理がズサン”
 具志川村
 時効の税がふえる 六八八

難航する区画整理事業
 具志川村宮里―赤道間
 強い地主の反対
 村当局、強制執行の構え 六八九
 時効の税金ふえる
 年間二千ドル前後が自然消滅
 税務管理の改善が急務
 具志川村 六九〇
 沖繩の復帰要請を決議
 具志川村議会 六九二
 区画整理事業 六月初めに着工
 地主と調整進む
 米軍水道パイプを移す
 具志川 六九二
 あの町この村 具志川 六九三
 年間優良者を表彰
 具志川 農業祭り終わる 六九三
 軍用地を開放
 具志川 地主たちは大喜び
 平良川の黙認耕作地 六九四
 軍用地を地主に返還
 具志川村当局
 “市”昇格を正式に申請
 具志川 七月施行目ざす
 人口、三万九千を越える 六九五
 来月中には着工
 総合グラウンド建設へ
 具志川 六九五
 講和前補償金の
 支払いはじまる 具志川 六九七
 中部の三軍港
 拡張工事ですます強化
 原潜も二、三日停泊
 海水汚染の不安高まる 六九七
 あの町この村 具志川 六九八
 “少ない賠償金”
 具志川の地下水くみ上げ 六九八
 昆布土地接収
 さらに120日間延長

DEが法務局に連絡・・・ 六九
 “あくまで土地を守る”
 地主 阻止に新たな決意
 昆布の土地接収延長・・・ 六九
 開放地の区画整理を計画
 理想な町づくりへ
 地主組合結成して促進
 具志川村・・・ 七〇
 米軍の工事に不安
 区民が訴え
 地下水汲み上げるな
 具志川・・・ 七一
 市昇格に備え
 内部体制の確立急ぐ
 具志川村・・・ 七二
 総合グラウンド建設へ
 具志川
 69年度から本格工事・・・ 七二
 配分総額は一五七万^{ドル}
 68年度市町村交付税
 災害経費重点に・・・ 七二
 深刻な水不足に 具志川
 “井戸水がかわる”
 米軍 地下水くみ揚げ強行
 市に昇格へ 具志川村 政府、
 立法院へ必要手続きも・・・ 七四
 地方議会
 あすから一せいに開会・・・ 七五
 区画整理事業が焦点に・・・ 七五
 具志川の市昇格可決
 18日の本会議で正式決定
 立法院内政委・・・ 七六
 農業生活の向上へ
 具志川
 巡回生活相談はじまる・・・ 七六
 あの町この村 具志川・・・ 七七
 区画整理事業
 25日ごろ入札 具志川・・・ 七七
 喜びにわく具志川村 市昇格
 一日から発足

前原署の復活も明るい・・・ 七七
 具志川“市”へ昇格
 全琉で七番目
 立法院本会議
 全会一致で議決・・・ 七八
 月末から本格工事へ
 具志川村宮里、赤道
 区画整理に地主賛同・・・ 七九
 春闘ベ・ア額出そろろう
 各市町村
 那覇市114^{ドル}で最高
 小幅上積みで長期団交・・・ 七〇
 具志川市が誕生
 主席が署名、公布・・・ 七一
 具志川市 きょう発足
 門札も真新しく
 パレードなど多彩な行事予定
 機構も改革・・・ 七二
 具志川市が誕生
 市昇格をよろこぶ・・・ 七三
 具志川市スタート
 きょう祝賀パーティー・・・ 七三
 “市の発展を阻害” 具志川
 “地下水吸い上げ” やめよ
 弁務官や院へ要請
 最後の村議会で決議・・・ 七四
 祝賀パーティーにぎわう
 具志川市発足・・・ 七五
 新設課の職員発令
 具志川市役所・・・ 七五
 市昇格で機構改革 具志川市・・・ 七五
 新役員決まる 具志川市職労・・・ 七六
 具志川市の区画整理事業
 ついに法廷闘争へ
 “再び地主と市当局が対立”
 “水は命だ” 実力で阻止の構え
 取水すぐやめて
 具志川 区民が押しかける
 水道公社の取水・・・ 七七
 具志川市の市章決まる・・・ 七八

町から村から 具志川市・・・ 七九
 警察局、機構充実を計画
 具志川署を新設
 交通、捜査部門の昇格も・・・ 七九
 具志川市の加入承認
 全沖縄市議長会
 コザ市を視察・・・ 七〇
 具志川市の地下水くみ揚げ
 区民ら実力行使 水道公社
 ついに工事を中止・・・ 七〇
 新庁舎が完成 具志川市議会・・・ 七二
 来月から大幅に機構改革
 警察局
 交通部など新設
 布令改正も決まる
 激増の事故に対処・・・ 七二
 農連、中部製糖株を手放す
 国場組が買い取る
 精製糖工場経営を準備か・・・ 七三
 自治功労者を表彰
 31日に市昇格記念式典
 具志川市・・・ 七四
 議会室が完成 具志川市・・・ 七四
 具志川 賑った商行列
 きょう市昇格記念式典・・・ 七四
 二万人が参加、にぎわう
 具志川の市制祝賀式典・・・ 七五
 市昇格を祝う
 大空真弓も特別出演
 具志川市・・・ 七五
 具志川警察署が発足
 前原署復活
 三市村の犯罪防止へ・・・ 七六
 土地接収再燃か 具志川昆布
 軍港整備工事が本格化・・・ 七六
 “市塵芥処理場から飛び火”
 焼けた分弁償せよ” 具志川
 議会 賠償請求にびっくり・・・ 七七
 43万^{ドル}余を委託
 軍用地料、

金武など六市村に・・・七六
 新規接収やめて
 土地守る会代表らが陳情・・・七六
 具志川に海浜公園
 都計審 市の計画案を承認・・・七九
 九回目の接収延期 さらに
 120日間 具志川市昆布・・・七九
 具志川市川田田佐原
 海岸埋め立て申請
 農連が飼料工場の用地に・・・七九
 市昇格後、初の議会開く
 具志川・・・七〇
 あこの村 具志川・・・七〇
 中止までがんばろう
 昆布土地接収阻止
 決起集会ひらく・・・七〇
 具志川市赤道宮里区画整理
 工事始まる
 作付け補償など解決・・・七三
 軍物資集積所を建設
 具志川市昆布
 栈橋付近の埋め立て進む
 米軍 土地接収見合わせ？・・・七三
 きよう賠償金支払う
 具志川の燃料流失・・・七三
 主席・立法院選スタート・・・七三
 市町村別の全琉有権者数
 (補充名簿を含まず)・・・七三
 牛の品評会開く 具志川市
 モデル牛44頭が参加・・・七三
 戦いもきようまで
 選挙 地方の表情
 バテ気味の有権者
 “生活のペースも狂う”・・・七三
 当選者の顔ぶれ・・・七四
 立法院議院当選者の弁・・・七四
 団地建設を計画 具志川市
 長期プランで地域開発・・・七五
 立法院議員、
 主席選挙最終結果・・・七五

市内の牛価が暴落 具志川市
 豪州牛の輸入で
 畜産農家に大きな打撃・・・七六
 地方交付税決まる
 総額千二百三十万^{ドル}
 児童措置費など新設・・・七六
 初の商工展示会開く
 家具など千点を出品
 多数の参観者でにぎわう・・・七七
 具志川市取水問題
 地域ぐるみ阻止闘争へ
 干上がる井戸水
 開店休業のふる屋も出る・・・七七
 具志川・昆布 軍港整備を急ぐ
 物資輸送も活発化・・・七六
 “沖縄牛の保護策を”
 具志川市
 肉価下落で対策協議・・・七九
 史上第二の豊作
 キビ刈り取り始まる・・・七九
 原料キビの搬入 区域制を実施
 農林局、市町村に
 “区割り”送付 合理化、
 歩どまりの向上へ・・・七〇
 サービス向上へ
 具志川市風俗営業組合結成・・・七二
 追加更正予算など審議
 具志川市議会開く・・・七二
 昆布の軍栈橋
 年明けから活動
 軍物資集積所ほぼ完成・・・七二
 一九六九年(昭和44)
 取水工事に抗議
 具志川市当局・・・七二
 天願の打ち込み井戸
 建設工事を再開
 琉球水道公社
 “井戸が枯れる”

地元は反対
 混乱のおそれも・・・七三
 具志川の取水問題
 市をあげて阻止へ
 13日に臨時議会開き対策・・・七四
 接収を延期
 昆布の軍用地 地元
 “いつそうの阻止体制”・・・七五
 消えた横断歩道の照明
 コザ署が経費節減
 行政府の歳入欠陥
 地方行政にシワ寄せ・・・七六
 産業振興に力こぶ 具志川市
 山間地を開発
 積極的に企業誘致・・・七六
 水道公社の地下採水を協議
 具志川、
 きよう臨時議会開く・・・七七
 キビ作農家は大喜び
 耕運機・原料運搬も自由に
 千三百以上の農道新設
 具志川市 豊原―塩屋・・・七八
 具志川議会 生活権が奪われる
 地下水採水の中止決議・・・七八
 稲作でやっていけぬ 具志川市
 転畑、廃田目立つ・・・七八
 地下取水の即時中止を要求
 全会一致で抗議決議
 具志川市議会・・・七五
 団地の建設資金で 市当局と
 議会が対立 具志川市・・・七五
 地下水採取の即時中止訴え
 抗議市民大会開く 具志川・・・七五
 チリ処理は昆布と豊原で
 具志川
 ダンプ内焼き場を閉鎖・・・七五
 具志川市 渴水地域広がる
 水道公社に地下水奪われ・・・七五
 きよう結成大会
 県民共闘具志川支部・・・七五

公営団地	〃用地資金〃を審議	
	きよう具志川市議会	七五三
	まず三道路を完成	
	具志川市	
	舗装工事に力いれる	七五三
	水の悩み解消へ	
	具志川市	
	前原と川田へ上水道	七五四
	水田の復活はかるう	
	天願川下流の用水路改修	七五四
	米軍通信隊 アンテナ張り替え	
	中部三市村	
	黙認耕作者大あわて	七五五
	焦点は公営団地問題	
	具志川市議会開幕	七五五
	具志川市議会、大荒れ	
	市有地	
	市長一存で業者に貸す	七五五
	市有地賃貸契約	
	否決の可能性も	
	具志川市議会	
	市長不信任案提出か	七五七
	合併促進申し入れ	
	勝連村議会	
	具志川市議員と懇談	七五八
	土地守り続けて3年余	
	具志川昆布	
	十回目の接收延期	
	農民、政府の	
	〃積極的解決〃要望	
	阻止闘争小屋も荒れ放題	七五八
	商工業の振興めざす	
	具志川市商工会	
	組織の強化準備	七六〇
	専決処分のワク拡大	
	市有地の賃貸借	
	具志川市議会が改正	七六一
	花火や闘牛大会 具志川市	
	賑わった初の産業まつり	七六二

昆布、11度目の接收延期		
地主一応ほつと 具志川		七六二
特別交付税額決まる		
総額二百七十三万三千 ^{ドル}		七六三
五階建の市民会館		
具志川市が建設を計画		七六三
暴落つづく豚価に悲鳴		
組合結成の動き		
生産・出荷体制確立へ		七六四
具志川市		
きようから具志川市定例議会		七六五
企業誘致を推進		
具志川市議会、市長が表明		七六五
11月末まで交通規制		
川崎マリン第二ゲート前から		
栄野比橋まで		七六五
30万 ^{ドル} の電動工場		
愛知電機が具志川に計画		七六五
送信基地半分を開放		
具志川市平良川		
軍、政府などに通達		七六六
爆弾輸送が活発に		
天願の軍棧橋		
住民は不安な表情		七六六
海兵隊120人が沖繩入り		
ベトナム撤退の第一陣		七六七
牛肉の改善のため		
具志川市		
去勢奨励補助金を交付		七六七
農耕地はどうなる?		
天願基地周辺に金網		七六八
民主団体のカンパで再建		
昆布の〃闘争小屋〃		七六八
復旧工事急ピッチ		
具志川市の13号線道路		
9月半ばには完成か		七六八
中部タクシー		
初の産別統一スト		
賃上げと夏季手当て要求		七六九
基地周辺に有刺鉄線をはる		

天願の米海兵隊		七七〇
きよう養豚組合結成 具志川市		
豚価安定、所得増大図る		七七〇
四市村の琉米親善委の定例会		七七一
愛知電機の申請許可 外資審		
〃地元と競合ありえない〃		七七一
貧困財政の解消へ 具志川		
山地を開発、企業誘致		七七二
米軍の出力に注目		
昆布の土地収用		
29日に期限切れ		七七三
栄野比坂が全面開通		
舗装工事などはこれから		七七三
観光ビーチを計画		
近く具体的に打ち合わせ		
具志川		七七四
愛知電工の建設工事始まる		
具志川		七七四
昆布の土地接收延期		七七五
金武湾を総合開発		
具志川、与那城、勝連の		
三市村が一体に推進		七七五
今期140万 ^{ドル} の赤字		
全琉の各製糖工場		
前期より80万 ^{ドル} 増		
キビ原料代引き上げが原因		七七六
中部に進出する本土企業		
愛知電機 本格的な建設へ		
市当局も地域開発に期待		七七七
栄野比で耕作禁止		
黙認地のパイン畑七千坪		
米軍		七七七
パイナップル畑を取り上げ		
米軍、弾薬盗難の予防措置		
美里村池原の黙認耕作地		七七八
農漁協通常総会		
農業基盤の整備へ 具志川		七七八
基幹作物、前年に比べ減少		
闘争小屋をコンクリートで		
土地を守る会が再建 昆布		七七八

へり、また不時着
具志川の原野、被害は無い
民地域の飛行目立つ
今月に入つてすでに三機
相次ぐ事故に不安・・・七六〇
人命にかかわる”
中部病院スト
厚生局が増員確約・・・七一
軍用地料の第一回支払い終わる
具志川市、勝連村・・・七一
各市町村、復帰へのとりくみ
対策のひとつに観光
総合的な調査研究も
課題は基地経済からの脱皮・・・七一
沖縄愛知電機が起工式
具志川大田区の
建設予定地で・・・七二
日曜カラー
「補給基地沖縄」を浮きぼり
昆布の軍棧橋
反対闘争しり目に完成・・・七二
生きた商工会作ろう 具志川市
沈滞ムードに不満の声
待たれる「改組」・・・七三
土地闘争本館が完成
総工費千五百ドルの
コンクリート建て
昆布の旧小屋焼け跡に・・・七四
し尿処理場建設を計画
具志川 総工費40万ドルで・・・七五
公営住宅の建設に本腰 具志川
70年度分は四十戸計画・・・七五
東沿岸の警備強化 具志川署に
「はやしろ」配備・・・七五
牛価持ち直す 具志川市
取引一段と活発化
奨励金の補助で増産計画・・・七六
黙認耕作地に被害 具志川
電力公社ケーブル工事・・・七六
被害補償で話し合い

ケーブル工事で
荒らされた耕作地 具志川・・・七七
あすから商工展示即売会
具志川市役所内で・・・七八
行政費改善に重点 70年度
市町村普通交付税額決まる・・・七八
弁務官資金九千ドル
具志川市川田公民館建設に・・・七九
爆弾の船積み活発化 昆布
B52撤収の影響？
機体も分解し送り出す・・・七九
急ピッチ大型アパート
具志川市の公営団地
来年二月までに完成
第一期計画で24世帯収容・・・七九
モダンな建物へ
具志川の電話局増築・・・七九
工事全面的にストップ
具志川市宮里―赤道間の
区画整理
政府の歳入欠陥が原因
付近一帯は荒れほうだい・・・七九
また120日間延期
昆布の土地接収・・・七九
町から村から 議会だより・・・七九
農耕地に土砂が流出
企業誘致の土地造成で
具志川・・・七九

一九七〇年（昭和45）
中部、ことしの展望・・・七四
操業始まる 農連具志川工場・・・七四
内容も充実
具志川の農産物展賑わう・・・七五
中部育成園 具志川市が誘致・・・七五
難航続ける土地改良事業
具志川市・・・七六
進む歩道整備計画
具志川市内の24号線

（メインストリート）・・・七九
四月から操業開始
愛知電機鋳物工場
建設工事は順調 具志川・・・七九
沖縄紡績、倒産寸前に
二七〇万ドルの負債かかえ・・・七九
ほとんどが不毛化
具志川 通信隊跡の開放地・・・七九
クロレラ工場誘致など議決
具志川市議会・・・七九
畜産センター完成
養豚、養牛、食品加工など・・・八〇
「交通課設けよ」
石川・具志川出身議員らが
要請・・・八〇
再建の明るい見通したつ
沖縄紡績KK
大和紡が技術援助
三カ月ぶり活気取り戻す・・・八〇
公営団地が完成 具志川市
24世帯収容、来月から募集・・・八〇
あすから定例議会
公営住宅建設など審議
具志川市議会・・・八〇
飼料は逆に値上がり 具志川
当局 対策に頭痛める・・・八〇
東海岸一帯を総合開発
具志川市が計画
干潟地と山間地付近
工業地として「白羽の矢」・・・八〇
市営保育所を建設 具志川市
カギっ子の保護育成で・・・八〇
72年復帰 市町村の取り組み・・・八〇
地下水源開発を計画
具志川市の天願流域一帯・・・八〇
深刻な養豚農家 暴落と
飼料値上げのダブルパンチ
政府の根本的対策訴える・・・八〇
激しい一騎打ち戦か
具志川市長選、25日に告示・・・八〇

具志川市の産業まつり
個人、団体を表彰
多彩な行事で賑わう・・・ 八〇
具志川署庁舎の早期建設を
臨時市議会 要請案を決議・ 八二
新垣、兼城氏が届出
具志川市長選はじまる・・ 八二
補助事業ストップ 財政硬直
市町村「なんとかして」・ 八三
180万羽を生産 中央畜産
ブローラーセンター完成・ 八三
きょう投票
具志川・美里首長選・・ 八三
投票率は九〇・四五％
具志川市長選・・・ 八四
新垣現市長を三選
具志川市長選の開票・・ 八四
新垣市長に当選証書・・ 八五
復帰控え行政視察
具志川市長きのう上京・ 八五
具志川市の市営住宅が完成
近く24世帯が入居・・ 八五
第二期工事を入札 具志川市
四十世帯収容の公営住宅・ 八六
効果あがる肉質改善 具志川市
積極的な去勢牛の普及化・ 八七
豪華な「市誌」
具志川市が発行・・ 八七
交付税185万^{ドル}に
財政需要みて重点配分・ 八七
市営住宅費など計上
具志川市六月議会始まる・ 八八
全国市長会議開く
具志川市を準会員に・ 八九
あの町この村 具志川市・ 八九
市民会館建設を否決
具志川市議会
資金難理由に・ 八九
区画整理近く再開
赤道―宮里間

政府補助で資金にメド・ 八〇
一方的な地下水開発
井戸水ひあがる
具志川市内の川崎・西原・ 八三
行財政の強化を研究
具志川市
復帰に向けて対策委・ 八三
都計にフアイト
市昇格二年目の具志川・ 八三
総合的な土地改良 具志川市
復帰控え基盤整備に意欲・ 八三
三十七人が立候補の動き
具志川市議選29日に告示・ 八四
地方議選・投票まであと10日・ 八五
市内は選挙戦一色 具志川市
22人に37人立候補・ 八五
きょう具志川市議選も投票・ 八六
中部の地方議員選と
今後の課題・ 八六
点滅始める
停止ラインのない
軍道路の信号機・ 八七
議長に当銘氏・ 八七
町から村から 具志川市・ 八六
足並みそろわぬパイン業界
企業合併で大揺れ
政府案と異なった方向へ・ 八六
川田公民館が完成
具志川
四百人収容のホールも・ 八九
新農道、建設進む
具志川海岸―天願下流Ⅱ
農家
生産向上に期待寄せる・ 八九
宙に浮く市民会館 具志川市
資金調達のメドつかず・ 九〇
養鰻センターを建設
具志川で、十二月から出荷・ 八三
市営保育所が完成
入所受け付けを始める・ 八三

具志川市が干拓計画
照間・宇堅
海岸の総面積三百万坪・ 八三
牛、豚四十一頭を展示
中部畜産展示会にぎわう・ 八三
野菜づくりに乗り出す
具志川市農協
キビー辺倒から脱皮
手始めに玉チシヤ栽培・ 八三
し尿処理場を計画 具志川市
七二年メドに用地の選定・ 八四
具志川市 国体誘致に名乗り
松原一帯を総合運動場に・ 八五
昆布の土地接収延期
こんどで16度目、軍が通知・ 八五
交付合計額は2千155万^{ドル}
71年度市町村普通交付税を
決定 前年より五百万^{ドル}増
行政水準の向上を図る・ 八六
市町村別世帯および
人口概数・ 八七
金武湾の開発が前提
具志川・与那城
合併、基本線で合意・ 八七
具志川市、文化センター
建設計画進める・ 八七
米軍 毒ガス移送計画を発表
登川経て天願へ
輸送は日中、好天選ぶ・ 八八
10日間で150^ト
沖繩の毒ガス
米国政府
当面の撤去計画を発表・ 八九
安全対策立てよ
毒ガス移送
住民、不満と不安訴える・ 八九
金武湾の警備強化 具志川署
水上警部補派出所を設置・ 九〇
れき殺など抗議決議
具志川市議会

全会一致で採択・・・ 八四〇
 軍雇用員の解雇撤回を
 具志川市議会で決議
 反米騒動の報復・・・ 八四一
 あの町この村 具志川市・・・ 八四二
 ガルフ問題が焦点
 具志川市
 ふくれる一方の人口・・・ 八四三

一九七一年（昭和46）

都市環境整備が最重要課題
 具志川市・・・ 八四三
 有名無実の商工会 具志川市
 改組計画もナシのつぶて・・・ 八四四
 沿道住民の避難対策
 毒ガス移送

政府が結論、最悪事態に対処
 登川など八千人
 バスを出し、地元で協力・・・ 八四四
 町から村から 具志川市・・・ 八四四
 おびえる住民、まるで戦時下
 人影なく「死の村」に
 避難騒ぎ泣き出す子供も・・・ 八四四
 警備本部も解散・・・ 八四四
 新コースの変更検討
 具志川市、毒ガス移送で・・・ 八四四
 移送コース
 建設局案を支持 具志川市
 嘉手納・北谷両村が反発・・・ 八四四
 具志川に老人ホーム
 百五十人収容、年次で拡張・・・ 八四四
 天願棧橋使用に反対
 具志川市議会

毒ガス移送問題で決議・・・ 八四四
 中央畜産 ヒナ八千羽焼捨て
 ブロイラー暴落で打撃・・・ 八四五
 具志川市は建築ラッシュ
 復帰後の資材値上り見越して
 月に五十件の申請・・・ 八四五

天願棧橋使用に反対

石川市議会
 毒ガス移送で決議・・・ 八五二

毒ガスコース
 納得いくよう検討
 副主席 三市村代表に回答・・・ 八五三
 住民地区は避けよ 毒ガス移送
 美里村など三市村
 行政府にコース変更を要請・・・ 八五四

経済振興に全力を 具志川市
 商工会議所設置を推進・・・ 八五五
 キビの12倍の収入
 具志川市農協
 山イモを試験栽培・・・ 八五五

毒ガス移送コース
 天願への折衷案が有力
 行政府、立法院、
 関係市村が実地踏査
 工事、短期間で可能
 米軍「滑走路は通さぬ」・・・ 八五五

毒ガス移送
 七コースを軍民合同で踏査
 今月中には決定へ
 政府・立法院が調整急ぐ・・・ 八五五
 73年までに合併
 具志川市、
 与那城村、勝連村

地域懇談会で世論おこす・・・ 八五五
 具志川に育成園
 精神薄弱児の通園施設・・・ 八五五
 水稲、水イモなど5割減収
 水道公社の
 地下水取水問題

具志川市 近く補償要求へ・・・ 八五五
 具志川市昆布軍用地地主会
 適正な補償なければだめ
 新規契約に応じぬ
 復帰後の開放地問題協議・・・ 八五六

欠ける住民安全
 立法院の毒ガスコースに

石川・具志川が反対・・・ 八六二
 毒ガスコース
 “安全性を欠く”
 具志川市 主席に反対表明・・・ 八六二

毒ガス移送コース案
 “天願棧橋使うな”
 地元三市村そろって
 反対表明・・・ 八六三

天願棧橋使用に反対
 具志川市議会
 毒ガス移送で決議・・・ 八六三
 目標額を四十三万ドルも突破
 具志川市農協の
 貯蓄増強運動・・・ 八六三

行政向上に役立てる
 “本土政府の復帰記念”
 特別交付税15億円分Ⅱ
 行政府、均等、人口割りで
 市町村に配分・・・ 八六四

取水の中止を
 具志川市の赤野、宇堅区
 水道公社に要請・・・ 八六四
 陸上競技場用地買収にメド
 具志川市、
 総合運動場計画で・・・ 八六五

会頭に外間完功氏
 具志川市商工会結成大会・・・ 八六六
 具志川
 工業地域化に意欲みせる
 東海岸山間地
 総合開発を計画
 復帰施策として強力に推進・・・ 八六六

金武湾の開発急ぐ
 具志川市
 立地条件など診断依頼・・・ 八六七
 中城、金武湾を特定港に
 運輸審議会で決定
 政府が管理運営
 ホワイトビーチなどは除外・・・ 八六七

24
 日から産業まつり

具志川市・・・ 八六八
 肉用牛の預託事業始める
 将来は「畜産団地」に
 具志川市農協
 農連とタイアップ・・・ 八六八
 毒ガス移送コースを決定
 関係市村の説得へ
 行政府、安全対策に着手・・・ 八六九
 軍、今月から突貫工事
 毒ガスコース焦点は
 地元説得・・・ 八七〇
 搬入量20万ト
 具志川製糖工場
 操業終わる・・・ 八七一
 毒ガス移送コースの工事費
 日本政府で負担を
 高等弁務官が要請？・・・ 八七一
 通産省決定で意欲
 大型プロジェクト基地に
 金武湾臨海工業計画・・・ 八七二
 関係市村の協力を
 毒ガス対策本部・・・ 八七三
 毒ガス移送 道路工事を再開
 米軍六月中に完成予定・・・ 八七四
 沖縄紡績再建へ
 本土資本と提携、増資・・・ 八七五
 70年度の弁務官資金
 335,963ドルを交付
 石垣市がトップ
 米民政府報告
 公民館建設費が圧倒的・・・ 八七六
 71年度の特別交付税
 総額二二九万ドル
 前年度より二九%の増・・・ 八七七
 進まぬ中部市町村合併
 復帰を目前に
 実現が危ぶまれる・・・ 八七七
 「終戦処理」これから
 軍用地の一部返還で問題化
 境界線不明、

所有権争いの恐れ
 復元補償要求へ
 美里 具志川・・・ 八七九
 復帰記念会館を建設・・・ 八八〇
 シンボルマーク
 具志川市章・・・ 八八〇
 水利権奪還を提訴
 具志川 新垣市長が方針・・・ 八八一
 各市町村・72年度予算概況・・・ 八八二
 選挙人名簿登録者数・・・ 八八二
 毒ガス移送の補償
 事前支払いムリ
 総額33万8千ドル
 「国の負担」折衝へ
 行政府対策本部・・・ 八八二
 29日から話し合い
 毒ガス移送
 行政府
 地元民や民主団体と・・・ 八八四
 カンピョウ栽培に成功
 具志川市農協
 一株から15個も収穫
 業者と契約、豊かな農家を・・・ 八八四
 参院選市町村別開票最終結果・・・ 八八五
 軍用地2,589万(平方尺)の
 返還要求
 那覇、読谷など20市町村
 政府近く「軍用地
 対策本部」も設置・・・ 八八六
 安全対策と住民生活の補償を
 毒ガス移送で決議
 具志川市議会
 明確な回答なければ反対・・・ 八八六
 安全対策と補償で要請
 第二次毒ガス移送
 具志川市議会・・・ 八八七
 予算なく公衛課設置できず
 具志川市・・・ 八八七
 毒ガス移送 必要な補償払う
 具志川市、

事前補償で延期申入れ
 財源は日米に依存
 行政府が最終方針・・・ 八八七
 補償は移送後にまとめて
 毒ガス対策本部
 村を通して支払う
 15日までは金額も算出・・・ 八八八
 ついに土地守り抜く
 具志川市昆布、米軍接收中止
 「正しい戦いは勝つ」
 五年半ぶり感激の地主・・・ 八八〇
 15日から夏休みを
 文教局は授業続行を主張
 毒ガス移送で
 美里村の小中学校・・・ 八九一
 「土地は農民のいのち」
 苦しい戦いに広がる支援
 強硬な米軍、ついに屈す
 ねばりぬいた五年半
 昆布土地闘争・・・ 八九二
 久場崎など返還通告 米軍
 来月末に約67万平方尺
 リストより少ない
 法務局が調査へ・・・ 八九四
 毒ガス補償 36万ドルを支出
 山中・屋良会談で合意
 「休業」分は移送後・・・ 八九五
 地域住民説得へ
 毒ガス移送
 立法院特別委が決定・・・ 八九六
 毒ガス移送
 15日から開始の見通し
 きょう、リハーサル
 三市村
 行政府補償案を了承・・・ 八九七
 一次分の補償金支払う・・・ 八九九
 警官二百六十五人を配置・・・ 八九九
 「地料査定安すぎる」
 天願地主会
 「訂正せよ」土地連に抗議・・・ 八九九

新しい都計を求めて 具志川市

都市の近代化図れ

沖繩経済開発研究所

地域開発診断で報告 九〇〇

闘争の勝利をかみしめ

― 昆布土地を守る会が

祝賀会―

会場に白髪の老人、主婦も 九〇〇

〃売り上げが落ち〃

具志川市長らが補償訴える

毒ガス移送コースの商店 九〇一

自主避難認めず

休業補償は検討

毒ガスで行政方針 九〇二

各市町村が道路計画

復帰記念事業

特別交付割り当て 九〇三

具志川市 未来の総合開発

経済開発研究所調査報告 九〇三

自主避難の便宜図る

毒ガス対策幹事会

地元の安全対策費は

政府負担で 九〇七

軍用地は開放されたが

自分の土地はどれ

具志川天願

区画や図面が不備 九〇八

毒ガス落下事故

それでも安全作業か!

損害を補償せよ

地元民

ヘイズ少将に詰め寄る 九〇九

旧盆前に支払う

毒ガス移送の慰謝料 九一〇

市昇格3年目の具志川

建築ブームで活気

住宅、店舗区画

一人一日五十ト 毒ガス移送協力者金 九一一

内金きよう支払い 九一二

毒ガス移送

七日再開、十日に完了

主席と高等弁務官

近く撤去確認を協議 九一二

沿道住民に支払う

毒ガス移送協力謝金

一人当たり十五ドル 九一三

工業化で狭められる農地

政府は真剣な農政を

非効率な農業はごめんだ 九一四

補償額十七万二千ドル

沿道の五部落

近く九百世帯分・要求 九一四

総額50万3,000ドル要求

毒ガス移送の補償

地元要求まとめる 九一五

毒ガス補償の支払いを早く

石川、具志川両市長が要請 九一六

〃石油公害〃許さぬ

具志川、与那城

臨時議会開き対処 九一六

〃監視を厳しくせよ〃

具志川油汚染で政府を追及

事業認可の責任を 市長、

議員ら押しかける 九一七

ガルフの操業停止を要求

与那城 具志川

石油公害で抗議 九一八

ガルフ事前に相談もなく

工業用水引きたい〃

具志川 一方的通告に怒る 九一九

具志川市議会

操業中止を求める

ガ社の原油汚染で抗議 九一九

きよう毒ガス補償費支払い 九二〇

畜産共進会開く

〃養豚どころ具志川市が 九二〇

三年ぶりに用地決定

念願の総合(グラウンド)

来年着工へ 具志川 九二二

道路事業 五カ月もストップ

政府認可おろさず

手ぬるい事務処理に怒り

具志川市 九二三

具志川を工業、流通都市に

日本工業立地センターが

調査報告書

交通便生かした開発を 九二三

普通交付税の配分決まる

総額二千七百万ドル

前年比二八・七%増 九二五

地方交付税額を決定

総額三千九百万ドル

公共施設整備中心に 九二五

地下水は市民の命

取水おことわり

ガルフに〃待った!〃

具志川市

大企業優先に怒る 九二六

水道公社 配管工事を一時中止

具志川の工業用水で語る 九二七

遅れるし尿処理建設

財政難と水不足がたたる 九二七

ガルフ給水 工事を一時中止

具志川市長らが公社と団交 九二八

主婦に大人気の商工展示会

具志川市 九二九

年内支払い無理

毒ガス移送の休業補償 九二九

広がる水騒動 水道公社に抗議

具志川市民

〃地下水はとらせぬ〃 九三〇

具志川海岸の自然破壊

原因はどうか 九三三

原油汚染 九三三

ガルフ取水に強く反対

沖繩水道協議会が

主席に申入れ 九三三

日用雑貨なんでも

具志川市農協

好評の販売コーナー

水資源対策委が発足

具志川市議会

資料など収集、審議へ

十五万五千^{ドル}支払う

毒ガス移送の協力謝金

一九七二年(昭和47)

着々進む都計事業

生活用水を死守

再開に憤慨

実力行使で阻止へ

市長らが公社に抗議

具志川

米民政府がゼロ回答

水田の損害賠償

証拠不十分理由に

具志川市天願川

誠意なきに地主怒る

混乱する中部圏

具志川市

道路17カ所の補修工事始む

近く総合グラウンドも

送水管工事を再開

具志川

市民が反対の立て札

水資源対策委を設置

具志川市

水道行政立て直しで

産業祭りなど強化へ

具志川市商工会、市が懇談

近く本土に直訴団派遣

毒ガス補償獲得五者協

団地建設進む 具志川

住宅難解消へ急ピッチ

行政は無責任

具志川市議会

毒ガスなどで抗議

肉牛の取り引き活発化

需要増で牛価持ち直す

具志川市区(定員二人)

公明除き四人が出馬か

川田の製糖工場

五万六千^トを搬入

ブリックス昨年より低下

復帰記念会館の入札行なう

具志川

恩納など六カ所開放

総面積 21万9千平方^ト

民政府が発表

雨ごとに汚水流れる

具志川市豊原・16号線

細菌と同居

お役所仕事に怒り

爆発物運ぶ

天願から辺野古へ

市営保育所を増設

60人収容、モダンな建て物

舗装工事などいっせいに着工

具志川市

知事・県議選立候補予定者

野犬掃討作戦へ

具志川市

被害は増加の一途

活発な弾薬の搬入

天願軍港

米軍がきびしい警戒

行政訴訟の提起も

具志川市

毒ガス移送補償で

沖縄県郵便番号決まる

茶の苗植え始まる

五年計画で茶園築く

具志川市

建議の扱い苦慮 農林局
共同漁場

具志川市の反対で

地代上げれば開放必要ない

天願通信隊基地地主が回答

市当局は困惑

都市計画にも支障きたす

具志川市

種苗は整備に力入れる

若年労働者は流出

具志川市の市勢調査

軍雇用員も減る

今年操業終わる

具志川製糖工場

前期より一割減の実績

具志川市海域

漁業権の設定に反対

全会一致で可決

臨海開発の発展阻害

具志川市議会

野犬天国追放へ

具志川市が掃討作戦

メチャクチャ無料給水

具志川市8カ字

市の計画に水さす

琉球政府へ解決要請

具志川市

軍用地の返還を

市の発展阻害で要望

天願通信隊の地主

謝礼金は契約地主へ

防衛施設庁

地主代表へ説明

工業と流通都市へ

開発計画で

2つの調査報告書

具志川市

企業誘致の基盤整備

不成績の野犬狩り

具志川市対策を再検討

軍用地契約 作業急ピッチへ
防衛施設庁の説明
19市町村地主会が了解

本土から種豚十六頭 具志川	品種改良に力入れる・ 五割年休に突入 具志川	517万ドルを減額 72年度普通交付税	返納の市町村も 年度途中の復帰で再算定	総額2,500万ドル余 校地確保・無医村解消へ	復帰予算の編成急ぐ 中部の各市村	来週に集中審議 予算規模大幅に伸びる	商工業者の加入を 具志川商工会新会長に	瑞慶山氏・ 軍用地29市町村が予約	防衛施設庁長官が答弁
・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・	・ ・ ・
九六三	九六四	九六四	九六四	九六五	九六五	九六五	九六七	九六七	九六七

具志川市史 第七卷

新聞集成・戦後
社 会 編

平成二十年三月十四日 印刷
平成二十年三月三十一日 発行

編集

うるま市
具志川市史編さん委員会

発行

うるま市教育委員会
沖縄県うるま市勝連平安名三〇三三二
電話 〇九八（九七四）三一一一

印刷

有限会社がじまる印刷
沖縄県うるま市字宮里一三五
電話 〇九八（九七三）六二六三

具志川市史
第七卷

新聞集成・戦後
教育文化スポーツ編

収録記事目次

教育文化編

一九四五年（昭和20）

軍政本部より・・・・・・・・・・・・・三

一九四六年（昭和21）

沖縄文教学校開校・・・・・・・・・・・・・三
 学校長任命・・・・・・・・・・・・・三
 前原ハイスクール校学芸会・
 特別憲兵、颯爽と登場
 百四十八名巣立つ・・・・・・・・・・・・・三
 巡査教習生九三名巣立つ・・・・・・・・・・・・・四
 新教員配置・・・・・・・・・・・・・四
 外国語学校合格者・・・・・・・・・・・・・四
 初等学校校長異動・・・・・・・・・・・・・四
 教頭異動・・・・・・・・・・・・・四
 文教学校合格者・・・・・・・・・・・・・五
 初等学校教員
 無試験検定合格者
 十月三十一日附・・・・・・・・・・・・・五

一九四七年（昭和22）

外語教官訓練生卒業式・・・・・・・・・・・・・五
 文教学校から二校独立・・・・・・・・・・・・・五
 警察学校卒業式・・・・・・・・・・・・・五
 警察大学設立
 志喜屋知事所信を表明・・・・・・・・・・・・・五
 一九四七年度
 高等学校生徒募集要項・・・・・・・・・・・・・六
 金武湾校一周年記念行事・・・・・・・・・・・・・六
 実業ハイスクール校長発令・・・・・・・・・・・・・七
 文教学校一周年記念式・・・・・・・・・・・・・七

沖縄外国語学校募集要項・・・・・・・・・・・・・七
 前原地区教育会創立・・・・・・・・・・・・・八
 文教学校卒業式・・・・・・・・・・・・・八
 文教学校合格者・・・・・・・・・・・・・八
 外語校合格者・・・・・・・・・・・・・八
 初等学校教員異動 七百余名
 男女平等へ
 初、高とも共学を実施・・・・・・・・・・・・・九
 視学担任地区決る・・・・・・・・・・・・・九
 前原高校保護者会・・・・・・・・・・・・・一〇
 文教学校二部生募集・・・・・・・・・・・・・一〇
 校長教頭発令・・・・・・・・・・・・・一〇
 文教学校演芸会 演劇の研究室
 近代劇の「種まく人」

一九四八年（昭和23）

文、外、中農合同学芸会・・・・・・・・・・・・・二
 雑誌文庫貸出開始・・・・・・・・・・・・・二
 前原高校男女共学研究會・・・・・・・・・・・・・三
 日本派遣の医学生出發・・・・・・・・・・・・・三
 具志川実高学芸会・・・・・・・・・・・・・三
 文教学校卒業式・・・・・・・・・・・・・四
 前原高校卒業式・・・・・・・・・・・・・四
 新学制に校舎の悩み・・・・・・・・・・・・・四
 初一年算数の講習会・・・・・・・・・・・・・四
 教壇退く者
 二箇月で三百余名
 英語教員の養成科募集・・・・・・・・・・・・・五
 学校補給品受取日確定・・・・・・・・・・・・・五
 警察学校那覇移転・・・・・・・・・・・・・五
 外語学校一次合格者・・・・・・・・・・・・・六
 文教学校二部一次合格者・・・・・・・・・・・・・六
 米琉教育親善週間・・・・・・・・・・・・・六
 中部文教事務所・・・・・・・・・・・・・六

一九四九年（昭和24）

人事・・・・・・・・・・・・・一六
 前原高校科学祭・・・・・・・・・・・・・一七
 全島学生雄弁大会・・・・・・・・・・・・・一七
 心音 芝居誕生・・・・・・・・・・・・・一七
 高校入学者極めて振わず
 文教学校生徒募集・・・・・・・・・・・・・一七
 校長、教頭異動・・・・・・・・・・・・・一八
 英語、社会科教育指導委員
 学校の恒久建築着工
 今年度三百教室
 工事費の割当決定・・・・・・・・・・・・・一八
 外語文教学校琉球大学へ・・・・・・・・・・・・・一九
 会と催 沖縄ガイ国語校
 教連会館今月より着工・・・・・・・・・・・・・一九
 校長教頭・・・・・・・・・・・・・一九
 初等学校教員検定合格者・・・・・・・・・・・・・一九
 文教附属校の問題 研究続行
 校舎も忽ち復旧
 金武湾PTA・・・・・・・・・・・・・二〇
 附属校舎は初中校へ・・・・・・・・・・・・・二〇
 校舎建築割当 中部・・・・・・・・・・・・・二〇
 学校看護婦配置・・・・・・・・・・・・・二〇
 教員異動・・・・・・・・・・・・・二二
 教頭辞令・・・・・・・・・・・・・二二
 学校看護婦講習卒業生・・・・・・・・・・・・・二二
 学徒の懸賞論文
 入賞者九名決定・・・・・・・・・・・・・二三
 本社主催音楽コンクール盛會
 一等は独唱瀬底信子、
 ピアノ高橋史子さん
 琉球放送局が実況を録音
 演劇コンクール 今日開催
 青少年臨時厚生協会
 よい公民の育成に
 博愛、奉仕の協同体
 単位団七十四校
 あす一斉に誕生・・・・・・・・・・・・・二三
 民主化へ

教育委員会いよいよ発足	委員、教育長は知事が任命	三
米琉教育週間	四日から各校で	三四
文教学校	琉大へ移転	三四
各地区教育委員決定		三四
婦人委員も二名登用		三四
中部高農	移転申請	三四
スクールシヨウ		三四
高校弁論大会		三四
目立つ女生徒の進出		三四
クリスマス童話大会		三五
ラヂオセット		三五
三百台・学校へ割当		三五
初校無試験検定		三五
一九五〇年(昭和25)		
警察を觀る		
文教附属生の社会科見学		三六
文化会館	設置を陳情	三六
各地区に文教事務所		三六
文教学校	移転開始	三六
文教学校	移転開始	三六
教育視察員に四氏推薦		三六
日本留学生	先生も肩を並べて	三六
ドツと殺到した願書		三七
高校入試要項決る		三七
個性尊重に留意		三七
選択科目を設ける		三七
米人学校		三七
文教学校	研究科生が視察	三六
初校・無試験検定合格者		三六
外語は大学英文科		三六
教官補の再教育も実施		三六
公共建物	二一四棟	三六
第三次工事指令で決定		三六
外語校		三六
体操の自由科目に		三六
社交ダンスを		三六

明るい男女共学風景		三九
孤児へ贈る		三九
具志川中学校生らの美学		三九
新入児童	一万五千九百余名	三九
具志川の文教附属校		三九
普通校に		三九
高校教官補任用替え		三九
本社創作募集締切		三九
文壇の豪華版		三九
集った新人の珠玉作		三九
教育長代理	留守地区任命	三九
文教卒業式		三九
本社主催	一等は国吉克子さん	三九
大賑いの全島童話大会		三九
童話協会と紙芝居協会		三九
文教校	琉大に合流	三九
工高に殺到	“教員養成科”として	三九
断然多い那覇地区		三九
文教新卒の就任希望校		三九
中農卒業生		三九
入学の半数	官庁を希望	三九
琉大募集人員決定		三九
文教学校を合併		三九
教育委補充		三九
教員の資質向上に		三九
無資格者を再教育		三九
糸満、コザ、前原、ナゴに		三九
訓練所設置		三九
新卒配置	第一次八八名	三九
教員異動	きのう発表さる	三九
総数二三九名に及ぶ		三九
戦後初の大幅な揺れ		三九
教員異動	二三九名	三九
教員訓練所	募集要項	三九
田場初校	独立	三九
校長教頭	二次異動	三九
訓練所職員	発令	三九
外語分校	生徒募集	三九

高校の『単位制』今年度から		四〇
施設の不完備で		四〇
完全な実施は不可能		四〇
教員訓練所	運営要項決る	四〇
女子留学生		四〇
諸見里さん選ばれる		四〇
教育視察員	近く渡米か	四〇
全学童に駆虫薬		四〇
今年度中には		四〇
七割が恒久校舎に		四〇
都市の子ら		四〇
二晩泊りがけで農村の生態調査		四〇
開南初校の社会科学習		四〇
寄宿舎への配給食糧		四〇
元の値段へ		四〇
教後連が据置き陳情		四〇
各地区校長会		四〇
琉大教授陣	昨日発表	四〇
人の動き		四〇
口こう衛生展	入選ポスター	四〇
夏季大学設け	初、中、	四〇
高校の教員を再教育		四〇
初校教官	検定合格者決定	四〇
前原地区	童話大会入選者	四〇
教育委員会	強化せよ	四〇
口大佐も臨席して		四〇
健闘を激励	教育長会議	四〇
軍主催の全琉懸賞小論募集		四〇
入選者発表		四〇
一等に宮古の徳嶺君		四〇
初教訓練所	修了生指導	四〇
生徒募集		四〇
英語力養成と職業教育を重視し		四〇
全島高校に	愈々単位制実施	四〇
米人学校へ	沖繩中校生二名	四〇
新校舎を待たざる	百の学校	四〇
割当順位決る		四〇
増俸待ちきれず		四〇
教育壇	去った七七名	四〇
教育長会議		四〇

学力向上と安全教育	各地区校長会で対策協議	〇〇
社説 志喜屋琉大総長任命	ベストを尽して	〇〇
抱負語る志喜屋氏	こども版 すばらしい出来栄え	〇〇
大にぎわいの	本社科学創作展	〇〇
こども版	知事賞を受けるまでには	〇〇
人に知られぬ「この努力」	科学者の卵・糸数君の苦心	〇〇
前原高校	運動場一ぱいに花と咲く	〇〇
四百名の御前風	琉舞に新しい試み	〇〇
学園に沸る	教員、生徒の熱誠	〇〇
校長教頭異動	688教室 建築割当きまる	〇〇
財源は売店利潤金を予想	人事	〇〇
教訓所は存置して	川崎初校の児童	〇〇
Xマス、パーティに招く	教え児を案じる『離職者』	〇〇
教壇復帰の動き	欠員の穴次第 埋まる	〇〇
教育長会議 学校建築割当決る	百十二校に一棟宛	〇〇
新校舎のない学校へ	具志川中校 個性伸張に	〇〇
見事なクラブ活動	すばらしい出来栄え 具志川	〇〇
中学校の自発的な研究会	川崎初中校生836名をまねいて	〇〇
賑かにクリスマス・パーティ	97高射砲隊員の心づくし	〇〇
こども版	でかしたぞ！！仲里功君	〇〇

自作の歌を研究会で発表	先生方もみんなびつくり	五
一九五一年（昭和26）	全島にさきがけ結成された	五
金武湾校PTAの活動	童話募集 一席『赤馬の歌』	五
指導主事 活発な教育界	研究発表攻めに	五
嬉しい悲鳴あげる	最高点 照屋幸子さん	五
気吐く童話大会	弁論大会 中校・仲地昌京君	五
高校・玉森 勝君	迫る高校入試	五
「せまき門」をどう開く	悩みは那覇、首里高校	五
受験区域一部変更等	近く協議	五
指導主事 あすから活動開始	校舎167棟 建築順位決る	五
こども版	入学試験せまる	五
準備は整いましたか	志願者総数	五
四九四九・70%は合格か	教後連へ推薦 各地区優秀校	五
校舎建築九〇棟追加	三月中に工事完了	五
高校採用人員決る	工高66% 那高六七・九%	五
首高 六八%	学校建築 労務は地元負担	五
沖縄一周線道路の実現など	きのう市町村長	五
協議会で審議	学校統合 自主的解決を	五
中農合格者	全琉で一三三名 琉大志願者	五

沖縄は三名倒し	師魂身につけ	五
初回教訓所きよう修了式	前原英語学校合格者	五
五ヶ年皆勤教員	前原地区教育会が表彰	五
教員異動六百八十余名が大揺れ	校長級も十七名	五
近く第二次異動	地区教育委決る	五
中央教育委員会発足	文教諮問機関として	五
教員異動	校長人事 百三十一校	五
日本派遣研究教員決る	雨を思えばじつと出来ない	五
「学校造って」	新崎君が訴える	五
九名決まる	教員に初の研究費	五
目覚ましい同胞の活躍	留学生も頼母し	五
昨日志喜屋総長ら七名帰る	こども版	五
兼原初校六年生たちの学級文庫	コーラーびん売ってつくる	五
高校卒業生の就職調べ	進学は一割四分	五
中部五割は軍作業	街カラ村カラ	五
前原英語学校 第四期合格者	よい子らの花束	五
金武湾初中校の贈物	「学校統合」をどう見る！	五
高校は時期尚早	初中校は世論を待つ	五
アイモに取る	前原高校の運動会	五
高校の町村分担金ムラが多い	52年度	五

教育展入賞者・・・・・・・・・・ 六四

一九五二年 (昭和27)

百教室の建築費・・・・・・・・ 五五

軍も援助の態度示す・・・・ 五五

童話、夢の国へ誘う・・・・・・・・ 五五

優勝旗久茂地校の・・・・・・・・ 五五

照屋さんへ・・・・・・・・・・ 五五

具志川中校の中間発表・・・・ 五五

良い行いはよい言葉から・・・・ 五五

実結ぶ『言語教育』・・・・ 五五

今後は家庭や部落に・・・・ 五五

田場初校・・・・・・・・・・ 五五

季節風・・・・・・・・・・ 五五

さあ仕事を始めよう・・・・ 五五

七時の鐘をうつ 感心な・・・・ 五五

田場初校の節子さん・・・・ 五五

百教室の建築・・・・・・・・ 五五

急を要する14校にも・・・・ 五五

ル准将の了解を求め・・・・ 五五

初の書道展 明日から開く・・・・ 五五

校舎建築 十七校へ十九棟・・・・ 五五

未供出瓦業者も督励・・・・ 五五

十四区に決まる・・・・・・・・ 七

きのうの中央教育会で・・・・ 七

社会教育主事発令・・・・・・・・ 七

校長教頭から抜てき・・・・ 七

具志川村の教育委届出・・・・ 七

教育委選 投票成績にムラ・・・・ 七

農村は割に好成绩・・・・ 七

▽当落はきよう判明△・・・・ 七

教育委選 顔ぶれ決まる・・・・ 七

吉田女史(大宜味)・・・・ 七

一位で当選・・・・・・・・・・ 七

地方教育を担う一八名・・・・ 七

きのう任命さる・・・・・・・・ 七

中央教育委・・・・・・・・・・ 七

志喜屋学長の辞任・・・・ 七

琉大理事会で決まる・・・・ 七

女子技芸成人学校・・・・ 七

具志川村に設立計画・・・・ 七

女学生が保母実習・・・・ 七

厚生園にやさしい姉ちゃん・・・・ 七

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

効果は素晴らしい 実験学校・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

一九五三年 (昭和28)

緑の学園“蘇る”・・・・・・・・ 八

全島緑化運動の前衛・・・・ 八

二六四教室割当成る・・・・ 八

本年度三、四半期の分・・・・ 八

直接学校の校舎割当・・・・ 八

英語学校の廃止決る・・・・ 八

碧眼が断然多い・・・・ 八

今年から学齡児に国際色・・・・ 八

中部地区の音楽コンクール・・・・ 八

胡差が断然筆頭・・・・ 八

学園の“混血児”調べ・・・・ 八

高校生が音楽の競演・・・・ 八

講堂にあふれる熱心な聴衆・・・・ 八

教育税 なかなか集らぬ・・・・ 八

文教局が各町村へ勧告・・・・ 八

教育委制による初の高校入試・・・・ 八

気になる採用数・・・・ 八

授業料を徴収して増減・・・・ 八

前原地区 教育長仮補充・・・・ 八

英語学校さよなら・・・・ 八

糸満、胡差、前原、名護・・・・ 八

四月一日から廃止・・・・ 八

採用数やつと決る・・・・ 八

中部農林高校 合格者・・・・ 八

少年少女 私たちの作文批評会・・・・ 八

具志川小校の六年生が・・・・ 八

毎週土曜日に・・・・ 八

前原高校 合格者・・・・ 八

英語学校の存続・・・・ 八

中教委へ陳情・・・・ 八

オルガンの配給・・・・ 八

学校の八割は行届く・・・・ 八

具志川技芸校卒業式・・・・ 八

最低の生活線守れ・・・・ 八

団結誓う中部教職員大会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

具志川中校で研究発表会・・・・ 八

教員の首キリ協議	教訓所卒	八
百二十名あぶれる	・	八
看護学校の第一次合格者	・	八
教員補助金 割当て決まる	・	八
本社主催 健康優良児表彰会盛況	・	八
讃辞に童顔を紅潮	・	八
遅しく次代を背負う子ら	・	八
寄宿舎にハブ	・	八
就寝中かまれて死ぬ	・	八
前原高校生	・	八
高校の授業料	・	八
最高六〇円、最低三〇円	・	八
教育税 公聴会でもまれる	・	八
存廃両論に老若の区別	・	八
納めましたか教育税	・	八
徴税率は都市が悪い	・	八
図画・作文コンクール	・	八
入選者名	・	八
生徒の沖繩代表	・	八
全日本学生会議に上原さん	・	八
中校英語弁論大会に	・	八
二君決る	・	八
図画・作文コンクール	・	八
入選者名	・	八
図画・作文コンクール	・	八
ほそる前原高校	・	八
校舎の移転を陳情	・	八
米国留学生 三十一名本決り	・	八
学園トピク 田場小校	・	八
四六時標準語で	・	八
学校から家庭へ伸びる	・	八
学園トピク 金武湾校	・	八
自主的な「生徒会」	・	八
父兄も積極的に協力	・	八
教育税はどうなった?	・	八
なかなか集らず学校は四苦八苦	・	八
P.T.Aが埋め合す	・	八
幼稚園保母、数カ月も無給	・	八
学園トピク 兼原小校	・	八
明るくのびのびと	・	八

女教員大いに張切る	・	九
学園トピク 具志川中校	・	九
常欠児なんと60名	・	九
各区に督励班設ける	・	九
きようから読書週間	・	九
各地でにぎやかな行事	・	九
創立以来初の運動会	・	九
中部農林	・	九
待ちかねた運動場完成	・	九
中教委 校舎割当決まる	・	九
女教員給、次第に引上げ	・	九
不振の職業教育施設調べ	・	九
南農一文も出ぬ実習費	・	九
船のない水産校宮古	・	九
将来はジャム製造も 中農	・	九
施設の充実計画に着手	・	九
高校入試高校側の準備拝見	・	九
高校生はかく叫ぶ 中部高校	・	九
社会科学クラブ討論会	・	九
粉ミルク使用方法	・	九
各学校の先生方へ講習	・	九
高校入試期日決る	・	九
2月18日から三日間	・	九
みっちり農業教育 三農高が	・	九
農業クラブ連結成	・	九
ほとんどが村長さん	・	九
区教委の	・	九
自主性未だし	・	九
一九五四年(昭和29)	・	九
校舎建築拡大か	・	九
嬉しい悲鳴!進学児	・	九
今年は一万名増加	・	九
不足する二百六十の	・	九
教員と教室	・	九
校舎建築 公立校は峠を越したが	・	九
恵まれぬ実業高校	・	九
激化する進学準備	・	九
殆んどが月謝で夜間勉強	・	九

一位與世山さん	・	一〇
第四回童話大会盛況	・	一〇
コンセット拵下 ぜびわが校舎へ	・	一〇
具志川区委が陳情	・	一〇
総合高校実現か	・	一〇
拵下げコンセット利用	・	一〇
実業校、統合に反対	・	一〇
関係校長が中教委へ陳情	・	一〇
伸びゆく親子ラジオ	・	一〇
きのう具志川で譲渡式	・	一〇
校舎割当順位決る	・	一〇
援助金受入れ準備整う	・	一〇
職校統合に難色 中教委	・	一〇
川崎コンセットに慎重	・	一〇
言語教育に張切る	・	一〇
田場小校	・	一〇
音楽コンクール 前原地区	・	一〇
高校入試・応募人員決る	・	一〇
定員に満たぬ定時制 開洋	・	一〇
前原・商業二名倒し	・	一〇
校舎割当は不公平	・	一〇
臨時中教委	・	一〇
照屋氏退場で流会	・	一〇
四百教室の割当決る	・	一〇
軍工事地は次に割当	・	一〇
中校の夜間学級	・	一〇
学校側は気乗り薄	・	一〇
春の新入児一万名増える	・	一〇
校舎が心配、復旧率は後退	・	一〇
教育委は無意味	・	一〇
具志川から廃止陳情	・	一〇
中農高合格者	・	一〇
前原高合格者	・	一〇
小中学校生に知能テスト	・	一〇
文教局が来月初め実施	・	一〇
区教委選挙	・	一〇
ソツポを向れた選挙	・	一〇
各教育区とも任命か	・	一〇
春の学園に朗話 中農高の学友愛	・	一〇
豆腐造りで稔る学業	・	一〇

母思いの知花さんに栄冠・・・	二七
看護学校の合格者・・・	二八
教員異動・・・	二八
公立学校補助金の割当・・・	二九
社教主事三氏近く発令・・・	二九
風雨にたゆる三年	
孤児学業のかたわれ荒地開発	
前原高校生の苦学物語り・・・	二九
沖繩歴史の見方	
仲原善忠氏各地で講習・・・	三〇
文審 高校統合を検討	
消えるのは四、五校程度？・・・	三〇
明るい話・美しい話	
「火の用心」足掛け四年	
お礼金で共同養鶏	
金武湾校の生徒自治会・・・	三三
初代学長を記念する	
志喜屋図書館盛大な起工式・・・	三三
各農校にトラクター 実業高校	
漸く設備の充実へ・・・	三三
校舎の割当が決る 基準面積、	
五規格制など原案通り・・・	三三
中農が陳情	
演習用に村有林を・・・	三四
努力校に政府が補助	
教育効果あげた37校・・・	三四
「沖繩一」健康優良児決る	
本社主催入選児10名の表彰式	
二十六日に	
男子村山君、女子大山嬢・・・	三四
中部地区 写生大会入選者・・・	三五
中・高校卒業生の就職しらべ	
希望通りはいかぬ	
未就職は全卒業生の五％・・・	三五
各地の台風余聞	
台風に万全の策・・・	三五
台風下校舎を守る 前原高校が	
天願君を近く表彰・・・	三六
コンセツト八棟 軍が無償払下	
立退きの宇堅分校へ・・・	三六

トップを切つて垣花小竣工	
年末に大半完成	
明るい教室で大喜び・・・	三七
まなびやの珠玉 3	
言語教育で全琉一	
鶴の一言で町長の椅子に・・・	三七
具志川区田場校へ	
軍水道の分譲を・・・	三九
まなびやの珠玉Ⅱ(8)Ⅱ	
初任給は黒糖一丁分	
郷土教育に捧げる熱情・・・	三九
高校の生物展賑う・・・	三九
軍用地を学校に払下げを	
具志川村が学校統合・・・	三九
中校 薄れた戦争の影響	
コンクール作文審査終る	
未来にも眼を向けよ 高校・・・	三九
沖繩支部を結成	
全国中校音楽研究会に・・・	三九
中高校の英語弁論	
各校の代表決まる・・・	三九
農業クラブ 沖繩代表出發・・・	三九
悪の芽全島に	
問題児の調査まとまる	
子供を守る会が	
不良化防止呼びかけ・・・	三九
本土での校舎募金	
学校別に割当決る・・・	三九
澁沢さんきよう来島	
各校へ募金割当も決定 あす、	
オグデン副長官とも会談・・・	三九
現在211教室が完成	
来夏までに80%が復旧・・・	三九
職業高校長会開く	
生徒経営の農場に脚光・・・	三九
「本土での研修生かしたい」	
農業クラブ参加の三君帰る・・・	三九
新棒給査定による	
教員給の割当決る・・・	三九
優秀な八重山	

中校音楽コンクール・・・	三六
覚えにくい平仮名	
前原地区の調査まとまる・・・	三七
高校入試 悩みは校舎と補助金	
受験予想	
七千六百名を突破・・・	三七
一九五五年(昭和30)	
農業クラブ連盟大会	
自慢の腕をご披露	
千坪から三万円のカンラン・・・	三六
ツライ就職の春	
移民送出狙う農高校	
すすめる自営農	
先生はモミ手で職場回り・・・	三六
軍用地開放出来ぬ	
具志川教委に回答・・・	三六
問題作成に悩む高校 高校入試	
著しく異なる学科進度・・・	三六
山川事務官感嘆	
金武湾校の複式学級に・・・	三六
青空のみえる教室	
机も終戦直後のシロ物	
他校をうらやむ	
金武湾小・中校の生徒達・・・	三六
音楽コンテスト 十高校参加、	
二十九日開催・・・	三六
研究教員三十名決る・・・	三六
きのう高校願書締切る	
昨年より狭き門	
四時過ぎにどつと願書の山・・・	三六
高校入試 採用率は増える見込	
志願者、予想を下回る・・・	三六
移転で志願者倍に	
開洋校五年計画で設備充実・・・	三六
教育補助金決る・・・	三六
学園運動 優良校を表彰・・・	三六
高校合格発表・・・	三六
教員異動 大巾に揺れるか	

都市あこがれる転出希望者	一四
目鼻つく教員交流の具体案	一四
各地区の均等化図る	一四
へキ地教員の配置内定	一四
児童園児用粉ミルク	一四
きのう各地区へ配る	一四
教え子に見送られ 研究教員	一四
二十八名きのう出発	一四
具志川小校廃止	一四
中教委五議案を可決	一四
本土大学合格者	一四
教員異動	一四
55年度教育税の徴収率番付	一四
一月までにまだ16%	一四
全然集まらぬのが十区も	一四
教育補助金(教員II給料)決る	一四
二千二百万円	一四
一五八名の増	一四
青春の悩みは深し	一四
中部の高校生の実態	一四
教育税はなぜ納まらぬ	一四
新教育精神の不徹底	一四
毎年悪くなる一方	一四
都市に多い不納者	一四
八教育長を再任 任期二年	一四
飲料水施設 軍が学校に	一四
沖繩一の健康優良児選定	一四
予選合格者は31名	一四
十八日那覇保健所で本審査	一四
夏のやりくり講習	一四
つらいかな「教員と単位」	一四
一万円の出費も	一四
申し込んでみてもなかなか	一四
混血児をどう指導する?	一四
文教局が本腰で研究	一四
先住民の遺跡発掘 多和田氏、	一四
近く地荒原貝塚を調査	一四
56年度校舎割当決る	一四
これで足りる必要教室数	一四
九月の教員異動 悩みの都市集中	一四

平均給をどう均らす	一五
地区間のムラがひどい	一五
貝塚発掘	一五
一位商高羽地君 高校弁論	一五
教員異動はどうなる	一五
各教育長のハラを打診	一五
どうやら掛声だけ?	一五
機械的にはいかぬ	一五
火の跡や原始曲玉など発掘	一五
多和田氏	一五
具志川地荒原の貝塚で	一五
前原地区住民大会	一五
宣言文を決議	一五
校舎建築割当	一五
本土教育研究集会	一五
参加の教員決る	一五
外からの圧力を心配	一五
高校選抜中部中校側と懇談	一五
『愛の教具』第一陣着く	一五
八千点一品毎に記念マーク	一五
各地で運動会	一五
雨去って大賑わい	一五
今年から寄付廃止も	一五
本社主催 図画・作文	一五
書道コンクール入賞者	一五
本社主催 児童・生徒作品	一五
コンクール入賞者	一五
わッ水が出た	一五
学校に水道の施設軍支給の	一五
パイプやセメントで	一五
米留合格者十七名発表	一五
愛の教具ぞくぞく	一五
けさ第三陣着く	一五
社会科教材に貝塚発掘	一五
前原高校生収穫どっさり	一五
来月12・13日 前原高校、	一五
開校十周年記念式	一五
高校選抜	一五
テスト管理方法決る	一五
オルガンずらり	一五

・愛の教具百余台着く	一五
全国農業クラブへ沖繩代表	一五
団長以下出席者きまる	一五
読書週間 優良図書館決る	一五
運営も自主的に	一五
殆んど働いて得た金で	一五
「知能テスト」即日採点	一五
全国高校弁論選手権大会	一五
海を渡る東洋大校友会杯	一五
栄冠に輝く三つの賞 親田五位、	一五
位揃って入選	一五
賞杯をみやげに	一五
高校弁論両代表帰る	一五
あつまらぬ教育税	一五
完納運動でやつとひと息	一五
委員会が報告怠り	一五
認識不足で三年も手こずる	一五
明るい社会も家庭から	一五
六つの目標かかげて	一五
鮮やかなクラブ運営 中農高	一五
女生徒こそぞって参加	一五
定時制設置	一五
農高校長が協議	一五
見事な上達ぶり	一五
中学音楽コンクール盛況	一五
開館のテープ切られ	一五
志喜屋図書館献納式賑う	一五
威容誇る志喜屋図書館	一五
“大学の心臓部”	一五
きのう花やかに献納式	一五
由来ばなし	一五
早く本土との結びつきを	一五
・音楽教育指導に	一五
浦崎氏来島	一五
川崎小中校教育研究会	一五
開拓地でお正月	一五
農高校生ら実習に発つ	一五
一九五六年(昭和31)	一五

開拓実習の農高生	八重山地元青年団と懇談	一六
あす校舎落成式	・金武湾小中校	一六
区民の熱で竣工	金武湾小中校きのう落成	一六
良くなった男女の交際	礼儀作法は悪くなった	一六
前原地区教研大会	市町村税を上回る	一七
悪くない教育税徴収率	開拓の体験ついで 各農校	一七
実習生八重山から帰る	よい子たちのお話大会	一七
一位に中今純くん	けさ高校弁論大会	一七
創立十周年祝う中農高	雨中に技を競う	一七
第三回農業クラブ大会	中学校の長欠二千人	一七
全琉児童の就学率	演芸会で賑う	一七
川崎小中校の十周年祝賀	高校のあゆみ(6)前原高校	一七
「平和」と「飛躍」へ前進	質実剛健の気風みなぎる	一七
農村に合う服装を	具志川技芸校の発表会	一七
高校のあゆみ(10)中部農林	不撓不屈の農魂練る	一七
清く正しく伸びる学園	去年より増える	一七
琉大学生募集締切る	高校 採用人員決まる	一七
十周年を祝う 田場校大賑い	中農高合格	一七
教育長会議 二日目	学級編制を検討	一七
平均給審議きように持越し	高校合格者発表	一八

指導要録改訂に	研究委員三九名を依頼	一八〇
問題児は親の無理解から	具志川中校で研究発表会	一八〇
沖縄看護学校 第一次合格者	教員異動	一八〇
玉川学園の一行	中部交歓会賑う	一八二
大学合格者	実験学校に22校指定	一八二
注目さる前原地区の	教育長人事	一八二
実習と学科の一体化	「総合農業」に期待	一八三
総合農業計画を樹立	注目さる中農高の研究	一八四
政府立学校 教員異動	教育予算の獲得運動	一八五
前原、名護の分まとまる	環境整備の学校コンクール	一八五
特殊児童生徒の教育を振興	文教局が五カ年計画案	一八五
特殊学校二校と	百七十四学級を新設置	一八六
農林高校の問題点	悩みの種は狭い土地	一八六
女子農業教育は再検討の要	注目の前原地区教育長人事	一八六
中教委でまともお流れ	中教委 前原地区教育長に	一八九
兼城賢松氏を任命	人物十年(149) 島袋俊一氏	一九〇
文教校設立と参画	具志川・戦後教育の発祥地	一九〇
移民の認識高揚に	各中、高校で懇談会開く	一九二
校内の美化整備	優秀校と優良校決まる	一九二
これで教育は均等?	教育税賦課に大きな開き	一九三

本社主催 第四回	写生大会入賞者(1)	一九三
本社主催 第四回	写生大会入賞者(2)	一九三
本社主催 第四回	写生大会入賞者(3)	一九三
行く者帰る者	どつと米留学生	一九四
職員も参加	中農高、きのう生徒大会	一九四
安慶名城跡を大切に	文保委が具志川村に注意	一九五
校舎建築割当	本年度の分けさ決定	一九五
振わない教育税徴収	例年より低下、四〇・九%	一九六
中農も寄宿舎も全壊	二部授業に逆もどり	一九六
校舎の被害百二棟	高校寄宿舎を瓦葺に	一九六
文教局が復旧急ぐ	小中学校社会科	一九七
来年から基準課程改正	十八日に第一回準備委	一九七
校舎の復旧陳情	伊集具志川村長らが	一九七
この子ら一人一人をどう導くか	問題児も良い子に	一九七
着々実結ぶ	具志川田場小校の努力	一九八
学力調査の講習会	25日から各地区で	一九八
中教委 生徒徴戒規則決る	八重山教育長に糸数氏再任	一九九
全国ラジオ唱歌コンクール	久茂地小校出場きまる	一九九
各校まちまちの懲戒規定	授業料不納も「退学」	一九九
中教委	不備の認可に問題点	一九九

公立学校に事務職員 五七年度予算で実現、 配置校決る・・・	二〇
運動会にも間に合った 本土から愛のスポーツ用具・ 女教員だけで教育視察・・・	二〇
全国農業クラブ大会に きのう中農生ら渡日・・・	二〇
前原地区小・中校 音楽コンクール・・・	二〇
合奏 一位に首里中校 音楽コンクール中校の部・・・	二〇
二千万円の備品費割当・・・	二〇
緩和されぬせまき門 来年度高校入学者定員決る・・・	二〇
来年の実験学校と 研究学校決まる・・・	二〇
出版許可・・・	二〇
“移民”の勉強に 中農高、宮古、 八重山へ旅団・・・	二〇
X・マスに中農高生 厚生園慰問・・・	二〇
商校眞栄城さんが一位 高校英語 スピーチコンテスト・・・	二〇
五つの要望折衝 PTA大会から三氏帰る・・・	二〇
道徳教育などを主題に 前原・石川で教研大会・・・	二〇

一九五七年(昭和32)

八重山開拓地で正月 実習農高生らけさ帰る・・・	二〇
農学徒の学習意欲發揮 好評博す中農高クラブ 研究発表会・・・	二〇
逞しい農魂發揮 中部農林高クラブ大会終る・・・	二〇

具志川でも作品展示会・・・	二〇
世代は見る(二) 夢は南米移民 非科学的な“大人”・・・	二〇
平凡に似た実質教育 田場小校の学校公開・・・	二〇
金武湾小中校の 水道工事に補助・・・	二〇
日頃の研究と腕を競う きのう農学徒の大会 参加四百名・・・	二〇
第二回全琉音楽祭 出演者紹介 “羨しい美声”・独唱 合唱・学校音楽の粹完璧・・・	二〇
音楽で学園を明朗化 称賛浴びる 具志川中校の成果・・・	二〇
熊本の松田農場へ 選抜された六名 三月末出発・・・	二〇
きのう高校願書締切る 那高予定数を下回る 職業高校に著しい増加・・・	二〇
軍作業より農業 地についた基地の学童・・・	二〇
教員異動にも気をむくPTA “いま去られては困る” 校長ひきとめ運動も待機・・・	二〇
採用人員・・・	二〇
高校合格者・・・	二〇
一訪問教師の実態調査から拾う 手放しの長欠児指導 悪質雇用者の取締り要望・・・	二〇
郷土色ふんだんに 児童の創作欲を生かす 具志川中校学芸会・・・	二〇
農場に黒板も備え 耕しつづ学ぶ中部農林高・・・	二〇
本土研究教員 三十名を内定 琉大研修教員決る・・・	二〇

どこにつく具志川村 一 高校教育区の去就に悩む・・・	二〇
一位に上山中校と那覇高校 学校放送劇コンクール・・・	二〇
教員志望都市地区に集中 石川、前原以北不足に悩む・・・	二〇
12 連合教育区認可 中央教育委・・・	二〇
小・中校の廃止設置など 中教委原案通り可決・・・	二〇
本土大学合格者・・・	二〇
教員異動・・・	二〇
政府立高校長決る・・・	二〇
前原地区校長異動 退職発令・・・	二〇
本土大学合格者 教員探しに躍起 有資格者三百余人の不足・・・	二〇
学園に三つ(教室不足、時間数、 定員)の悩み 教職員会調査による実態・・・	二〇
四十三万円集まる 具志川村の育英会資金・・・	二〇
各地区に協会置く 沖縄教育音楽協合理事会・・・	二〇
教科書選択委決る・・・	二〇
納得のいく裁断を 美里、コザの教育区が陳情・・・	二〇
学校開放講座開講 中農が一般青少年のために・・・	二〇
共通の広場物別れ 教育連合地区構成 前原地区とコザのもつれ・・・	二〇
流感、天願校臨休・・・	二〇
鶏や山羊飼って貯蓄 具志川中校 こども信用組合・・・	二〇
前原教育地区連合会話し決る あとは教育長の人選を急ぐ・・・	二〇
520教室の割当きまる・・・	二〇

第七回沖繩健康優良児表彰会

きょう中央審査会
 体格はすばらしい成績・・・三二七
 // 学校建設の恒久計画を"
 教育長会 補助教員、
 事務職員の配置決る・・・三二七
 学業活かす農業クラブ
 中部農林高校発表会・・・三二八
 盛沢山の夏休みプラン
 中部農林と中城中学校・・・三二八
 前原高校の分校設置 具志川村
 地区連合教育委に陳情・・・三二八
 具志川中校 楽しい音楽の生活化
 二日にわたる研究発表会・・・三二九
 本土派遣の研究教員
 十名を内定・・・三三〇
 もつれる前原高校分校問題
 地元与勝両村が猛反対・・・三三〇
 前原高校の具志川分校問題
 非公開で協議したが
 結論得ず・・・三三一
 借地料払ってと
 前原高校敷地主が
 連合教委に陳情・・・三三一
 長欠児童千八百名
 案外多い「父母共に健在」
 子供を守る会、
 実態調査まとまる・・・三三二
 米留口頭試問合格者・・・三三二
 育英会誕生祝賀会 具志川村・・・三三三
 前原高校分校問題円満に解決
 与勝両村が条件を承認・・・三三四
 軍パイプからの給水
 兼原小校が陳情・・・三三四
 一位に首里(中校)那覇(高校)
 音楽コンクール合唱の部・・・三三四
 具志川村金武湾区に
 18日から幼児園を開く・・・三三五
 すくすく伸びた終戦っ子
 きょう健康優良児表彰会

前途を祝福され
 希望輝く次代の子・・・三三五
 中農生が緑化奉仕・・・三三六
 音楽ベスト10決る
 全審査終る 新人芸能祭・・・三三六
 前原高校移転先
 具志川村田場区にきまる・・・三三六
 凶画・作文・書道コンクール
 入賞者氏名・・・三三七
 全琉高校長会
 職業課程設置案を検討
 普通課程軽視になつては困る
 身体検査は保健所の証明を・・・三三七
 寄宿舎が欲しい
 全琉高校長会
 各校が訴える・・・三三八
 本社主催
 写生大会入賞者氏名・・・三三八
 本社主催
 写生大会入賞者氏名・・・三三八
 新垣さんが一位
 中校英語弁論大会・・・三三九
 優良学校・部落図書館表彰
 石川文化会館の
 読書週間行事・・・三三九
 家庭クラブ研究発表会
 研究の成果も披露
 青ノリの佃煮など好評博す・・・三三九
 2千万円 校舎修繕費初の割当
 台風フェイ被害の
 急場しのぐ・・・三四〇
 軍も前原高移転に賛成
 来年四月に授業開始・・・三四二
 高校の職業課程配置
 首里は工芸を希望
 普天間は保育を見合す・・・三四二
 中教委 教育税九十%以上
 寄付募集
 認可基準可決さる・・・三四二
 前原高校移転など

中教委がスピード可決・・・三四二
 家畜仮装行列など
 賑わった中部農林体育祭・・・三四二
 中教委
 洋裁など各種学校認可・・・三四二
 高校入試
 新教育課程による定員決まる
 昨年より40名の減
 成績一覧表はあとで提出・・・三四三
 中頭郡教職員会
 中部で結成の動き・・・三四四
 現教職員 未亡人が百三十四名
 六十九名が戦争未亡人・・・三四五
 首里中校が連勝
 音楽コンクール 中校の部・・・三四五
 防火防犯展示会 一日から
 具志川中校生徒会が・・・三四五
 職業教育の備品費割当・・・三四六
 具志川村太田区に
 幼稚園を開く・・・三四六
 マリン隊が整地奉仕
 前原高校の移転予定地・・・三四六
 学芸会のあり方など
 具志川中校の教研発表・・・三四七
 望ましい学芸会のあり方
 前原地区教研大会発表会・・・三四八
 街から村から・・・三四八
 開拓実習に出発
 農高生らが八重山に・・・三四九
 有能な農家目ざす
 中農高校の
 第二回農業技術競技会
 第五回農業クラブ大会・・・三四九
 悪に引きずられる常欠児ら
 前原署が補導にのりだす・・・三四九
 Xマス・パーティーに招待
 マリン隊が川崎小校生徒を・・・三四〇
 一九五八年(昭和33)

中部地区 学校身体検査	二五
コザ保健所巡回日程決る	二五
与勝中、あげな小校、新設認可	二五
中教委	二五
会長に知念君	二五
全琉農業クラブ	二五
高校の願書締切る	二五
「狭き門」に殺到した一万三千	二五
コース選択に悩む	二五
学力テストは二月四・五日	二五
合格発表は二月末頃	二五
学校農クラブ 全島大会賑う	二五
全区民が学校づくり	二五
待望安慶名小校、	二五
建設に着手	二五
四月開校をいそぐ	二五
前原高校の建築進む	二五
色彩教育に力こぶ	二五
兼原小校の研究発表会	二五
川崎の海兵隊が	二五
安ゲ名校に奉仕	二五
新設 職業課程への関心	二五
高校選抜	二五
課程別の応募者数	二五
教育熱心なお巡りさん	二五
川崎小中校が近く感謝会	二五
川崎校に掲示板	二五
二万四千円でPTAが	二五
高校合格者	二五
みんな自分の力で 自主的な	二五
具志川中校の生徒会	二五
高校合格者	二五
児童の読解能力	二五
田場小校が研究発表会	二五
巣立つ若人の春	二五
断然目立つ進学組	二五
他は月給取りにあこがれる	二五
プロジェクト教育に成果	二五
中部農林の校外活動	二五
地域的な農業技術を	二五

身につける	二六〇
特別活動が活発	二六〇
高江洲小・中校のこのごろ	二六〇
具志川村教委に	二六〇
兼城英真氏推す	二六一
中教委・正副委員長を再選	二六一
マリンの援助で	二六一
具志川に二つの校舎工事	二六二
研究教員の壮行会	二六二
教育の機会均等	二六二
中部各地に活発な育英事業	二六三
前原地区教員異動	二六三
地方に盛り上げる育英事業	二六三
政府立学校職員の異動	二六四
職員表彰など可決	二六四
臨時中教委	二六六
具志川地区の学校へ軍が給水	二六六
教育行政補助金割当	二六六
悩みはてない「僻地教育」	二六七
安慶名校の工事順調	二六七
八教室は6月下旬完成	二六七
前原地区教職員会	二六七
教育予算の大幅獲得	二六七
全会員が丸となって当る	二六七
文教局 58年度実験、	二六八
研究学校を指定	二六八
学校に給水を 前原地区	二六八
米琉親善委員会に要望	二六八
教育予算はぜひ13億を	二六八
前原地区が要請	二六九
学校農業クラブ連盟	二六九
代議員会20日	二六九
生徒に誇りをもたす	二六九
具志川中校手帳で生活指導	二六九
教員異動 中教委	二六九
ことしの徴税率 たったの	二七〇
四四・八パーセント	二七〇
新校舎できる	二七〇
前原高校、近く移転	二七〇
沖繩側の作品 91点	二七〇

世界児童美術展	二七〇
前原高校具志川村に移る	二七〇
勝連、与那城、具志川三村民	二七〇
の協力実る	二七〇
高校敷地の賃借料	二七一
補助金割当決まる	二七一
経済地理を説く	二七一
伊藤教授中農で講習	二七二
前原高校に職家ビル	二七二
二百四十坪を政府予算で	二七二
「簡易水道に使って」	二七二
バ民政官が三小校に寄付	二七三
全国大会に初参加	二七三
高校家庭クラブ 23日に出發	二七三
明大生の人形劇	二七三
具志川のよい子らが見学	二七四
安慶名小校へ水を	二七四
文教局が米軍へ陳情	二七四
演芸会で基金募集	二七四
具志川育英会	二七四
評議員会で決る	二七四
危険校舎の修理を早く	二七四
校長が教委に強く要望	二七四
具志川	二七五
教育白書 各地区で作製	二七五
中部地区英語読書コンテスト	二七五
コザ中校	二七五
勝連洋子さんが優勝	二七五
写生大会入選者決る	二七六
写生大会入選者 優良賞の部	二七六
写生大会入選者 優良賞の部	二七六
写生大会入選者 優良賞の部	二七六
農業クラブ幹部講習会	二七六
沖繩学校農業クラブ	二七六
幹部講習会終る	二七七
研究教員の候補者決る	二七七
百%納税部落を表彰	二七七
教育税 全琉で百六十九区	二七六
地区で異なる教員給与	二七六
かたよる有資格者	二七六

最高は久米島の六千五百円	二七八
前原高校生徒会から	
川崎マリリン隊に感謝状	二七九
中高生の招待飛行	二八〇
教育税懇談会	二八〇
具志川村育英会	二八〇
文教案を認める	二八〇
高校選抜法を三地区が	二八一
人形劇団近く誕生	
具志川村安慶名で	二八一
具志川村育英会長に	
天願朝行氏	二八一
具志川中校が感謝状贈る	二八一
父兄・先輩がひと肌ぬぐ	
設備を拡充する前原高	
学友会も夏休返上で醸金	二八二
校舎割当決まる	二八二
中教委で二八六教室	二八二
全国農業クラブ大会	
沖縄の参加者決まる	二八三
めずらしい円形便所	
前原高校	二八三
入賞おめでとう	
道コンクール	二八三
運動会たけなわ	
家族連れで秋を楽しむ	二八四
入賞おめでとう	
作文・書道コンクール	二八四
自動車課程の増設を	
前原高校	二八四
全国農業クラブ大会へ	
代表発つ	二八五
高校入試	
競争率高まるか	二八五
前原高校定員増加を要望	二八五
派遣教員11人	
配置決まる	二八五
理解される教育税	
前原地区教委が	
各地区で懇談会	二八六
各地区で懇談会	二八六
青少年不良化防止のため	二八六

作文・書

〃定時制新設して〃	
中農が中教委に陳情	二八六
具志川村育英会	二八七
高校選抜 採用人員きまる	
職業高校は「狭き門」	二八七
活発化する中教委選	
十六日に選挙の告示	
中部地区は乱戦模様	
なかなか動きみせぬ都市	二八八
中央高、中部農林	
運動会にぎわう	二八八
農業クラブ参加の農高生帰る	二八九
中教委選挙 きょう告示	
早くもにぎやかな下馬評	二八九
わが校風(8)前原高校	
伝統の団結心生かす	
四百米トラックの計画進む	
新敷地に移って心機一転	二九〇
わが校風(9)中部農林	
年八万斤の堆肥作る	
移民教育・南米原語も学ぶ	
クラブ主催で草刈り競争	二九一
都市地区に初名乗り	
複雑な中部の動き	二九三
僕らの交通取締り	
川崎小中校の整理員たち	二九三
わたしたちの祖先	
少年少女のための沖縄歴史(七)	
沖縄の新石器時代	二九四
きょう健康優良児	
中央審査	二九五
沖縄の女子高生と	
お友だちになりましょう	
野口高校から	
日本人形贈られる	二九五
推薦状	二九六
八重山で開拓実習	
農高生36人現地へ向う	二九六
配分方法決まる	
米一握り運動の金品	二九七
小中校	
学級、教員数決まる	二九七

小校はふえ、中校は減る	二九七
中農の農業クラブ大会	
農家の向上に刺激	
ホーム・プロゼクト	二九七
道徳教育も粗上に	
前原地区教育研究会	
〃説教だけに終るな〃	
生徒と先生が裸でふれあう	二九八
ピアノ独奏 最優秀賞に大浜さん	
学校音楽コンクール	
・きょう引きつづき	
中校の部	三〇〇
一九五九年(昭和34)	
中農高がアンケート	
高校に移民熱高まる	
活発になるクラブ活動	
圧倒的にブラジル希望	三〇一
高校選抜 志願者一万三千名	
都市地区は〃せまき門〃	三〇二
きょう童話とお話大会	三〇二
夢の世界へ誘う 全島童話大会	三〇三
熱演、表情もたつぷり	三〇三
優勝カップや作品贈る	
山口、広島県の子供たちが	三〇三
木かげ	三〇四
研究の成果を発表	
技も競う沖農校クラブ大会	三〇四
職業教育補助金の割当決まる	三〇五
あすにせまる高校入試	
あさ10時から全琉一斉に	
二人倒しの〃狭き門〃	
ぐつとふえた定時制志願者	三〇五
校地資金の援助を	
中部市町村が	
移住特別会計へ要請	三〇六
高校合格者	三〇七
高校合格者	三〇七
学園の緑化	三〇七
安慶名小校	

コチコチの土に挑む	三〇七
父兄も学校づくりで緑化	三〇七
ままならぬ教員異動	三〇七
きのうから全琉教育長会	三〇七
均等化はまだお題目?	三〇七
那覇に左右される他地区	三〇八
学園の緑化	三〇八
リーダー「中部農林」	三〇八
一万本の大家さん	三〇八
ほとんど無投票か	三〇八
区教委選挙、届出はきょうまで	三〇八
かけ声だけの選挙戦	三〇八
低調どころか、住民は無関心	三〇八
「候補者やーい」	三〇九
のところが	三〇九
よい子らに夢の贈りもの	三〇九
人形劇団「ゆうな」	三〇九
子供好きのグループ	三〇九
手製の人形で	三〇九
世界の童話紹介	三〇九
投票は金武村だけ	三〇九
中部の区教育委選挙	三〇九
またスシ話学級の心配	三〇九
四月の新学期	三〇九
二百四十教室も不足	三〇九
自然増に追いつかぬ予算	三〇九
マリン隊が校庭つくる	三〇九
大助かりの兼原小学校	三〇九
前原地区教員異動	三〇九
前原地区教員異動	三〇九
前原地区教員異動	三〇九
前原地区教員異動	三〇九
悩みの種学校敷地の確保	三〇九
資金補助を陳情	三〇九
中部市村長がブース弁務官へ	三〇九
教育予算の実質運用にガン	三〇九
政府立教員異動	三〇九
政府立学校職員異動	三〇九
前原地区教員異動	三〇九
前原地区教員異動	三〇九
前原地区「子供の声」	三〇九
備品をもっと充実して	三〇九
家庭間で勉学に	三〇九

もつと理解を	三〇四
事業もひとまわり太る	三〇四
前原地区教職員会終る	三〇五
一石二鳥の音楽同好会	三〇六
昇給80ドル停り案には反対	三〇六
前原地区校長部会	三〇六
市町村別の琉大在学生	三〇六
「教育への関心」をみる	三〇六
各地をめぐる父兄に啓発	三〇六
村別にみる先生のタマゴ	三〇六
沖短大 地方出身者が多い	三〇七
やはり就職難を反映して	三〇七
勤評、集成刑法に反対	三〇七
前原地区教職員青年部	三〇七
七分科会で討議	三〇七
堆肥増産コンクール	三〇七
1日に約40トンを仮積み	三〇七
あっぱれ!中農生	三〇八
小中生図画コンクール	三〇八
小中生図画コンクール	三〇八
兼原小校十周年	三〇八
農業教師が研究会	三〇九
会長に仲田南農校長	三〇九
橋のある風景 栄野比橋	三〇九
出水で裂かれた男女の	三〇九
悲恋の伝説を秘める	三〇九
うたのふるさと 田場天願	三〇九
子供は乗せないバス	三〇九
兼原小校	三〇九
「通学に利用できない」	三〇九
安慶名さんが優勝	三〇九
第二回中部地区中校英語	三〇九
リーディングコンテスト	三〇九
辺地の子へ本贈る	三〇九
前原地区のよい子らが	三〇九
高校寄宿舎など建築	三〇九
中教委で割当可決	三〇九
開発実習に取っ組み	三〇九
八月一日から	三〇九
全琉の農業高校が	三〇九

琉大と中農旅行生	三〇三
福岡で各地見学	三〇三
児童生徒の作品贈る	三〇三
広島、山口の両県が	三〇三
研究教員の候補11名決まる	三〇三
文教局、校舎建築急ぐ	三〇三
新学期から二部授業解消	三〇三
中農の実習終る	三〇三
研修教員決まる	三〇三
88人の教員が結核	三〇三
二百十一部落が完納	三〇三
全琉的に教育税は好調	三〇三
沖繩高校長会生れる	三〇三
集成刑法に反対表明	三〇三
前原地区教職員青年部会	三〇三
具志川村内運動会日程決る	三〇三
前原高校に総合グラウンド	三〇三
向上心旺盛な農学徒	三〇三
農業クラブ夏季大会	三〇三
前原地区PTAの活動方針	三〇三
入賞者を表彰 中農農ク大会	三〇三
家庭の無理解で非行児に	三〇三
具志川区教委が常欠児調査	三〇三
環境の悪さも一因	三〇三
寄宮中と首里高が一位	三〇三
学校音楽コンクール	三〇三
「合唱」	三〇三
第二次校舎割当案成る	三〇三
きょう中教委会で審議	三〇三
具志川村の運動会	三〇三
全国PTA大会に	三〇三
渡慶次氏ら派遣	三〇三
高校政府移管	三〇三
連合区	三〇三
文教局折半で敷地買上げ	三〇三
地区は全額政府負担を主張	三〇三
全国PTA大会	三〇三
沖繩代表三人に補助金	三〇三
バザーで学校基金をつくる	三〇三
チームワークのよい	三〇三

具志川村高江洲校PTA	三三
百分完納は二百六部落	三三
58年度教育税納入成績	三三
勤評反対打出す	三三
前原地区校長部会	三三
本社主催	三三
図画・作文・書道コンクール	三三
入賞者名	三三
親子コンビで作詩作曲	三三
安慶名小学校校歌できる	三四
川崎中校運動会で	三四
マリン隊に感謝状	三四
健康優良児 前原代表決まる	三四
米田朝明 井上敬男	三四
平良幸子 諸見里恵子	三四
の四君	三五
各高校採用数 文教局案まとまる	三五
各校とも今春と同じ	三五
名護に定時制を新設する	三五
人出二万近く	三五
にぎわった中農の運動会	三五
第三マリン隊に感謝状	三五
具志川村が協力のお礼に	三五
図画・作文・書道コンクール	三六
前原地区小中校童話大会	三六
垣花さんが優勝 前原地区	三六
小中校音楽コンクール	三六
「道徳教育は賛成」	三六
前原地区教職員会	三七
分科会で討議	三七
図画・作文・書道コンクール	三七
一等入賞作品集	三八
退校処分は一方的?	三八
前原高校の父兄が	三八
文教局に抗議文	三八
原因は学校と父兄の非協力	三八
Xマス気分最高潮	三八
商店街はホクホク	三九
学童は楽しいパーティーへ	三九
招待	三九

「お巡りさん有難う」	三九
良い子らが警察を掃除	三九
一九六〇年(昭和35)	三九
第一回全国書道展入選者氏名	三九
文化大学主催	三九
27キロをエツサエツサ 中部農林	三九
与勝半島一周の校内駅伝	三九
第三回高校演劇祭 前原高校	三九
主人公の出ない劇	三九
「もうすぐ夜が明ける」	三九
発表	三九
第三回高校演劇祭	三九
「素晴らしい個人演技」	三九
前原高「創作劇」	三九
発表会賑う	三九
ゼスチュアたっぷり	三九
おトギの国になった子供博物館	三九
全琉小校童話大会	三九
前原に教職員会館	三九
前原で英語同好会を結成	三九
高校演劇祭終る	三九
商業高校「若年」を最後に	三九
審査発表は二月二日ごろ	三九
名城大学合格者	三九
沖縄から三十三名	三九
兼原小校整地に	三九
マリン隊が協力	三九
待ちぼうけを食う	三九
たった一度のパン給食	三九
具志川村の小中校	三九
台湾への派遣教員決まる	三九
高校教員定員決まる	三九
政府立545人	三九
公立808人	三九
田場小校研究発表	三九
十七日、国語実験学校	三九
きょうから高校入試	三九
試験場の準備OK	三九

動揺させず静かな気持ちで	三五
ぼくらの仲良し部隊	三五
学校設備改善に協力	三五
第三マリンと川崎校	三五
親のないのが二割強	三五
文教局の高校	三五
大学在生調べ	三五
高校合格者	三五
田場小校の話し合い教育	三五
教師中心から児童中心へ	三五
応待も「ハキハキ」と	三五
一年間で見ちがえる成果	三五
中部農林合格者	三五
PTA功労者	三五
きょうの総会で20氏を表彰	三五
具志川村教職員が村史編さん	三五
学校と家庭結ぶ父母会	三五
成果あげる兼原小学校	三五
子供のしつけに本腰	三五
家庭学習の環境つくる	三五
もう卒業シーズン	三五
きのう石川・前原など五校が	三五
校門に「日の丸」を立て	三五
感激と不安を胸に巣だつ	三五
研究教員決まる	三五
本土指導委員の	三五
理科研究発表会	三五
お姉さん中学生	三五
こんどは高校(那覇)へ	三五
かわいいクラスメイトに	三五
祝福され	三五
音楽で子供の情操育てる	三五
具志川村田場小学校	三五
朝は全児童の大合唱	三五
育くまれた明るい雰囲気	三五
教育行政にも問題が	三五
原田理科指導主事	三五
前原地区で懇談会	三五
図工教育の発表会	三五
川崎小中校	三五

訪問教師会を結成	三二五
先生方もお勉強	三二五
前原で学習同好会	三二五
学科別に共同研究続ける	三二五
消えていく臨免教師	三二五
ありあまつた「先生」	三二五
各地の異動ほとんど終る	三二五
教員異動	三二五
教員異動	三二五
教員異動	三二五
政府立高校教員異動	三二五
政府立高校の教員異動	三二五
教育効果あげた高校教諭	三二五
中教委が二十五名を表彰	三二五
社会学級の振興に	三二五
四連合教区が研究会	三二五
高江洲小中校独立校に	三二五
きよう分離式挙行	三二五
文教局に問合せ殺到	三二五
「宗谷」見学	三二五
人員を極度に制限	三二五
教職員会の調べから	三二五
まだ残っているボロ校舎	三二五
雨具かぶつての授業も	三二五
一番ひどいのは知念地区	三二五
教育への関心高まる	三二五
女教師と母親学級	三二五
前原地区教職員会	三二五
婦人部総会で発表	三二五
島袋小中校で	三二五
パン給食の副食講習会	三二五
学校調査説明会	三二五
「沖繩一のパン工場」	三二五
具志川村が学校給食用に	三二五
村ぐるみの教育運動	三二五
前原地区PTA会で話合う	三二五
文通がとりもつ本土就職	三二五
具志川中校から看護婦見習に	三二五
沖繩と姫路結ぶ友情	三二五
教育税と村長の顔	三二五
「完納運動」起る(解説)	三二五

やはり学力に悩みが	三二七
前原高校で調査結果発表	三二七
202項目のアンケート	三二七
案外少ない異性関係の悩み	三二七
アイク歓迎 学童は動員しない	三二七
各高校、団体が参加申込み	三二七
具志川教委 PTAと懇談	三二七
教員三百二十二人が特別昇給	三二七
具志川村まだ残る併置校	三二七
三校で七百余名の中校生	三二七
児童の学力向上を	三二七
高江洲小中校PTA総会	三二七
共通語で教育興す	三二七
高江洲PTAが	三二七
総会で決める	三二七
併置校をなくしよう 具志川村	三二七
中校新設委を結成	三二七
高江洲中校に放送施設	三二七
親子ラジオ協会が贈る	三二七
国民意識を高める	三二七
前原教職員会	三二七
青年部大会で協議	三二七
混血児白人が多い	三二七
全琉で千四百九十一名	三二七
主婦の指導者を養成	三二七
前原地区PTA	三二七
婦人講習会開く	三二七
具志川村の教育予算が成立	三二七
涼しいうちにお勉強	三二七
前原地区四校が短縮授業	三二七
考える親たち	三二七
PTAの活動から(11)	三二七
団体登校 上平良川区PTA	三二七
子どもを守る運動	三二七
親子ラジオで啓発宣伝	三二七
にぎわった発表会	三二七
野村流具志川支部	三二七
中校新設具体化へ	三二七
具志川村中校	三二七
新設委が会合	三二七

木かげ	三二八
前原地区校長部会	三二八
どうなる教育連合区統合	三二八
中部は意見まちまち	三二八
校舎割り当て決まる	三二八
中教委小中高校で	三二八
275教室	三二八
あらたに中校つくる	三二八
具志川村併置校	三二八
廃止の試案成る	三二八
敷地選定で行き悩み	三二八
具志川の中学校統合問題	三二八
効果あげた短縮授業	三二八
生徒、父兄から喜ばれる	三二八
本土修学旅行へたつ	三二八
名護・中農	三二八
普天間高校など200人	三二八
沖繩丸さながら修学旅行船	三二八
中農高生十一名が	三二八
種畜場で実習	三二八
社会学科に力こぶ	三二八
具志川村高江洲小中校	三二八
教育会	三二八
プロジェクト活動で農業普及	三二八
中農生が休暇利用で	三二八
NCOなどの普及に成果	三二八
具志川村が中校新設委開く	三二八
人工衛星のスライド上映	三二八
是澤新瀧大教授の講演会	三二八
具志川中校新設問題	三二八
敷地がみつからない	三二八
結局既存学校を併用か	三二八
全琉一本の線で 活発だった	三二八
前原の教科書採択審議	三二八
保母研修会ひらく	三二八
具志川村が田場小校で	三二八
トレーニング終る	三二八
前原地区教職員会とPTA	三二八
高江洲小校と中校	三二八
の校舎交換を申請	三二八

老朽化した具志川中校の 校舎調査を	三六七
五千ドルの補助決定	三六七
中部市町村会が中部農高へ	三六七
具志川村の独立中校	三六七
通学距離などで一部は反対	三六七
高校長異動	三七八
ほしい保健室、更衣室	三七八
文教局	三七八
中農で総合指導調査	三七八
事務職員の配置を	三七八
前原教職員会が	三七八
文教局の要請	三八九
具志川村 保母の待遇改善を	三八九
平均給与月十ドル	三八九
保母協会から村当局へ陳情	三九〇
本社主催	三九〇
図画・作文・書道コンクール	三九一
入賞者氏名	三九一
二期期(15)話し合い学習	三九一
田場小校	三九一
学習指導に新開拓	三九一
発表力がついた子供たち	三九一
反対叫ぶ田場区民	三九一
もめる具志川の	三九二
独立中校問題	三九二
コザ地区の説得へ	三九二
前原地区連合区	三九三
教育委統合で	三九三
男児宮城君 女児宮里さん	三九三
健康優良児	三九三
前原地区代表決まる	三九三
中部市町村会 総会開く	三九四
沖繩側の教科別研修員	三九四
事務の停滞が多い	三九四
政府移管後の高校に悩み	三九四
全国高校農業クラブ大会へ	三九四
中部高校の設立陳情へ	三九五
中部市町村会	三九五
川崎マリン隊が給水	三九五

水不足の	三九五
具志川村高江洲小中校に	三九五
実験学校など指定	三九六
教育税完納部落を表彰	三九六
ちかく教育長協会が	三九六
マリンが地ならし	三九六
具志川安慶名小校敷地	三九六
高校の入学定員決まる	三九六
千三百六十人の減	三九六
学級数は今年度と同じ	三九六
沖繩一健康優良児	三九六
17日に中央審査	三九六
各地区代表36名出揃う	三九七
来年度の教員採用	三九七
六百五十一人を予定	三九七
選考委が近く正式に決定	三九八
平静な中教委選挙	三九八
全琉六地区が公示終わる	三九八
沖繩一健康優良児きまる	三九八
阿嘉君と宮里さん	三九八
来月五日に晴れの表彰式	三九八
オペラ歌手のホープ	三九八
前原高校出身の崎原和子	三九八
婦人と家庭	三九八
優良児はこうして育てた	三九八
お母さんたちの体験から	三九八
P T A代表を台湾へ	三九八
前原地区十六名	三九八
職業教育視察に	三九八
ネズミのフンがいっぱい	三九八
具志川村の	三九八
学校給食パン工場に	三九八
あす、晴れの表彰式	三九八
全琉図画・作文	三九八
書道コンクール	三九八
地域性生かした指導	三九八
きのう前原地区教研集会	三九八
各学校の新正行事	三九八
七倍弱の競争率	三九八
国費・自費試験の希望者	三九八

高校長主事会	四〇四
不振児の計算指導	四〇四
田場小の宮城教諭が発表	四〇四
さらに13人を配置	四〇四
中校の職業補導教師	四〇五
音楽コンクール	四〇五
前原地区代表決まる	四〇五
教員の愛唱歌集できる	四〇六
開拓実習地 山地にいどむ農高生	四〇六
きびしい生活にも明るい顔	四〇六
第7回学校音楽発表会	四〇六
のびのびと自由に	四〇七
全琉各地区から参加	四〇七
コンクール制を廃す	四〇七
一九六一年(昭和36)	四〇七
家庭 母親と女教師	四〇八
手を結んで立ちあがる	四〇八
教育隣組を軸に	四〇八
いろいろな苦難を克服	四〇八
あの町この村 具志川	四〇八
高校教員の異動	四〇八
「光を恐れる者」を上演	四〇八
前原高校	四〇八
高校演劇祭の参加作品	四〇八
ことしの志願者傾向 高校入試	四〇八
ふえた一般職業課程	四〇八
普通家庭は逆に減る	四〇八
研究教員決まる	四〇八
あの町この村 具志川村	四〇八
低調な教育委員選挙	四〇八
届け出もこれから	四〇八
各地区とも無投票ねらう	四〇八
ことしの琉大合格者	四〇八
「看護学校合格者」	四〇八
器楽教育で成果	四〇八
具志川村	四〇八
高江洲中校研究発表会	四〇八
高校合格おめでとう	四〇八

理科学習の指導法	安慶名小校が研究発表会	四四
あの町・この村	具志川村	四四
教員異動	政府立高校教員異動	四四
政府立高校教員異動	高校長ら異動	四五
独立中学校新設を確認	具志川村	四六
併置校解消話し合う	中学校新設をきめる	四六
具志川村の委員会が	学校に初の弁務官資金	四七
喜びにわく高江洲小中校	新中校を安慶名に	四八
具志川教育区	併置校解消の方針	四八
給与の改善訴える	具志川村の保母たちが	四八
中部連合区 教育委の顔ぶれ	中教委 高校教諭の異動承認	四九
不法アルバイト教師を処分	科学する子どもたち(9)	四九
高江洲中校 職業教育と直結	廃品を利用ラジオ組み立て	四〇
人間形成めざして	具志川中、	四〇
道徳教育研究発表会	教育手帳	四二
一風変わった発表会	新設中校の敷地決まる	四三
具志川村	安ゲ名小校の近くに	四三
あの町この村	具志川村	四三
具志川区教委の新年度予算	授業さいて軍の草刈り	四三
援助受けたお札に	校長、反対意見押し切る	四四
謝意は別の方法で	マリン隊の草刈り問題	四四
教育界に大きな波紋		四五

沖繩の友	野村氏兵庫から来島	四六
農業を本土の線に	好評受ける中農高の実習生	四六
神奈川県が来年から本腰	図書分類の講習会	四七
政府立学校の校舎	中教委、	四七
今年度割当て決める	問題の多い学校給食	四七
具志川教委、	対策に乗り出す	四七
職員の仕事と採用を発令	中教委、政府立高校教員の	四八
本社主催 図画・作文・書道	コンクール入賞者	四八
クラス再編で授業	具志川中八教室が全壊	四八
校舎を作つてあげよう	具志川中の台風全壊校舎	四九
エンジニア部隊が愛の奉仕	琉大願書締め切る	四九
千九百人が受験希望	採用人員は六百三十人	四〇
安慶名中の認可申請	具志川村教育委	四〇
併置校の解消策で	中教委 備品を政府補助	四〇
図書館設置法案など審議	来春の各高校入学定員決まる	四〇
今春より採用率下げる	総数七千、	四一
入学率七一・五%	詩集「あすなる」を發行	四二
具志川村川崎中校の生徒たち	一教師が綴らせた生活詩	四二
発表会賑わう	中部農林高校農業クラブ	四三
前原地区教研集会	13分科会で活発討議	四三

ジェット機事故抗議も決議	学園ニュース	四三
お友だちに見舞金	具志川中校生徒会で決める	四三
学園ニュース	「泉の扉」を出す	四三
具志川中校文芸クラブ		四三
一九六二年(昭和37)		
あの町この村	具志川村	四四
米軍部隊が親善校舎	台風被災の	四四
具志川中校におくる	高校長、教頭の人事異動	四五
改築校舎178教室	中教委	四五
学校別割り当て決まる	あの町この村	四五
具志川村	琉大合格おめでとう	四五
農業技術を競い合う	沖繩農業クラブ大会	四五
水準昨年を上回る	研究教員28人決まる	四六
コザ看護学校合格者	あの町この村	四六
具志川村	初のこころみ理科の系統学習	四六
あげな小学校理科研究発表会	実験中心で成果	四七
土地収用法の適用決定	あげな中の新設校敷地	四八
一地主がゆずらず	まず安全教育念頭に	四八
中農 備品管理の研究発表	高校入試、願書締め切る	四八
ムラが出た採用率	那覇、工業など相当緩和	四九
災害復旧校舎の割り当て要望	具志川中校	四〇
国・自費生二次合格者	「詩」で育つよい子たち	四〇

川崎中校の “あすなる学級”	四一
高校合格者 前原高校	四三
高校合格者 商業高校	四三
高校合格者 中農高校	四四
高校合格者 中央高校	四四
高校教員異動	四四
教員異動発表終る	四四
中部連合教育区	四五
松島中校及び	四五
文教局内人事異動	四六
中部連合区事務局職員異動	四七
政府立高校採用教員	四七
前原高、二度目の表彰	四七
刃物を持たない運動に功績	四七
旧跡をたずねる(9)	四七
安慶名城跡	四八
輪郭形式の堅固な城	四八
自然を利用してできた城門	四八
学園あれこれ (12)	四八
笛の全校合奏	四九
伝統的な学校行事	四九
校舎割当を変更 現年度、	四九
公立校二十教室の減	四九
なくなる仮校舎	四九
・小中校合わせて百八十二教室	四九
63年度第一次	四九
校舎建築割り当て決まる	四九
具志川中校の運動場	四九
農業実習生も	四九
研究教員決まる	四九
校舎割り当て決まる 中教委	四九
副委員長に石原氏	四五
あの町この村 具志川	四五
米陸軍省奨学生	四五
きょうハワイへ	四五
町から村から 具志川村	四五
P T Aの協力で給食室を建設	四五
高江洲小	四五
本社主催	四五

図画・作文・書道コンクール	四五
入賞者	四五
兵隊さんありがとう	四五
マリン将兵に感謝状	四五
高江洲小学校	四五
気象台を見学	四五
具志川村川崎中校の旅行生	四五
盛大にテレビ贈呈式	四五
喜びの優秀校十三校	四五
文通で結ぶ友情運動	四五
七校には努力奨励賞	四五
政府立高校職員採用	四五
中部中学校長会が意見書	四五
将来の進路あやまる	四五
教育課程類型実施	四五
高校入学後にすべき	四五
高校の入学定員決まる	四五
全卒業者の47.3%	四五
前年度より4千人急増	四五
通学区域や学則も一部変更	四五
高校の学区域変わる	四五
地方の職業科育成 那覇、	四五
首里、小禄は一学区に	四五
衛生管理に全く無神経	四五
厚生局が給食施設の実態調査	四五
19の学校が法規に違反	四五
33教室を割り当て 中教委	四五
小中校関係の新築	四五
町から村から 具志川村	四五
せまくなる“就職の門”	四五
本土からの求人減る	四五
各高校とも売りこみに本腰	四五
ご協力ありがとう	四五
兼原小校運動場開きで	四五
米軍に感謝状	四五
一九六三年(昭和38)	四五
スマートな図書館完成	四五
中農創立15周年記念	四五

農業祭準備進む	四六〇
好評の農業祭り	四六〇
中農、創立十五周年祝う	四六〇
研究教員53人決まる	四六一
文教局候補者を発表	四六一
農業近代化にとつくむ	四六一
学校農業クラブ大会	四六一
地域性生かした発表	四六一
総合最優秀賞に八重農高	四六一
花やかに学校祭り	四六一
きのう三高校で	四六一
全琉で1万7千人	四六一
高校入試願書締め切る	四六一
戦後最高を記録	四六一
なかには定員不足の課程も	四六一
目だつ職業課程希望の増	四六一
高校演劇コンクール参加作品	四六一
計算された演技	四六一
・乙女たちの生と死を追求	四六一
前原高	四六一
“ガジマルの樹の陰にて”	四六三
看護学校合格者	四六三
東洋大学合格者	四六四
国費・自費合格者	四六四
町から村から 具志川村	四六四
実験・研究校きまる	四六四
新学年度は15校	四六四
ことばと学力との関係	四六四
具志川村学力向上対策協が調査	四六四
相関度が大きい	四六四
方言使用家庭	四六四
低い子供の成績	四六五
町から村から 具志川村	四六五
高校合格者	四六五
全琉で479人ふえる	四六五
高校採用人員を一部変更	四六五
高校合格者 前原高校	四六六
高校合格者	四六六
高校合格者	四六六
高校合格者	四六六
高校合格者	四六七

高校合格者・・・・・	四六七
沖繩高校合格者・・・・・	四六七
琉大合格者・・・・・	四六七
八重山高(平良泉幸)	四六七
石川高(翁長維行) 中教委	四六七
高校長らの人事を承認	四六七
中部連合区 教員異動	四六七
中央高校合格者	四六九
政府立高校教員異動	四六九
教員異動 政府立高校	四六九
干害 文教局の恒久対策	四六九
学校植林を積極推進	四七〇
半数の学校が給水施設必要	四七〇
校舎建築割り当て	四七〇
臨時中教委で決まる	四七〇
学級の家庭化で生活指導	四七〇
毎日を規則正しく	四七〇
自主的に考える習慣も	四七〇
あげな中校福原教諭の	四七一
実践記録から	四七一
あの町この村 具志川	四七三
第二次校舎割り当て	四七三
きのうの中教委で決まる	四七三
豆記者団十日に出発	四七三
中学生の本土親善	四七四
皇太子さまとも会見	四七四
男女61人が参加	四七四
安慶名小の夏季合宿訓練	四七四
豆記者ら元気に帰る	四七四
「皇太子の質問攻めには	四七四
びっくり」	四七四
学園だより 前原地区の	四七五
幼稚園教師会結成	四七五
全国PTA大会へ	四七五
沖繩代表15人けさたつ	四七五
校舎割り当てきまる	四七五
臨時・中教委	四七五
壺川中校は古蔵中校に	四七五
指定文化財 一覧表	四七六
最優秀賞に稲福さん	四七六

高校生の読書感想発表会	四七六
原案どおり決める 中教委	四七六
校舎割り当てで審議	四七六
一九六四年(昭和39)	
教科書無償拡大に反対要請	四七六
前原地区教職員会	四七六
農業合理化に焦点	四七六
中農「農業祭り」をひらく	四七七
英語教育に特殊装置	四七七
具志川中学で考案	四七七
学力向上に効果あげる	四七七
最優秀賞に島袋さん 中農	四七六
家庭クラブ研究発表会	四七六
優秀校に北農高	四七六
全琉農業クラブ大会終わる	四七六
合格おめでとう 琉球大学	四七九
無形文化財を公開 文保委	四七九
全国民芸大会中に開く	四七九
あの町この村 具志川	四八〇
看護学校合格者	四八〇
初めて演劇を指導	四八〇
劇団「たんぼぼ」	四八〇
前原地区のよい子たちに	四八〇
海を越えて種子の贈り物	四八一
南米や台湾から 珍しい品種	四八一
大喜びの中農生ら	四八一
町から村から 具志川村	四八一
「意欲的なテーマだ」	四八一
高校演劇コンクール	四八二
前原「春の孤独」を発表	四八二
高校合格者 前原高校	四八二
高校合格者 沖繩工業	四八三
高校合格者 中部農林	四八三
二百年前のズシガメ 文保委	四八三
アカヒジ墓を調査	四八三
教員異動	四八四
教員異動 高校	四八四
田場小学校が優勝 前原地区	四八五

学校庭園コンクール	四八六
川崎小に「よい子のポスト」	四八六
小さな善行をたたえる	四八六
「生きた人づくり」と評判	四八六
公立校の校舎	四八七
割り当てきまる	四八七
絵本とオルガンだけ	四八七
設備不足の区管理幼稚園	四八七
具志川	四八七
楽しい学園は私たちの手で	四八七
備品購入など計画	四八七
安慶名中生徒会	四八八
「あきビン一本運動」で	四八八
本土などで夏季実習	四八八
職業高校、夏休み利用して	四八八
具志川村が全面協力	四八八
愛媛大学術探検隊	四八九
研修職員派遣のお礼に	四八九
予算案を承認	四八九
具志川村教育委	四八九
あげな中校の移転祝賀会	四九〇
百七教室を割り当て 文教局	四九〇
小中校第二次校舎建築	四九〇
少ない登校時のバス	四九〇
具志川村で遅刻生が続出	四九〇
中農優秀校に選ばれる 五種目で	四九一
農業クラブ全国大会	四九一
話の卵	四九二
沖繩わらべうたの採譜	四九二
全在校生に大きな刺激	四九二
中農・新垣君らの研究	四九二
実った「農学一体」	四九三
注目のホームプロジェクト	四九三
第11回芸術祭	四九三
古典音楽 新人部門	四九四
昨年より一千人増	四九四
65年度高校	四九五
(入学者)定員決る	四九五
中農高に珍しい乳牛	四九五
団体登校で学力向上	四九五

天願小学校の交通自治班	四九六
成果あがる親と子のつどい	
具志川村天願小学校	
ガッチリ手を組む	
すなおに話し合う習慣に	四九六
政府立高校	
校長、教頭異動	四九七
一九六五年（昭和40）	
にぎわう文化祭	
前原高校	四九七
八重山の大浜委員が	
初めて出席	四九八
目立った各分野の意欲	
学校農業クラブ大会	四九八
農業近代化を追及	四九八
合格おめでとう 琉球大学	四九八
昭和薬科大の合格者	四九八
選挙人補充名簿の縦覧	四九八
東洋大合格者	四九九
五日に図工実験発表会	五〇〇
具志川区兼原小学校	五〇〇
兼原小学校に「おとぎの国」	
ワニ、ウサギに恐竜も	
夢こめて作った彫像ざらり	五〇〇
合格率のトップは那覇高	
国・自費の選抜試験	
百十七人、50%も	
教師の協力体制が奏功	五〇一
「看護学校合格者」	五〇二
国・自費第二次合格発表	
国費、医学23人の増	五〇二
配置校の決定は来月初め	五〇二
会員の福祉向上を図る	
田場氏教職員政経部長就任	五〇二
政府立高校	
65年度入学願書締め切る	
合格率は60・9%	
昨年よりも「狭き門」	五〇三

中部各市町村が負担	
中部商高の開校準備金を	五〇四
区教委の当選者	五〇五
生徒の自主性確立	
高江洲中校が研究発表	五〇五
校歌と応援歌制定	
四学校合併のあげな中校	五〇五
コザ看護学校	
移転敷地決まる	五〇六
高校入試 きょう全琉いつせいに	
合格率61%	
昨年より「狭き門」	五〇六
高校定員、百二十九人増ワク	
各高の競争率平均化	
入学率は〇・5%緩和	
さっそく採点始める	五〇七
本土大学合格者	五〇八
前原高校	五〇九
合格おめでとう	五〇九
合格おめでとう	五〇九
合格おめでとう	五〇九
合格おめでとう	五〇九
合格おめでとう	五〇九
合格おめでとう	五〇九
合格おめでとう	五〇九
合格おめでとう	五〇九
教員異動の発表 一九六五年度	五〇九
先島除く四地区で	
千三百人が対象に	
採用後六カ月は試用	五〇〇
高校教員の異動	
全琉で五百四十八人	
定時制主事を格上げ	五〇二
第一回全琉学校美化コンクール	
最優秀21校きまる	
学園を緑でつつむ	文教局
努力の成果を重視	五〇三
ことしの大学進学者	
全国各地にまたがる	
高校卒業者の約26%	五〇三
合格おめでとう	五〇四
町から村から	勝連村
沖繩電気通信	五〇四

専門学校合格者	五〇四
高校職員の増員要求	文教局
ふえる高校生に対策	五〇五
政府立高校文政局異動	五〇六
二千四百人が応募	
国自費志願者	
〇×式に安易なおもわく	五〇六
百万年前の貝発見	
具志川赤道の採石場で	五〇七
みどりの学園(二) 兼原小学校	
「おとぎの国へ」	
夏の花を咲かそうよ	五〇七
中農生40人も一役	
安慶名城跡の修理工事	五〇八
どこに落ち着く「青年の家」	
中・北部で誘致合戦	
具志川村が最有力候補	五〇九
好評の「鈴の鳴る運動」	
安慶名幼稚園でも実施	五〇〇
15校が爆音の被害を受ける	五〇〇
米留学生8人 27日に出発	五〇二
四年目に決まった「青年の家」	
条件そろそろ名護町へ	中教委
校舎割り当ても決定	五〇二
教員の本土研修	文教局
三団体を送り出す	五〇二
さかんな育英事業	
二十九市町村、六百人越す	五〇三
父兄がグラウンド整備	
具志川小学校	五〇三
第13回図画・作文	
書道コンクール入賞者	五〇三
ペン字に1、000人競う	
作品展示は3日から	五〇三
配置校決まる	
第一回本土大学留学教員団	五〇四
受像機の割り当て決まる	
本島内の118小校に	
テレビ学校放送	
12月に開始	五〇四

「高校演劇連盟」を結成	五二
本土とつながる	五二
育成と技術向上が目的	五二
米留二次合格者	五二
来春の高校進学希望者	五二
琉球新報社調べ	五二
全琉で二万三千八百人	五二
ここ数年来の「狭き門」	五二
産技学校など新設 文教局	五二
来年の高校生急増対策	五二
沖縄代表は29人 26日から	五二
学校農業ク全国大会	五二
記念図書館が完成	五二
創立20周年の前原高校	五二
ことしより一四〇四人増	五二
政府立高校	五二
入学定員決まる	五二
期待はずれの定員増	五二
政府立高校	五二
職業校は据え置き	五二
新採用は44人 中教委、	五二
政府立高校人事を発表	五二
おめでとう 読書感想文	五二
感想画の表彰	五二
一九六六年（昭和41）	五二
学校別図書補助費	五二
割り当て一覧	五二
きょう 農業クラブ大会	五二
21人が合格 北里学園	五二
大学・現地試験	五二
一日付けで二十五人発令	五二
高校長と教頭	五二
全国大会めざす高校演劇	五二
第八回演劇祭参加作品（3）	五二
前原高校	五二
合格者発表 九州産業大学	五二
本土との一体化へ	五二
前原地区PTA大会	五二

本土派遣研究教員候補者	五五
拓殖大合格者	五五
父兄も真剣な表情	五五
琉大合格発表	五五
掲示板前は悲喜こもも	五五
看護学校合格者	五五
百二十六人がパス	五五
商業実務専門学校	五五
きのう合格者発表	五五
実験、研究校を発表 那覇中など	五五
四十五校指定 文教局	五五
政府立高校 入学願書締め切る	五五
合格率は62・8%	五五
「狭き門」昨年より緩和	五五
大学合格者発表	五五
国・自費生第二次合格者	五五
昭和41年度 百七十人を発表	五五
配置校、文部省で近く決定	五五
係り活動で自主性高める	五五
沖大 受験生、創立以来の最高	五五
採用八百五十一人	五五
昼間部への応募ふえる	五五
政府立高校の人事異動	五五
31万6千ドル割り当て	五五
文教局、学校備品補助金	五五
大学合格者発表	五五
各高校定員数を調整	五五
国際大学合格者	五五
合格おめでとう	五五
合格おめでとう	五五
合格おめでとう	五五
合格おめでとう	五五
合格おめでとう	五五
合格おめでとう	五五
合格おめでとう	五五
合格おめでとう	五五
教員異動 高校の部	五五
離島への転出はたった四人	五五
文教局と政府立高校の人事	五五
四連合区教員異動	五五
約千五百人が動く	五五

進展しない広域交流	五九
沖縄高校合格者発表	五九
第二次教員異動 中部連合区	五九
中央高校合格者	五九
沖縄女子短大付属高校合格者	五九
沖縄通専門学校合格者発表	五九
沖縄女子短大合格者発表	五九
片よつた新卒配置 中教委	五九
文教局に適正人事指示	五九
67年度校舎建築割り当て	五九
中教委が承認	五九
予算成立と同時に施工	五九
わが学園 具志川中学	五九
生徒のつくつた新聞	五九
わが学園 高江洲中学	五九
生徒のつくつた新聞	五九
低い学卒の就農率	五九
近代化阻む原因に	五九
六六年度はわずかに20軒前後	五九
父兄の考え方に問題が	五九
「ぐしかわ今昔物語」	五九
安座間氏十年がかりで発行	五九
市町村の教育費負担状況	五九
安慶名城跡 城壁を復元	五九
セメント使わず石だけで積む	五九
村当局が公園計画	五九
全校生徒に完全給食	五九
具志川村あげな中学校	五九
わが学園 あげな中学	五九
生徒のつくつた新聞	五九
全沖縄高校弁論大会	五九
身近なもの素材に 前原高校	五九
名護昌美さんが優勝	五九
校舎割り当て決まる	五九
実習協力校決まる	五九
琉大、九月一日から実施	五九
中部農高、惜しくも敗れる	五九
全国囲碁選手権大会	五九
研究教員37人を発表	五九
本土で理論と実際を研究	五九

北農など六高校代表が参加
 農業技術競技大会開く・ 五三
 第14回図画・作文書道
 コンクール入賞者・ 五三
 合格者百人を発表
 産業技術学校・ 五四
 福里氏が調査計画課長に
 文教局と政府立校
 職員人事を発表・ 五四
 本土派遣実務研修
 校長16人あす出発・ 五四
 日本学校農業クラブ
 18日から全国大会
 きょう代表27人が出発・ 五五
 入賞者決まる 友情の作文、図画
 最優秀作品に四君・ 五五
 コザ看護学校 具志川に移転
 パイロット農場が完成・ 五六
 校舎の建築割り当て決まる・ 五七
 六種目に入賞
 沖繩学校農業クラブ代表
 これまでにない成績・ 五八
 人事異動 文教局・ 五八
 第八回看護学祭開く
 コザ看護学校・ 五八
 宮城さんに最優秀賞
 高校生読書感想発表大会・ 五八
 まず保健学部の創設
 琉大医学部の設置問題
 早期実現はかる 中部病院に
 インターン制度も考慮・ 五九
 あの町この村 具志川・ 五九
 あの町この村 具志川・ 五九
 今年より1800人ふえる
 今年の高校入学定員
 全員で一万六千二百人
 新設などで37学級増・ 五〇
 全国高校弁論大会
 沖繩代表が五連勝
 名護さん〔前原高〕に

最優秀賞・ 五二
 全琉高校音楽コンクールも
 七部門に十四校が出場・ 五二
 昆布で新貝塚を発見
 紀元五―八百年代の土器採集
 文保委、本格的な発掘へ・ 五二
 前期28、後期37人
 研究教員候補者を発表・ 五二
 あの町この村 具志川・ 五三
 一九六七年(昭和42)
 ある教育(5)
 非行児問題 あげな中学校・ 五三
 きょう壮行会開く
 国立劇場公演琉球芸能団
 一行、二十七人近く出発・ 五六
 ある教育(7)
 女子青年学級
 具志川村・ 五七
 九州産大合格者・ 五八
 学校給食センター設置を計画
 美里、具志川で推進・ 五八
 書き初め展入賞者・ 五九
 森山さん(壺屋小校)最優秀賞
 児童話・お話 中央大会・ 五九
 昭和薬科大学現地試験合格者・ 五〇
 近く着工
 具志川天願小校の図書館・ 五〇
 大学合格者・ 五〇
 東洋大学現地試験合格者・ 五〇
 立正大合格者・ 五〇
 あの町この村 具志川・ 五〇
 九州産業大現地試験合格者・ 五一
 合格おめでとう
 琉大第一次合格者・ 五一
 看護学校合格発表・ 五一
 村教委三月十二日に選挙
 具志川村・ 五一
 合格おめでとう 国・自費生・ 五二

国士館大学合格者・ 五二
 政府立高校 入学願書締め切る
 合格率は七〇％
 那覇高全日制普通科
 定員に五人足りず・ 五二
 沖繩女子短大合格者・ 五三
 沖繩キリスト教学院短大
 合格者・ 五三
 投票率68.8
 具志川村の教育委選挙・ 五四
 池端、幸喜氏が当確
 具志川区教委選・ 五四
 本土大学合格者・ 五四
 国際大学合格者(518人)・ 五四
 区教育委員に当選証書
 具志川村・ 五五
 採用ワク72人減らす
 政府立高校
 合格率の不均衡を是正・ 五五
 高校合格おめでとう・ 五六
 合格おめでとう・ 五六
 高校合格おめでとう・ 五六
 高校教員異動発表・ 五七
 小中校の教員異動・ 五八
 合格おめでとう・ 五九
 大学合格者・ 五九
 中部連合区の追加人事・ 五〇
 教員異動の追加 中部連合区・ 五〇
 高校合格おめでとう・ 五〇
 政府立学校の人事・ 五〇
 交通量はげしい24号線
 五年間も無事故で通す
 具志川村の兼原小学校
 団体登校を励行
 交通安全沖繩一
 石川署、折り紙つける・ 五一
 排水溝、整地作業行なう
 具志川小学校
 父兄を総動員・ 五二
 子ども郵便局

あげな小校も開局	五二
給食センター設置本決まり	五三
具志川村 20日に具体案	五三
若返った高校教員	五三
経験年数では首里がトップ	五三
中教委、高校人事異動を発表	五四
三幼稚園の新設認可	五四
給食パン工場の指定	五四
具志川村教育委が陳情	五五
割り当て決まる	五五
68年度	五五
小中高校の校舎等施設	五五
中農の活躍目立つ	五五
農業クラブ大会終わる	五五
本土派遣の研究教員決まる	五六
文教局が発表	五六
沖繩一の教材園建設を計画	五六
具志川村兼原小父兄	五六
・職員が労働奉仕	五六
水族館遊歩園など	五六
三カ年で完成	五七
校舎建築の割り当て決まる	五七
政府立、公立学校	五八
新垣君、久高さん入選	五八
海外移住作文コンクール	五八
合格者26人を発表	五八
那覇産業技術学校	五八
例年になく狭き門	五八
68年度国費自費学生	五八
競争率も十倍に	五八
育英会	五八
願書受け付け締め切る	五八
第15回図画・作文・書道	五九
コンクール入賞者	五九
コンクール特賞作品	五九
放送施設が完成	五九
前原高校	六〇
モデル校めざしはりきる	六〇
具志川に給食センター	六一
来春から給食を始める	六一
調査員32人決まる	六一
民俗資料調査	六一

各地の研究家をもうら	六一
学校新聞コンクール	六一
入賞校決まる	六一
優勝旗みやげに	六一
鹿児島県高校弁論	六一
小谷・山内さん帰る	六一
あの町この村 具志川	六一
入選作品決まる	六一
青少年読書感想文・感想画	六一
全沖繩コンクール	六三
教員人事異動	六三
合格率は73%に	六三
来年度の高校入学者	六三
定員決まる	六三
今年度より288人の増	六三
優秀校に前原、コザ、読谷高校	六三
中部地区高校家庭ク発表会	六四
目立つ社会性テーマ	六四
ホームルーム	六四
指導研究会ひらく	六四
あの町この村 具志川	六五
一九六八年(昭和43)	六五
合格者、都市に集中	六五
国費自費	六五
那覇高が42%も	六五
昨年より学力はぐんと向上	六五
研究教員65人を発表	六五
半年間本土の学校に派遣	六六
文教局	六六
本土大学留学教員を発表	六六
文教局	六六
英会話に役立てて	六六
テープレコーダー	六六
リ少佐が安慶名中へ	六六
建築専門学校の設立を認可	六七
中央教育委員会	六七
昭和薬科大合格者	六七
拓殖大学現地試験合格者	六七
立正大学沖繩現地試験合格者	六七

「大学合格者」	六七
第5回教育版画コンクール	六八
国士館大学現地試験合格者	六八
熊本工業大学合格者	六八
来年夏から完全給食	六八
具志川村の小中校	六八
近くセンター着工	六八
駒沢大現地試験合格者	六九
琉球育英会	六九
国・自費第二次合格者を発表	六九
配置校は来月中旬	六九
競争率一〇・二倍	六九
約二千九百人が受験	六九
具体例で算数の研究発表	六九
天願小学校	六九
商業実務専門学校合格者	六九
高校入試 願書締め切る	六九
一・四倍の「広き門」	六九
目立つ学科別の定員不足	六九
本土大学合格者	六九
合格おめでとう	六九
合格おめでとう	六九
合格おめでとう	六九
沖繩キリスト教短大合格者	六九
あの町この村 具志川	六九
合格発表	六九
高校合格おめでとう	六九
高校合格おめでとう	六九
高校合格おめでとう	六九
高校合格おめでとう	六九
高校合格おめでとう	六九
高校合格おめでとう	六九
高校合格おめでとう	六九
教員異動	六九
鹿児島大学合格者	六九
沖繩女子短大合格者(追加)	六九
保母資格免許試験の合格者	六九
人物地帯	六九
沖繩PTA連合会長に	六九
選ばれた 天願朝行	六九
教育の自主性を守る	六九
具志川市教職員会総会	六九

宿日直廃止なども決議	六七
本土などで住み込み実習	
農林高校の夏季実習計画	六八
ウズデークを復活 具志川	
20年ぶり	
長寿と豊作を祈願	六八
22年ぶりに公開	
具志川市具志川区の	
「臼太鼓」	六八
八校の生徒へ給食 具志川	
給食センターほぼ完成	六九
水泳プール敷地の選定など	
具志川区教委開く	六九
解散公告	六九
第16回図画・作文・書道	
コンクール入賞者	六〇
図画、作文、書道	
第16回コンクール	
特賞紙上紹介	六〇
未来の農業者づくり 中農高	
好評呼んだ農業祭	六二
政府立高校等入学定員決まる	
昨年とほぼ同数	
産技高は全課程二年限に	六三
中教委人事	六三
読書感想文・感想画コンクール	
入選作品決まる	
読み方が画一的 感想文の講評	
最優秀作品	
全国中央大会に出品	六三
給食センター完成	
三学期から完全給食へ	
具志川市	六三
町から村から 具志川市	六四
「教材園」づくり進む	
三年前から	
「夢の学園」計画に着手	
兼原小父兄、職員が本腰	六四

交通禍ゼロめざす 兼原小学校	六五
モデル校に指定	
校内で健脚くらべ	
前原高校で駅伝大会	六六
町から村から 具志川市	六六
九州産大合格者	六六
コザ看護学校合格者	六六
拓殖大学合格者	六六
現地試験合格者	六七
名城大学合格者	六七
東海大学合格者	六七
東洋大学合格者	六七
本土大学合格者	六七
若者の意気をぶつけて	
高校弁論、23代表が熱弁	六七
駒沢大学現地試験合格者	六七
第6回教育版画コンクール	
16日に表彰式	六八
本土大学合格者	六八
「専門学校合格者」	六八
ほとんど前年度並み	
政府立高校・産技学校	
競争率は一・三二二倍	
多い職業コース志望	六八
国士舘大学合格者	六八
国際大学合格者	六八
本土大学合格者	六八
本土大学合格者	六八
沖縄女子短大合格者	六八
相模女子大合格者	六八
文教局、	
本土大学留學教員を発表	六〇
ほとんどが無投票	
届け出締め切る	
低調な教育委選挙	六三
国・自費学生二次合格者	六三
沖縄キリスト教短大	
一次合格者	六三
男女50チーム参加	

具志川中学のバレー大会	六三
本土の農家で実習	
中農生百五人が出発	六三
本土大学合格者	六三
創立二十周年祝う	
兼原小 父兄が記念の植樹	六三
本土大学合格者	六三
「高校合格者」	六三
【高校合格者】	六三
高校合格者	六三
高校合格者	六三
沖縄女子短大合格者 二部	六四
小中校の教員異動	六四
嘉数女子学園合格発表	六五
沖縄女子短大附属高校合格者	六五
政府立学校の職員人事異動	六五
高校合格者	六六
本土大学合格者	六六
高校合格者	六六
小禄高校通信課程の合格者	六六
養護教諭の異動発表	六六
初めて高校に六人配置	六六
前原、中農両高校の	
市有地購入を	
具志川教委、文教局に要請	六七
政府立高校教員人事異動	六七
入賞者511人決まる	
母の日図画・作文コンクール	
昨年より一段と上達	
11日に新報ホールで表彰式	六七
米留学生19人たつ	六八
高校教員などの人事	六八
兼原小に	
交通安全モデル校の指定証	
具志川署が交付	六八
教員の人事異動 中部連合区	六九
幼稚園14校を新設	
中教委で決定	六九
高校・文教局職員の異動	六九
第17回図画・作文・書道	

コンクール入賞者	六三九
全般にレベル向上	
学校新聞コンクール	
表彰式、合評会開く	六四〇
本土へ教育委員を派遣	
具志川	六四〇
あの町この村 具志川市	六四一
一万五千七百人を採用	
中教委が決定	
来年の政府立高入学者	六四一
あの町この村 具志川市	六四一
第6回全沖縄青少年	
読書感想文、	
感想画コンクール	六四二
宮城君ら四人が優勝	
小中校童話大会	
内容など昨年より向上	六四二
一九七〇年(昭和45)	
校舎建築を割当て	六四二
九州産業大学推薦入学合格者	六四二
九州大学院大学	六四二
拓殖大学現地試験合格者	六四二
大学合格者	六四二
本土大学合格者	六四二
本土大学合格者	六四二
本土大学合格者	六四二
本土大学合格者	六四二
研究発表会	六四三
学習意欲の育成が大切	
理科実験学校の兼原小	六四三
町から村から 具志川市	六四四
看護学校合格者	六四四
本土大学合格者	六四四
前原高校で美術展	六四四
本土大学合格者	六四四
本土大学合格者	六四四
沖縄大学合格者	六四五
掲示板にくい入る目・目・目	六四五
琉大、1274人の合格者を発表	

悲喜こもごもの会場	
164人は二次試験で	
フルイに	六四五
商業実務専門学校合格者	六四六
第七回教育版画コンクール	
入選者	六四六
本土大学合格者	六四六
高校入試、競争率は一・三九倍	六四六
激戦の「職業科」	
全体でほぼ前年度並み	
願書締め切る	六四七
国・自費学生二次合格者	六四八
国際大学合格者	六四八
沖縄女子短大合格	六四九
答辞で現行制度を批判	
五高校が卒業式	六四九
中京短大合格者	六五〇
沖縄キリスト教短期大学	六五〇
合格者	六五〇
本土大学合格者	六五〇
本土の農家に学ぶ	
中農実習生ら出発	六五〇
大学合格者	六五〇
沖縄女子短大合格者	六五〇
本土大学合格者	六五〇
高校合格者	六五〇
政府立学校教員異動	六五二
教員異動 中部連合教育区	六五三
本土大学合格者	六五四
高校合格者	六五四
高校合格者	六五四
離職者は優先採用	
未認可幼稚園教諭を救済	六五四
具志川市教育委	六五四
優良校にあげな小学校	
こども郵便局	六五五
トピックス	
奉仕者としての誓い胸に	六五六
コザ看護学校「戴帽式」	
校長、教頭が1カ月余も空席	六五六

川崎・具志川小校	
連合区案を拒否	
具志川区教委	
地元出身登用を主張	六五七
あの町この村 コザ市	六五七
認可申請を承認 中教委	
宗教法人の私立幼稚園	六五七
「花園」で明るい学園に	
具志川小校PTAが	
奉仕作業	六五八
社会発展の業績たたえる	
宮城栄昌ら三氏	
第十四回タイムス賞	
祝福の中で贈呈式	六五八
前原高校で三人退学処分	
6・22闘争問題で	
生徒 学校と生徒会を追及	六五九
依願退学は妥当	
緊急代議員会	
学校側の処置を支持	六六〇
前原高の懲戒問題	
退学処分撤回叫び	
職員室に押し入る	
前原高校、一般生徒など	六六一
意見発表の入選者決まる	
農業クラブ大会	六六二
学校の真中を市道	
具志川市兼原小学校	
学校、PTAが変更要請	六六二
あすから二学期	六六三
荒れた始業式 前原高校	
退学処分で教師、	
生徒が対立	六六三
婦人学級開設 資質向上めざし	
「具志川小学校」	六六四
城西、那覇、前原が最優秀賞	
NHK音楽コンクール	六六四
スクールバトン開幕	
高校の部 一位なし	
二位・前原、那商	六六四

学校優良花園めぐり(3)	
兼原小学校(栗国朝光校長)	
「緑と花」がいつぱい	
整然と見事な教材園つくる	六八七
一せいに臨時休校	
21校が一足先に修了式	六八九
情操教育に役立つ	
具志川市高江洲小	
朝顔コンクール開く	六八九
臨時休校38校に 中部地区	六八九
避難先の学校で宿題	
夏休みのこどもたち	
「にわか塾」に大喜び	六九〇
珍しい動物に大喜び	
毒ガス避難の子ら	
子ども国へピクニック	六九〇
毒ガスから解放、大はしゃぎ	
川崎小の出校日、	
移送休止で	六九〇
ローカルスポット	
実践するPTA	
具志川市高江洲小学校	
子どもたちに手本示す	
「情操教育」に意欲的	六九一
体育館を建設	
特別国体開催を機に	六九三
授業再開か、臨時休校か	
毒ガス移送沿道地区	
二期の計画狂う	
父兄「学習のおくれ心配」	六九四
9月1日から「二期期」	
中部 校長会で一致	六九五
教員異動	六九六
十日まで休校	
「また避難生活か」	
沿道住民嘆く	六九六
造成金獲得で懸命	
ことし中に体育館を建設	六九七
高校是那覇と前原高が入選	
西部合唱コンクール	

沖縄予選	六九七
第19回凶画・作文・書道	
コンクール入賞者	六九七
十七人に新人賞	
〈タイムス芸術選賞	
古典舞踊部門〉	
厳しい審査に緊張の連続	六九七
タイムス芸術選賞	
各部門の審査終わる	
最後に飾る太鼓・笛・胡弓	六九八
看護祭にぎわう	
コザ看護学校Ⅱ	六九八
社教委10人が誕生	
具志川区教委が辞令交付	六九八
優秀賞みやげに沖縄代表帰る	
学校農業クラブ	七〇〇
入学定員決まる 政府立高等学校	
入学率やや増加	
実業高校は学科を一部変更	七〇一
多彩な行事でにぎわう	
具志川小学校の	
創立25周年記念式典	七〇一
生活の中からテーマ	
高校家庭クラブ研究発表会	七〇二
あの町この村 具志川市	七〇三
一九七二年(昭和47)	
緑で明るい沖縄を!	
緑と花いつぱい運動	
あふれる花々	
花園・緑化賞の兼原小校	七〇三
本土大学合格者	七〇四
「本土大学合格者」	七〇四
本土大学合格者	七〇四
本土大学合格者	七〇四
「本土大学合格者」	七〇四
あの町この村 具志川市	七〇五
「看護学校合格者」	七〇五
「本土大学合格者」	七〇五

第7回音楽会	
前原高合唱部、吹奏楽部	
泉恵徳さんの賛助出演も	七〇五
第9回教育版画コンクール	
晴れの入賞	
2、752点決まる	七〇六
あの町この村 具志川市	七〇六
競争率一・三五倍	
72年度政府立高校	
願書受け付け締め切る	七〇六
昨年よりちよびり広き門	七〇七
町から村から 具志川市	七〇七
昭和47年度国費、自費合格者	七〇九
「本土大学合格者」	七〇八
あの町この村 具志川市	七〇八
本土大学合格者	七〇八
防衛施設庁「物量作戦」展開中	
「校舎つくります」	
川崎小校はつっぱねる	七〇八
中部	七〇八
沖縄大学合格者(607人)	七〇九
中部農林高本土実習団たつ	七〇九
沖縄国際大学	
合格者1、197人	七〇九
あの町この村 具志川市	七〇
琉球大学合格者第一次	
1、156人	七〇
沖縄女子短期大学合格者	七〇一
キリスト教短大合格者	七〇一
特殊校、一部小中校職員人事	七〇一
政府立高校職員異動	
こちらも世替り 高校長17人	七〇一
総員64人が「さようなら」	七〇一
72学年度教職員異動	七〇二
沖縄女子短大	七〇二
第二次募集合格者	七〇三
「国体」だ!	
「体育館建設」だ!	
しわ寄せは父兄に	
「法」にそぐわぬ政府支出	七〇四

きびしい就職戦線
大卒はピンチに
中・高卒は本土へ
県内の求人ガタ落ち・・・七五

収録記事目次 スポーツ編

一九四六年（昭和21）

南風原校勝つ・・・七九
金武湾勝つ・・・七九
全前原初等校野球・・・七九
野球大会・七九
熱戦の火蓋 バレー大会終る・・・七九
陸上競技 来る十日於金武湾・・・七九
陸上競技大会 跳躍に新記録・・・七九
相撲大会 力士出揃う・・・七〇
卓球大会・・・七二

一九四七年（昭和22）

野球 糸満、前原が優勝・・・七二
糸満高校が快勝・・・七三
鮮やかなプレイ・・・七三

白熱した排籠球大会・・・七三
野球 さすが選り抜き・・・七三
糸満で健棒を振う・・・七三
学徒沖繩の躍動・・・七三
高校陸上競技大会終る・・・七三

一九四八年（昭和23）

野球 名護中等校優勝・・・七四
初校野球 首里城西校優勝・・・七四
排籠球予選・・・七五
高校排籠球大会・・・七五
南西諸島学徒体育大会終る・・・七五

一九四九年（昭和24）

スポーツ 中校石川 高校前原・・・七六
野球 中校石川 高校前原・・・七六
スポーツ・・・七六
学童野球 城岳優勝・・・七六
全島高校相撲 前原勝つ・・・七六
血潮は躍る高校競技・・・七六
全沖繩陸上競技大会記録・・・七七

一九五〇年（昭和25）

スポーツ・・・七七
高校野球・・・七七
高校排籠球 白熱の大接戦・・・七六
初の庭球大会・・・七六
高校陸上競技 躍進もめざまし！
十七種目に輝く新記録・・・七八

一九五一年（昭和26）

中学校の中央大会
三年振りに復活
学校体育行事・・・七八
高校野球・・・七九
スポーツ・・・七九

庭球・・・七九
高校排籠球・・・七九
胡差、名護読谷勝つ・・・七九
本社主催 高校新陣野球
二十六日から那覇校で・・・七〇
本社主催 第一回高校新陣野球
きよう優勝戦・・・七〇

一九五二年（昭和27）

本社主催 中学野球中央大会
きようから熱戦展く・・・七〇
本社主催 全琉中学野球の幕開く
熱球青空に飛ぶ
栄冠いずれに輝く？・・・七二
高校庭球中部予選大会・・・七二
大島側勝つ・・・七三

高校柔道大会個人試合で
高校排籠球・・・七三
高校相撲 力闘好技に熱狂・・・七三
本社主催 高校新陣野球 26日開幕
十六チーム組合せきまる・・・七三

本社主催 高校新陣野球
三日間の熱戦閉ず
前原、三年ぶりに優勝・・・七三

一九五三年（昭和28）

高校柔道那覇が優勝・・・七五
中部高野球、石川勝つ・・・七五
全島高校体育大会
排球前原（男）
籠球中農（女）・・・七五

那覇高が堂々優勝
高校柔道大会で熱戦・・・七六
高校陸上 七つの大会新記録・・・七六
本社主催 高校新陣野球
組合せ決まる

25日朝8時半入場式・点・・・七六
本社主催 高校新陣野球

本社主催 高校新陣野球

きょう優勝戦
四強豪の争覇戦・・・七三

一九五四年(昭和29)

高校の柔道大会 那覇が勝つ・・・七三
高校排籠球成績・・・点・・・七三
前原石川コザを降す 高校野球
番狂せの中部予選・・・七三
晴れ間を狙って
野、排籠球に若人躍る
各地で奏でるスポーツ譜・・・七三
中農一回戦に勝つ
水戸高を敗り初陣飾る・・・七三
実力出しきれず惜しくも敗る
中農バレーチーム・・・七三
沖繩チームにペナント贈呈・・・七三
日本高校のレベルに迫る
さながら新記録デー
12種目に高校、
6種目に沖繩新・・・七三
排球選手権試合
十二日那覇高校で・・・七三
本社主催 高校新陣野球
中農も参加・・・七三
きのう全島高校柔道大会・・・七三
いよいよ26日開幕
高校新陣野球大会
組合せ決る・・・七三
首里・中農・糸満勝残る
高校新陣野球
きょう糸満で四試合・・・七三
高校新陣野球 糸満高校勝つ・・・七三

一九五五年(昭和30)

高校体育大会
寒風に熱戦展開・・・七三
石川中が優勝
中部地区中校野球・・・七三

高校野球中部予選・・・七四
高校排籠球・庭球・・・七四
きのう全島排籠庭球
好天に恵まれ熱戦続出・・・七五
陸上競技 若人の熱戦展開・・・七五
連休に若人の祭典 各地で賑った
スポーツ行事・・・七五
那覇高が連勝・・・七五
全島高校対抗柔道・・・七五
高校新陣野球・・・七五
秋晴れに若人の祭典
高校陸上・・・七五
駅伝・八重山が優勝・・・七五
息詰る熱戦展開

一九五六年(昭和31)

全島高校紅白柔道大会・・・七五
健脚誇る 宜野座高校優勝・・・七五
高校駅伝区間賞・・・七五
本社主催 高校新陣野球
試合の組合せ決る・・・七五
高校新陣野球
前原・コザ・工業勝残る・・・七五
高校新陣野球
きょう準決勝へ・・・七五
冬期体育大会・・・七五
高校新人庭球
前原と商業勝つ・・・七五
体操大会
・首里高、四種目に優勝・・・七五
春の高校野球
試合組合せ決まる・・・七五
中農、守備総崩れで敗退・・・七五
若人の敢闘高校排籠球大会
きょう熱戦の幕開く・・・七五
高校新人バレー、バスケット
熱と力の妙技を展開・・・七五
本社主催
高校新人排籠球大会終る・・・七五

高校排ろう球 中部代表決る・・・七五
全国大会へ 排、籠、
庭、卓、優勝校決まる・・・七五
中部地区中校野球・・・七五
具志川村青年排ろう球大会・・・七五
繰り展ぐ豪華な若人躍進譜・・・七五
走幅で記録更新(中校女子)
くりひろぐスポーツ絵巻・・・七五
高校柔道
那覇高が輝く四連覇・・・七五
男子那覇 女子首里が優勝
高校陸上五つの新記録・・・七五

一九五七年(昭和32)

春の高校野球組合せ決る・・・七五
高校野球きょう優勝戦・・・七五
高校スポーツ祭典
きのう閉幕・・・七五
高校陸上 九種目に記録更新・・・七五
高校スポーツ成績・・・七五
五種目に中校新
全国中校放送陸上沖繩大会・・・七五
秋季相撲大会・・・七五
秋季地区対抗相撲・・・七五
高校陸上
沖新四、高校新三を樹立・・・七五
高体連・・・七五

一九五八年(昭和33)

第二回高校排球選手権大会・・・七五
春の高校野球組合せ決る・・・七五
高校新人バレー・バスケット
51チームの組合せ決る
22、23の両日
首里高校で挙行・・・七五
コザ・中農打撃不振で敗る・・・七五
第三回高校新人排籠球大会
中農が二連勝遂ぐ・・・七五

中農二位に進出 女子バレー・ 七四
 勝利の炎 バレーボール男子
 二連勝に輝く 中農高
 戦力源は本土遠征の体験
 高校新人排籠球大会・ 七四
 バレーボール 遠来の宮農に凱歌
 女子知念が優勝 中農二位・ 七五
 中校バレーボール選手権
 男女22校の組合せ決る・ 七六
 中校バレーボール
 平安座(男子)輝く二連勝・ 七六
 全国中校放送陸上終る・ 七七
 秋の高校野球 組合せ決る・ 七七
 高校野球 吉山(中農)
 初のホームラン・ 七八
 高校野球 那覇、石川で決勝・ 七八
 前原地区陸上競技大会・ 七九
 1958年前半期
 高校陸上五傑・ 七九
 高校陸上・ 七九
 高校バレー選手権・ 七九
 高校新人野球二十日から
 試合組合せきまる・ 七〇
 58年度沖縄競泳五傑
 小校男子・ 七一
 全高校籠球選手権・ 七一
 高校新人野球
 中農、沖高準決勝へ・ 七一
 柔道コザ、剣道那覇が優勝
 高校冬季体育大会・ 七二
 一九五九年(昭和34)
 中農、首里で優勝戦
 高校新人野球・ 七三
 1958年度
 全沖縄高校陸上10傑・ 七三
 1958年度
 全沖縄高校陸上10傑・ 七三
 高校新人野球
 七三

中農、首里を破り初優勝
 伊波の健闘で押切る
 不調の高嶺に打線集中・ 七三
 高校新人野球をかえりみる
 めざましい新鋭台頭
 第二期黄金時代の中農
 豊富な持駒に
 ハードトレーニングを・ 七四
 後援会を結成
 中部農林野球部・ 七五
 防犯協会が少年野球
 前原地区・ 具志川中、
 与那城小が優勝・ 七五
 高校新人
 バレー、バスケット最終日
 男子中農三連勝の夢消える・ 七六
 インターハイめざして
 高校排・籠・庭・卓球大会
 きょう開幕・ 七六
 20チームが参加
 高校野球組合せ決る・ 七七
 きのう高校球技大会・ 七七
 高校陸上選手権・ 七八
 コザ仲本の本塁打も空し
 中農に敗れる
 首里12回延長で前原に辛勝・ 七八
 体操 個人男女とも首里・ 八〇
 中農、宿敵首里を破る
 八回、高嶺に集中打・ 八〇
 中農、宿願の初優勝
 晴れの南九州予選へ・ 八一
 中農バンザイ!
 平良川から学校まで大行進
 沿道は黒山の歓陣
 わきかえる安慶名の街・ 八二
 かくて栄冠
 監督七カ年の努力実る
 ナインに
 闘志と信念を“と”・ 八三
 社説 中部農林の敢闘を祈る・ 八四

総評 全国高校野球沖縄地方予選
 投手力上回る打力
 中農の優勝は
 練習量の賜もの・ 八五
 話の卵 ます熱と力・ 八六
 夏の高校野球をふりかえる(下)
 目立つ走塁のまずさ・ 八七
 日曜の話題・ 八九
 中農野球部の本土派遣
 中部市町村会が援助・ 九〇
 再武装急ぐ中農チーム
 自信満々遠征へ
 渡慶次コーチ迎え
 連日猛練習・ 九一
 全国大会に挑む
 夢でない甲子園出場
 中農チームきょう出発・ 九二
 奮超せよ中校選手
 中校放送陸上大会
 に寄せて・ 九三
 勝つ自信はある 屋宜監督
 だが故障者多くて不安・ 九三
 中農戦を実況放送
 高校野球南九州大会・ 九三
 対戦校は高鍋高校
 南九州、中部農林が第一戦・ 九三
 高校野球南九州
 甲子園へ最後の関門・ 九四
 全員登校実況きく
 母校の中部農林・ 九五
 必勝のノボリをかざし
 県人会ねこそぎ応援に・ 九五
 社説 まず球場の整備が急務・ 九五
 全国高校野球南九州予選
 中農、高鍋に大敗
 エラーで自滅
 目立つ走塁の悪さ・ 九六
 伊波はよく投げた
 余りに足が遅すぎる
 屋宜監督・ 九八

高校野球熱戦譜	七九
南九州の中農・	七九
中農・高鍋戦をかえりみる	七九
不足な基本練習 致命傷は	八一
タイムリー・エラー	八一
萩市が盛んな歓迎	八一
中農 交歓試合で友情結ぶ	八三
中農、徳山で交歓試合	八四
中農、交歓試合終え きょう	八四
甲子園の高校野球見学	八四
21代表組合せ決る	八四
中校バレーボール大会	八五
12日中農で開幕	八五
//やはり実力が違う//	八五
高校野球中農チーム帰る	八五
全琉中校バレーボール	八六
夏季球技大会	八六
31チーム参加、あす開く	八六
高校新人野球	八七
組合せ決まる	八七
試合組合せ決まる	八七
第二回中校卓球選手権	八七
体操選手権大会	八七
中農堂々の二連勝なる	八七
第九回高校新人野球	八七
二転三転して二点差	八七
那覇最終回致命のエラー	八八
高校新人野球総決算	八八
甲子園目標に練習を	八八
今後に期待される前原	八八
成功だった	八八
九月くり上げ試合	八九
川崎チームが優勝	八九
具志川村陸上競技大会	九〇
あす第12回全沖縄陸上競技大会	九〇
琉大、前原がダークホース	九二
第7回全沖縄高校陸上	九三
高校バレー選手権組合せきまる	九三
20日中農コートで	九三
高校バレーボール選手権	九三

那覇(男子)	八三
前原(女子)に栄冠	八三
一九六〇年(昭和35)	八三
冬季高校野球	八三
柔道沖縄、剣道商業A優勝	八三
第七回冬季高校体育大会	八三
前原地区青少年野球大会	八三
十二日と十三日	八四
組合せ決まる 春の高校野球	八四
17チームが出場	八四
男72組合せきまる	八四
高校新人バレー	八四
バスケット	八四
バレー 男女とも決勝	八四
トーナメントへ	八五
高校新人排籠球大会	八六
中農・中央準決勝へ	八六
春の高校野球	八六
前原・首里、準決勝へ	八七
継投で反撃を断つ前原	八七
春の高校野球準決勝	八七
中農×前原で決勝	八七
春の高校野球優勝戦	八七
中農高、初の優勝を飾る	八二
春の高校野球を省みて	八二
優勝の原動力・佐久本	八三
優勝の原動力・佐久本	八三
宮水、遠征体験生かせ	八三
前原地区中校野球	八四
具志川中が優勝	八四
全島定時制排籠卓球大会	八四
20チームが出場	八四
あすから中部中校野球	八五
石川×普天間 嘉手納×具志川	八五
で準決勝	八五
中部地区中校野球	八五
各地で協議たけなわ	八五
陸上種目は雨で七日に延期	八六
高校球技大会	八六

各地区の代表きまる	八六
高校球技大会地区予選	八六
中部地区中校野球	八六
嘉手納、石川で決勝戦 具志川、	八七
力の差で打ち崩さる	八七
全国高校野球・沖縄予選	八七
試合組み合わせ決まる	八七
首里・前原・那覇	八七
中農をシールド校に	八七
二十校で18日から開幕	八六
バレー、バスケット組合せ決まる	八六
高校球技19日にコザ高で	八六
にぎわった高校夏季体育大会	八六
高校野球沖縄大会9日目	八六
悪条件に記録のびず	八六
第五回高校陸上選手権大会	八六
平良川、昆布が優勝	八六
具志川村の球技大会	八六
全国高校野球沖縄予選	八六
工業対中農できょう優勝戦	八二
工業、初優勝飾る	八二
中農、打線不発で涙のむ	八三
暑さで記録も低調 全日本中校	八三
放送陸上沖縄大会	八三
18日から幕開く 国体参加	八三
高校野球組合せ決まる	八三
高校野球国体予選	八三
前原、首里下し独走	八三
長堂選手、	八三
3ランと満塁ホーム	八四
国体代表前原にきまる	八四
高校野球国体予選	八四
十一年ぶりの優勝	八四
三戦全勝で晴れの	八五
沖縄代表に	八五
今晚の話	八五
前原高校チームへ	八六
国体派遣選手きまる	八六
選手百十九名役員六名	八六
高校野球と弓道は初参加	八七

前原チームに補助金	八三七
高野連理事會	八三七
高校新人野球十年の歩み(上)	八三七
年々盛んになる	八三六
多くの名選手を育てる	八三六
試合組合せきまる	八三六
第10回高校新人野球始まる	八三六
十周年を記念、十校を表彰	八三六
五種目に大会新記録	八三六
高校定時制陸上にぎわう	八三六
高校新人野球	八三六
前原は出水(鹿児島)と対戦	八三六
国体高校野球組み合わせ	八三六
前原チームにセーター贈る	八三六
熊本選抜軍のナインが	八三六
国体だより いい勉強になった	八三六
初参加の前原高校	八三六
前原出水の長打に屈す	八三六
又吉の不調とエラーが敗因	八三六
全沖縄高校陸上	八三六
名護高、総合優勝を飾る	八三六
男子も名護	八三六
女子は首里高に凱歌	八三六
高校バレー選手権	八三六
高校バスケット選手権	八三六
25・26日商高で	八三六
高校バスケット選手権大会	八三六

一九六一年(昭和36)

首里、中農が決勝へ	八四四
高校野球冬季大会	八四四
比嘉が投打に大活躍	八四四
熱戦にスタンドわく	八四四
両チーム精魂かたむけて	八四四
敢闘	八四四
組み合わせ決まる	八四四
高校バレー・バスケット	八四四
春の高校野球	八四四
組み合わせ決まる	八四四

高校新人バレー・バスケット	八四八
春の高校野球	八四八
きょう前原―沖縄で決勝	八四八
沖高二度目の優勝 春の高校野球	八四八
前原を2対0で降す	八四八
長堂投手の不調がたたる	八四八
全島高校バレーボール選手権	八四八
きょう石川中校で	八四八
コザと中農に凱歌あがる	八四八
高校バレーボール大会	八四八
二十二チームが参加 13日から	八四八
中部地区中校野球	八四八
高校球技予選	八四八
28日南部第一、第二と中部	八四八
具志川と石川が圧勝	八四八
中部地区中校野球	八四八
きょう準決勝	八四八
石川、具志川で争覇	八四八
中校野球きょう決勝戦	八四八
石川中が初優勝	八四八
具志川、善戦及ばず惜敗	八四八
中部地区中校野球	八四八
沖縄代表への覇競う	八四八
全島高校球技大会	八四八
インターハイへ技を競う	八四八
機械体操 男女とも首里優勝	八四八
徒手は前原(男子)	八四八
高校体操	八四八
七種目に大会新	八四八
高校陸上選手権	八四八
具志川が優勝	八四八
前原地区中校野球	八四八
全琉中校野球	八四八
組み合わせ決まる	八四八
きょう準決勝と優勝戦	八四八
全琉中校野球	八四八
石垣中校が初優勝	八四八
全琉中校野球	八四八
九つの大会新出す	八四八
好記録続出の中校放送陸上	八四八

中校バレー	八六六
組み合わせ決まる	八六六
優勝旗男女とも海を渡る	八六六
全琉中校バレー大会	八六六
初の中校バレーボール大会に	八六六
優勝	八六六
17チーム出揃う	八六六
高校新人野球	八六六
組み合わせ決まる	八六六
きょう準優勝戦 高校新人野球	八六六
石川―沖高、知念―中農	八六六
体操選手権	八六六
高校新人野球	八六六
安谷屋、中農打線を押える	八六六
六種目に新記録	八六六
全沖縄高校定時制陸上	八六六
全琉高校陸上競技大会	八六六
農林勢健脚ぶり発揮 高校駅伝	八六六
中農一位 2時間38分22秒	八六六
高校バレー	八六六
男女十七校が参加	八六六
高校バレー選手権	八六六
男子是那覇が三連勝 女子は中農	八六六
高校バレーボール選手権	八六六

一九六二年(昭和37)

男子中農が初優勝 高校総体	八六七
タイムス駅伝	八六七
高校新人バレー	八六七
18日中農高で	八六七
春の高校野球	八六七
組み合わせ決まる	八六七
春の高校野球	八六七
前原も準決勝へ	八六七
春の高校野球	八六七
沖縄高、三度目の優勝	八六七
安仁屋好投、前原を完封	八六七
女子は前原高が優勝	八六七
春季高校バレー	八六七

中校バレー、 組み合わせ決まる・・・	八七三
男子具志川、女子美東優勝 中校バレーボール選手権・・・	八七三
高校球技大会 きょう前原高校で・・・	八七三
高校球技・・・	八七三
高校夏季体育大会 インターハイ予選・・・	八七三
高校陸上選手権・・・	八七四
中校卓球・・・	八七四
全琉中校バレー 男女17校が決勝へ・・・	八七四
中校バレーボール大会 男子具志川 女子石垣優勝・・・	八七五
まず水産、前原戦 高校新人野球 組み合わせ決まる・・・	八七五
高校新人野球 中農、中央が辛勝・・・	八七六
高校新人野球 前原、石川、 中農も準決勝へ・・・	八七六
首里 中農で優勝争う 高校新人野球準決勝戦・・・	八七七
首里高が初優勝 高校新人野球 中農を速攻で降す・・・	八七九
高校体操・・・	八八一
全沖縄高校陸上・・・	八八一
前原(女子)が優勝 高校バレー 後の選手権・・・	八八二
一九六三年(昭和38)	九人制最
第十一回高校体操選手権・・・	八八二
タイムス駅伝・・・	八八二
高校新人六人制バレー 組み合わせ決まる・・・	八八三
高校新人六人制バレー 首里(男子)と 前原(女子)が優勝	八八三

決勝で那覇、中農を下す・・・	八八三
首里マラソン・・・	八八四
六人制バレー 組み合わせ決まる・・・	八八四
那覇(男子)前原(女子)が優勝 六人制高校バレー大会・・・	八八五
あす中校バレー大会 参加41、組み合わせ決まる・・・	八八五
第三回中校バレー・・・	八八五
37チームが熱戦 全琉高校球技大会・・・	八八六
きのう全日本中校 放送陸上競技・・・	八八七
高校新人野球、あす開幕・・・	八八七
高校新人野球 崎原(中農)、工業を完封 中農6回に連続打、 勝負つく・・・	八八九
読谷が初優勝飾る 高校新人野球・・・	八八九
中農、2年ぶりの栄冠 2時間35分7秒 高校駅伝 日米琉駅伝出場校きまる・・・	八九二
高校バレー選手権・・・	八九二
一九六四年(昭和39)	
タイムス駅伝・・・	八九二
高校体操大会・・・	八九四
中高校新人卓球 組み合わせ決まる・・・	八九四
中・高校新人卓球・・・	八九四
男女とも前原が優勝 高校新人六人制バレー・・・	八九五
組み合わせ決定 全琉高校新人バスケット・・・	八九五
中部地区中校野球 組み合わせ決まる・・・	八九六
ベスト4決まる 中部地区中校野球大会・・・	八九六

ベスト4きまる 中部中校野球大会・二日目 与勝(昨年度優勝校) 具志川に惜敗 きょう午後から優勝決定戦・・・	八九六
上門、投打に活躍 中部中校野球 具志川が初優勝飾る・・・	八九八
中部地区中校野球総評 勝利の殊勲者は上門・・・	八九九
全琉高校新人バスケット きょう卓球選手権大会・・・	九〇一
卓球選手権大会・・・	九〇一
七日に中央高校で 全琉高校バレーボール・・・	九〇二
前原二度目の優勝 全沖高校球技大会 バレー女子は中農・・・	九〇二
全琉中校バレー 女子は具志川・・・	九〇三
高校陸上選手権大会・・・	九〇三
きのう高校定時制球技大会 全沖中校陸上・・・	九〇三
きょう全島中校卓球 嘉陽(男子)が優勝・・・	九〇四
組み合わせ決まる 2、3日に中校バスケット 第六回中校バスケット・・・	九〇四
第六回中校バレーボール 具志川(女子)が初優勝・・・	九〇五
男子百メートル沖縄新・・・	九〇六
聖火コースをパトロール 道路沿いを花で 中城 平良川と安慶名は中部一・・・	九〇六
聖火延着にとまどう 心配したコースの変更 コザ市 きのう全走者が試走・・・	九〇六
聖火通過、各地の予定時刻・・・	九〇七
聖火いよいよ本番 嘉陽に歓迎大アーチ 与謝野総長	九〇七

高校定時制球技大会・・・九四一
 全沖縄高校陸上・・・九四二
 全沖縄中学陸上・・・九四三
 高校相撲・・・九四四
 あげな中校チームが初優勝
 前原地区中校すもう大会・・・九四三

一九六七年（昭和42）

朝汐杯高校相撲
 個人は奥間選手（中農）
 優勝・・・九四三
 儀間（興南）晴れて「沖縄一」
 宿敵奥間を破る・・・九四四
 第10回タイムス駅伝・・・九四四
 全沖縄中・高校新人卓球大会
 中学稲嶺（那覇）と
 浜川（あげな）・・・九四四
 中高新人卓球をみて
 今後の育成が課題
 好選手ぞろいの高校勢・・・九四五
 名護マラソン
 高校は久高、中校は山城・・・九四六
 高校新人
 バレーボール大会の歩み（上）
 沖縄バレーボール協会
 理事長 吉田正善・・・九四七
 高校新人
 バレーボール大会の歩み（中）
 沖縄バレーボール協会
 理事長 吉田正善・・・九四八
 高校新人バレー
 組み合わせ決まる・・・九四九
 高校新人
 バレーボール大会の歩み（下）
 沖縄バレーボール協会
 理事長 吉田正善・・・九五〇
 クロスカントリー
 高校では久高・・・九五二
 高校新人バレー・・・九五三

高校新人ボクシング・・・九五二
 第13回那覇マラソン 高校
 久高（中農）が大会新・・・九五三
 春の高校野球 組み合わせ決まる
 シードに小禄、那覇
 最高の二十八校が参加・・・九五三
 第14回春の高校野球 9日目・・・九五四
 春の相撲大会・・・九五五
 高校バスケット・・・九五五
 第21回全国高校ボクシング
 沖縄予選・・・九五六
 インターハイめざし

高校球技大会きょう開幕・・・九五六
 全沖縄高校球技大会
 5種目の優勝校決まる・・・九五七
 高校バレー15年の歩み
 沖縄高体連バレーボール
 副部長 吉田正善・・・九五八
 全沖縄陸上競技大会
 久高（中農）二種目
 （1500、5000）に
 優勝・・・九六〇
 8種目に熱戦を展開・・・九六一
 ボクシング 選手13人を決定
 全国高校選手権に出場・・・九六二
 高校陸上選手権 最終日
 六種目に七つの沖高新
 四百、十年ぶりの更新
 大浜、久高、大城らが
 大活躍・・・九六二
 インターハイ派遣代表決まる
 17種目に総勢323人
 加盟全種目に出場
 かつてない大陣容・・・九六三
 全九州高校陸上
 沖縄側出場選手決まる・・・九六四
 全沖縄卓球大会・・・九六四
 全沖縄中学校卓球大会
 組み合わせ決まる・・・九六四
 中校卓球

石垣第二 あげなが初優勝
 個人は稲嶺、浜川両選手・・・九六五
 全国高校体育大会
 Ⅱ5日目Ⅱ・・・九六五
 全国高校体育大会
 Ⅱ6日目Ⅱ・・・九六六
 昭和42年度全国高校総合体育大会
 沖縄勢 つぎつぎ敗退・・・九六六
 昭和42年度

全国高校総合体育大会・・・九六六
 沖縄高体連15周年記念
 九州各県対抗高校陸上競技大会
 出場者ベスト記録・・・九六七
 小禄、前原が優勝わかる
 一般学生選抜サッカー・・・九六七
 九州高校陸上競技
 沖縄は女子が六位・・・九六八
 九州各県対抗高校陸上
 ヒーロー 円盤投げ
 金城二枝選手（前原高校二年）
 沖縄勢の最高成績
 女子六位入賞の原動力・・・九六九
 中部地区中校 名嘉杯争奪庭球
 美東（男子）
 あげな（女子）が優勝・・・九七〇
 きょう中高校新人卓球
 組み合わせ決まる・・・九七〇
 全沖中高新人卓球
 女子はあげな・・・九七一
 男子、前原が初優勝
 高校新人卓球
 女子は中農が・・・九七二
 高校定時制球技大会・・・九七二
 九種目に美と力の祭典
 オープン競技・・・九七三
 全沖高校陸上競技 最終日
 七種目に13の高校新
 男子は八重山
 女子前原が初優勝・・・九七三
 全沖縄高校陸上総評

予想以上の成果上げる・・・九七四
 中学体操・・・九七五
 あす高校バレー
 男女58チームが参加
 組み合わせ決まる・・・九七六
 高校バレー 男子
 前原―興南であす決勝・・・九七六
 前原、二度目の優勝 第16回
 沖縄高校バレー・ボール・・・九七七
 全沖縄高校ボクシング・・・九七七
 全沖縄高校ボクシング選手権・・・九七八
 全沖縄高校駅伝・・・九七八
 高校バスケット選手権
 男女五十五チームが出場・・・九七九
 高校バスケット選手権
 ベスト4(男女)決まる・・・九八〇
 全沖縄高校バスケット・・・九八〇

一九六八年(昭和43)
 朝夕杯相撲・丸一
 きょう冬季高校剣道・体操
 今大会から女子個人戦も・丸一
 高校・職域卓球・丸一
 高校新人バレーボール
 18日、中央高コートで
 組み合わせ決まる・・・九八二
 あげな中が二連勝
 前原地区中校相撲
 個人は友寄君が勝つ・・・九八三
 高校は久高「中農が」
 名護マラソン・・・九八三
 男子は前原が制す
 高校新人バレー・・・九八三
 三階級の優勝決まる
 高校ボクシング 第二日・・・九八五
 嘉陽(前原)安座間に快勝
 中高校卓球個人戦・・・九八六
 久高選手に「河野賞」・・・九八六
 高校は男女とも前原Aが優勝

第一回中部地区卓球・・・九七七
 あすから幕ひらく
 中部地区中学野球・・・九七七
 中部地区中校野球・・・九七八
 全沖縄バスケット
 きょうから熱戦・・・九七八
 普天間(男子)が二連勝
 あげなを速攻で下す
 中校バスケット・・・九八九
 全沖縄中学校陸上・・・九八九
 26代表が決まる
 全国高校総合球技予選・・・九九〇
 中農、3連続沖縄代表に
 インターハイ沖縄予選
 第1日・・・九九〇
 インターハイ沖縄予選・・・九九二
 インターハイ沖縄予選・・・九九三
 インターハイ沖縄予選 第4日・・・九九三
 インターハイ剣道
 組み合わせ決まる・・・九九四
 インターハイ沖縄予選
 あす熱戦・・・九九五
 夏の高校野球 22日に開幕
 組み合わせ決まる・・・九九六
 インターハイ沖縄予選
 6種目の優勝決まる・・・九九七
 高校陸上選手権幕あけ・・・九九八
 高校陸上選手権 最終日・・・九九八
 インターハイ派遣陣容決まる
 12種目に総勢240人・・・九九八
 組み合わせ決まる
 30・31日の二日間
 第二回中学サッカー・・・九九九
 各地区代表決まる
 21日から全琉中校野球大会・・・九九九
 全沖縄中校野球
 組み合わせ決まる・・・一〇〇〇
 あす中学卓球・・・一〇〇〇
 全沖縄中校卓球
 あげなが男女とも優勝・・・一〇〇一

きょうのスポーツ・・・一〇〇二
 バレー
 各地区代表24校が参加・・・一〇〇三
 全国高校総合体育大会 2日目
 沖縄勢、各種目に善戦・・・一〇〇三
 全国高校総合体育大会
 昭和43年度 三日目・・・一〇〇四
 全国高校総合体育大会
 昭和43年度 四日目・・・一〇〇四
 全国高校総合体育大会
 昭和43年度 六日目・・・一〇〇五
 組み合わせ決まる
 きょう職域、高校卓球・・・一〇〇五
 職域・高校卓球
 高校男女とも前原高・・・一〇〇六
 高校新人野球21日に開幕
 コザなど30校が参加
 組み合わせ決まる・・・一〇〇六
 名嘉杯中部地区中校軟庭・・・一〇〇七
 このひと30分 翁長維行
 第23回秋の国体に沖縄選手団
 総監督として出場する
 全種目に一勝を
 “参加”だけでは無意味・・・一〇〇八
 高校定時制球技大会・・・一〇〇九
 選抜サッカー選手権・・・一〇〇九
 中校卓球
 伊波、外間が優勝 シングルス
 ダブルス男女とも
 あげなが制す・・・一〇一〇
 第16回全沖高校陸上
 総合で八重農が初優勝
 男子中央 女子前原・・・一〇一一
 あげなA、神原B下す
 全沖縄中・高校新人団体卓球
 女子 具志川が初優勝・・・一〇一二
 第16回高校相撲・・・一〇一二
 27、28日に
 全沖縄中校サッカー大会・・・一〇二三
 第8回全沖中学校体操競技・・・一〇二三

全沖縄高校ボクシング
最終日・・・二〇三
上江洲・浜川組に栄冠 高校男子
喜久山・太田組 女子
卓球ダブルス選手権・・・二〇三
中校サッカー・・・二〇四

一九六九年（昭和44）

前原B（男子）が優勝
高校バレー・・・二〇四
高校新人サッカー組み合わせ・・・二〇五
ベスト4決まる
全沖縄高校サッカー大会・・・二〇五
全沖縄高校新人サッカー
小祿、コザ下し初優勝飾る・・・二〇六
春の職域、高校卓球大会
組み合わせ決まる・・・二〇六
琉銀、ABを制覇職域
高校は中央（男子）
前原（女子）が
春の高校職域卓球・・・二〇七
全沖縄高校新人バレー
組み合わせ決まる・・・二〇七
全沖縄高校新人バレー
女子は前原が三度目・・・二〇八
三月一日に予選、
東京―沖縄定期戦
高校ボクシング・・・二〇九
沖縄側候補選手決まる
全東京―全沖縄高校ボクシング
沖縄予選 最終日・・・二〇〇
あす中校野球開幕・・・二〇〇
全沖中卓球・・・二〇二
春の中学野球
上山、具志川で決勝・・・二〇二
男女、前原が優勝
44年度高校新人卓球大会・・・二〇三
上山が初優勝
延長八回 具志川をうっちゃる

中校野球 最終日・・・二〇三
高校新人バスケット
組み合わせ決まる・・・二〇三
全沖縄高校新人バスケット・・・二〇四
日本陸連、
六八年度百傑を発表・・・二〇四
組み合せ決まる 27チームが参加
中部中学野球、三日に開幕・・・二〇四
高校選抜軟式庭球・・・二〇五
空手選手権大会開く・・・二〇五
高校ボクシングの組み合わせ・・・二〇五
高校体育大会きょう開幕
展望上・・・二〇五
全沖縄高校体育大会 1日目
7種目に熱戦展開・・・二〇六
全国高校総合体育大会
第二週の組み合わせ決まる・・・二〇六
全沖縄高校体育大会 5日目
沖縄代表、続々決まる・・・二〇六
全沖縄高校体育大会 最終日・・・二〇七
20日から中校野球選手権
代表21校決まる・・・二〇七
きょう中校夏季大会
陸上競技皮切りに七種目・・・二〇七
第20回全沖縄中校野球
各地区代表 23校の顔ぶれ
鹿児島遠征めざし
20日から熱戦・・・二〇七
中校卓球 神原・あげなが勝つ
個人 伊波（石川）
比嘉（具志川）に栄冠・・・二〇七
離島勢が善戦 中学野球・・・二〇七
全沖縄中校体育大会 最終日・・・二〇七
昭和44年度インターハイ第3日目
八百員安座間は
沖高新ながら失格・・・二〇七
職域・高校卓球大会
高校は興南（男子）と
前原（女子）・・・二〇七
高校新人野球

組み合わせ決まる・・・二〇五
組み合せ決まる
きょう中、高校新人
卓球大会・・・二〇五
あげな（男子）越来（女子）が
優勝 中・高校新人卓球・・・二〇六
賑わったスポーツ祭典
具志川市が陸上競技大会・・・二〇七
男子は前原Aが優勝
女子も前原Aに栄冠
高校新人卓球大会・・・二〇七
きょう高校、職域卓球・・・二〇八
職域・高校卓球・・・二〇八
第17回全沖縄高校陸上
最終日・・・二〇八
全沖縄高校バレー
組み合わせ決まる・・・二〇九
上江洲（前原）が二連勝
高校卓球・・・二〇九
全沖縄卓球ダブルス選手権
稲嶺・牧組に栄冠 高校男子
女子は浜川・平安名組・・・二〇九
高校ボクシング選手権大会
各級優勝者決まる・・・一九四
組み合わせ決まる
中校新人野球13日に開幕・・・一九四
中校新人野球 5日目・・・一九四
全沖高校バレー大会・・・一九四
中校新人野球 6日目
山内もあげな下し決勝進出・・・一九四
あすから中校サッカー・・・一九四
中校新人ソフトボール
組み合わせ決まる・・・一九四
一九七〇年（昭和45）
準々決勝まで行なう
中学校新人
バレーボール大会・・・一九四
最高の25校が出場

第4回高校新人サッカー・二〇四
 前原、決勝へ 高校新人サッカー
 中央を延長寸前破る・二〇四
 前原が初優勝飾る
 那覇の追撃かわす
 後半、貴重の一点守る
 高校新人サッカー・二〇五
 42チームで沖縄予選
 全国高校優勝者バレー
 組み合わせ決まる・二〇六
 前原―南農で決勝戦
 全国高校バレー
 沖縄予選(第1日)・二〇七
 あす高校新人軟庭
 組み合わせ決まる
 46チームが参加・二〇七
 沖縄代表に前原(男子)、
 中部商(女子)
 全国高校バレー・二〇八
 全沖高校新人軟式庭球・二〇九
 春の高校・職域卓球
 高校は豊見城と前原・二〇九
 組み合わせ決まる
 全東京―全沖縄高校
 ボクシング沖縄予選・二一〇
 婦人バレー沖縄予選
 組み合わせ決まる・二一〇
 高校ボクシング沖縄予選・二一〇
 全国家庭婦人バレー
 平良川区が沖縄代表に
 神原中PTAに勝つ・二一一
 家庭婦人
 ママさんバレーを楽しく・二一一
 沖縄から前原、中部商
 第一回全国高校
 選抜優勝バレー大会
 男女各二十四チームが出場・二一三
 前原、中部商敗れる
 全国選抜高校バレー大会・二一三
 春の中・高校卓球・二一三

女子は浜川(前原)が初優勝
 全沖縄中高校卓球 最終日・二一四
 一般・高校重量あげ
 あす高校選抜庭球
 8チーム参加
 組み合わせ決まる・二一四
 高校選抜軟庭 25チームが参加
 中部中学野球
 試合組み合わせ決まる・二一五
 88チームが参加
 三日から中学バスケット・二一五
 中学女子ソフトボール
 組み合わせ決まる・二一六
 中部中学野球
 中校バスケット・二一六
 中農(相撲)、
 沖縄代表に初名のり
 インタハイ沖縄予選・二一七
 高校総体 第二週見どころ
 6種目に熱戦展開・二一七
 インタハイ沖縄予選
 各種目とも中盤戦へ・二一八
 高校総体二週二日目・二一八
 インタハイ沖縄予選
 20日から高校女子ソフトボール
 試合組み合わせ決まる・二一九
 高校総体第三週みどころ
 インタハイ沖縄予選・二一九
 全国高校総体 沖縄代表決まる
 陸上など313人派遣・二二〇
 定時制高校陸上
 24種目に技競う・二二〇
 中学体育大会 組み合わせ決定・二二〇
 名護男子、あげな女子が優勝
 全沖縄中校卓球選手権大会・二二四
 中校放送陸上沖縄大会・二二五
 高校総体 第2日・二二五
 相撲、サッカーは惨敗
 45年度高校総体・二二五

島袋、上原二回戦へ
 ボクシング個人戦
 高校総体 第6日・二二六
 ボクシング個人戦始まる
 五選手二回戦へ・二二七
 上原はベスト4どまり
 45年度高校総体 第六日・二二七
 三選手が二回戦へ進出
 卓球個人戦・二二七
 全沖縄高校剣道大会
 具志川市の陸上競技
 平良川が優勝・二二八
 全沖縄高校対抗陸上
 組み合わせ決まる・二二八
 高校 ボクシング選手権
 女子、比嘉が逆転勝ち
 中学卓球・二二九
 六階級の4強決まる
 高校ボクシング選手権
 2日目・二二九
 高校ボクシング選手権
 最終日・二二九
 復帰記念国体 各競技会場決まる
 奥武山で六種目
 先島含め二十四会場・二三〇
 卓球個人選手権
 中校新人野球
 組み合わせ決まる・二三〇
 28日から中校女子
 ソフトボール大会
 組み合わせ決まる・二三〇
 卓球ダブルス選手権・二三三
 小禄高、前原高で優勝分ける
 一般・高校選抜サッカー・二三四
 大会最高の出場チーム
 高校新人バスケットボール大会
 あす開幕・二三四
 前原地区中校駅伝競走・二三五

一九七一年(昭和46)

前原、那覇などが有力
 高校新人サッカー
 組み合わせ決まる・・・(一七五)
 前原、危うく逃げる
 きょう準決勝2試合
 高校新人サッカー 2日目・・・(一七六)
 高校新人サッカー 最終日・・・(一七六)
 高校剣道大会・・・(一七六)
 59チームが出場
 全沖縄中学新人バレー
 組み合わせ決まる・・・(一七七)
 中校新人バレー・・・(一七七)
 全国高校バレーあすから沖縄予選
 組み合わせ決まる・・・(一七八)
 全国高校バレーボール沖縄予選
 読谷(男子)コザ(女子)が優勝
 攻守に前原圧倒 男子・・・(一七九)
 第10回朝汐杯争奪高校相撲大会
 個人は仲村(中農)が
 初優勝・・・(一七九)
 春の中学校野球
 組み合わせ決まる・・・(一八〇)
 きょう準決勝4試合
 ベスト8出そろふ
 春の中学野球・・・(一八〇)
 中学新人卓球・・・(一八一)
 春の中学野球
 きょう準決勝2試合・・・(一八一)
 前原(女子)に初の栄冠
 高校新人卓球・・・(一八一)
 第2回団体総合卓球
 女子は前原が辛うじて勝つ・・・(一八二)
 来月2、3日に中校バレー
 男女百チームが参加・・・(一八二)
 中農が代表に
 高校相撲金沢大会に出場・・・(一八三)
 中学新人バレー選手権・・・(一八三)
 高校新人ボクシング・・・(一八四)

春季相撲大会・一〇四
 具志川市職域野球大会 A組、
 前原高職員チームが優勝・・・(一八四)
 組み合わせ決まる
 きょう職域、高校卓球・・・(一八四)
 卓球 高校は豊見城と前原・・・(一八五)
 高校総合体育大会
 各地区代表出そろふ
 来月13日から中央大会・・・(一八五)
 卓球個人選手権
 女子 浜川(一般)
 新垣(高校)が初優勝・・・(一八六)
 コザ、前原が決勝へすすむ
 女子ソフトボール大会・・・(一八七)
 前原がサヨナラ勝ち
 高校一年生ソフト
 延長11回コザ力つく・・・(一八七)
 全沖高校軟式庭球
 組み合わせ決まる・・・(一八七)
 高校サッカー
 組み合わせ決定・・・(一八八)
 中農高相撲チーム帰る・・・(一八八)
 全国高校野球沖縄予選
 大会組み合わせ決まる・・・(一八九)
 インタハイ沖縄予選
 きょう3種目・・・(一九〇)
 7 競技に熱戦を展開
 インタハイ沖縄予選・・・(一九〇)
 19・20日に高校総体ソフトボール
 組み合わせ決まる・・・(一九一)
 高校剣道、女子も初参加・・・(一九二)
 男女23種目に熱戦展開 陸上
 インタハイ沖縄予選・・・(一九二)
 インタハイ沖縄予選・・・(一九三)
 インタハイ沖縄予選・・・(一九三)
 晴れの優勝校決まる
 インタハイ予選・・・(一九三)
 家庭婦人バレー沖縄予選
 組み合わせ決まる・・・(一九三)
 第8回高校定時制陸上・・・(一九四)
 きょうから中校体育

7 競技、組み合わせ決まる・・・(一九四)
 71年度全沖縄中学校夏季体育大会
 首里、あげなに栄冠 卓球・・・(一九五)
 71年度全沖縄中学校
 夏季体育大会・・・(一九五)
 71年度全沖縄中学校
 夏季体育大会・・・(一九五)
 前原、普天間が決勝進出
 前原 長短12安打打ち楽勝
 全国高校野球沖縄予選・・・(一九六)
 普天間 初の優勝成る
 玉城、前原を完封
 高校野球沖縄予選 優勝戦・・・(一九七)
 全日本中学放送陸上沖縄大会・・・(一九八)
 中学六人制バレー・・・(一九八)
 定通制球技大会 きょう開幕・・・(一九八)
 高校定通制バスケット
 バレーボール・・・(一九九)
 組み合わせ決まる
 きょうから
 サッカー選手権沖縄予選・・・(二〇〇)
 秋の沖縄高校相撲大会・・・(二〇〇)
 前原、中央に辛勝 高校サッカー
 多嘉良が決勝のシュート・・・(二〇〇)
 前原、普天間に快勝
 きょう決勝戦
 全国高校サッカー沖縄予選・・・(二〇一)
 豊見城が初優勝、沖縄代表に
 前原の追撃かわす
 高校サッカー・・・(二〇二)
 高校一般卓球選手権・・・(二〇三)
 高校女子ソフトボール
 組み合わせ決まる・・・(二〇三)
 組み合わせ決まる
 秋季高校ソフトボール大会・・・(二〇三)
 全沖縄高校対抗陸上・・・(二〇四)
 全沖縄中学校卓球選手権・・・(二〇四)
 町から村から 具志川市・・・(二〇四)
 具志川市 バレーボールに熱気
 パパさんがんばれ!と声援・・・(二〇五)
 町から村から 具志川市・・・(二〇五)

前原地区中校駅伝	・	・	・	・	・	二〇六
組み合わせ決まる						
五十二チームが参加						
中学校新人野球	・	・	・	・	・	二〇七
十八日に開幕	・	・	・	・	・	二〇七
組み合わせ決まる						
高校(男)	・	・	・	・	・	二〇七
選抜バレーボール	・	・	・	・	・	二〇七
あすから、						
高校新人ソフトボール大会	・	・	・	・	・	二〇七
前原高校が優勝						
高校男子選抜バレー	・	・	・	・	・	二〇七
選抜メンバー21人発表	・	・	・	・	・	二〇七
あす高校新人バスケット	・	・	・	・	・	二〇八
あすから中学新人						
ソフトボール大会	・	・	・	・	・	二〇九
高校新人ソフトボール						
前原、中部商破り初優勝	・	・	・	・	・	二〇九
中学新人バレー						
組み合わせ決まる	・	・	・	・	・	二一〇
組み合わせ決まる	・	・	・	・	・	二一〇
一九七二年(昭和47)						
中学校新人バレーボール	・	・	・	・	・	二二〇
高校相撲	・	・	・	・	・	二二〇
全国高校バレー沖縄予選	・	・	・	・	・	二二〇
あす開幕	・	・	・	・	・	二二〇
男子 読谷―前原						
女子 コザ―知念で決勝						
全国高校バレー選手権	・	・	・	・	・	二二二
沖縄予選	・	・	・	・	・	二二二
高校選抜バレー	・	・	・	・	・	二二三
決勝戦	・	・	・	・	・	二二三
中学校新人卓球	・	・	・	・	・	二二三
あす中校6人制バレー						
全国大会出場権かける	・	・	・	・	・	二二三
第12回全沖縄中学						
6人制バレー選手権	・	・	・	・	・	二二三
ベスト8で						
全国大会派遣を決定	・	・	・	・	・	二二三

具志川市史 第七卷

新聞集成・戦後
教育文化スポーツ編

平成二十年三月十四日 印刷
平成二十年三月三十一日 発行

編集

うるま市
具志川市史編さん委員会

発行

うるま市教育委員会
沖縄県うるま市勝連平安名三〇三二
電話 〇九八(九七四)三一一一

印刷

有限会社 がじまる印刷
沖縄県うるま市字宮里一三五
電話 〇九八(九七三)六二六三